

市川市の図書館

2018



市川市立図書館

はじめに

市川市の図書館は昭和 25 年に市立市川小学校内に設置されたのを嚆矢とし、60 年を超える歴史を刻んでまいりました。昭和 32 年には葛飾八幡宮境内に初めて独立した図書館が設置され、読書会の育成や独自の件名配架、青少年を対象とした少年室など、先駆的かつ本格的な公立図書館サービスを開始しました。その後、自動車図書館による巡回サービスや、行徳、信篤、南行徳の各図書館、平田図書室の整備を経て、平成 6 年には市民の念願であった中央図書館が建設され、地域図書館の支援や、新時代に対応する図書館サービスを展開してまいりました。平成 21 年には指定管理者制度を導入し、J R 市川駅に直結する再開発ビル内に市川駅南口図書館を設置しました。

このほかにも小学校内に設置された市民図書室や公民館図書室、男女共同参画センターや情報プラザなどの図書館関連施設との連携、市内の大学図書館との相互利用や相互貸借、また民間事業者にもご協力いただきながら返却ポストを市内 12 個所に設置するなど、利便性の向上に努めてまいりました。

平成 29 年度は、前年に行徳図書館に自動貸出機等の I C 機器を導入したことを踏まえ、その効果などの検証を行うとともに、平成 31 年度の中央図書館での I C 機器導入を目指して、蔵書への I C タグ貼付を開始し、機器導入等についてのプロジェクトチームを立ち上げました。

また、大野公民館図書室に続き、西部公民館図書室の活用も視野に入れ、市北部地域の図書館サービスの拡充に向けた検討を進めました。

サービスのソフト面では、昨年以上に地域や行政各部門と連携した企画展示やイベントを展開したほか、こどもとしゃかんにおいても調べ方案内（パスファインダー）を発行する等、図書館の利用普及にも努めてまいりました。

今後も本市図書館は図書館法に規定された各種サービスを着実に実施するとともに、時代のニーズに応じて行くための新たな取り組みも積極的に実施してまいりますので、皆様には更なるご理解ご協力をお願い申し上げます。

平成 31 年 1 月
市川市中央図書館
館長 富島 淳一

目 次

はじめに

1. 市川市の概要	・・・ 1	(11) 千葉県公共図書館サービス指標	・・・ 47
2. 図書館の基本方針	・・・ 2	(12) 関連施設統計	・・・ 48
3. 図書館のあゆみ	・・・ 3	10. 平成29年度事業概要	
4. 図書館組織図・委員会等	・・・ 7	概況	・・・ 50
5. 図書館及び関連施設の配置図	・・・ 9	(1) 資料収集と利用状況	・・・ 50
6. 施設概要		(2) リクエストサービス	・・・ 51
(1) 中央図書館 こどもとしゃかん	・・・ 10	(3) レファレンスサービス	・・・ 52
① 中央図書館フロア案内図	・・・ 11	(4) 類縁機関との連携	・・・ 52
② こどもとしゃかんフロア案内図	・・・ 12	(5) 対象別サービス	・・・ 54
③ 生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図	・・・ 13	① 児童サービス	・・・ 54
(2) 自動車図書館「みどり号」	・・・ 14	② ヤングアダルトサービス	・・・ 55
(3) 平田図書室	・・・ 15	③ 障がい者サービス(図書館利用に障がいのある利用者へのサービス)	・・・ 56
(4) 行徳図書館	・・・ 16	④ 外国人利用者へのサービス	・・・ 56
(5) 信篤図書館	・・・ 17	⑤ 団体へのサービス	・・・ 57
(6) 南行徳図書館	・・・ 18	(6) 資料別サービス	
(7) 市川駅南口図書館	・・・ 19	① 地域資料	・・・ 57
(8) 関連施設	・・・ 23	② 視聴覚資料	・・・ 58
7. 図書館コンピュータシステム	・・・ 25	(7) 主催事業	・・・ 58
8. 平成30年度予算	・・・ 30	(8) 市川駅南口図書館自主事業(指定管理館)	・・・ 64
9. 平成29年度統計		(9) 委員会等	・・・ 65
(1) 蔵書冊数	・・・ 33	(10) 図書館刊行物	・・・ 67
(1-2) 分野別蔵書冊数内訳	・・・ 34	(11) 視察・講師派遣等	・・・ 69
(1-3) 蔵書冊数の推移	・・・ 35	(12) 市川市立図書館関係記事一覧	・・・ 69
(2) 分類別貸出冊数	・・・ 36	(13) 市川市立図書館関係テレビ番組一覧	・・・ 71
(2-2) 分野別貸出冊数内訳	・・・ 37	11. 市川図書館友の会	・・・ 72
(2-3) 貸出点数の推移	・・・ 38	12. 新聞・雑誌一覧	
(3) 蔵書回転率	・・・ 39	(1) 購入雑誌一覧	・・・ 73
(4) リクエスト統計	・・・ 40	(2) 寄贈雑誌一覧	・・・ 80
(5) 登録者集計表	・・・ 41	(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧	・・・ 82
(6) 延べ利用者数の推移	・・・ 41	(4) 新聞ほか一覧	・・・ 85
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移	・・・ 42	13. 条例・規則等	・・・ 86
(8) 受入・除籍冊数	・・・ 43	14. 資料	・・・ 110
(9) 自動車図書館ステーション別統計	・・・ 45		
(10) 市川市の図書館サービス指標	・・・ 46		

1. 市川市の概要

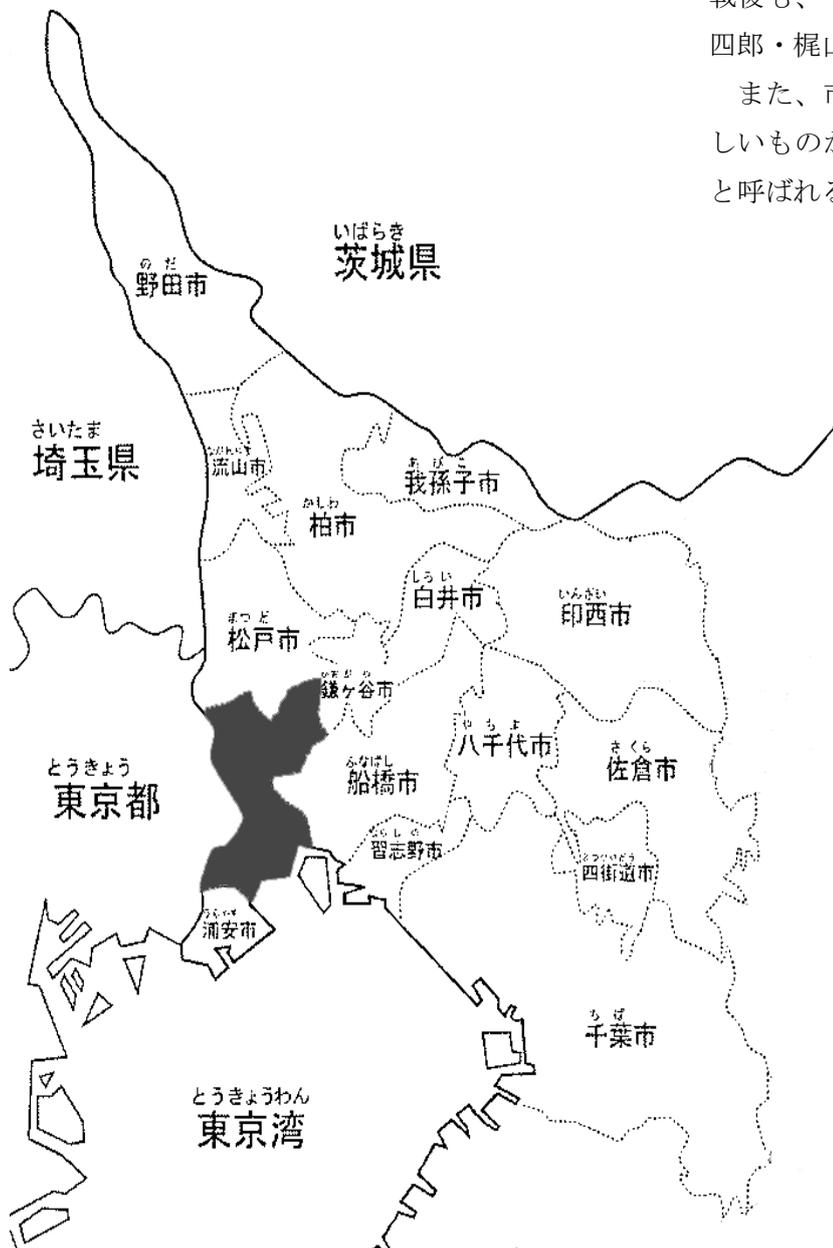
市川市は、千葉県の西部に位置し、北は松戸市、東は船橋市・鎌ヶ谷市、南は浦安市及び東京湾に各々面し、西は江戸川を隔てて東京都江戸川区・葛飾区と相對している。

市域は南北に細長く、北部の台地上には50ヶ所に上る縄文貝塚、国分寺などがあり、中央には市川砂州上に千葉街道が走り、黒松に囲まれて葛飾八幡宮や中山法華経寺などが建つ。南部の低地には、旧江戸川に沿って、成田街道の面影を残す街並みや、塩田の名残をとどめる地名も多い。昭和9年に市制を施行した。

江戸・東京に近い市川市域は、自然環境にも恵まれ古くから豊かな文化を育んできた。古代には国府が置かれ、万葉時代から「真間の手児奈」伝説や「真間の継橋」が歌い継がれてきた。中世に活躍した日蓮の『立正安国論』（国宝）をはじめとする遺筆は、今も法華経寺に伝わる。近世には、市川の事蹟は『南総里見八犬伝』や『江戸名所図会』などにも記されてきた。

近代以降も、伊藤左千夫・正岡子規・郭沫若らが市川を題材にした作品を遺し、永井荷風・幸田露伴・東山魁夷・水木洋子・宗左近の終焉の地となった。戦後も、中野孝次・五木寛之・井上ひさし・能村登四郎・梶山俊夫らが住まい、活動の拠点となる。

また、市民による読書活動や芸術活動にもめざましいものがあり、良好な「郊外住宅都市」「文化都市」と呼ばれる所以である。



位置 東経 139° 55′ 52″
北緯 35° 43′ 19″
(市庁舎)

面積 56.39 k m²
東西延長 8.2 k m
南北延長 13.4 k m

人口 485,767人
男 246,671人
女 239,096人
241,371世帯

(住民基本台帳人口
H30.3.31現在)

2. 図書館の基本方針

公共図書館は、社会を取り巻く様々な課題や個人の生き方について、市民一人ひとりが興味と関心に従って自由に学び、必要な知識を得て、考え、意見を作り上げるための資料・情報と学習の場を提供する生涯学習機関です。

公共図書館はまた、歴史・芸術・文学などの幅広い優れた著作を収集し提供することによって児童・青少年の人格形成や、心の豊かさを求める成人市民の教養と楽しみに資するためのレクリエーション機関でもあります。

市川市立図書館はこれらの設置趣旨を基本方針として市民のための図書館運営に努め、たゆまぬサービスの向上をとおして、市民がいつでも、どこでも、誰でもが情報を得て学ぶことができ、また学習成果を発揮できるような環境を整備し、住みよい地域社会の形成に、さらには地方自治の基盤である市民の自立を支えることにより、本市の基本目標の一つである「真の豊かさを感じるまち」の実現に貢献します。

平成30年度の目標

(1) 図書館運営基本計画による評価の実施

「市川市立図書館運営基本計画」の評価指標に基づき、図書館活動の評価を行うとともに、アンケートなどにより利用満足度を測定する。いずれも高い評価を目標として進捗管理を行う。

また図書館の運営形態についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討し、司書の採用補充も含め、将来の方向性を示す。

(2) 蔵書の収集と効率的な管理、保存について

より効果的な図書館サービスを展開するため、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき、図書館資料の収集と更新を計画的に進めると同時に、以下の蔵書管理効率化事業を推進する。

- ① 効率的な蔵書管理と自動貸出機設置による利便性の向上を図るため I C タグの導入を推進する。中央図書館蔵書への I C タグ貼付を計画的に進める。
- ② 収納スペース有効活用のため、地域行政資料を中心とした電子化を図る。

(3) 図書館サービスの向上について

より利便性と満足度の高い図書館サービスを提供するため以下の事業を実施する。

- ① さわやかな対応を心がけ、接遇能力を向上する。
- ② 利用者支援能力の向上とレファレンスサービスの充実に努める。
- ③ インターネット等を活用した情報発信機能の向上を図る。
- ④ 様々な機会を通して図書館の P R に努め利用を促進する。
- ⑤ あらゆる機会を捉えた研修を通して職員の資質向上を図る。
- ⑥ 図書館未設置地域への図書館サービスについて検討する。
- ⑦ 図書館システムの更新を行う。

3. 図書館のあゆみ

昭和25年	9月	創立開館（1日） 市立市川小学校に併設（2教室） 小暮貞次館長 職員数3名
28年	11月	館外貸出開始
30年	9月	市川市立図書館だより「まつかぜ」創刊（昭和48年3月58号まで刊行）
31年	4月	山岡寛章図書館長に就任
32年	4月	『市川市立図書館蔵書目録 昭和31年12月』発行
	5月	葛飾八幡宮境内に移転し独立館として開館（21日） 1階を使用、2階は教育委員会と市役所の一部が同居 職員数6名
33年	10月	お母さんの本棚開設
34年	7月	教育委員会と市役所の一部が新庁舎完成に伴い移転 図書館独自の建物となる
35年	6月	幼児用、児童用図書を件名配列 母と子の部屋、少年室を設置 全館使用開始
	11月	市川市読書会連絡協議会創立総会
36年	1月	うずしお読書会創立
37年	5月	夜間開館実施（1日）19時30分まで 6名増員し職員数17名
38年	4月	書架室積層式書架に改造
39年	3月	市川市立図書館設置条例公布（31日）
	6月	行徳分館開館（1日） 徳願寺境内 18時まで開館 職員数3名
42年	4月	貸出方式をブラウン方式に切替え 2冊2週間 村岡ゴム会長村岡信一氏より図書館建設のための指定寄付1,000万円
43年	5月	新館を境内本館隣の敷地に開館（11日）
44年	8月	子ども会文庫に対し図書のセット貸出開始（青少年課と共同）（～平成9年度）
47年	10月	田村三雄図書館長に就任
48年	8月	冷暖房設備設置
50年	9月	移動図書館みどり号開設 京成自動車工業製造
51年	11月	移動図書館第2みどり号運行 東京特殊車体製造
53年	4月	石橋賢一図書館長に就任
54年	2月	信篤図書館開館（1日） 行徳分館を行徳図書館に改称
55年	4月	行徳図書館、移動図書館を本行徳公民館図書室に移転
56年	10月	行徳図書館新館開館（1日） 行徳支所4、5階 職員数5名
57年	8月	弘田稔図書館長に就任
58年	10月	南行徳図書館開館（1日） 職員数4名
60年	11月	市内5館をオンラインで結び、コンピュータによる貸出方式に移行（19日）
62年	4月	渡井章三図書館長に就任
	10月	平田図書室開室（11日） 職員数2名
63年	4月	断続的であった司書職の採用を毎年開始（～平成5年度）
	7月	第1みどり号更新 林田製作所製造（28日登録）
	10月	中央図書館等建設準備室仮設置 職員数4名
平成元年	1月	『市川市の図書館』刊行（以降年次報告書として毎年刊行）
	4月	行徳図書館新館開館（15日） 行徳支所隣に単独館5階建て 職員数10名 八幡、行徳でCDの貸出開始
	7月	中央図書館等建設準備室設置（管理部所属）
	9月	第2みどり号更新 京成自動車工業製造（29日登録）
	10月	中央図書館等（仮称メディアパーク市川）のコンペ当選作決まる（山下設計）
2年	7月	小川俊彦図書館長に就任
3年	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業の実験開始
	11月	女性センター開館 情報資料室と書誌情報を共有しオンライン貸出を実施
4年	11月	中央図書館開館準備プロジェクト（15部会）開始
5年	7月	小学生向けおすすめの本のリーフレット「本のぼけっと」創刊
6年	4月	『市川市図書館資料収集方針』まとめる
	9月	市川図書館友の会創立（18日）
	10月	八幡本館（葛飾八幡宮境内）休館（1日～）

平成6年	10月	コンピュータシステムを更新し、学校図書室とのパソコン通信を導入
	11月	市川市中央図書館、こどもとしょかん 複合施設である市川市生涯学習センター（メディアパーク市川）1階に開館（1日） 職員数39名 一般フロアに無断持ち出し防止ゲートシステム（BDS）を導入 「図書館だより」（40号～「市川図書館だより」）「Young Adult通信」創刊
7年	9月	中央図書館第1回リサイクルブック市開催（10日試行、第2回 同年10月29日）
	10月	公共図書館と学校図書館とを結ぶネットワーク事業を本格実施
8年	3月	市川市読書会連絡協議会解散
	4月	小倉勳図書館長に就任
9年	10月	中央図書館が日本図書館協会建築賞を受賞（第12回）
	1月	館報『まつかぜ 市川市立図書館報』（合本復刻）を刊行
10年	4月	千葉商科大学付属図書館とのネットワーク事業開始
		レファレンス事例集「参考業務月報」を刊行（平成10年度「参考業務季報」平成11年度～「新・参考業務月報」）
	5月	学校、幼稚園への出張サービスを本格的に開始
	9月	市川市ホームページ開設 同時に図書館ホームページ開設（15日）
11年	4月	太刀川寛図書館長に就任
11年	4月	市民図書室の所管を生涯学習課から図書館に移管
	6月	夜間開館の試行（中央図書館：土曜日19時30分まで拡大 行徳図書館：開館を朝10時にし、火曜日から金曜日19時30分まで拡大）
12年	1月	『市川市立図書館利用者アンケート集計結果報告書』まとめる
	8月	第1みどり号廃車
	10月	コンピュータシステムを更新し、インターネットで蔵書公開を開始する 4市民図書室（福栄、塩焼、大柏、稲越）、2公民館図書室（大野、西部）に 図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
13年	3月	市川市立図書館開館50周年「市川手児奈文学賞」創刊記念シンポジウムを開催 （22日）
	4月	鈴木小夜子図書館長に就任
	10月	楽山市との友好都市締結20周年記念として「楽山市図書コーナー」設立
14年	3月	『市川の文芸風土と図書館の未来 シンポジウム記録集』刊行
	4月	漆原利一図書館長に就任 中央図書館特別コレクションに星野道夫コーナーを開設
	5月	携帯電話からの図書館資料検索サービスを開始 インターネットからのレファレンス受付開始
	9月	うずしお読書会が1000回を迎え、11月には社団法人読書推進運動協議会より2002年度第35回全国優良読書グループとして表彰される
15年	11月	インターネットからの予約受付開始（図書、雑誌）
	3月	第2みどり号廃車 自動車図書館車をCNG（圧縮天然ガス）車に更新
	4月	行徳図書館に責任者を配置 支援サービス担当を新設 職員数58名
	6月	曾谷公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
	7月	情報プラザに図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始 C T I サーバを導入 中央図書館督促業務の自動化開始
	8月	中央図書館予約連絡業務の自動化開始 中央図書館の電話応答案内システム稼働開始
16年	4月	図書館連絡車による市内物流使用務を全面委託
	6月	東部公民館図書室に図書館システムのパソコンを設置し、予約図書の貸出を開始
17年	4月	「子どもの読書活動優秀実践図書館」として、こどもとしょかんが文部科学大臣表彰を受賞
	7月	コンピュータシステムを更新し、所蔵する視聴覚資料のインターネット予約受付開始 曾谷公民館、東部公民館、情報プラザ以外の各図書館等の端末機器を入替え
	10月	千葉商科大学と協定締結、予約図書の貸出を同大学付属図書館で開始 教育センター「まなびの広場」を改修し、「文学プラザ」として開館

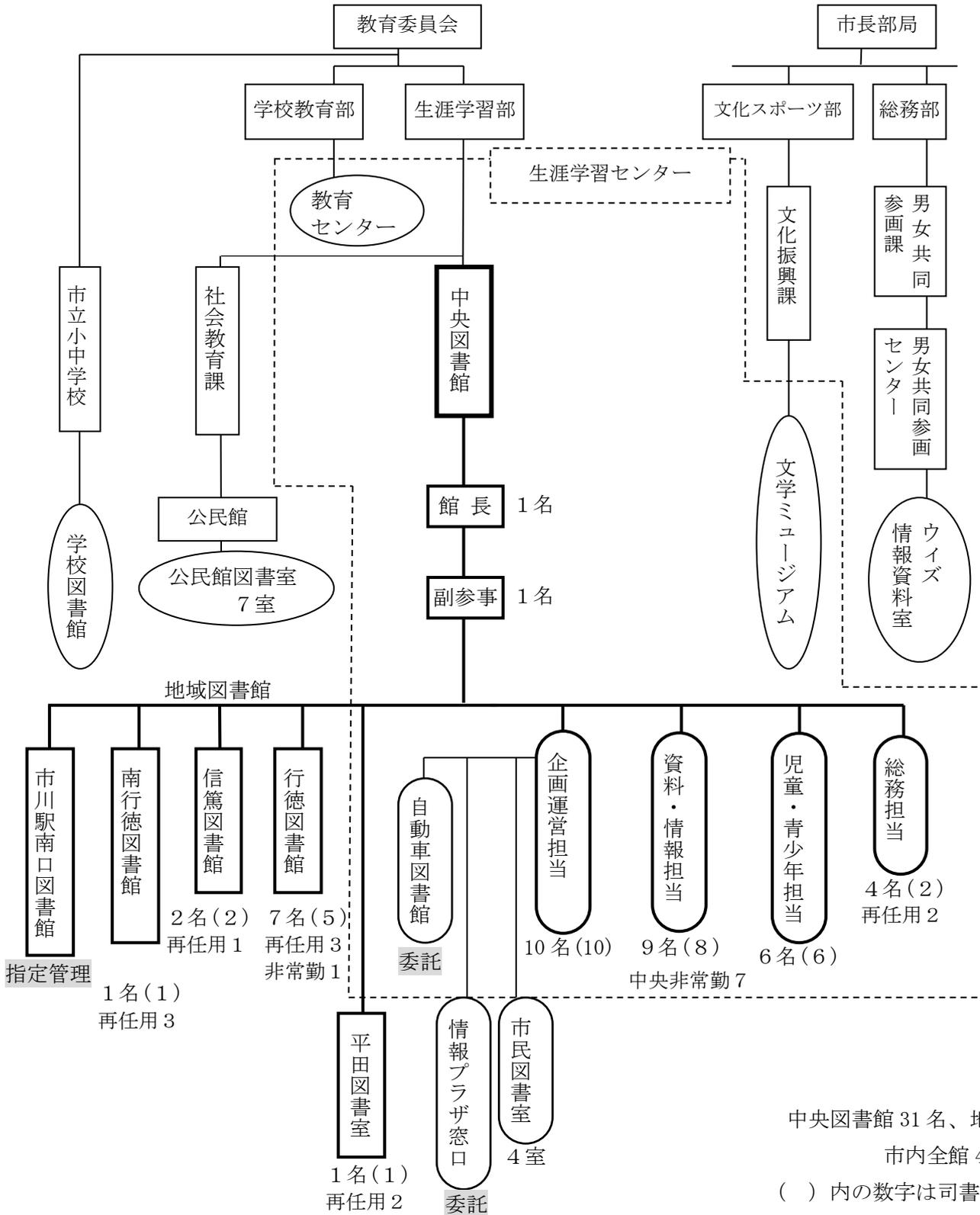
平成18年	4月	中央図書館の祝日開館試行開始 自動車図書館の貸出、返却業務を委託
	6月	中央図書館に韓国ソウル市特別区「江南区電子図書館閲覧コーナー」を設置
	7月	韓国原州市からの寄贈図書受入開始 「原州市図書コーナー」を設置
19年	10月	予約資料の宅配サービス開始
	3月	累積版冊子『本のぼけっと 1号～20号』刊行（20年3月カラー版刊行）
	4月	行徳図書館の祝日開館試行 生涯学習センターの全館管理業務を図書館に移管
	9月	インターネットからの貸出延長サービスを開始
20年	11月	住基カードに図書館利用券機能を追加 中央図書館でDVDの貸出開始
	4月	露木芳輝図書館長に就任
	6月	「青空文庫」作成電子テキストの書誌データをWebサーバで一括検索開始
21年	7月	和洋女子大学メディアセンターと相互協力に関する確認書を取り交わし、8月より和洋女子大学と市立図書館資料の相互貸借開始（当面は館内閲覧）
	4月	中央・行徳図書館の祝日開館等の本実施（中央：土日祝日の閉館を18時に変更） 市川駅南口図書館開館（30日）、ICタグによる蔵書管理システムを導入 指定管理者株式会社ヴィアックス
	6月	行徳図書館3階にパソコンルーム開設（23年11月～無線LAN接続環境を整備）
22年	2月	国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの参加において、礼状受理
	7月	「24時間テレビ愛は地球を救う」から障害者サービス用機器の寄贈を受ける
23年	2月	中央図書館利用者アンケート実施（以後、毎年満足度調査として実施）
	3月	東日本大震災により書架一部破損（11日） 計画停電に伴う臨時休館（14～18日） 計画停電に伴う閉館時間変更 全館17時閉館（19日～4月17日）
24年	4月	松本雅貴図書館長に就任、職員数55名 「市川市立図書館中期計画」（平成23～25年度）発行
	10月	地域図書館利用者アンケート実施 eモニターで貸出冊数のアンケート実施
	11月	コンピュータシステムをWebアプリケーションである富士通iLisfieraに更新 システムサーバ14台で構成 クライアントパソコン105台を更新 中央図書館に外部データベース検索結果印刷のコインベンダープリンタを導入
	3月	図書館メールマガジンの配信を開始
25年	4月	中央図書館長に行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館の館長兼務辞令交付 条例改正により個人の図書貸出冊数を無制限から20冊へ
	10月	ブックディテクションシステムの更新
	2月	『市川市の図書館 昭和編』を編集、発行 中央図書館特別コレクションに渡邊二郎コーナーを開設
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を社会教育課に移管、職員数48名
26年	7月	宅配サービスがシルバー人材センターを利用して再開（23年4月より休止）
	10月	中央図書館書庫に可動式集密書架設置
	2月	市川駅南口図書館のパソコンを更新
	4月	生涯学習センターの全館管理業務を図書館へ再び移管、職員数45名
	6月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始
27年	8月	市の刊行物販売を開始 DVDの貸出を2点とする試行を開始
	11月	開館20周年記念事業として、「市川市の図書館ポスター・標語」を募集、記念講演会を開催 図書館オリジナルデザイン商品（エコバッグ・クリアファイル）の販売開始
	1月	図書館マナーキャンペーン実施
	3月	「市川市立図書館運営基本計画」発行
27年	4月	大里宗行図書館長に就任、職員数46名
	11月	中央図書館に教科書コーナー設置
	12月	図書館マナーキャンペーン実施

平成28年	1月	ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送開始
	3月	スマートフォン対応Web-OPACサービス開始
	4月	乳幼児向け利用券発行開始
	7月	行徳図書館資料をI C化し、自動貸出機を設置
	12月	大野公民館図書室資料をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化
		ケーブルテレビにて「おすすめライブラリー」放送終了
29年	2月	図書館マナーキャンペーン実施
	11月	次期電算システム更新・I C化を見据えて館内に検討会を3グループ（ワーキンググループ1・2・3）を設置
30年	2月	図書館マナーキャンペーン実施
	4月	富島淳一図書館長に就任 職員数42名

4. 図書館組織図・委員会等

(1) 図書館組織図

(平成 30 年 4 月現在)



中央図書館 31 名、地域館 11 名

市内全館 42 名 (35)

() 内の数字は司書有資格者数
再任用 11 名 (週 3 日 10 名・週 5 日 1 名)

非常勤 7 名 (週 35 時間)

スタッフ 79 名

※ ○内の施設は、図書館と連携して事業を行っている関連施設

□内は生涯学習センター内の施設

図書館正規職員数

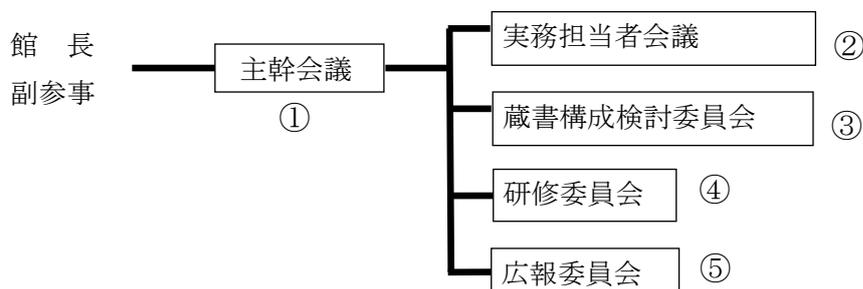
館名	担当	人数	うち司書	司書率
図書館長		1	0	0 %
副参事		1	0	0 %
中央	企画運営担当	10	10	100 %
	資料・情報担当	9	8	88.9%
	児童・青少年担当	6	6	100 %
	総務担当	4	2	50.0%
	合計	31	26	83.9%
平田		1	1	100 %
行徳		7	5	71.4%
信篤		2	2	100 %
南行徳		1	1	100 %
全館		42	35	83.3%

【参考】市川駅南口※	18	13	72.2%
------------	----	----	-------

※市川駅南口図書館は指定管理者制度を導入

(2) 委員会・会議等

(平成 30 年 4 月現在)



○各会議・委員会の役割

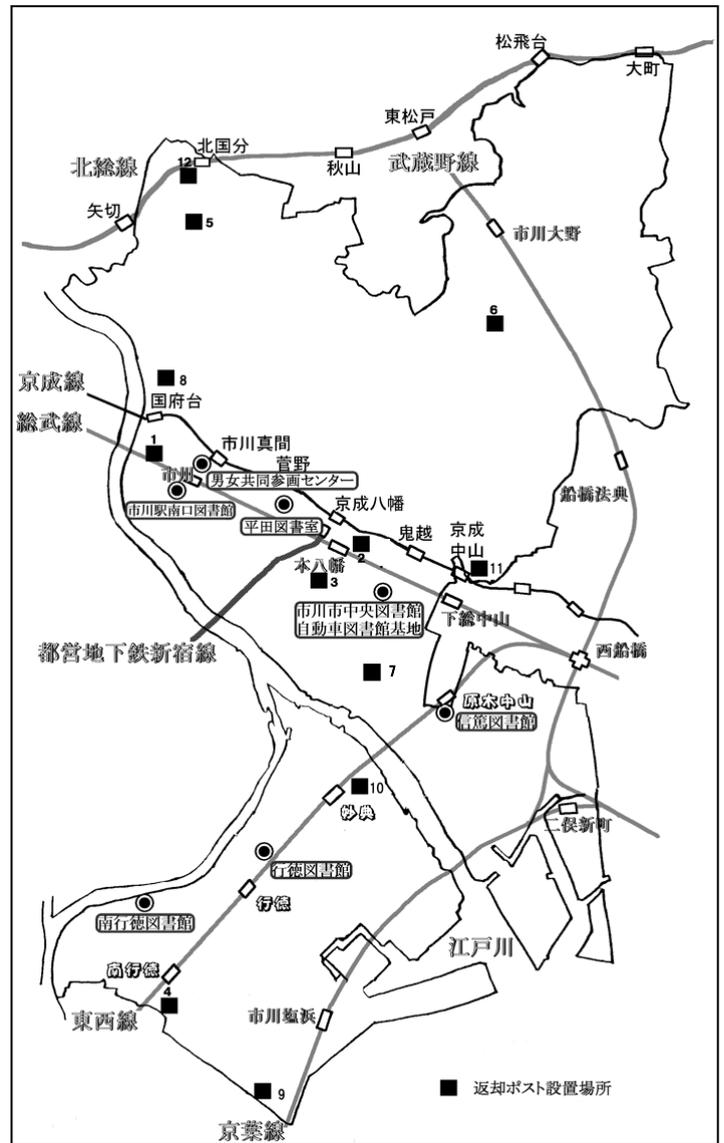
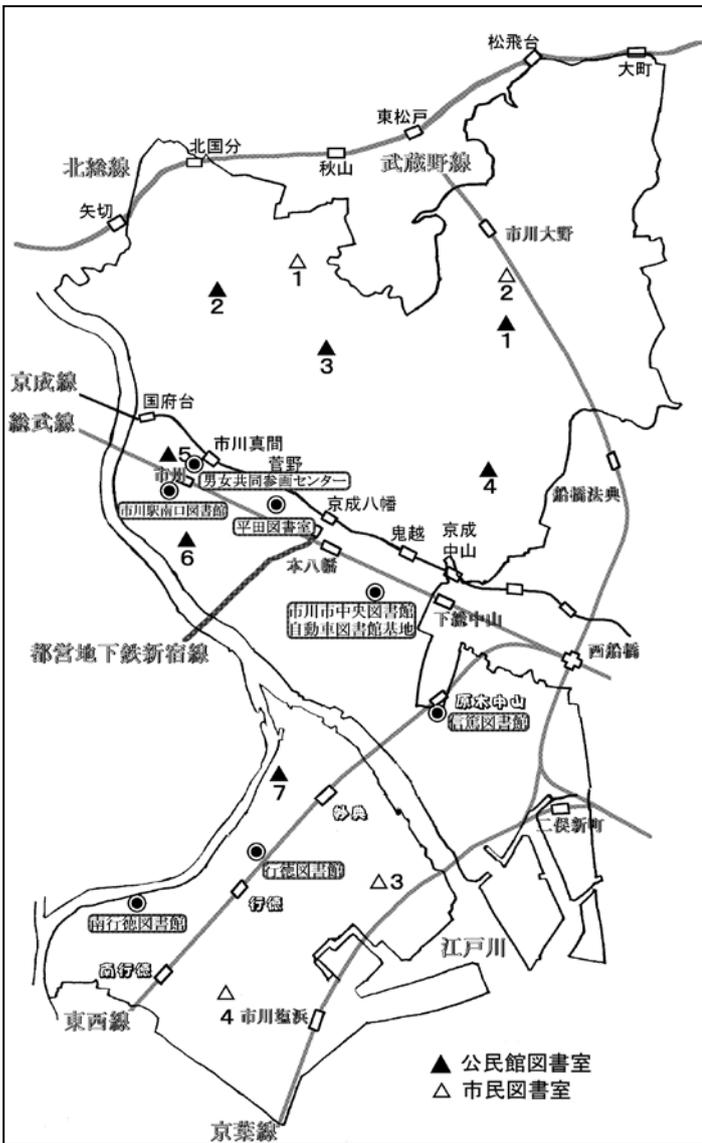
	会議名	討議内容
①	主幹会議	中央図書館、及び全館に関わる運営全般について協議・決定を行う。館長・副参事・主幹で構成される。
②	実務担当者会議	実務的な事項について、担当者が必要に応じて、連絡・調整・実施案の作成を行う。
③	蔵書構成検討委員会	収集方針の検討、年度ごとの収集計画の立案、及び選書・蔵書構成や館内整理日の実施事項等について連絡・調整を行う。
④	研修委員会	全館の職員・非常勤職員・実習生等に対する研修のプログラムなどの企画・実施及びスタッフマニュアルの管理を行う。
⑤	広報委員会	「図書館だより」の編集や、「広報いちかわ」への情報提供等、図書館に共通の広報に関する企画・実務を行う。
その他、課題解決及び政策提案等のための対応会議を、プロジェクトを組み随時行っている。		

5. 図書館及び関連施設の配置図

平成30年4月現在

図書館と関連施設の配置図

返却ポストの配置図



No.	公民館図書室 (▲)	所在地
1	大野公民館図書室	南大野2丁目
2	西部公民館図書室	中国分2丁目
3	曾谷公民館図書室	曾谷6丁目
4	東部公民館図書室	本北方3丁目
5	市川公民館図書室	市川2丁目
6	市川駅南公民館図書室	大洲4丁目
7	本行徳公民館図書室	本行徳12

No.	市民図書館 (△)	所在地
1	稲越市民図書館	稲越町518
2	大柏市民図書館	大野町2丁目
3	塩焼市民図書館	塩焼5丁目
4	福栄市民図書館	南行徳2丁目

No.	返却ポスト (■)	所在地	設置年
1	市川公民館	市川2丁目	H14.5
2	旧八幡市民談話室	八幡2丁目	H14.5
3	情報プラザ2階	南八幡4丁目	H14.5
4	南行徳市民センター	南行徳1丁目	H14.8
5	歴史博物館	堀之内2丁目	H15.9
6	大柏出張所(大野公民館)	南大野2丁目	H16.8
7	市川市役所仮本庁舎	南八幡2丁目	H29.5
8	千葉商科大学附属図書館	国府台1丁目	H17.10
9	塩浜市民体育館	塩浜4丁目	H18.7
10	イオン市川妙典店	妙典5丁目	H19.7 H20.4 H25.6
11	中山窓口連絡所	中山4丁目	H19.7
12	ベルクス市川堀之内店	堀之内3丁目	H21.4

6. 施設概要

平成30年4月現在

館名	中央	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口
敷地面積	11,012㎡	-----	4,958㎡	-----	410㎡	-----
構造	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上4階 ／地下1階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上2階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上5階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上3階	鉄骨鉄筋 コンクリート造 地上45階 (3階部分)
建築面積	6,164㎡	-----	674㎡	304㎡	120㎡	-----
延べ床面積	6,411㎡	256㎡	2,223㎡	912㎡	360㎡	573㎡
収容可能冊数	1,000,000冊	40,000冊	155,000冊	55,000冊	36,000冊	43,500冊
うち開架	200,000冊	39,000冊	100,000冊	45,000冊	23,000冊	43,500冊
うち書庫	800,000冊	1,000冊	55,000冊	10,000冊	13,000冊	-----
開館年月日	平成6.11.1	昭和62.10.11	昭和56.10.1	昭和54.2.1	昭和58.10.1	平成21.4.30
独立・併設	併設	併設	併設	独立	独立	併設
閲覧席	358席	20席	183席	33席	16席	61席
うち一般	200席	10席	80席	23席	10席	20席
うち児童	60席	10席	62席	10席	6席	11席
その他	98席	-----	41席	-----	-----	30席
駐車場	共有 99台	-----	共有 69台	共有 20台	-----	-----
利用者端末	(※1) 32台	1台	6台	1台	1台	(※2) 7台

※1：うちWeb-OPAC 3台、ITブース9台、江南区電子図書閲覧パソコン1台、新聞社サイト閲覧パソコン1台、障害者専用1台含む

※2：うち外部データベース閲覧3台含む

(1) 中央図書館 こどもとしゃかん

市川市鬼高1-1-4 TEL 047(320)3333 (機械音声応答)

047(320)3346 (直通)

FAX 047(320)3351

・交通 JR本八幡駅、JR下総中山駅より徒歩15分

京成線鬼越駅より徒歩13分
(JR本八幡駅北口よりコルトン
プラザ行無料バスあり)

・地下駐車場 (99台)

・開館時間

火曜～金曜 10:00～19:30

土・日・祝日 10:00～18:00

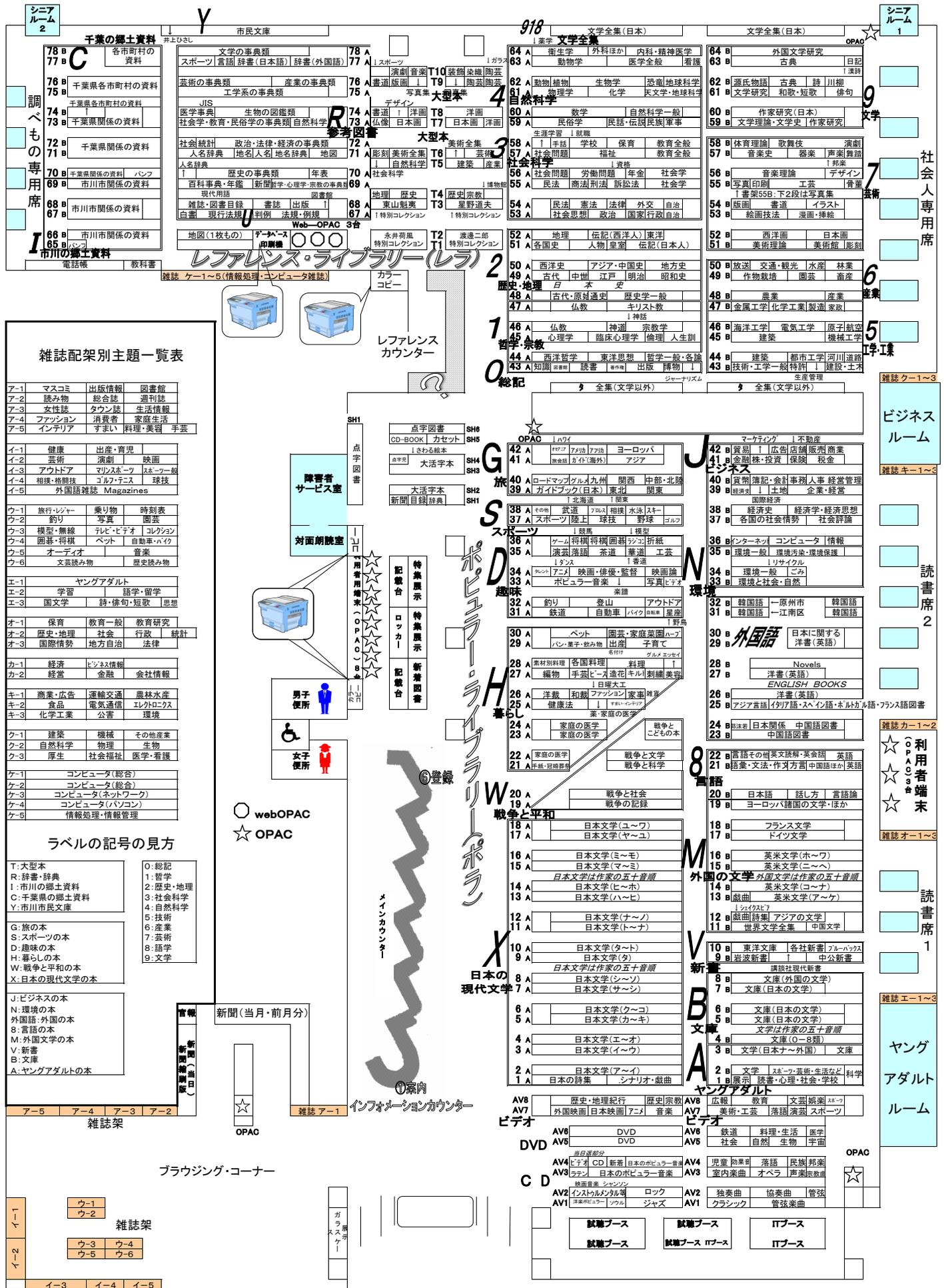
こどもとしゃかん

火曜～金曜 10:00～18:00

土・日・祝日 10:00～17:00



①中央図書館フロア案内図



雑誌配架別主題一覧表

A-1	マスコミ	出版情報	図書館
A-2	読み物	総合誌	週刊誌
A-3	女性誌	タウン誌	生活情報
A-4	ファッション	消費者	家庭生活
A-5	インテリア	すまい	料理・美容・手芸
I-1	健康	出産・育児	
I-2	芸術	演劇	映画
I-3	アウトドア	マリスボーツ	スポーツ・観
I-4	相撲・格闘技	ゴルフ・テニス	球技
I-5	外国語雑誌	Magazines	
U-1	旅行・レジャー	乗り物	時刻表
U-2	釣り	写真	園芸
U-3	模型・無線	テレビ・ビデオ	レクリエーション
U-4	囲碁・将棋	ペット	自動車・バイク
U-5	オーディオ	音楽	
U-6	文芸誌	歴史	読書
E-1	ヤングアダルト		
E-2	学習	語学・留学	
E-3	国文学	詩・俳句・短歌	思想
O-1	保育	教育一般	教育研究
O-2	歴史・地理	社会	行政・統計
O-3	国際情勢	地方自治	法律
カ-1	経済	ビジネス情報	
カ-2	経営	金融	会社情報
キ-1	商業・広告	運輸交通	農林水産
キ-2	食品	電気通信	エレクトロニクス
キ-3	化学工業	公害	環境
ク-1	建築	機械	その他産業
ク-2	自然科学	物理	生物
ク-3	厚生	社会福祉	医学・看護
ケ-1	コンピュータ(総合)		
ケ-2	コンピュータ(総合)		
ケ-3	コンピュータ(ネットワーク)		
ケ-4	コンピュータ(パソコン)		
ケ-5	情報処理・情報管理		

ラベルの記号の見方

T: 大型本	O: 総記
R: 辞書・辞典	1: 哲学
I: 市川の郷土資料	2: 歴史・地理
C: 千葉県資料	3: 社会科学
Y: 市川市民文庫	4: 自然科学
	5: 技術
	6: 産業
	7: 芸術
	8: 語学
	9: 文学
J: ビジネスの本	
N: 環境の本	
S: 外国語の本	
M: 外国文学の本	
V: 新書	
B: 文庫	
A: ヤングアダルトの本	

webOPAC
OPAC

新聞(当月・前月分)

雑誌架

雑誌架

雑誌架

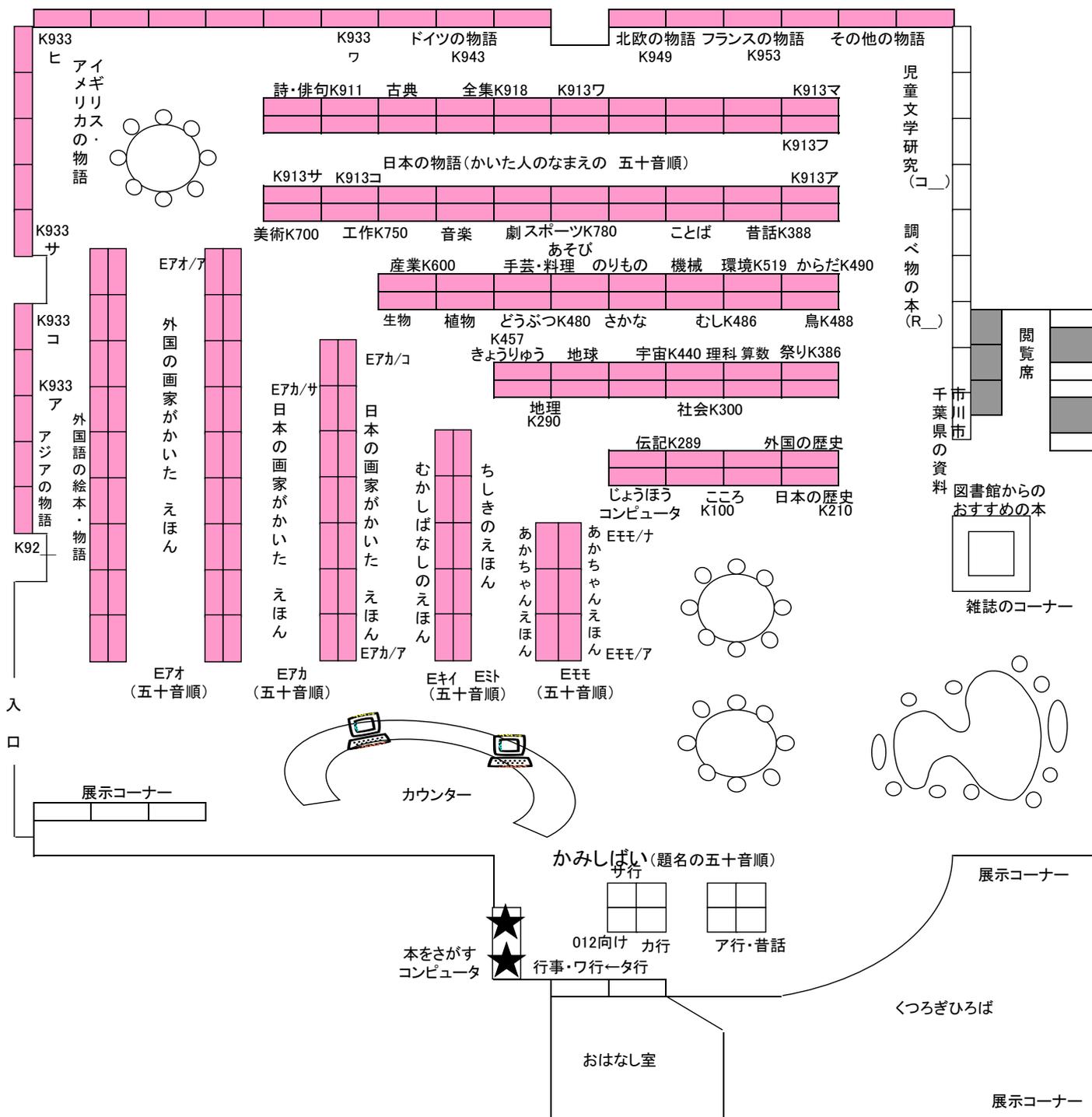
雑誌架

雑誌架

雑誌架

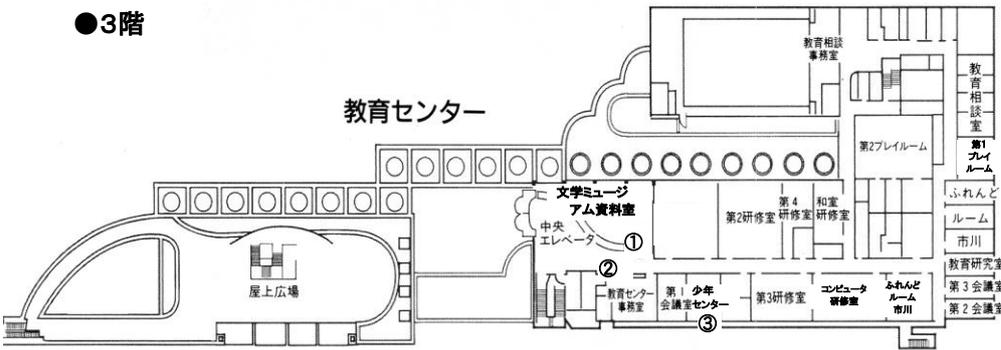
雑誌架

②こどもとしょかんフロア案内図



③生涯学習センター(メディアパーク市川)フロア案内図

●3階



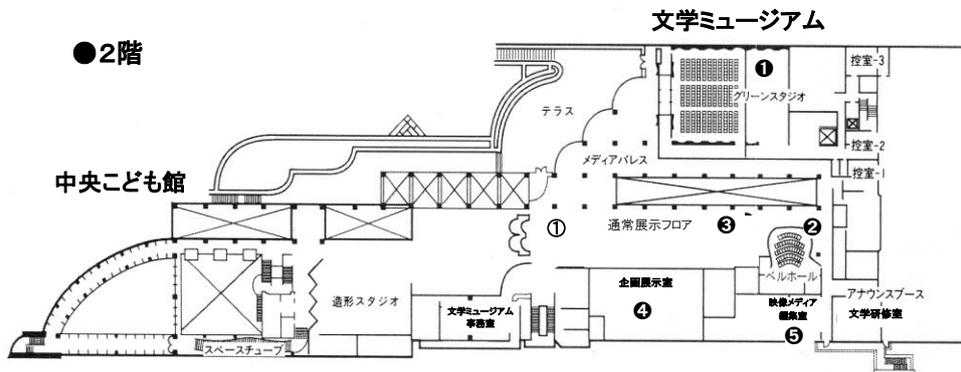
3階

- ①文学ミュージアム資料室：2階文学ミュージアムの資料室。
- ②教育センター：市内小・中・義務教育学校、特別支援学校の教職員の研修と、子どもや保護者からの教育相談を行う施設。
- ③少年センター：青少年の健全育成のための補導活動や少年相談業務を行う施設。

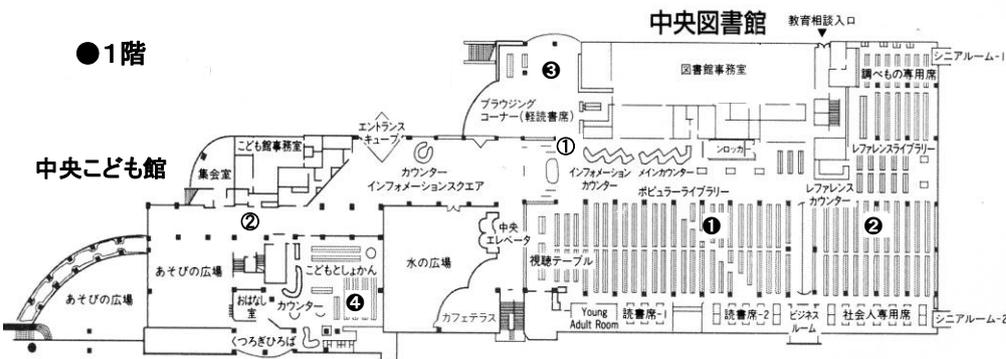
2階

- ①文学ミュージアム：①～⑤
- ①グリーンスタジオ：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。最大で260人を収容し、車イスへの対応も可能。
- ②ベルホール：講演会・演劇公演・コンサート・映画上映・朗読会が行える。定員46名。
- ③通常展示フロア：映画・演劇・小説・詩歌・文芸に区分し、文学の街いちかわの魅力を表示品・写真・映像を交え、紹介。
- ④企画展示室：市川ゆかりの文学や映像文化に関する企画展や展覧会などを行う。
- ⑤映像メディア編集室：映像編集機器があり、映像や画像の編集が行える。

●2階



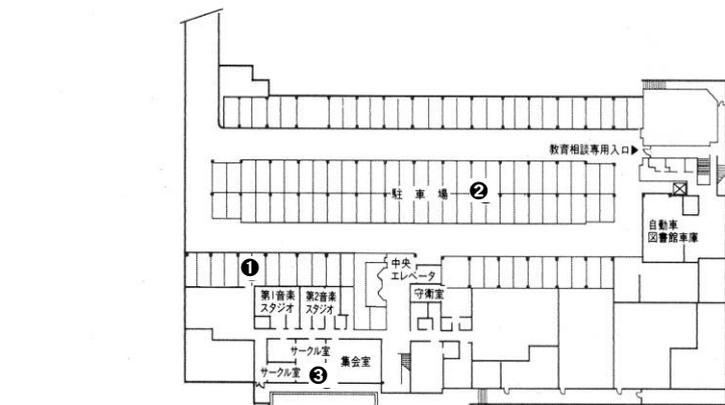
●1階



1階

- ①中央図書館：①～④
- ①ポピュラーライブラリー：小説・趣味・ビジネス書など、生活に役立つ資料を備えている。中高生のためのコーナーや、CD・ビデオ・DVDのコーナーも設けている。
- ②レファレンスライブラリー：調べものに役立つ、専門書・辞典・郷土資料などを集めたコーナー。調べものの相談にも対応。
- ③ブラウジングコーナー(軽読書席)：各種新聞や雑誌をくつろいだ雰囲気の中で読める、軽読書コーナー。
- ④こどもとしょかん：紙芝居・絵本を含め、児童書3万点を揃え、定期的に「らっこの会・えほんの会・おはなし会・わらべうたであそぼう」を開催。
- ②中央こども館：18歳未満の子どもたちのための遊び場。

●地下1階



地下1階

- ①音楽スタジオ：少人数の音楽練習に。(担当課：2階①文学ミュージアム)
- ②地下駐車場：99台収容。(担当課：1階①中央図書館)
- ③集会室・サークル室：読書会・図書館ボランティア活動等に使用。(担当課：1階①中央図書館)

(2) 自動車図書館「みどり号」

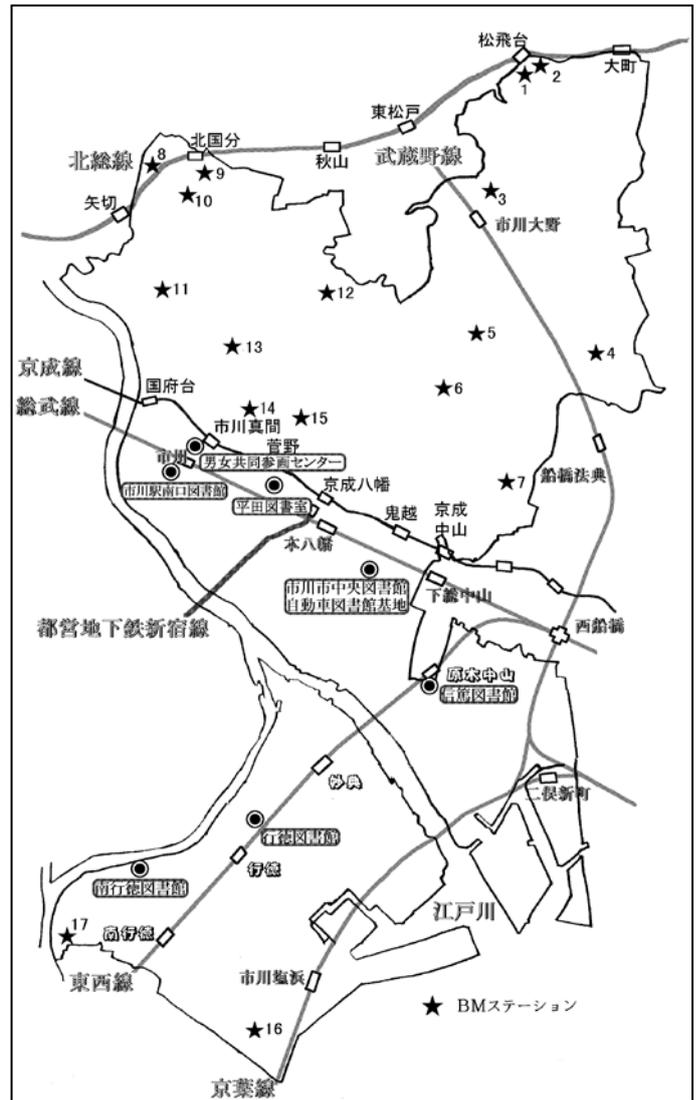
固定館だけでは補いきれない地域の方々のための図書館サービス。身体に障がいのある方、ご高齢の方、または乳幼児のいる家庭、地理的障害のために固定館を利用できない方等のために、北部地域を中心に運行している。中央図書館地階を基地とし、駐車場と自動車図書館用書庫を有する。

ステーション数は全17箇所、1ステーション当たり30分から50分滞在し、主に図書の貸出、返却を行う。雨などの悪天候のときには巡回を中止する。

平成18年4月より、運転業務に加え、図書の貸出・返却業務も委託している。(3年間の長期継続契約)

車両仕様

名称	みどり号
登録番号	習志野 800 さ 7405
車名	日野
型式	KK-XZU412M
定員	5人
長さ	608cm
幅	206cm
高さ	271cm
燃料	CNG(圧縮天然ガス)
総排気量	4.10kw
登録年月日	平成15年3月27日
製作	京成自動車工業
積載冊数	3,000冊



みどり号巡回表 (平成30年度)

	曜日	午前	午後
第1・3週	水		★4 柏井小学校 柏井1-1149-1 2:00~2:40
	木	★16 塩浜体育館 塩浜4-9-1 10:20~10:50	★7 若宮児童公園 若宮3-20 3:10~3:50
	金	★15 (株)クボタ菅野ハイツ 菅野5-3-6 10:20~11:00	★12 山王公園 曾谷5-16 3:00~3:50
第2・4週	火		★9 堀之内公園 堀之内3-2 2:00~2:40
	水	★16 塩浜体育館 塩浜4-9-1 1:30~2:20	★7 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40
	木	★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★2 市営大町第2団地 大町124 2:00~2:40
	金	★13 石橋下公園 国分2-9 10:20~11:00	★6 宮久保小学校 宮久保5-7-1 3:10~3:50
		★11 国府台児童公園 国府台5-8 10:20~11:00	★10 歴史博物館 堀之内2-27-1 2:00~2:40
		★17 島尻西公園 島尻1 3:00~3:40	★8 北国分2丁目公園 北国分2-27 3:00~3:40
		★16 塩浜体育館 塩浜4-9-1 1:30~2:20	★5 大野小学校 南大野1-42-1 3:00~3:50
		★9 堀之内公園 堀之内3-2 10:20~10:50	★1 市営大町第1団地 大町95 2:00~2:40

(3) 平田図書室

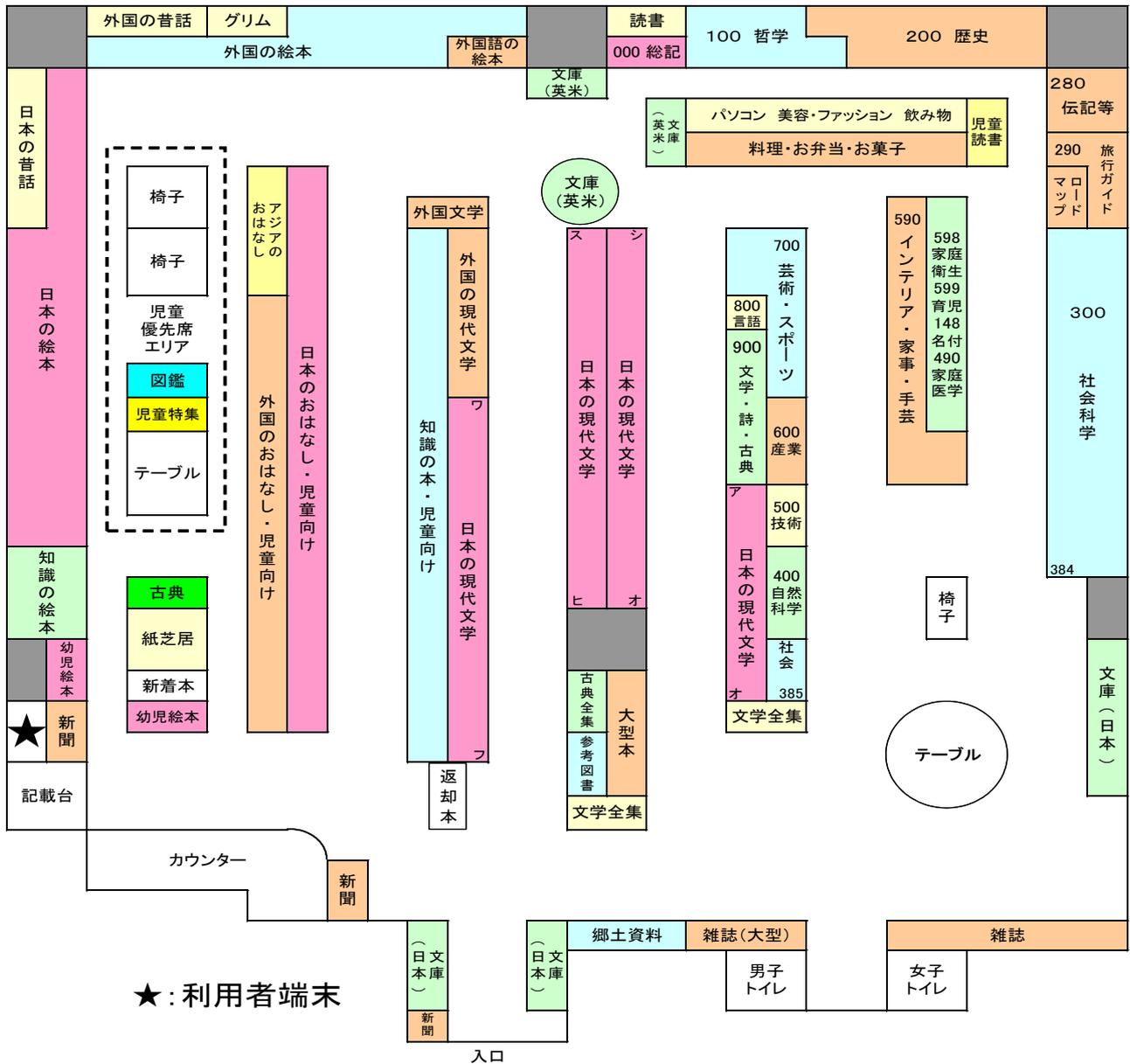
市川市平田 1-20-16

TEL 047 (321) 2243

FAX 047 (321) 2243



- ・ 交通 京成菅野駅より徒歩8分
JR本八幡駅より徒歩10分
- ・ 開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



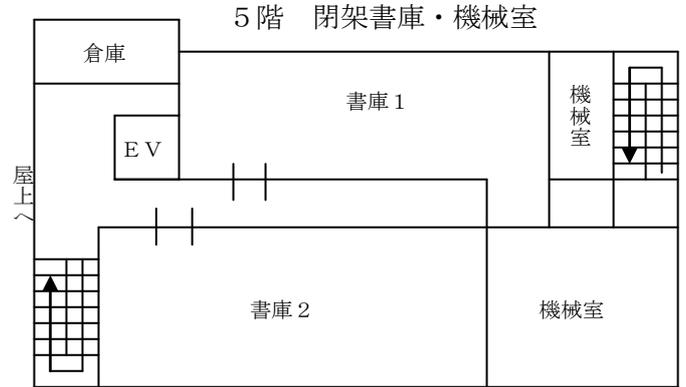
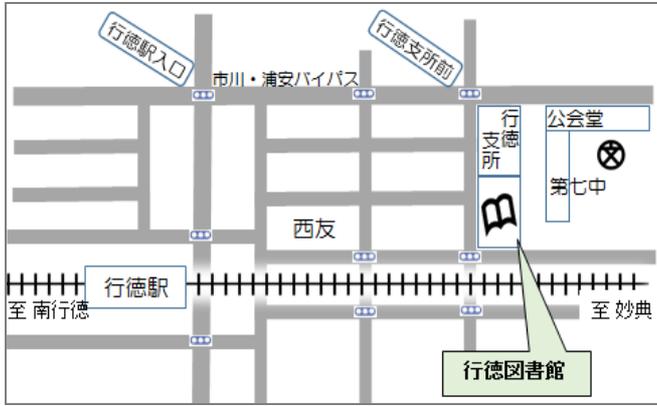
(4) 行徳図書館

市川市末広1-1-31

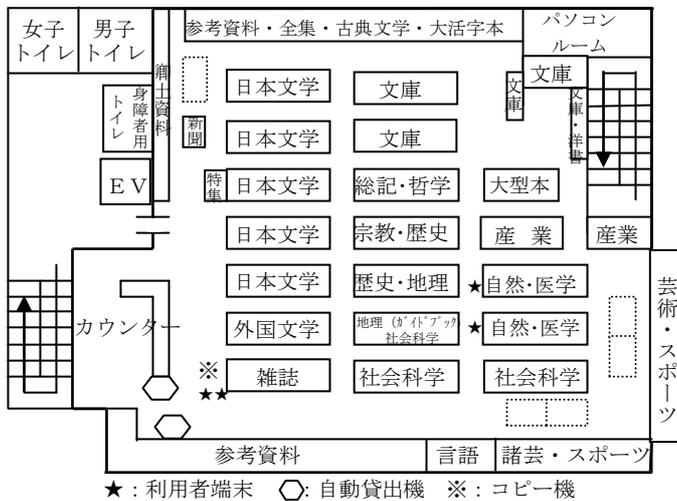
TEL 047 (358) 9011

FAX 047 (358) 9012

- ・交通 東西線行徳駅より徒歩5分
- ・開館時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～17:00



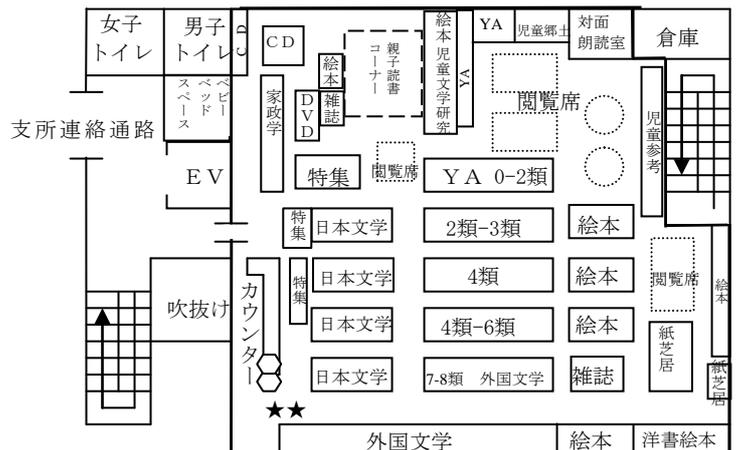
3階 大人の本のフロア



1階 エントランスホール・公民館



2階 子どもの本のフロア



★: 利用者端末 ○: 自動貸出機

(5) 信篤図書館

市川市高谷 1-8-1

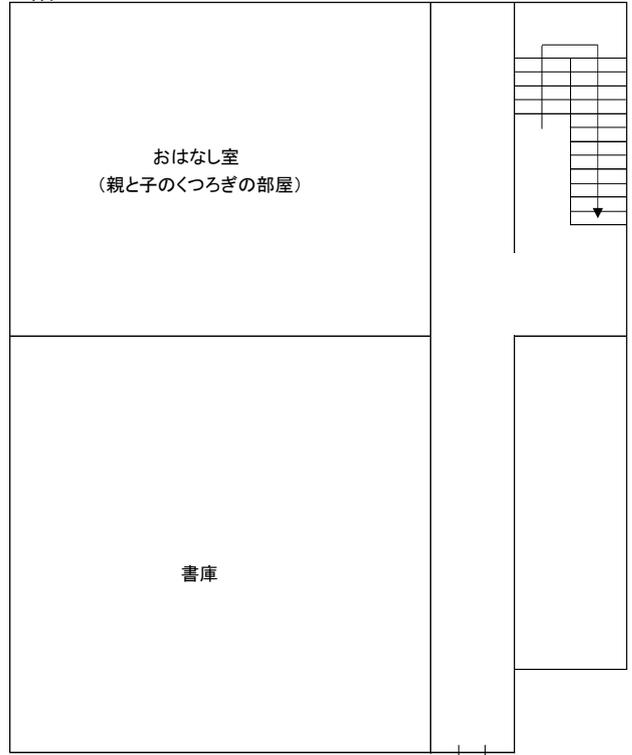
TEL 047 (328) 8831

FAX 047 (328) 8831

- ・交通 東西線原木中山駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00

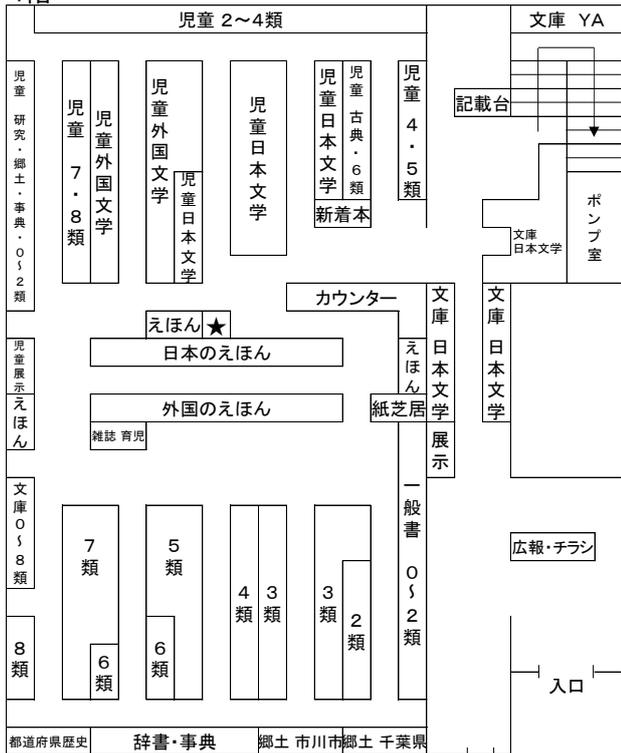


3階



非常階段

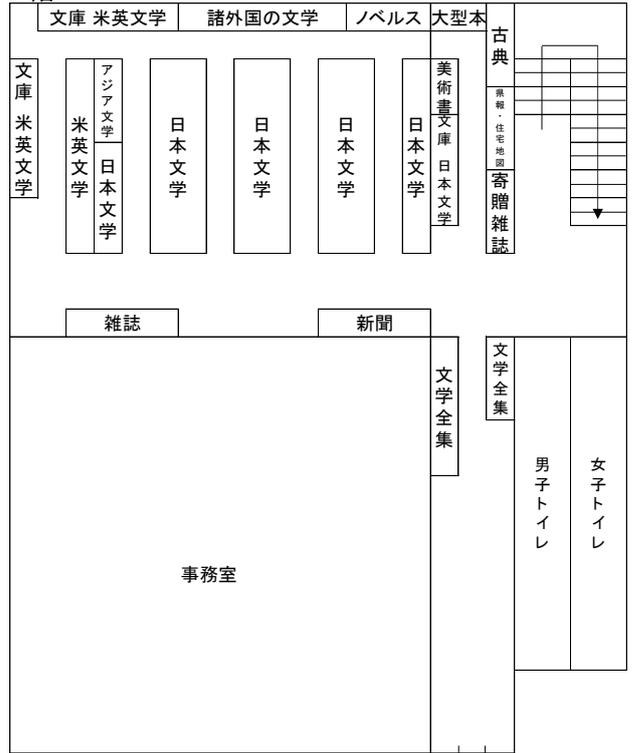
1階



★:利用者端末

返却ポスト

2階



非常階段

(6) 南行徳図書館

市川市相之川 1-2-4

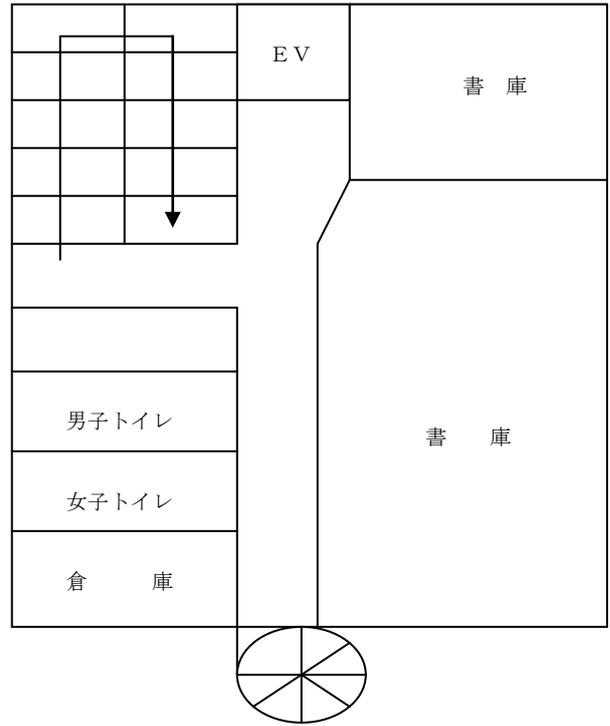
TEL 047 (357) 4188

FAX 047 (357) 4188

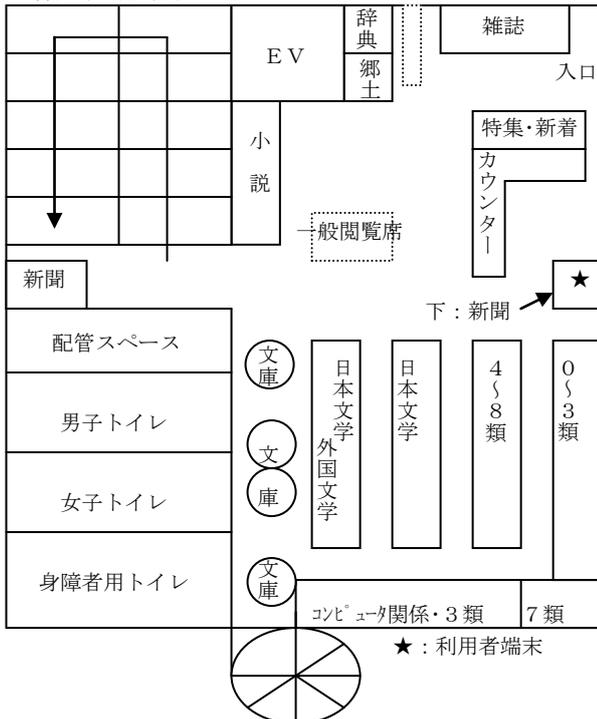
- ・交通 東西線南行徳駅より徒歩15分
JR本八幡駅より浦安駅行きバス
「欠真間」下車徒歩2分
- ・開館時間 火曜～日曜 9:30～17:00



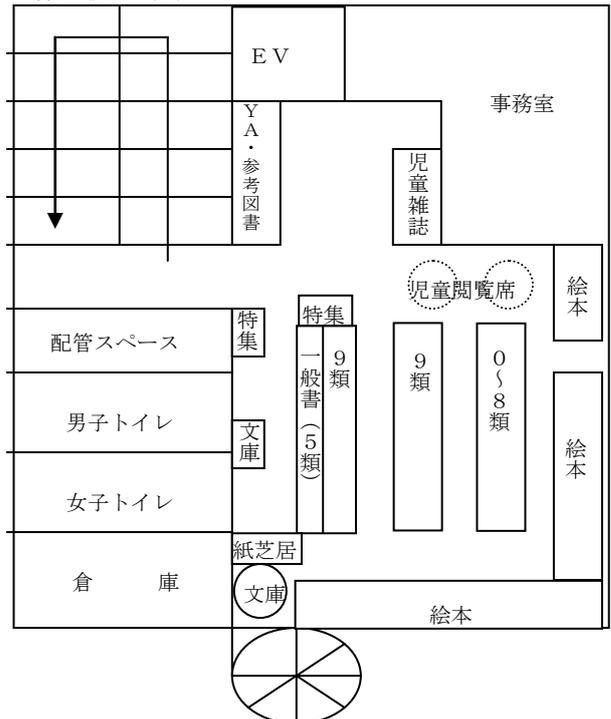
3階（書庫）



1階（一般書）



2階（児童書）



(7) 市川駅南口図書館

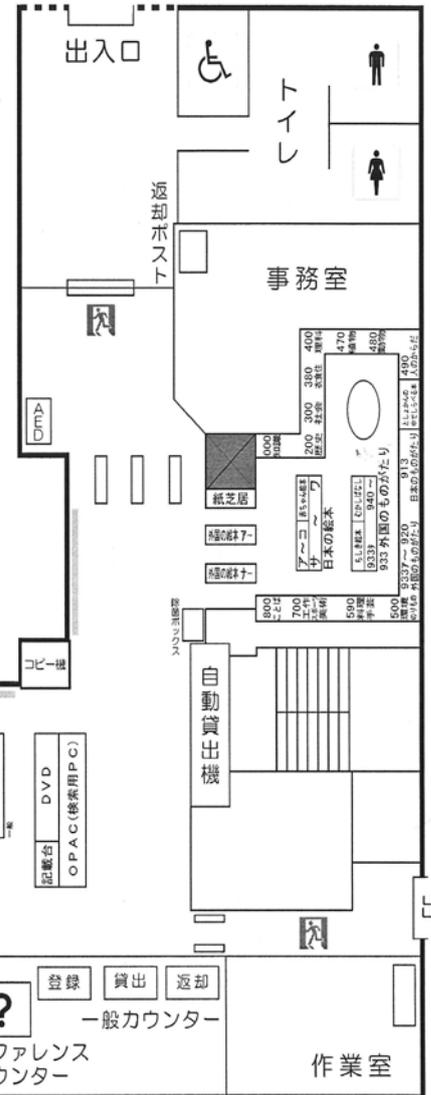
市川市市川南1-10-1

I-linkタウンいちかわ ザ タワーズ ウエスト3階

TEL 047 (325) 6241

FAX 047 (325) 6243

- ・交通 JR市川駅より徒歩2分
- ・開館時間 火曜～金曜 9:30～21:00
土・日・祝日 9:30～18:00



24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
外国の小説		日本の小説		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学											
児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学	
児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学		児童文学	

閲覧席

① 指定管理者制度導入の経過

平成19年	4月	南口図書館運営計画策定作業開始
	10月	行政経営会議（3日）において、A棟3階（図書館・保育園）のレイアウト及び図書館運営形態（直営＋一部委託）の報告を行う
20年	9月	行政経営会議（17日）、指定管理者制度導入に関する会議（25日）において、市川駅南口図書館への指定管理者制度導入が正式に決定
	11月	12月議会開催（28日）、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例の一部改正についての議案〔市川駅南口図書館での設置及び指定管理者に管理を行わせること、行徳図書館の祝日開館他（第31号）〕、市川市立図書館設置条例の全部改正についての議案〔中央図書館と生涯学習センターの祝日開館（第32号）〕提出
	12月	環境文教委員会（2日）、議案第31号否決、第32号可決 委員長報告・本会議議決（5日）、議案第31号及び第32号可決
21年	1月	指定管理者公募受付（16～23日）に4社応募。選定審査会による1次審査（26・27日）
	2月	選定審査会による2次審査（2日） 定例教育委員会（5日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取 2月議会開会（16日）指定管理者の指定の議案（第84号）提出
	3月	議案第84号継続審議可決（3日） 委員長報告・動議（11日）環境文教委員会審査期限付動議可決 環境文教委員会（12・16・18・19日）選定評価表の見直し、適正なモニタリングの実施、3年後の制度継続を含めた見直し等、条件付きで議案第84号可決（19日） 委員長報告・本会議議決（23日）議案第84号可決 指定管理者の告示及び通知（27日）株式会社ヴィアックス 基本協定書締結（31日）
	4月	指定管理期間の開始（3年間:21/4/1～24/3/31） 開館準備及び指定管理者研修（1～29日） オープニングセレモニー（30日）

② モニタリング

平成22年	11月	21年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（8日） 評価項目は、大項目全18項目、評価視点（評価事項）全46項目138点を設定
23年	8月	22年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（22日） 評価項目を整理し、図書館サービスに直接関連する評価視点を3項目増
24年	8月	23年度全期選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（7日）
25年	2月	評価委員会による評価項目検討審査会（15日）評価項目は、大項目全16項目、評価視点（中項目）全38項目102点とし、図書館サービス部分を重視する傾斜配分に改める
	3月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による24年度上半期第1次評価（8日）
	6月	中央図書館モニタリング担当者による24年度全期第1次評価（14日）
	7月	評価委員会による24年度全期第2次評価（2日） 選定審査会（モニタリング結果審査・評価の決定）（31日）
	11月	中央図書館モニタリング担当者による25年度上半期第1次評価（21日）
26年	6月	中央図書館モニタリング担当者による25年度全期第1次評価（13日） 評価委員会による25年度全期第2次評価（30日）
	7月	「市川市指定管理者のモニタリングに関する実施要領」一部改正により第2次評価を選定審査会会長へ報告
	8月	平成25年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による26年度上半期第1次評価（5日）
27年	6月	中央図書館モニタリング担当者による26年度全期第1次評価（19日）
	7月	評価委員会による26年度全期第2次評価（16日）
	8月	平成26年度モニタリング評価の決定
	12月	新評価項目での中央図書館モニタリング担当者による27年度上半期第1次評価（18日）
28年	6月	中央図書館モニタリング担当者による27年度全期第1次評価（17日）
	7月	評価委員会による27年度全期第2次評価（14日）
	8月	平成27年度モニタリング評価の決定
	12月	中央図書館モニタリング担当者による28年度上半期第1次評価（22日）

- 29年 6月 中央図書館モニタリング担当者による28年度全期第1次評価（15日）
- 7月 評価委員会による28年度全期並びに指定期間全体（24年度～28年度）第2次評価（13日）
- 9月 平成28年度モニタリング評価の決定
- 12月 中央図書館モニタリング担当者による29年度上半期第1次評価（21日）
- 30年 6月 中央図書館モニタリング担当者による29年度全期第1次評価（15日）
- 7月 評価委員会による29年度全期第2次評価（12日）
- 10月 平成29年度モニタリング評価の決定

③ 更新

- 平成23年 5月 公の施設の指定管理者候補者選定審査会（18日）
- 8月 指定管理者公募受付（7/31～8/11）に3社応募
- 10月 選考委員会による1次審査（7日）選定審査会による2次審査（19日）
- 11月 定例教育委員会（10日）指定管理者の指定の議案に係る教育委員会の意見聴取
- 12月 議会開会（25日）指定管理者の指定の議案（第39号）提出
- 12月 委員長報告・本会議議決（2日）、議案第39号可決
指定管理者の告示及び通知（9日）株式会社ヴィアックス
- 24年 3月 基本協定書締結（31日）
- 4月 2回目の指定管理期間の開始（5年間:24/4/1～29/3/31）
- 26年 3月 変更基本協定書締結（31日）
- 28年 4月 変更基本協定書締結（1日）
- 5月 公の施設の指定管理者候補者選定審査会（24日）
- 7月 指定管理者公募受付（7/7～7/14）に2社応募
- 8月 選考委員会による1次審査（9日）
- 10月 選定審査会による2次審査（12日）
- 12月 定例教育委員会報告（1日）（第21号）
- 12月 議会開会（2日）指定管理者の指定の議案（第61号）提出
委員長報告・本会議議決（9日）、議案第61号可決
指定管理者の告示及び通知（21日）株式会社ヴィアックス
- 29年 3月 基本協定書締結（31日）
- 4月 3回目の指定管理期間の開始（5年間:29/4/1～34/3/31）

No.	大項目	評価視点	1か年度		上半期	
			評価	評価点	評価	評価点
1	利用者アンケートの実施等に関する事	利用者アンケート調査を実施し、改善に努めているか。	B	2	-	-
2	利用者の要望及び苦情に関する事	利用者の苦情等のトラブル対応は適切に行われているか。	A	3	A	3
3		電話での対応を含む職員の接客態度は適切か。	B	2	B	2
4	5※ 職員の配置・補充体制に関する事	業務遂行に必要な要員配置及び司書有資格者は確保されているか。	B	2	B	2
5※		労働関連法令を順守した雇用を行っているか。	B	2	B	2
6★		組織の指揮命令系統・チェック機能が確保されているか。	B	2	B	2
7	個人情報の保護に関する事	利用者の個人情報は、市川市個人情報保護条例に従って適正に管理されているか。	A	3	A	3
8★	指定管理者の経理に関する事	会計区分は適正に管理され、決算は適正に行われているか。	B	2	B	2
9★	文書管理に関する事	文書の管理及び保管は適切に行われているか。	B	2	B	2
10★	提出書類に関する事	提出書類は適正なものを期日までに提出しているか。	B	2	B	2
11※	施設賠償責任保険の付保に関する事	施設賠償責任保険の加入は適切に行われているか。	B	2	B	2
12※	第三者への一括委託に関する事	一括委任、一括委託は行われていないか。	B	2	B	2
13※	施設の目的外使用に関する事	市川駅南口図書館の目的外使用は行われていないか。または、適正な目的外利用を行っているか。	B	2	B	2
14★	市の財産の管理に関する事	市の財産の形状、形質等の変更はないか。	B	2	B	2
15★	施設・備品の維持管理・修繕に関する事	仕様書の範囲内で適切に修繕が行われているか。	B	2	B	2
16		備品は適正に管理しているか。	B	2	B	2
17	施設の状況に関する事	委託業務の適正な履行の確認・管理が行われているか。(清掃・警備・各種保守点検)	B	2	B	2
18	19 事故・緊急事態の対応に関する事	事故防止、安全対策がされているか。	B	2	B	2
19		事故等の緊急時、災害発生時の対応は確保されているか。	A	3	A	3
20※		防火管理者は適正に配置されているか。	B	2	B	2
21	公共性の尊重に関する事	公の施設及び公共図書館であることを認識した管理運営が従事者まで徹底されているか。	B	2	B	2
22※	法令等の遵守に関する事	市川駅南口図書館の設置管理条例及び施行規則に定める事項を遵守しているか。	B	2	B	2
23	情報の公開に関する事	情報の公開に努めているか。	B	2	B	2
24★	指定管理者の経営状況に関する事	指定管理者の財務状況は安定しているか。	B	2	-	-
25	図書館サービス業務に関する事	現場従事者等に対する研修は適切に行われているか。(含. 配置前研修)	A	3	A	3
26		短時間滞在型の駅前情報拠点としての特色を生かしたサービスを展開しているか。(外部データベース・ICタグ)	A	3	B	2
27		ビジネス支援サービスを積極的に展開しているか。	B	2	B	2
28		健康・医療情報提供の充実を図るための工夫がなされているか。	A	3	A	3
29		地域との連携を図ることにより機能的な図書館サービスを展開しているか。	A	3	A	3
30		行事は適切に行われているか。	A	3	A	3
31		PR活動等の努力が行われているか。	A	3	A	3
32★		利用者登録業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
33		貸出返却業務は適切に行われているか。	A	3	A	3
34		予約業務は適切に行われているか。	A	3	A	3
35		レファレンス業務は適切に行われているか。(対応・内容について)	B	2	B	2
36		レファレンス業務は適切に行われているか。(記録・報告について)	B	2	B	2
37		資料管理業務は適切に行われているか。	B	2	B	2
38		書架管理業務は適切に行われているか。(含. 月末館内整理・蔵書点検)	B	2	B	2
合計点			87		82	
総合評価			良		良	

【注】評価方法について

①評価視点ごとの評価点

評価	評価点
A	3
B	2
C	1
D	0

★: B・C・Dの3段階で評価→6.8~10.14,15,24,32

※: B・Dの2段階で評価→5.11~13,20,22

その他の項目は、A・B・C・Dの4段階で評価

②総合評価の方法

全38項目(平成29年度全期)

総合評価	合計評価点
優	100点~90点
良	89点~60点
可	59点~ 点
改善	D評価あり

全36項目(平成29年度上半期)

総合評価	合計評価点
優	95点~85点
良	84点~57点
可	56点~ 点
改善	D評価あり

(8) 関連施設

① 市民図書室

市民図書室は、コミュニティスクールの一環として市内小学校4校に設置された。

平成11年度より生涯学習部生涯学習課から図書館へ所管変更され、現在は中央図書館所管の非常勤職員が市民ボランティアの協力を得て本の貸出・返却・整理などを行っている。

また、ボランティアが主体となって、おはなし会、絵本の読み聞かせ会、人形劇、古本市を行うなどそれぞれ地域に密着したサービスを展開し、地域住民の活動の場ともなっている。併設されている学校との連携も重視している。

- ・利用(貸出)には、市立図書館とは別に、それぞれの図書室で登録が必要。借りた資料は、借りた図書室にのみ返却可能。
- ・図書館システムの端末が設置されており、市立図書館の蔵書が検索でき、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

(市立図書館の蔵書検索、返却、予約の貸出の手続きは非常勤職員が行っている)

- ・市立図書館の物流便は毎週水・土曜日に巡回
- ・開室日 水・土・日曜
- ・開室時間 10:00～16:00

② 男女共同参画センター情報資料室

- ・市川市市川1-24-2 市川西消防署4階
- ・TEL 047(322)6700

- ・交通 JR市川駅 京成市川真間駅より徒歩5分
- ・貸出日 火曜～日曜 9:30～17:00
(祝日・毎月最終火曜日は除く)

・市立図書館の物流便は、毎週水・金・日曜日に巡回する。

- ・床面積 93㎡

男女共同参画についての資料の収集と提供を行っている。図書館とオンライン化されており、市立図書館と共通の利用券で利用できる(貸出は10冊まで)。また、市立図書館の図書・雑誌の返却や予約の受付・受取ができる。

所管は、総務部男女共同参画課だが、図書購入の費用及び運営の非常勤職員の費用は図書館の費目。

③ 情報プラザ2階

- ・市川市南八幡4-2-5
- ・TEL 047(314)0811
- ・交通 JR本八幡駅南口より徒歩1分
- ・利用時間 火曜～金曜 10:00～19:30
土・日・祝日 10:00～18:00
(第4日曜日は除く)

図書館とオンライン化されており、図書館の予約図書・雑誌の受取ができる。また、図書館資料返却用のポストが設置されている。

(平成23年度より情報政策部情報政策担当から図書館へ所管変更)

市民図書室一覧

図書室名	住所・電話番号	床面積	開設年月日
塩焼市民図書室 (塩焼読書センター)	市川市塩焼5-9-8 047(397)6823	135.0㎡	昭和56年10月8日
稲越市民図書室 (ひばり図書室)	市川市稲越町518-2 047(373)6013	135.0㎡	昭和56年10月8日
福栄市民図書室	市川市南行徳2-2-1 047(395)5020	112.5㎡	昭和60年10月5日
大柏市民図書室	大野町2-1877 047(338)7897	315.0㎡	平成3年4月1日

④ 公民館図書室

市内16の公民館のうち、大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7館に公民館図書室が設置されている。公民館の運営は、社会教育課が行っており、図書室担当の非常勤職員についても、社会教育指導員として社会教育課が配置している。（大野は除く）

図書館では、図書費負担と選書の審査を行っている。

A. 大野公民館図書室…システムによる蔵書管理

平成26年度より中央図書館所管の非常勤職員が運営にあっている。

市立図書館所蔵資料の返却、予約（図書・雑誌）の受付・受取、蔵書検索などのサービスを受けることができる。また、図書館で貸出したCDの返却を受け付けている。

平成28年12月に蔵書をバーコード化し、蔵書管理と利用者管理を図書館システムに一元化したことで、市立図書館の利用券で貸出が可能となった。

図書の貸出点数は市立図書館と同じ20冊まで拡大された。

市立図書館の物流便が週3回巡回し、公民館1階の大柏出張所には、市立図書館資料返却用のポストが設置されている。

B. 西部・曾谷・東部公民館図書室 …受取拠点

市立図書館とは別にそれぞれの図書室で利用登録が必要となり、借りた資料は借りた図書室にのみ返却可能。

市立図書館システムの端末が設置されており、市立図書館利用券で、市立図書館所蔵資料の予約（図書・雑誌）の受付・受取、返却、蔵書検索のサービスを受けることができる。

市立図書館の物流便が週2回巡回している。

また、平成29年10月1日より、曾谷公民館図書室は日曜日、東部公民館図書室は火曜日を貸出日とし、それぞれ貸出日が週3日に拡大された。

C. 市川・市川駅南・本行徳公民館図書室

図書室の利用はBと同様。

市立図書館システムの端末は設置しておらず、市立図書館資料の貸出返却はできない。

但し、市川公民館には市立図書館資料返却用のポストが設置されている。

公民館図書室一覧（A・Bはオンライン端末設置）

平成30年4月1日現在

グループ	公民館図書室名	住所・電話番号	開室日	貸出日・時間	床面積
A	大野公民館図書室	市川市南大野2-3-19 047 (339) 3400	火曜～日曜 9:00～17:00	火曜～日曜 9:30～17:00	127.0㎡
B	西部公民館図書室	市川市中国分2-13-8 047 (371) 2777	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜～日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	112.0㎡
	曾谷公民館図書室	市川市曾谷6-25-5 047 (372) 2871	火曜～日曜 9:00～17:00	水・土・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	144.0㎡
	東部公民館図書室	市川市本北方3-19-16 047 (337) 8886	火曜～日曜 9:00～17:00	火・水・土曜 10:00～12:00 13:00～16:30	81.0㎡
C	市川公民館図書室	市川市市川2-33-2 047 (321) 1171	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・土曜 9:30～12:00 13:00～16:30	40.5㎡
	市川駅南公民館図書室	市川市大洲4-18-3 047 (370) 3564	火曜～日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	31.4㎡
	本行徳公民館図書室	市川市本行徳12-8 047 (359) 1351	水曜・日曜 9:00～17:00	水曜・日曜 10:00～12:00 13:00～16:30	170.0㎡

7. 図書館コンピュータシステム

(1) 図書館コンピュータシステムの概要

市川市立図書館では昭和 60 年にコンピュータシステムを導入。平成 6 年の中央図書館開館に際して 2 回目の更新を行い、可変長 MARC の採用、学校図書館とのパソコン通信連携を実施した。

平成 12 年 10 月に富士通の iLiswing Ver2.0 に 3 回目の更新、また平成 17 年 7 月に同社の iLiswing21/UX+ に 4 回目の更新を行い、市内全域へのネットワーク拡大とインターネットでのサービス充実を行った。平成 23 年 11 月に 5 回目の更新を行い富士通の iLisfiera を採用した。平成 28 年 11 月にはこのパッケージが、Internet Explorer 11 を利用した環境下においても正常に稼動するための設定を各機器に対して行っている。

市川駅南口図書館では開館した平成 21 年 4 月に、行徳図書館では平成 28 年 7 月に、それぞれ IC タグによる蔵書管理システム iLiscomp を導入し、セキュリティゲートや自動貸出機等を設置。窓口業務や蔵書点検業務の効率化を図った。

平成 29 年度は、8 月に「市川市図書館情報システム再構築に関する情報提供依頼(RFI)」を実施、1 月からは 6 回目のシステム更新と今後予定されている全館への IC 機器の導入準備のためのワーキンググループの活動を開始するなど、図書館コンピュータシステム再構築のための準備期間となった。

(2) インターネットでのサービス

平成

- | | |
|-----------|---|
| 12 年 10 月 | インターネットでの蔵書情報の公開
利用者自ら ID とパスワードにより
貸出状況・予約状況の照会が可能 |
| 14 年 5 月 | 携帯端末での蔵書検索を実施
メールでのレファレンス受付開始 |
| 10 月 | 図書館ホームページが財団法人高度
映像情報センター (AVCC) の主催する
公共ホームページ Goodsite 賞に
選出 |
| 11 月 | インターネットで図書・雑誌の予約
受付を開始 |

- | | |
|-----------|--|
| 15 年 7 月 | C T I サーバを導入し、段階的に
e メール及び電話による督促通知、
予約通知の自動連絡を開始する |
| 17 年 7 月 | C D ・ビデオのネット予約受付開始
図書館ホームページのリニューアル
TRC-MARC を U から T タイプに変更
蔵書検索で内容紹介、著者紹介等の
項目が検索対象となる |
| 18 年 3 月 | S S L 暗号化通信を導入
市川市が韓国ソウル市江南区電子図
書館の閲覧 I D を配布開始 |
| 10 月 | 予約資料の宅配サービスを開始 |
| 20 年 6 月 | 「青空文庫」作成電子テキストの書
誌データを W e b サーバで一括検索
開始 |
| 21 年 6 月 | TRC-MARC を全件 T タイプに塗替え
TRC 雑誌 MARC を導入 |
| 26 年 10 月 | Q R コードを利用した目録検索結果
等の読み取りサービス「スマート簡
単検索 (ALPACA) 」運用開始 |
| 28 年 3 月 | スマートフォン対応 Web-OPAC サ
ービス開始 |

(3) ネットワークの拡充

平成 12 年からの市内ケーブル回線網の敷設及び全庁的なイントラネット構築に伴い、図書館未設置地区へネットワーク拠点を増設。

平成

- | | |
|-----------|--|
| 12 年 10 月 | 市立小学校に併設の市民図書室 4 室
(塩焼・稲越・福栄・大柏) 及び公
民館図書室 2 室 (大野・西部) にオ
ンライン端末を設置し、図書館の予
約本を取り寄せて、貸出・返却を可
とする |
| 14 年 5 月 | 情報システム課が情報プラザに移転
本庁一情報プラザ一生涯学習セン
ター間が 100Mbps の回線で接続され
る |
| 15 年 2 月 | 情報プラザ 2 階電子市役所での
予約資料受渡しを実施 |
| 6 月 | 曾谷公民館図書室に端末を設置 |
| 7 月 | 情報プラザに端末を設置 |
| 16 年 6 月 | 東部公民館図書室に端末を設置 |

17年 10月	行徳支所まで 100Mbps の回線となり、図書館も支所より分岐して接続 千葉商科大学付属図書館に端末を設置	17年 7月	〔中央図書館〕日経テレコン 21 を導入 ビジネスルームのインターネット接続を 12 席対応に変更
20年	全庁的にネットワーク再構築が実施される		「ITブース」をUSBキー貸出に変更
21年 4月	市川駅南口図書館開館に伴い、100Mbps の光回線を接続し、業務端末 9 台、OPAC 4 台、自動貸出機 3 台、セキュリティゲート 2 基を設置	18年 6月	〔中央図書館〕江南区電子図書館閲覧端末を韓国語資料の書架横に設置
26年 4月	大野公民館図書室でCD返却受付の試行開始	21年 4月	〔市川駅南口図書館〕閲覧席 20 席に情報コンセント（電源、LAN）を設置、リースポットでの無線接続も可能とする
28年 7月	行徳図書館に自動貸出機 4 台、セキュリティゲート 2 基を設置		外部データベース閲覧端末 3 台を設置、プリントアウトサービスを可能とする
11月	図書館情報システムを Internet Explorer 11 に対応させるための設定作業を行う	10月	〔中央図書館〕毎日 News パック、ヨミダス文書館、聞蔵Ⅱブリタニカのオンラインデータベースを館内 Web-OPAC で利用者に開放
29年 2月	大野公民館図書室の蔵書情報を図書館コンピュータシステムに組入れ、コンピュータによる蔵書管理を開始 全庁的に情報セキュリティ強化対策が実施され、図書館業務はインターネット系回線での利用となる	12月	〔中央図書館〕障がい者専用パソコンを入替え、インターネット接続で、点訳及び DAISY 等の音声資料対応
		23年 11月	〔中央図書館〕コインベンダー式プリンタ導入 ビジネスルームにリースポット導入、無線接続を可能とする

(4) 図書館内インターネット接続サービス等

平成

12年 10月	館内利用者端末（タッチパネル式）を増設（全館 26 台、レシートプリンタ付） 〔中央図書館〕Web-OPAC（キーボード式）3 台を新設 朝日新聞記事全文検索データベースを導入 ビジネスルームに持ち込みパソコンのインターネット接続環境を整備、有線 LAN 接続で 4 席 業務端末は全館全端末が本庁イントラ経由でインターネット常時接続が可能とし、相互協力やレファレンス業務等でインターネット上の情報源を利用できるようになる	26年 4月	〔中央図書館・市川駅南口図書館〕D1-Law.com を導入
		6月	〔中央図書館〕国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」「歴史的音源」利用開始
		8月	〔中央図書館〕障がい者専用パソコンを入替え
		27年 2月	〔中央図書館〕新聞閲覧パソコンに日経ヴェリタス電子版を導入
		6月	〔中央図書館〕国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の複写サービスを開始
		8月	〔中央図書館〕新聞閲覧パソコンに主要新聞社等の Web サイト閲覧のための環境を整備
14年 5月	〔中央図書館〕「ITブース」として、視聴覚ブースにインターネット用パソコンを 6 台設置、無線 LAN カード貸出により利用提供 ビジネスルームのインターネット接続を 7 席対応に変更 朝日新聞記事全文検索データベースを館内 Web-OPAC で利用者に開放	29年 4月	〔中央図書館・市川駅南口図書館〕LexisNexisJP の公共図書館への配信中止に伴い、Westlaw.JAPAN の試行導入を開始
		6月	〔行徳図書館〕国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」利用開始

30年3月 [市川駅南口図書館] ナクソス・ミュージック・ライブラリーの館内視聴開始

〈参考〉

① オンライン・データベース導入一覧

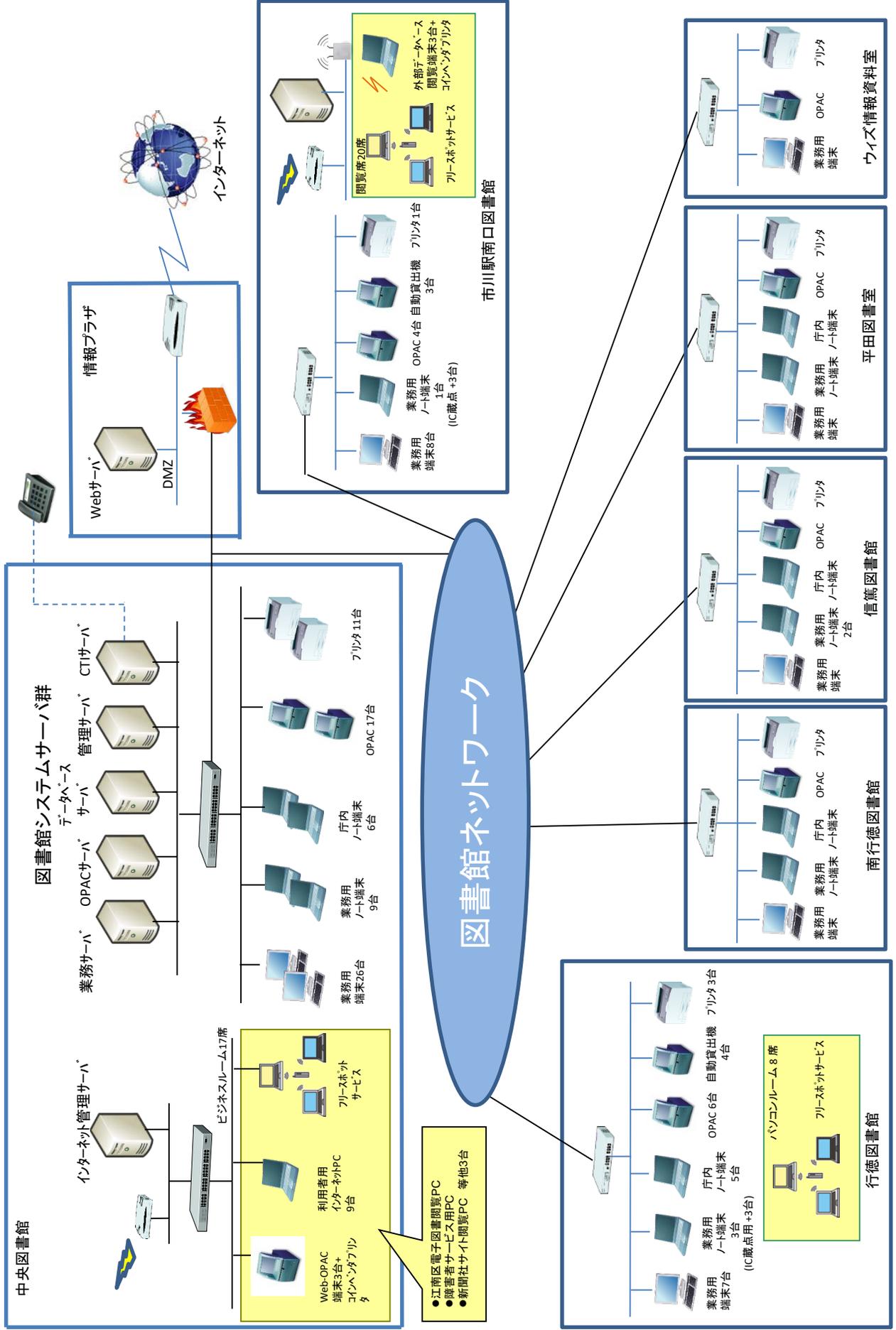
[平成30年4月1日現在]

	データベースタイトル	中央			行徳			駅南		
		業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴	業務	閲覧	視聴
①	聞蔵Ⅱ：朝日新聞社オンライン記事データベース	○	○					○	○	
②	ヨミダス文書館：読売新聞記事データベース	○	○					○	○	
③	毎索：毎日新聞記事データベース	○	○					○	○	
④	日経テレコン21〔図書館向け〕	○	○					○	○	
⑤	D1-Law.com：第一法規 法情報総合データベース	○	○					○	○	
⑥	官報情報検索サービス	○	○					○	○	
⑦	ブリタニカオンラインジャパン	○	○					○	○	
⑧	MAGAZINEPLUS（日外アソシエーツ）	○	○					○	○	
⑨	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」	○	○		○	○				
⑩	国立国会図書館「歴史的音源」	○		○						
⑪	日経ヴェリタス電子版		○							
⑫	ナクソス・ミュージック・ライブラリー									○

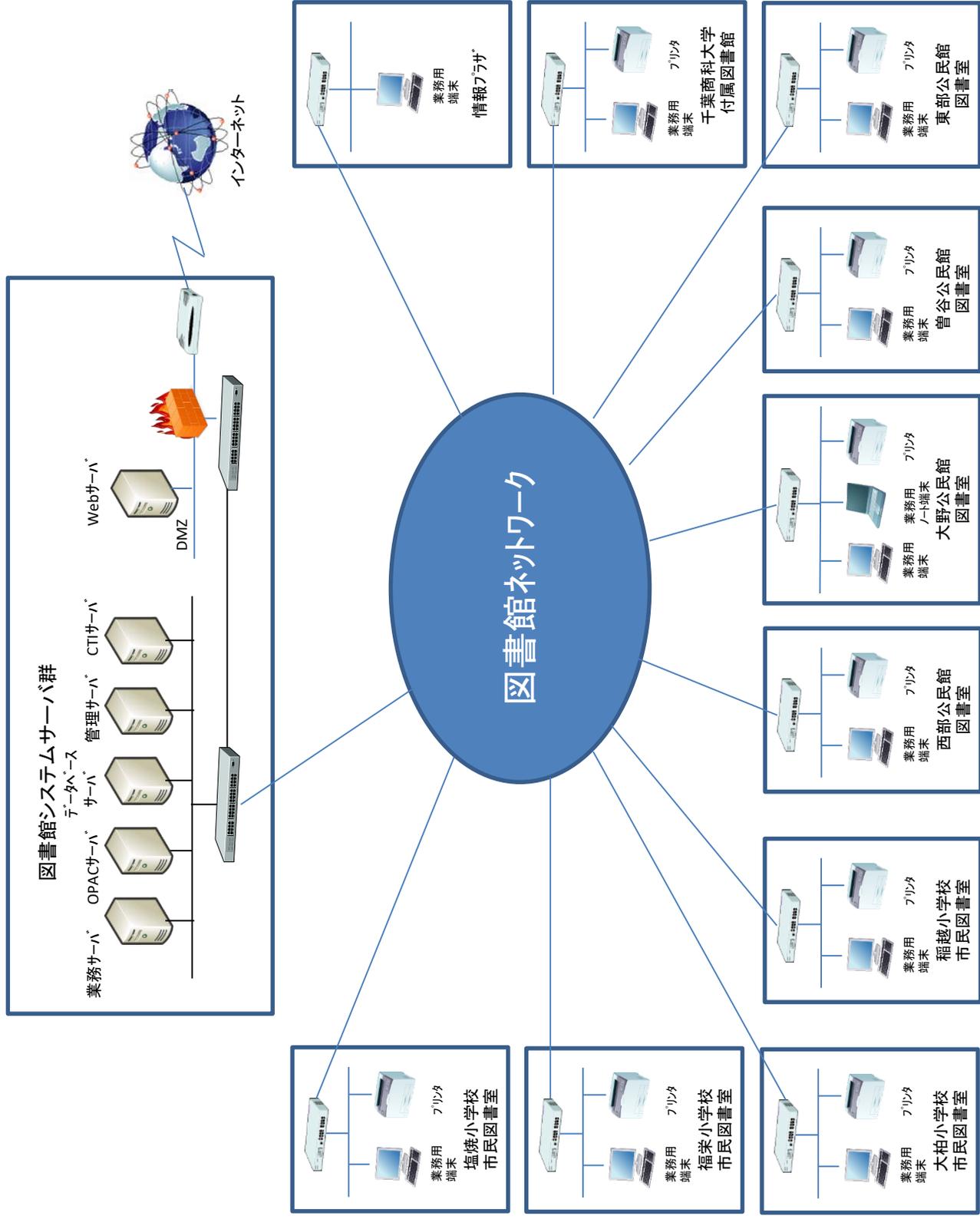
② データベース・プリント枚数(平成29年度)

館	枚数	<うち、デジタル化資料送信サービス分>
中央	1,693 枚	<747 枚>
駅南	155 枚	—

市川市立図書館システム構成図 (中央図書館及び地域館)



市川市立図書館システム構成図 (関連施設)



8. 平成30年度予算

(1) 市の予算

(単位：千円)

項 目	平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	対 前 年 度 比
総 額	238,325,000	241,975,000	△3,650,000
一般会計	144,000,000	144,800,000	△800,000
特別会計	74,288,000	95,183,000	△20,895,000
公営企業会計	20,037,000	1,992,000	18,045,000

(2) 教育費

(単位：千円)

科 目	平成30年度当初予算額	平成29年度当初予算額	対 前 年 度 比
一般会計のうち教育費	13,427,000 (一般会計の9.3%)	11,890,000 (一般会計の8.2%)	1,537,000
教育費のうち図書館費	425,525 (教育費の3.2%)	341,167 (教育費の2.9%)	84,358

(3) 図書館費

(単位：千円)

	平成30年度当初予算額	細 節	平成29年度当初予算額
総 計	425,525		341,167
7. 賃 金	79,559	◎非常勤職員等雇上料 79,559	79,163
8. 報 償 費	63	◎報償金 47 ◎講師謝礼金 16	63
9. 旅 費	11	◎職員旅費 11	13
11. 需 用 費	102,724	◎消耗品費 83,759 ◎定期刊行物費 10,343 ◎印刷製本費 1,301 ◎光熱水費 3,124 ◎物品修繕料 499 ◎自動車修繕料 194 ◎施設修繕料 3,500 ◎医薬材料費 4	104,083
12. 役 務 費	27,929	◎通信運搬費 3,375 ◎手数料 24,544 ◎筆耕翻訳料 10	27,333
13. 委 託 料	154,987	◎委託料 154,987	95,993
14. 使用料及び 賃借料	27,536	◎使用料 3,226 ◎賃借料 24,310	19,767
15. 工事請負費	18,000	◎改修工事費 18,000	0
18. 備品購入費	3,529	◎事業用機械器具費 514 ◎図書費 3,015	3,645
19. 負担金補助 及び交付金	11,107	◎負担金 11,107	11,107
27. 公 課 費	80	◎自動車重量税 80	0

(4) 館別資料費

○ 図書館

(単位：千円)

館名	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
中央	34,082 (31,597)	2,712 (2,712)	36,794 (34,309)	533 (554)	6,234 (6,221)	43,561 (41,084)
行徳	8,503 (8,503)	303 (303)	8,806 (8,806)	427 (427)	1,690 (1,703)	10,923 (10,936)
信篤	2,127 (2,127)	0 (0)	2,127 (2,127)	0 (0)	550 (550)	2,677 (2,677)
南行徳	2,127 (2,127)	0 (0)	2,127 (2,127)	0 (0)	560 (560)	2,687 (2,687)
平田	2,130 (2,130)	0 (0)	2,130 (2,130)	0 (0)	520 (520)	2,650 (2,650)
市川駅南口	5,054 (5,747)	0 (0)	5,054 (5,747)	346 (504)	735 (735)	6,135 (6,986)
全館 リクエスト	12,370 (12,370)	0 (0)	12,370 (12,370)	0 (0)	0 (0)	12,370 (12,370)
合計	66,393 (64,601)	3,015 (3,015)	69,408 (67,616)	1,306 (1,485)	10,289 (10,289)	81,003 (79,390)

○ 図書館類似施設

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
男女共同 参画センター	280 (280)	0 (0)	280 (280)	0 (0)	14 (14)	294 (294)

○ 公民館図書室（大野・西部・曾谷・東部・市川・市川駅南・本行徳の7図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
公民館 図書室	3,000 (3,300)	0 (0)	3,000 (3,300)	0 (0)	0 (0)	3,000 (3,300)

○ 市民図書室（塩焼・稲越・福栄・大柏の4図書室）

(単位：千円)

	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
市民 図書室	1,248 (1,368)	0 (0)	1,248 (1,368)	0 (0)	40 (0)	1,288 (1,368)

○ 資料費総計

(単位：千円)

総計	図書費			視聴覚資料費	定期刊行物費	合計
	消耗品図書	備品図書	計			
	70,922 (69,549)	3,015 (3,015)	73,937 (72,564)	1,306 (1,485)	10,343 (10,303)	85,586 (84,352)

※ () 内は平成29年度当初予算額

※ 定期刊行物費は、新聞、雑誌及び加除式図書追録代の合計額

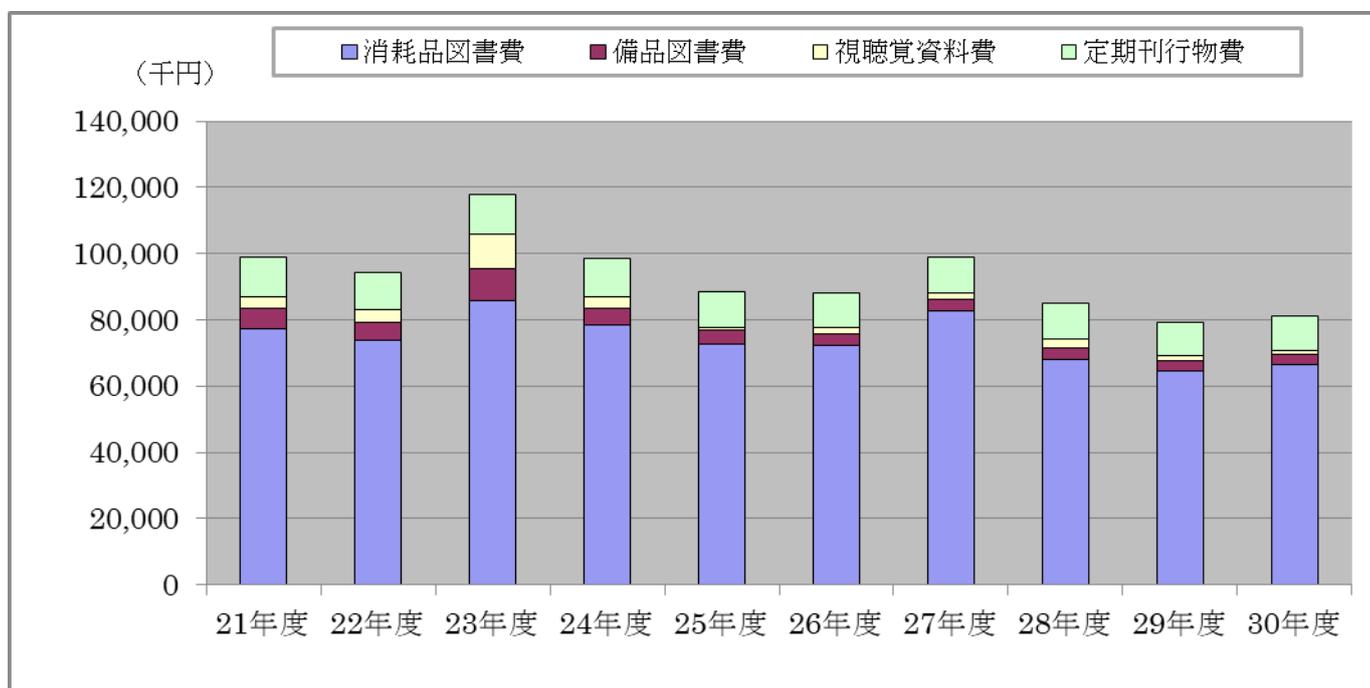
※ 資料費のより一層の有効活用を図るため、各館のリクエスト図書購入費を一本化し、「全館リクエスト」として計上

※ 歳出(予算)は切り上げ

○市川市図書館資料費当初予算額推移表

(単位：千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
図書費	83,385	79,274	95,357	83,377	77,044	75,927	86,140	71,450	67,616	69,408
消耗品図書費	77,457	73,889	85,797	78,377	72,544	72,362	82,572	68,032	64,601	66,393
備品図書費	5,928	5,385	9,560	5,000	4,500	3,565	3,568	3,418	3,015	3,015
視聴覚資料費	3,566	3,731	10,655	3,714	835	1,924	2,121	2,911	1,485	1,306
消耗品費	3,101	3,263	3,246	3,245	835	1,451	1,651	2,157	855	793
備品購入費	465	468	7,409	469	0	473	470	754	630	513
定期刊行物費	12,015	11,423	11,669	11,597	10,437	10,437	10,489	10,489	10,289	10,289
合計	98,966	94,428	117,681	98,688	88,316	88,288	98,750	84,850	79,390	81,003



9. 平成29年度統計

(1) 蔵書冊数 (平成29年度)

(単位：冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	11,134	74	348	2,268	437	321	346	14,928
1哲学	22,020	220	756	3,383	1,210	632	686	28,907
2歴史	30,456	313	1,617	8,718	2,271	1,682	2,955	48,012
3社会科学	55,014	438	2,337	15,053	3,162	2,459	1,723	80,186
4自然科学	25,969	381	1,434	6,701	1,953	1,406	1,090	38,934
5技術	19,809	1,648	3,115	8,436	3,534	2,697	5,714	44,953
6産業	8,302	191	732	2,718	743	549	895	14,130
7芸術	34,712	406	2,157	9,194	2,721	1,536	2,866	53,592
8言語	9,589	50	428	1,866	481	312	539	13,265
9文学	50,628	5,496	9,235	28,244	15,548	8,797	7,469	125,417
郷土行政	50,675	0	388	3,875	594	613	424	56,569
参考資料	25,488	0	149	2,102	369	237	403	28,748
外国語資料	13,493	0	0	668	0	0	0	14,161
障がい者資料	10,682	240	0	588	0	0	0	11,510
コーナー別資料	258,830	0	4,369	23,240	11,077	5,853	47,363	350,732
一般計	626,801	9,457	27,065	117,054	44,100	27,094	72,473	924,044

(単位：冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	443	29	91	308	185	71	96	1,223
1哲学	523	23	97	226	93	65	64	1,091
2歴史	4,544	93	492	1,685	621	551	448	8,434
3社会科学	4,203	100	472	1,477	484	508	464	7,708
4自然科学	8,727	562	1,334	2,714	1,476	1,350	1,245	17,408
5技術	2,831	254	446	1,182	503	455	584	6,255
6産業	1,654	72	262	530	227	251	229	3,225
7芸術	3,794	365	605	1,398	771	588	805	8,326
8言語	853	21	140	332	136	133	140	1,755
9文学	25,716	1,819	3,908	10,346	5,182	4,788	3,339	55,098
E絵本	37,256	2,971	6,462	15,618	5,148	6,034	6,474	79,963
P紙芝居	1,027	149	247	460	169	176	331	2,559
児童郷土	1,496	0	7	286	83	16	0	1,888
児童参考	764	0	18	203	72	27	83	1,167
児童研究	2,928	0	0	719	123	138	0	3,908
児童計	96,759	6,458	14,581	37,484	15,273	15,151	14,302	200,008

図書計	723,560	15,915	41,646	154,538	59,373	42,245	86,775	1,124,052
-----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(単位：点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	40,194	0	1,353	6,247	1,609	1,127	1,266	51,796
ビデオ	3,781	0	0	48	0	0	0	3,829
DVD	1,866	0	0	347	0	0	992	3,205
CD	13,387	0	0	7,661	0	0	0	21,048
その他付録等	3,776	0	49	522	15	17	141	4,520
図書以外計	63,004	0	1,402	14,825	1,624	1,144	2,399	84,398

総計	786,564	15,915	43,048	169,363	60,997	43,389	89,174	1,208,450
----	---------	--------	--------	---------	--------	--------	--------	-----------

(1-2) 分野別蔵書冊数内訳 (平成29年度)

(単位:冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	17,020	0	300	2,357	346	420	322	20,765
千葉県	22,192	0	88	1,518	248	193	102	24,341
市民文庫	5,802	0	0	0	0	0	0	5,802
特別コレクション	5,661	0	0	0	0	0	0	5,661
合計	50,675	0	388	3,875	594	613	424	56,569

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	6,489	0	0	635	0	0	0	7,124
中国語	3,748	0	0	10	0	0	0	3,758
韓国語	1,625	0	0	20	0	0	0	1,645
ドイツ語	118	0	0	0	0	0	0	118
フランス語	343	0	0	1	0	0	0	344
スペイン語	311	0	0	1	0	0	0	312
ポルトガル語	126	0	0	1	0	0	0	127
イタリア語	220	0	0	0	0	0	0	220
西洋の諸言語	50	0	0	0	0	0	0	50
東洋の諸言語	463	0	0	0	0	0	0	463
合計	13,493	0	0	668	0	0	0	14,161

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	3,124	0	0	0	0	0	0	3,124
音訳図書	2,685	0	0	0	0	0	0	2,685
DAISY図書	515	0	0	0	0	0	0	515
大活字本	2,771	240	0	588	0	0	0	3,599
CDブック	1,072	0	0	0	0	0	0	1,072
文芸カセット	336	0	0	0	0	0	0	336
布の絵本	130	0	0	0	0	0	0	130
その他	49	0	0	0	0	0	0	49
合計	10,682	240	0	588	0	0	0	11,510

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	19,224	0	0	2,002	1,086	1,527	0	23,839
B文庫	51,864	0	4,214	20,318	9,991	4,326	13,843	104,556
V新書	13,354	0	155	920	0	0	12,161	26,590
M外国文学	17,379	0	0	0	0	0	0	17,379
N環境	4,604	0	0	0	0	0	0	4,604
Jビジネス	30,509	0	0	0	0	0	12,251	42,760
X日本文学	51,173	0	0	0	0	0	0	51,173
W平和	8,988	0	0	0	0	0	0	8,988
H暮らし	26,807	0	0	0	0	0	※ 9,108	35,915
D趣味	18,785	0	0	0	0	0	0	18,785
Sスポーツ	5,310	0	0	0	0	0	0	5,310
G旅行	10,833	0	0	0	0	0	0	10,833
合計	258,830	0	4,369	23,240	11,077	5,853	47,363	350,732

※市川駅南口のHは「健康医療」

(1-3) 蔵書冊数の推移

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	579,323	8,494	26,843	107,088	48,163	28,752	61,709	860,372
平成25年度	584,972	9,231	27,144	109,418	48,586	29,334	66,363	875,048
平成26年度	598,006	9,920	27,463	109,920	47,685	27,579	69,097	889,670
平成27年度	609,978	10,469	27,521	107,595	47,273	27,230	71,575	901,641
平成28年度	621,677	8,967	27,528	112,809	44,516	28,596	72,867	916,960
平成29年度	626,801	9,457	27,065	117,054	44,100	27,094	72,473	924,044

b) 児童書の推移

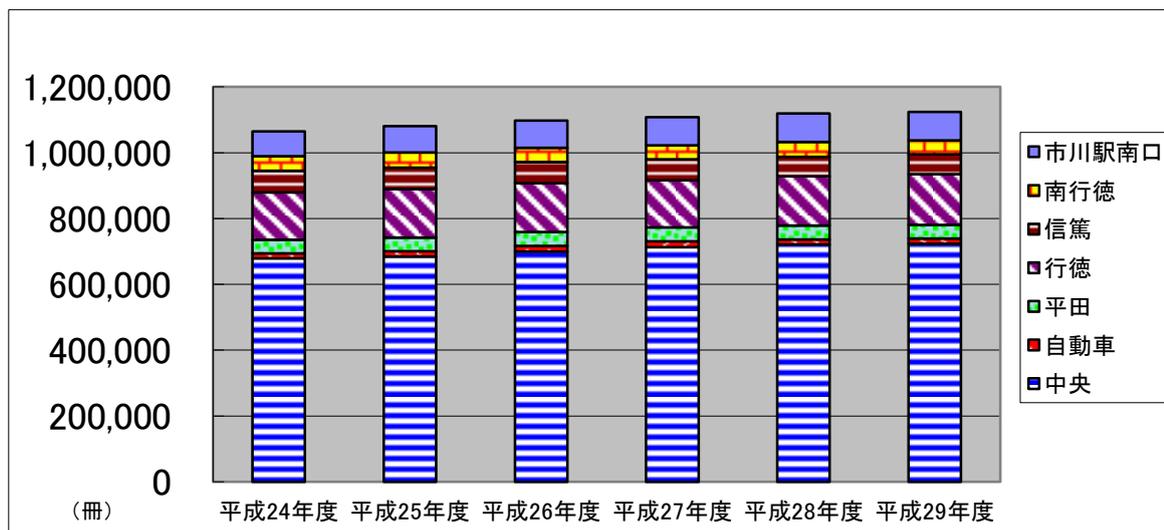
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	99,794	7,069	14,019	37,393	17,184	15,990	13,041	204,490
平成25年度	99,621	7,046	14,375	38,115	16,826	16,221	13,615	205,819
平成26年度	101,774	7,338	14,534	38,832	16,383	15,682	13,865	208,408
平成27年度	103,348	7,497	14,568	35,704	16,045	15,837	14,093	207,092
平成28年度	100,122	6,231	14,545	36,393	15,445	15,970	14,317	203,023
平成29年度	96,759	6,458	14,581	37,484	15,273	15,151	14,302	200,008

c) 全体(図書)の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	679,117	15,563	40,862	144,481	65,347	44,742	74,750	1,064,862
平成25年度	684,593	16,277	41,519	147,533	65,412	45,555	79,978	1,080,867
平成26年度	699,780	17,258	41,997	148,752	64,068	43,261	82,962	1,098,078
平成27年度	713,326	17,966	42,089	143,299	63,318	43,067	85,668	1,108,733
平成28年度	721,799	15,198	42,073	149,202	59,961	44,566	87,184	1,119,983
平成29年度	723,560	15,915	41,646	154,538	59,373	42,245	86,775	1,124,052



(2) 分類別貸出冊数 (平成29年度)

(単位:冊)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	5,731	51	571	4,333	473	426	1,902	13,487
1哲学	27,298	253	1,546	14,150	1,830	2,100	8,968	56,145
2歴史	22,214	389	3,359	27,172	3,818	4,125	24,299	85,376
3社会科学	37,429	329	2,663	30,128	2,920	3,505	11,866	88,840
4自然科学	19,950	387	1,625	13,085	2,103	1,720	6,257	45,127
5技術	18,688	1,746	5,485	36,962	6,450	6,518	31,707	107,556
6産業	5,792	151	668	6,822	714	960	4,070	19,177
7芸術	21,705	265	1,703	13,533	3,126	1,822	11,945	54,099
8言語	13,140	80	418	4,835	1,000	589	4,194	24,256
9文学	24,734	4,829	11,249	65,843	12,803	12,287	46,831	178,576
郷土行政	3,838	12	83	739	186	122	818	5,798
参考資料	914	0	1	38	16	8	36	1,013
外国語資料	3,944	12	80	831	28	22	428	5,345
障がい者資料	7,009	65	75	905	37	31	209	8,331
コーナー別資料	590,712	1,217	18,283	143,673	34,495	22,545	218,734	1,029,659
一般計	803,098	9,786	47,809	363,049	69,999	56,780	372,264	1,722,785

(単位:冊)

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	798	35	124	558	99	82	399	2,095
1哲学	1,462	17	110	617	70	55	540	2,871
2歴史	5,627	76	336	3,516	281	383	1,488	11,707
3社会科学	6,400	305	249	3,617	181	482	1,637	12,871
4自然科学	16,031	744	1,102	10,617	973	1,432	4,731	35,630
5技術	8,231	476	783	6,313	1,133	1,189	3,154	21,279
6産業	2,271	106	240	1,347	193	334	695	5,186
7芸術	11,318	883	971	7,225	1,229	1,086	4,940	27,652
8言語	1,661	57	116	1,085	95	158	605	3,777
9文学	69,544	3,380	6,609	50,002	6,151	6,193	21,252	163,131
E絵本	197,748	5,055	14,757	110,661	18,766	17,126	59,221	423,334
P紙芝居	6,245	215	506	3,273	195	471	2,246	13,151
児童郷土	655	0	4	99	14	8	3	783
児童参考	61	0	0	20	0	3	17	101
児童研究	1,116	0	4	277	25	41	119	1,582
児童計	329,168	11,349	25,911	199,227	29,405	29,043	101,047	725,150

図書計	1,132,266	21,135	73,720	562,276	99,404	85,823	473,311	2,447,935
-----	-----------	--------	--------	---------	--------	--------	---------	-----------

(単位:点)

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	47,917	117	3,662	26,001	4,004	5,980	11,778	99,459
ビデオ	1,440	0	4	106	4	8	29	1,591
DVD	17,371	0	178	3,200	212	218	5,256	26,435
CD	48,141	0	678	18,803	910	659	3,248	72,439
その他付録等	21,831	33	314	6,438	558	361	30,072	59,607
図書以外計	136,700	150	4,836	54,548	5,688	7,226	50,383	259,531

総計	1,268,966	21,285	78,556	616,824	105,092	93,049	523,694	2,707,466
-----------	------------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	----------------	------------------

塩焼市民図書室	3,117	大野公民館図書室	75,766	男女共同参画センター	7,947	図書館以外	147,605
稲越市民図書室	2,072	西部公民館図書室	10,266	情報プラザ	32,062	市民図書室	
福栄市民図書室	5,638	曾谷公民館図書室	5,578	千葉商科大学図書館	893	公民館図書室	
大柏市民図書室	1,512	東部公民館図書室	2,626	宅配	128	その他	
市民図書室計	12,339	公民館図書室計	94,236	その他計	41,030	合計	

他施設含む総計 **2,855,071**

(2-2) 分野別貸出冊数内訳 (平成29年度)

(単位:冊)

郷土行政	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
市川市	1,595	8	54	405	108	89	541	2,800
千葉県	658	1	17	236	65	19	142	1,138
市民文庫	684	3	2	69	9	12	101	880
特別コレクション	901	0	10	29	4	2	34	980
合計	3,838	12	83	739	186	122	818	5,798

(単位:冊)

外国語資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
英語	2,738	12	42	791	26	20	379	4,008
中国語	893	0	0	18	2	0	34	947
韓国語	135	0	1	1	0	0	2	139
ドイツ語	22	0	1	0	0	0	0	23
フランス語	69	0	0	5	0	1	4	79
スペイン語	52	0	36	3	0	0	5	96
ポルトガル語	3	0	0	0	0	0	0	3
イタリア語	8	0	0	0	0	1	1	10
西洋の諸言語	1	0	0	0	0	0	1	2
東洋の諸言語	23	0	0	13	0	0	2	38
合計	3,944	12	80	831	28	22	428	5,345

(単位:冊)

障がい者資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書	237	0	0	4	1	0	8	250
音訳図書	59	0	0	0	0	0	0	59
DAISY図書	9	0	0	1	0	0	0	10
大活字本	3,472	65	21	680	29	22	107	4,396
CDブック	3,012	0	54	212	7	8	91	3,384
文芸カセット	163	0	0	4	0	0	0	167
布の絵本等	57	0	0	4	0	1	3	65
合計	7,009	65	75	905	37	31	209	8,331

※上記貸出は郵送のうち、電算による貸出手続きをしたものも含む。

※大活字図書・CDブック・文芸カセットの貸出は、健常者への貸出を含む。

(単位:冊)

郵送貸出	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
点字図書郵送	218	0	0	0	0	0	0	218
音訳図書郵送	31	0	0	0	0	0	0	31
DAISY図書郵送	137	0	0	0	0	0	0	137
CDブック郵送	165	0	0	0	0	0	0	165
合計	551	0	0	0	0	0	0	551

※郵送は相互協力による借用資料を含む。

(単位:冊)

コーナー別資料	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
Aヤング	33,494	71	442	5,488	793	1,196	3,099	44,583
B文庫	171,183	489	12,927	110,967	28,098	15,935	121,070	460,669
V新書	12,042	41	790	4,480	403	430	23,485	41,671
M外国文学	8,213	18	126	600	110	110	1,280	10,457
N環境	1,245	1	6	117	14	9	89	1,481
Jビジネス	41,138	67	1,094	5,839	1,034	1,228	29,675	80,075
X日本文学	114,370	166	957	6,114	1,486	1,344	6,872	131,309
W平和	3,190	6	36	144	27	50	242	3,695
H暮らし	103,951	239	1,116	6,137	1,400	1,410	27,074	141,327
D趣味	37,232	72	280	1,412	335	344	2,190	41,865
Sスポーツ	12,520	11	126	595	289	102	821	14,464
G旅行	52,134	36	383	1,780	506	387	2,837	58,063
合計	590,712	1,217	18,283	143,673	34,495	22,545	218,734	1,029,659

(2-3) 貸出点数の推移 (平成29年度)

a) 一般書の推移

(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	1,006,087	13,652	57,919	392,445	79,288	71,860	409,068	2,030,319
平成25年度	944,774	12,276	54,179	383,142	76,582	66,684	398,745	1,936,382
平成26年度	919,675	12,207	53,973	382,740	77,251	63,643	399,362	1,908,851
平成27年度	896,060	11,275	52,164	388,747	75,297	62,982	396,763	1,883,288
平成28年度	836,669	10,458	52,055	362,709	73,019	60,763	377,264	1,772,937
平成29年度	803,098	9,786	47,809	363,049	69,999	56,780	372,264	1,722,785

b) 児童書の推移

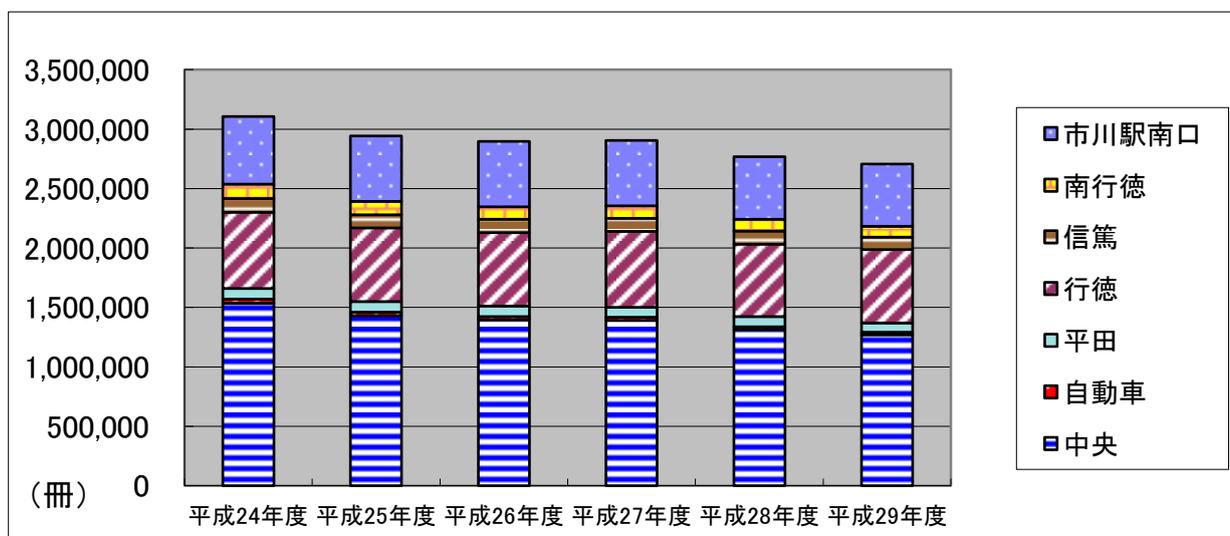
(単位：冊)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	308,505	19,622	25,672	186,205	32,316	38,366	105,116	715,802
平成25年度	296,879	16,764	26,132	179,971	28,278	36,975	96,798	681,797
平成26年度	294,853	13,985	28,383	176,847	28,404	34,765	98,229	675,466
平成27年度	323,980	13,437	27,053	190,204	30,011	33,754	100,553	718,992
平成28年度	323,015	13,017	28,816	192,552	30,809	30,033	98,193	716,435
平成29年度	329,168	11,349	25,911	199,227	29,405	29,043	101,047	725,150

c) 一般、児童書、視聴覚、雑誌等合計の推移

(単位：点)

	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	1,535,588	33,747	90,536	639,863	117,613	119,334	568,646	3,105,327
平成25年度	1,432,031	29,291	86,983	621,029	111,152	111,906	548,863	2,941,255
平成26年度	1,395,619	26,386	88,626	618,130	112,051	105,765	550,598	2,897,175
平成27年度	1,391,724	24,912	84,726	637,415	111,411	103,736	552,165	2,906,089
平成28年度	1,313,972	23,652	85,984	608,820	110,210	98,113	526,643	2,767,394
平成29年度	1,268,966	21,285	78,556	616,824	105,092	93,049	523,694	2,707,466



(3) 蔵書回転率＝貸出冊数÷蔵書冊数（平成29年度）

(単位：回)

一般書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	0.51	0.69	1.64	1.91	1.08	1.33	5.50	0.90
1哲学	1.24	1.15	2.04	4.18	1.51	3.32	13.07	1.94
2歴史	0.73	1.24	2.08	3.12	1.68	2.45	8.22	1.78
3社会科学	0.68	0.75	1.14	2.00	0.92	1.43	6.89	1.11
4自然科学	0.77	1.02	1.13	1.95	1.08	1.22	5.74	1.16
5技術	0.94	1.06	1.76	4.38	1.83	2.42	5.55	2.39
6産業	0.70	0.79	0.91	2.51	0.96	1.75	4.55	1.36
7芸術	0.63	0.65	0.79	1.47	1.15	1.19	4.17	1.01
8言語	1.37	1.60	0.98	2.59	2.08	1.89	7.78	1.83
9文学	0.49	0.88	1.22	2.33	0.82	1.40	6.27	1.42
郷土行政	0.08	---	0.21	0.19	0.31	0.20	1.93	0.10
参考資料	0.04	---	0.01	0.02	0.04	0.03	0.09	0.04
外国語資料	0.29	---	---	1.24	---	---	---	0.38
障がい者資料	0.66	0.27	---	1.54	---	---	---	0.72
ポピュラー	2.28	---	4.18	6.18	3.11	3.85	4.62	2.94
一般計	1.28	1.03	1.77	3.10	1.59	2.10	5.14	1.86

中央	Aヤング	B文庫	V新書	M外国文学	N環境	Jビジネス
ポピュラー	1.74	3.30	0.90	0.47	0.27	1.35
総数	X日本文学	W平和	H暮らし	D趣味	Sスポーツ	G旅行
2.28	2.23	0.35	3.88	1.98	2.36	4.81

市川駅南口	Jビジネス	H健康・医療	B文庫	V新書
コーナー別資料	2.42	2.97	8.75	1.93

児童書	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
0総記	1.80	1.21	1.36	1.81	0.54	1.15	4.16	1.71
1哲学	2.80	0.74	1.13	2.73	0.75	0.85	8.44	2.63
2歴史	1.24	0.82	0.68	2.09	0.45	0.70	3.32	1.39
3社会科学	1.52	3.05	0.53	2.45	0.37	0.95	3.53	1.67
4自然科学	1.84	1.32	0.83	3.91	0.66	1.06	3.80	2.05
5技術	2.91	1.87	1.76	5.34	2.25	2.61	5.40	3.40
6産業	1.37	1.47	0.92	2.54	0.85	1.33	3.03	1.61
7芸術	2.98	2.42	1.60	5.17	1.59	1.85	6.14	3.32
8言語	1.95	2.71	0.83	3.27	0.70	1.19	4.32	2.15
9文学	2.70	1.86	1.69	4.83	1.19	1.29	6.36	2.96
E絵本	5.31	1.70	2.28	7.09	3.65	2.84	9.15	5.29
P紙芝居	6.08	1.44	2.05	7.12	1.15	2.68	6.79	5.14
児童郷土	0.44	---	0.57	0.35	0.17	0.50	---	0.41
児童参考	0.08	---	0.00	0.10	0.00	0.11	0.20	0.09
児童研究	0.38	---	---	0.39	0.20	0.30	---	0.40
児童計	3.40	1.76	1.78	5.31	1.93	1.92	7.07	3.63

図書計	1.56	1.33	1.77	3.64	1.67	2.03	5.45	2.18
-----	------	------	------	------	------	------	------	------

図書以外	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
雑誌	1.19	---	2.71	4.16	2.49	5.31	9.30	1.92
ビデオ	0.38	---	---	2.21	---	---	---	0.42
DVD	9.31	---	---	9.22	---	---	5.30	8.25
CD	3.60	---	---	2.45	---	---	---	3.44

総計	1.61	1.34	1.82	3.64	1.72	2.14	5.87	2.24
----	------	------	------	------	------	------	------	------

市民図書室・公民館図書室・情報プラザ等への市立図書館所蔵資料の貸出数含む総計⇒⇒

2.36

(4) リクエスト統計

平成29年度リクエスト受付施設別件数
(図書・雑誌 Web上での受付を含む)

受付館	受付件数	構成比	前年比
中央	122,162	24.92%	100.7%
自動車	2,302	0.47%	88.3%
平田	15,517	3.17%	92.5%
行徳	106,603	21.75%	100.4%
信篤	21,227	4.33%	100.5%
南行徳	22,218	4.53%	94.4%
市川駅南口	119,754	24.43%	102.2%
図書館合計	409,783	83.60%	100.3%
ウィズ	4,949	1.01%	97.3%
情報プラザ	30,337	6.19%	108.6%
塩焼市民	2,647	0.54%	94.1%
稲越市民	967	0.20%	101.0%
福栄市民	4,158	0.85%	110.6%
大柏市民	1,377	0.28%	82.1%
大野公民	18,599	3.79%	103.2%
西部公民	8,894	1.81%	98.5%
曾谷公民	5,271	1.08%	101.3%
東部公民	2,212	0.45%	83.8%
千葉商大	962	0.20%	83.7%
宅配	37	0.01%	105.7%
関連施設合計	80,410	16.40%	102.7%
総計	490,193	100%	100.7%

リクエスト資料別総数

	図書・雑誌	視聴覚資料	合計
28年度	487,007	19,190	506,197
29年度	490,193	16,720	506,913

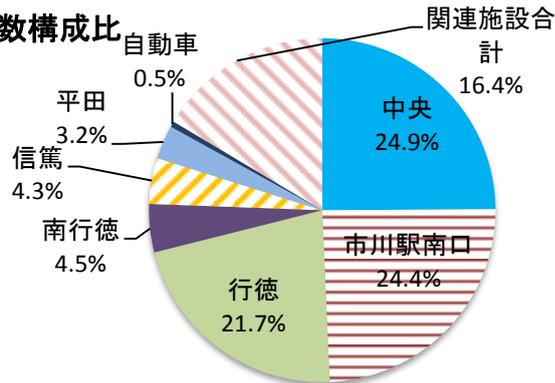
リクエスト処理別件数(図書・雑誌)

	市内所蔵	購入	市外借用	提供不能	合計
24年度	480,337	10,278	6,196	509	497,320
25年度	469,375	9,224	5,723	598	484,920
26年度	472,359	9,049	5,392	560	487,360
27年度	478,388	9,003	5,528	510	493,429
28年度	471,289	8,621	6,545	552	487,007
29年度	475,488	8,414	5,854	437	490,193

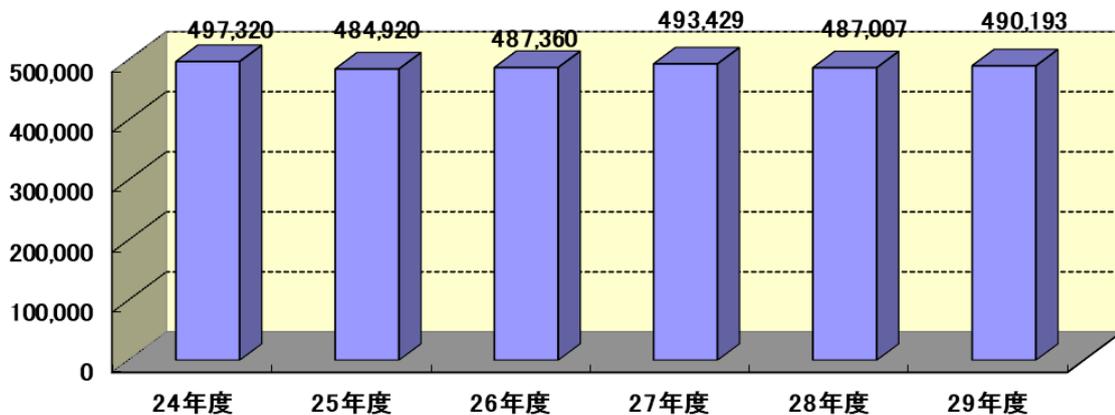
リクエスト資料別件数(視聴覚資料)

	CD	ビデオ	DVD	合計
24年度	21,722	699	4,942	27,363
25年度	19,470	425	3,871	23,766
26年度	18,551	240	4,498	23,289
27年度	17,820	190	4,078	22,088
28年度	15,102	137	3,951	19,190
29年度	13,185	108	3,427	16,720

リクエスト受付施設別件数構成比



リクエスト件数の推移(図書・雑誌)



(5) 登録者集計表

(単位：人)

新規登録者数	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	ウイズ	大野公	全館
平成26年度	9,216	125	145	2,939	384	456	2,722	11	—	15,998
平成27年度	5,801	116	118	2,542	338	410	2,248	8	—	11,581
平成28年度	4,695	109	125	2,559	347	355	2,264	9	228	10,691
平成29年度	4,577	74	143	2,443	273	284	2,086	11	226	10,117
(計)	24,289	424	531	10,483	1,342	1,505	9,320	39	454	48,387
有効登録者数	57,986	472	1,719	20,985	3,201	3,487	22,400	72	1,182	111,504
内12歳以下	5,712	237	240	2,250	402	533	1,257	8	187	10,826
実利用者数	35,161	320	1,331	13,874	2,172	2,288	15,204	54	1,067	71,471
累積登録者数										587,730
更新者数										19,084

※新規登録者数：一年間に新しい利用券番号の付与を受けた登録者数。

※有効登録者数：有効期限内の登録者数。(有効期限は3年)

※実利用者数：一年間に資料の貸出をした利用者数。

※累積登録者数：電算導入の昭和60年度より登録者の累積件数。二重登録なども含む。(長期未利用者のデータは平成19年度削除)

※更新者数：平成29年度に更新した登録者数

※数値には団体登録等も含む

パスワード申請数 (単位：人)

平成13年度～	61,079
平成23年度	
平成24年度	5,791
平成25年度	5,138
平成26年度	5,113
平成27年度	5,466
平成28年度	5,953
平成29年度	5,726
累計	94,266

有効期限内隣接地域登録者

(単位：人)

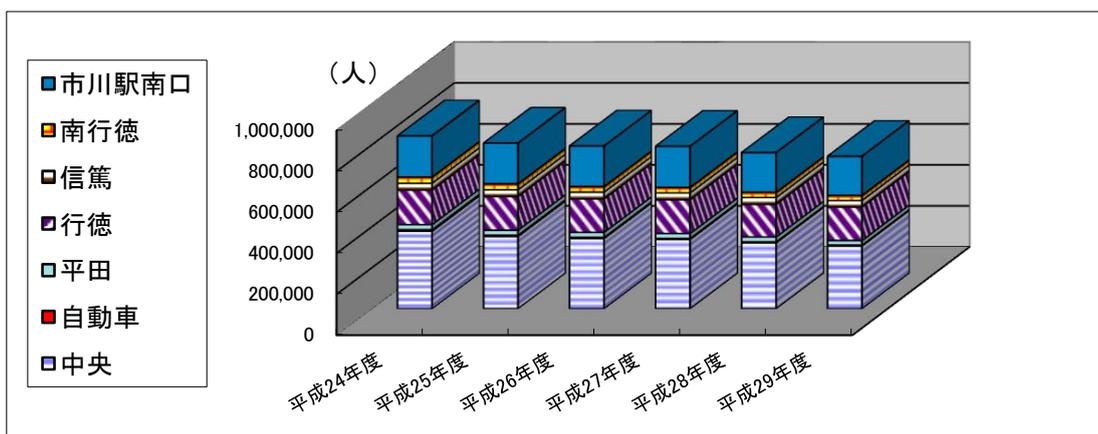
	隣接	在勤	在学	障害	計
船橋市	5,631	447	228	9	6,315
松戸市	928	151	110	3	1,192
鎌ヶ谷市	141	48	21	2	212
浦安市	124	31	14	0	169
江戸川区	241	0	0	0	241
計	7,065	677	373	14	8,129

(6) 延べ利用者数の推移

※平成13年度11月より受付(累計)

(単位：人)

年度	中央	自動車	平田	行徳	信篤	南行徳	市川駅南口	全館
平成24年度	378,081	7,434	25,040	168,605	33,299	30,566	200,824	843,849
平成25年度	352,590	6,565	24,326	164,681	32,705	28,984	198,485	808,336
平成26年度	342,579	5,898	24,390	163,570	32,779	27,363	197,889	794,468
平成27年度	338,107	5,421	23,666	165,257	33,164	26,957	200,357	792,929
平成28年度	321,266	5,074	23,931	159,743	32,850	25,720	193,545	762,129
平成29年度	306,234	4,333	22,131	163,595	32,079	24,902	190,805	744,079



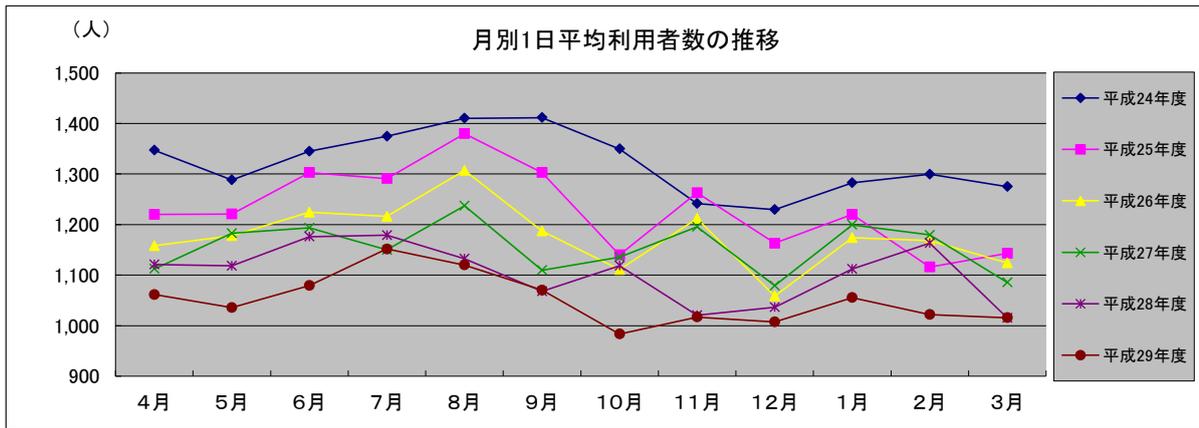
(7) 中央図書館月別利用者数・貸出点数の推移

※地域館では年間の開館日数が違うため、中央図書館のみの統計とした。

開館日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	蔵書点検 休館月
平成24年度	25	25	25	25	27	25	15	25	23	22	23	26	286	10月
平成25年度	24	26	25	25	27	24	26	21	18	22	23	25	286	11月
平成26年度	25	26	21	26	27	24	26	23	23	22	23	25	291	6月
平成27年度	25	26	21	26	26	25	26	22	24	23	23	26	293	6月
平成28年度	25	25	22	26	26	25	25	25	23	22	21	26	291	6月
平成29年度	25	25	22	25	27	25	25	25	23	22	22	25	291	6月

利用者数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成24年度	33,677	32,209	33,627	34,363	38,076	35,290	20,245	31,045	28,279	28,221	29,893	33,156	378,081	
平成25年度	1,347	1,288	1,345	1,375	1,410	1,412	1,350	1,242	1,230	1,283	1,300	1,275	1,322	96.8%
平成26年度	29,287	31,746	32,578	32,267	37,250	31,269	29,628	26,533	20,939	26,849	25,658	28,586	352,590	93.3%
平成27年度	1,220	1,221	1,303	1,291	1,380	1,303	1,140	1,263	1,163	1,220	1,116	1,143	1,212	97.2%
平成28年度	28,949	30,625	25,711	31,619	35,290	28,495	28,877	27,873	24,347	25,826	26,870	28,097	342,579	97.2%
平成29年度	1,158	1,178	1,224	1,216	1,307	1,187	1,111	1,212	1,059	1,174	1,168	1,124	1,177	98.7%
平成24年度	27,809	30,750	25,062	29,897	32,170	27,748	29,529	26,307	25,897	27,587	27,126	28,225	338,107	98.7%
平成25年度	1,112	1,183	1,193	1,150	1,237	1,110	1,136	1,196	1,079	1,199	1,179	1,086	1,154	95.0%
平成26年度	28,027	27,959	25,876	30,649	29,441	26,694	27,969	25,514	23,838	24,469	24,427	26,403	321,266	95.0%
平成27年度	1,121	1,118	1,176	1,179	1,132	1,068	1,119	1,021	1,036	1,112	1,163	1,016	1,104	95.0%
平成28年度	26,537	25,887	23,745	28,791	30,239	26,758	24,587	25,426	23,174	23,218	22,480	25,392	306,234	95.3%
平成29年度	1,061	1,035	1,079	1,152	1,120	1,070	983	1,017	1,008	1,055	1,022	1,016	1,052	95.3%

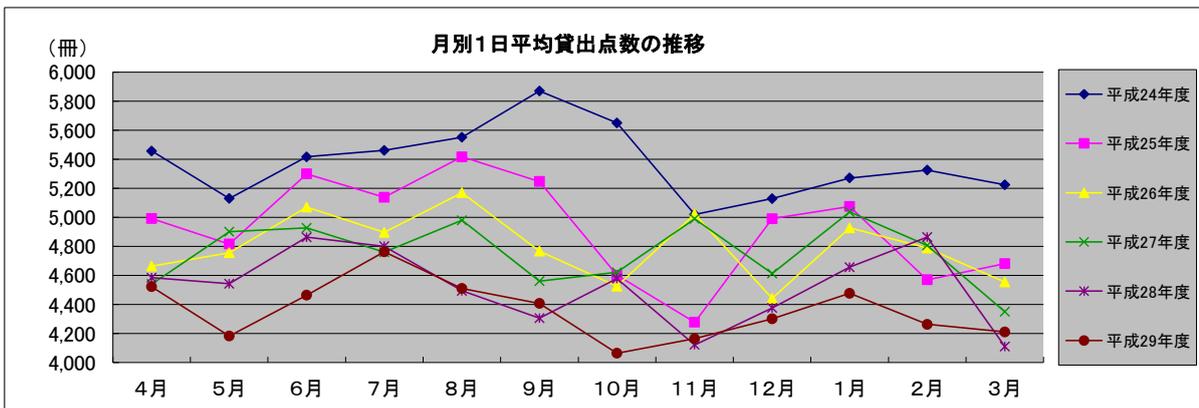
※下段は一日平均



(単位: 点)

貸出点数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年比
平成24年度	136,386	128,240	135,398	136,516	149,864	146,746	84,736	125,490	117,952	115,950	122,484	135,826	1,535,588	
平成25年度	5,455	5,130	5,416	5,461	5,551	5,870	5,649	5,020	5,128	5,270	5,325	5,224	5,369	93.0%
平成26年度	119,777	125,219	132,474	128,436	146,224	125,891	119,620	110,817	89,816	111,623	105,111	117,023	1,432,031	93.3%
平成27年度	4,991	4,816	5,299	5,137	5,416	5,246	4,601	4,277	4,990	5,074	4,570	4,681	4,921	93.3%
平成28年度	116,592	123,659	106,468	127,292	139,561	114,386	117,668	115,496	102,147	108,374	110,138	113,852	1,395,633	97.5%
平成29年度	4,664	4,756	5,070	4,896	5,169	4,766	4,526	5,022	4,441	4,926	4,789	4,554	4,796	97.5%
平成24年度	113,510	127,413	103,456	123,745	129,458	114,015	120,151	109,763	110,726	115,836	110,551	113,100	1,391,724	99.7%
平成25年度	4,540	4,901	4,926	4,759	4,979	4,561	4,621	4,989	4,614	5,036	4,807	4,350	4,750	99.7%
平成26年度	114,594	113,561	106,974	124,802	116,832	107,626	114,446	103,047	100,657	102,446	102,128	106,859	1,313,972	94.4%
平成27年度	4,584	4,542	4,862	4,800	4,494	4,305	4,578	4,122	4,376	4,657	4,863	4,110	4,515	94.4%
平成28年度	113,037	104,555	98,213	119,063	121,767	110,181	101,598	104,109	98,932	98,475	93,778	105,258	1,268,966	96.6%
平成29年度	4,521	4,182	4,464	4,763	4,510	4,407	4,064	4,164	4,301	4,476	4,263	4,210	4,361	96.6%

※下段は一日平均



(8) 受入・除籍冊数 (平成29年度)

一般書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	239	9	387	-5	-144	1	0	0	0	1	16	0	43	-3	-30	87	7	11	-2	81
1哲学	547	37	919	110	-225	6	0	4	0	2	40	8	25	-8	15	185	25	71	14	153
2歴史	635	10	306	62	401	37	2	7	0	32	154	8	194	1	-31	606	19	363	20	282
3社会科学	1,347	44	1,967	208	-368	13	3	2	1	15	100	9	200	-40	-131	682	64	122	18	642
4自然科学	767	6	278	33	528	24	1	1	0	24	107	4	93	-1	17	327	26	49	3	307
5技術	444	21	114	74	425	92	1	19	0	74	222	6	282	2	-52	490	28	84	10	444
6産業	290	5	891	72	-524	8	0	2	0	6	37	2	38	2	3	184	9	24	2	171
7芸術	659	68	182	39	584	15	0	4	0	11	71	6	75	-2	0	285	61	47	9	308
8言語	234	9	431	21	-167	1	0	1	0	0	26	1	34	0	-7	66	10	19	1	58
9文学	286	55	497	181	25	256	48	22	43	325	456	11	666	9	-190	1,065	75	558	667	1,249
郷土行政	266	993	261	282	1,280	0	0	0	0	0	3	25	69	-84	-125	7	142	9	7	147
参考資料	498	30	202	62	388	0	0	0	0	0	4	0	1	-5	-2	66	7	15	17	75
外国語資料	193	79	106	3	169	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	33	200	91	-73
郷い資料	127	117	143	0	101	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	7	0	2
ポピュラー	10,637	612	9,526	928	2,651	0	0	0	0	0	248	62	250	10	70	1,502	559	1,356	-306	399
一般計	17,169	2,095	16,210	2,070	5,124	453	55	62	44	490	1,484	142	1,970	-119	-463	5,564	1,065	2,935	551	4,245

中央 ポピュラー内訳	Aヤング				B文庫				V新書										
	599	87	1,757	92	-979	2,825	293	1,190	218	2,146	345	2	432	166	81				
X日本文学	W平和				H養らし				D趣味										
1,872	130	842	85	1,245	67	4	27	6	50	1,492	28	1,499	123	144	802	20	277	1	546

児童書	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	23	1	4	-6	14	0	0	1	0	-1	3	2	5	-2	-2	15	2	1	-1	15
1哲学	28	4	10	1	23	2	0	0	0	2	4	0	0	2	6	8	2	2	-1	7
2歴史	68	42	90	86	106	0	0	0	0	0	2	1	16	0	-13	52	0	9	0	43
3社会科学	97	9	39	8	75	11	0	0	0	11	5	1	9	2	-1	54	3	6	-5	46
4自然科学	194	25	402	19	-164	15	0	0	-1	14	19	4	13	12	22	100	3	28	-1	74
5技術	93	12	355	-1	-251	23	0	1	1	23	17	3	28	7	-1	85	3	25	2	65
6産業	34	4	31	0	7	7	0	0	0	7	2	5	9	3	1	25	4	2	0	27
7芸術	123	9	359	18	-209	22	0	2	0	20	19	2	27	3	-3	72	11	25	5	63
8言語	23	6	28	2	3	0	0	0	0	0	1	1	11	-1	-10	45	3	5	1	44
9文学	559	188	2,454	68	-1,639	97	4	7	2	96	111	15	155	5	-24	225	66	63	-21	207
E絵本	1,707	174	3,402	46	-1,475	77	3	20	-4	56	191	21	132	-19	61	739	76	365	15	465
F紙芝居	56	10	4	0	62	0	0	1	0	-1	0	0	0	0	0	13	2	1	0	14
児童郷土	7	10	0	1	18	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	2	4	4
児童参考	17	0	3	-5	9	0	0	0	0	0	1	0	0	-1	0	5	0	6	5	4
児童研究	47	7	8	12	58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0	2	2	13
児童計	3,076	501	7,189	249	-3,363	254	7	32	-2	227	375	56	406	11	36	1,452	176	542	5	1,091

図書計	20,245	2,596	23,399	2,319	1,761	707	62	94	42	717	1,859	198	2,376	-108	-427	7,016	1,241	3,477	556	5,336
-----	--------	-------	--------	-------	-------	-----	----	----	----	-----	-------	-----	-------	------	------	-------	-------	-------	-----	-------

図書以外	中央					自動車					平田					行徳				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	4,596	333	4,062	194	1,061	0	0	0	0	0	529	0	581	-4	-56	1,722	18	2,143	12	-391
ビデオ	0	0	176	9	-167	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1
DVD	45	6	29	18	40	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0	1	11	42
CD	35	7	2,437	88	-2,307	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	40	60	25	-1	74
その他付随物	95	8	248	4	-141	0	0	0	0	0	0	0	1	0	-1	20	3	14	0	9
図書以外計	4,771	354	6,952	313	-1,514	0	0	0	0	0	529	0	582	-4	-57	1,814	81	2,184	22	-267

総計	25,016	2,950	30,351	2,632	247	707	62	94	42	717	2,388	198	2,958	-112	-484	8,830	1,322	5,661	578	5,069
----	--------	-------	--------	-------	-----	-----	----	----	----	-----	-------	-----	-------	------	------	-------	-------	-------	-----	-------

(単位:冊)

一般書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	14	5	44	2	-23	18	10	67	-27	-66	9	1	14	1	-3	384	32	566	-34	-184
1哲学	41	57	113	-10	-25	46	21	70	-104	-107	34	0	68	0	-34	899	148	1,270	2	-221
2歴史	143	24	62	1	106	135	8	333	-71	-261	229	0	296	-11	-78	1,939	71	1,561	2	451
3社会科学	81	84	60	4	109	139	20	129	-57	-27	101	0	95	-19	-13	2,463	224	2,575	115	227
4自然科学	89	35	77	-1	46	91	9	98	-29	-27	63	3	43	-27	-4	1,468	84	639	-22	891
5技術	144	53	231	1	-33	168	9	318	-64	-205	243	0	181	-208	-146	1,803	118	1,229	-185	507
6産業	39	12	5	1	47	41	6	81	-42	-76	47	0	9	-59	-21	646	34	1,050	-24	-394
7芸術	82	24	17	-3	86	60	12	142	-77	-147	84	0	45	-1	38	1,256	171	512	-35	880
8言語	15	11	2	0	24	12	5	73	-12	-68	28	0	34	0	-6	382	36	594	10	-166
9文学	477	89	1,245	-27	-706	467	38	970	-139	-604	449	3	573	-152	-273	3,456	319	4,531	582	-174
郷土行政	6	46	31	-24	-3	4	40	15	-71	-42	7	34	0	-4	37	293	1,280	385	106	1,294
参考資料	9	0	2	-5	2	13	1	10	-29	-25	10	1	1	-14	-4	600	39	231	26	434
外国語資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	196	112	306	94	96
障がい者資料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	136	117	150	0	103
ポピュラー	434	817	1,246	-51	-46	249	288	458	74	153	2,745	21	2,092	-561	113	15,815	2,359	14,928	94	3,340
一般計	1,574	1,257	3,135	-112	-416	1,443	467	2,764	-648	-1,502	4,049	63	3,451	-1,055	-394	31,736	5,144	30,527	731	7,084

M外国文学					N環境				Jビジネス					
272	3	39	12	248	53	1	21	6	39	1,162	29	2,351	156	-1,004
Sスポーツ					G旅行				W1ウ行政					
262	5	138	0	129	886	10	953	63	6	0	0	0	0	0

(単位:冊)

児童書	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
0総記	3	0	35	1	-31	1	1	4	1	-1	8	1	9	0	0	53	7	59	-7	-6
1哲学	5	3	3	-2	3	4	0	3	0	1	1	0	4	0	-3	52	9	22	0	39
2歴史	5	1	52	-6	-52	35	2	15	-68	-46	4	1	11	0	-6	166	47	193	12	32
3社会科学	2	3	33	0	-28	15	4	63	-4	-48	7	2	22	2	-11	191	22	172	3	44
4自然科学	16	5	141	-1	-121	19	5	63	0	-39	26	4	21	2	11	389	46	668	30	-203
5技術	13	4	14	0	3	10	4	35	0	-21	21	5	28	0	-2	262	31	486	9	-184
6産業	5	3	6	0	2	5	4	43	0	-34	7	4	2	0	9	85	24	93	3	19
7芸術	35	1	23	1	14	10	8	51	-15	-48	22	1	26	0	-3	303	32	513	12	-166
8言語	1	2	3	0	0	6	1	37	0	-30	2	1	0	0	3	78	14	84	2	10
9文学	101	107	220	-15	-27	104	57	294	-39	-172	68	5	80	0	-7	1,265	442	3,273	0	-1,566
E絵本	246	71	234	-20	63	195	60	503	-42	-290	269	3	283	-1	-12	3,424	408	4,939	-25	-1,132
P紙芝居	10	0	0	0	10	0	0	80	0	-80	12	0	2	0	10	91	12	88	0	15
児童郷土	0	1	0	-2	-1	0	1	0	4	5	0	0	0	0	0	8	14	3	7	26
児童参考	1	0	0	0	1	4	0	22	-3	-21	4	0	4	-4	-4	32	0	35	-8	-11
児童研究	0	0	3	-5	-8	1	4	0	0	5	0	0	0	0	0	61	11	13	9	68
児童計	443	201	767	-49	-172	409	151	1,213	-166	-819	451	27	492	-1	-15	6,460	1,119	10,641	47	-3,015

図書計	2,017	1,458	3,902	-161	-588	1,852	618	3,977	-814	-2,321	4,500	90	3,943	-1,056	-409	38,196	6,263	41,168	778	4,069
-----	-------	-------	-------	------	------	-------	-----	-------	------	--------	-------	----	-------	--------	------	--------	-------	--------	-----	-------

(単位:点)

図書以外	信篤					南行徳					市川駅南口					全館				
	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減	購入	寄贈他	除籍	保転等	増減
雑誌	571	0	595	-1	-25	627	0	1,249	-28	-650	674	19	545	-167	-19	8,719	370	9,175	6	-80
ビデオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	177	9	-168
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	47	4	11	-26	14	124	10	41	3	96
CD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	67	2,462	87	-2,233
その他付録等	0	1	0	0	1	0	0	6	-1	-7	4	0	3	-1	0	119	12	272	2	-139
図書以外計	571	1	595	-1	-24	627	0	1,255	-29	-657	725	23	559	-194	-5	9,037	459	12,127	107	-2,524

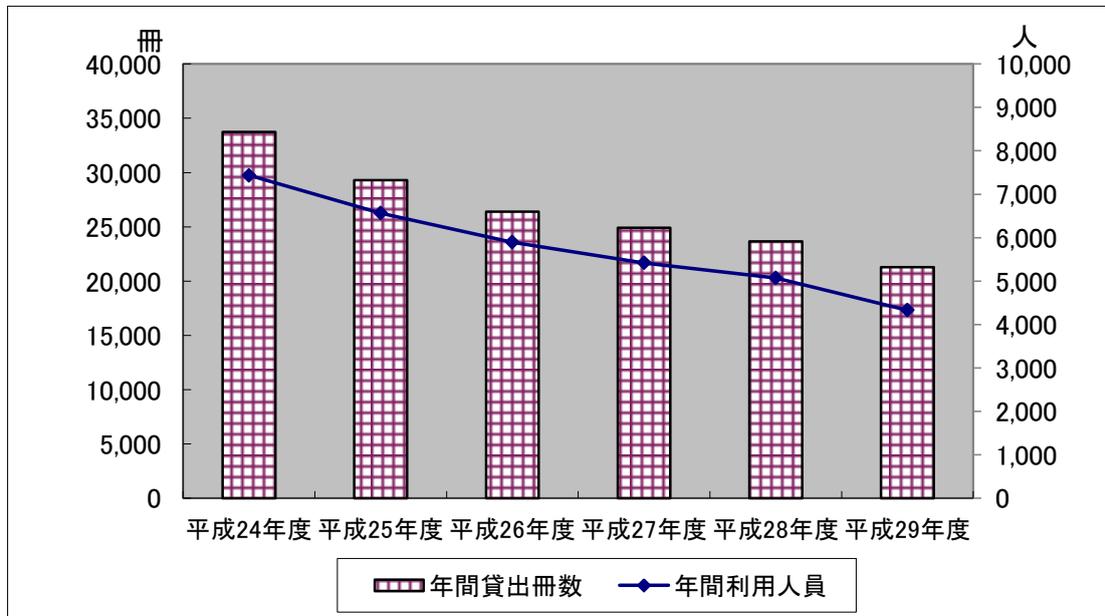
総計	2,588	1,459	4,497	-162	-612	2,479	618	5,232	-843	-2,978	5,225	113	4,502	-1,250	-414	47,233	6,722	53,295	885	1,545
----	-------	-------	-------	------	------	-------	-----	-------	------	--------	-------	-----	-------	--------	------	--------	-------	--------	-----	-------

(9) 自動車図書館ステーション別統計 (平成29年度)

	ステーション名	巡回数	貸出冊数		利用人員			
			一日平均	前年度比(%)	一日平均	前年度比(%)		
1	市営大町第1団地	22	682	31.0	86.9	148	6.7	84.1
2	市営大町第2団地	23	691	30.0	74.6	173	7.5	83.6
3	養護老人ホームいこい荘	21	330	15.7	64.5	110	5.2	72.8
4	柏井小学校	19	1,827	96.2	94.3	578	30.4	82.7
5	大野小学校	23	534	23.2	70.3	122	5.3	60.4
6	宮久保小学校	23	2,315	100.7	140.0	361	15.7	164.1
7	若宮児童公園	20	420	21.0	73.9	93	4.7	67.9
8	北国分2丁目公園	21	1,774	84.5	121.5	305	14.5	110.5
9	堀之内公園	44	3,623	82.3	68.0	716	16.3	64.0
10	歴史博物館	21	561	26.7	75.2	95	4.5	77.2
11	国府台児童公園	23	701	30.5	83.5	136	5.9	72.7
12	山王公園	23	732	31.8	108.4	115	5.0	102.7
13	石橋下公園	21	1,557	74.1	98.4	279	13.3	90.3
14	菅野小学校	21	863	41.1	83.9	164	7.8	87.7
15	榎クボタ菅野ハイツ	21	1,807	86.0	111.0	270	12.9	98.9
16	塩浜体育館	44	2,019	45.9	98.5	436	9.9	103.8
17	島尻西公園	23	441	19.2	47.7	102	4.4	56.7
	ステーション外利用※	-	408	-	165.2	130	-	134.0
	合計	413	21,285	51.5	90.0	4,333	10.5	85.4

※ いちかわ環境・防災フェアにおける自動車図書館展示での利用等

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
年間巡回日数	156	155	155	155	149	153
年間巡回ステーション数	429	420	426	409	390	413
年間貸出冊数	33,747	29,291	26,386	24,912	23,652	21,285
一日平均	216.3	189.0	170.2	160.7	158.7	139.1
一ステーション平均	78.7	69.7	61.9	60.9	60.6	51.5
年間利用人員	7,434	6,565	5,898	5,421	5,074	4,333
一日平均	47.7	42.4	38.1	35.0	34.1	28.3
一ステーション平均	17.3	15.6	13.8	13.3	13.0	10.5



(10) 市川市の図書館サービス指標

		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	貸出点数	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>
	人口	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214
人口1人当たりの貸出点数(点)		6.81	6.43	6.29	6.2	5.89	5.81
	登録者数	<u>150,463</u>	<u>136,569</u>	<u>130,171</u>	<u>124,353</u>	<u>117,210</u>	<u>111,504</u>
	人口	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214
登録率(単位:%)		32.1	32.1	27.4453869	25.7	24.0	22.7
	貸出点数	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>
	登録者数	150,463	136,569	130,171	124,353	117,210	111,504
実質貸出密度(点)		21.2	22.2	22.92	24.12	24.5	25.6
	貸出点数	<u>3,190,633</u>	<u>3,024,572</u>	<u>2,983,506</u>	<u>2,999,604</u>	<u>2,873,532</u>	<u>2,855,071</u>
	資料点数	1,152,412	1,169,458	1,187,137	1,196,227	1,206,905	1,208,450
蔵書回転率(単位:回)		2.8	2.6	2.5	2.5	2.4	2.4
	年間購入点数	<u>58,285</u>	<u>55,061</u>	<u>54,608</u>	<u>53,353</u>	<u>49,534</u>	<u>47,233</u>
	人口	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214
人口1人当たりの年間購入点数(点)		0.12	0.12	0.12	0.11	0.10	0.10
	資料点数	<u>1,152,412</u>	<u>1,169,458</u>	<u>1,187,137</u>	<u>1,196,227</u>	<u>1,206,905</u>	<u>1,208,450</u>
	人口	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214
人口1人当たりの資料点数(点)		2.46	2.49	2.5	2.47	2.47	2.46
	資料購入費:A	<u>102,657,936</u>	<u>91,387,452</u>	<u>90,705,502</u>	<u>88,854,101</u>	<u>88,170,496</u>	<u>82,891,298</u>
	人口	468,318	470,236	474,291	483,749	487,991	491,214
人口1人当たりの資料費(円)		219	194	191	184	181	169
	資料購入費:B	<u>99,671,548</u>	<u>88,425,661</u>	<u>87,556,430</u>	<u>85,688,011</u>	<u>84,975,860</u>	<u>79,691,130</u>
	÷購入点数	58,285	55,061	54,608	53,353	49,534	47,233
	×貸出点数	3,190,633	3,024,572	2,983,506	2,999,604	2,873,532	2,855,071
	－総経費	1,034,271,710	763,320,301	755,932,691	767,807,631	753,499,706	714,449,345
行政効果(単位:円)		<u>4,421,940,527</u>	<u>4,094,015,714</u>	<u>4,027,709,527</u>	<u>4,049,730,287</u>	<u>4,176,060,857</u>	<u>4,102,603,017</u>
	総経費	<u>1,034,271,710</u>	<u>763,320,301</u>	<u>755,932,691</u>	<u>767,807,631</u>	<u>753,499,706</u>	<u>714,449,345</u>
	貸出点数	3,190,633	3,024,572	2,978,271	2,997,695	2,873,532	2,855,071
貸出コスト(単位:円)		324.2	252.4	253.8	256.1	262.2	250.2

※資料購入費:Bは、資料購入費:Aより新聞費を除いたもの。

※資料点数・貸出点数・購入点数はAV・雑誌を含む。

※総経費は、図書館費と人件費(職員)を足したもの。

※登録者数は、有効登録者数(有効期限3年内の登録者)とした。

(11) 千葉県の公共図書館サービス指標 (平成29年度)

項目	個人貸出登録率	人口1人あたり			人口1,000人あたり年間受入冊数				
		個人貸出冊数	蔵書冊数	図書費(29年度決算)					
市町村平均	32.1%	5.18冊	3.15冊	159円	111.0冊				
市町村合計	1,928,959人	31,118,647冊	18,934,745冊	954,766千円	666,208冊				
多古	31.5	酒々井	4.70	鴨川	3.00	我孫子	155	八街	104.0
酒々井	* 31.0	柏	4.69	四街道	2.86	八街	146	南房総	103.5
船橋	* 30.9	松戸	4.65	八千代	2.83	市川	145	茂原	97.1
松戸	* 30.8	富里	4.45	鎌ヶ谷	2.76	多古	141	館山	93.4
旭	30.4	東金	4.37	木更津	2.66	松戸	134	香取	90.9
鴨川	29.9	船橋	4.16	流山	2.61	流山	134	市川	90.5
野田	29.7	八街	4.11	茂原	2.61	東金	132	八千代	90.1
印西	* 29.4	千葉	3.89	東金	2.56	鎌ヶ谷	128	流山	87.9
富里	29.1	四街道	3.80	船橋	2.48	八千代	124	木更津	86.4
東金	27.9	鎌ヶ谷	3.44	銚子	2.46	柏	120	鎌ヶ谷	86.3
南房総	* 27.7	茂原	3.16	千葉	2.31	銚子	117	松戸	84.5
流山	27.0	木更津	3.02	市川	2.29	市原	111	柏	82.8
浦安	* 26.3	館山	2.99	勝浦	2.28	旭	111	東金	82.3
千葉	* 25.6	大多喜	2.99	習志野	2.18	館山	111	市原	82.0
東庄	25	鴨川	2.88	柏	2.18	勝浦	103	東庄	81.4
市川	22.4	香取	2.80	多古	2.09	木更津	96	銚子	75.4
茂原	19.3	南房総	2.60	香取	1.97	茂原	91	旭	75.2
柏	* 18.8	多古	2.43	東庄	1.78	香取	88	勝浦	72.5
勝浦	18.8	銚子	2.09	旭	1.65	東庄	88	千葉	47.8
館山	* 16.4	勝浦	1.56	松戸	1.21	大多喜	80		
		旭	1.55			千葉	59		
		東庄	1.04						

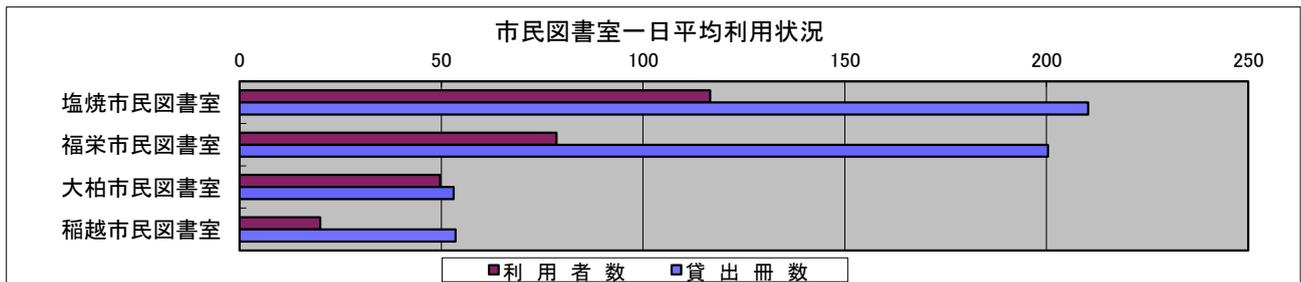
- (注) 1 複数館ある市町村は、一つにまとめた
 2 人口の数は、千葉県毎月常住人口調査月報より(平成30年4月1日現在)
 3 市町村平均・市町村合計欄の数は、39市町村の平均・合計である
 4 図書費には臨時的経費のうち図書費を含む
 5 個人貸出登録率は累計で自治体内数か自治体外数を含めるかは自治体による (*印は、自治体内数)
 6 個人貸出冊数には、近隣自治体住民に対する貸出冊数が含まれる自治体がある

(12) 関連施設統計 (平成29年度)

①市民図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均			一日平均				
塩焼市民図書館	148	17,263	116.6	148	31,124	210.3	733	1,802	21,023
稲越市民図書館	147	2,938	20.0	147	7,865	53.5	531	471	15,985
福栄市民図書館	147	11,548	78.6	147	29,448	200.3	496	391	18,562
大柏市民図書館	146	7,259	49.7	146	7,744	53.0	245	670	17,836
計	588	39,008	66.3	588	76,181	129.6	2,005	3,334	73,406

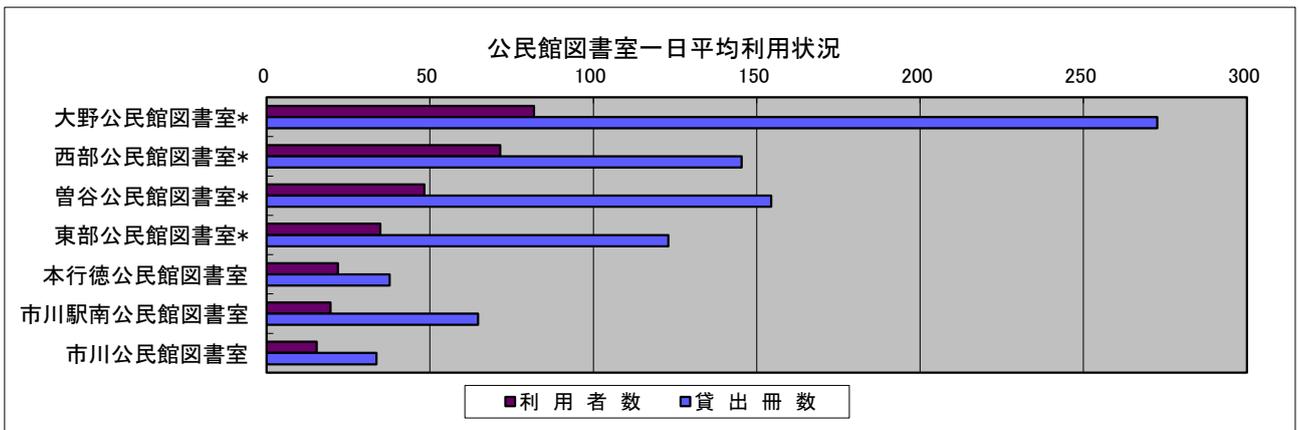
※貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



②公民館図書館

	開室 日数	利用者数		貸出 日数	貸出冊数		受入 冊数	除籍 冊数	蔵書冊数
		一日平均			一日平均				
大野公民館図書館*	278	22,743	81.8	278	75,766	272.5	3,492	180	15,897
西部公民館図書館*	280	20,031	71.5	244	35,474	145.4	475	476	15,881
曾谷公民館図書館*	297	14,345	48.3	123	18,996	154.4	525	771	16,799
東部公民館図書館*	294	10,235	34.8	122	15,005	123.0	572	2,000	13,147
市川公民館図書館	293	4,481	15.3	96	3,233	33.7	2,155	0	6,952
市川駅南公民館図書館	249	4,875	19.6	80	5,176	64.7	197	7,370	6,995
本行徳公民館図書館	150	3,271	21.8	150	5,650	37.7	186	0	17,552
計	1,841	79,981	43.4	1,093	159,300	145.7	7,602	10,797	93,223

※ *印の施設の貸出冊数は各施設の蔵書利用と図書館資料利用の合算



③返却ポスト

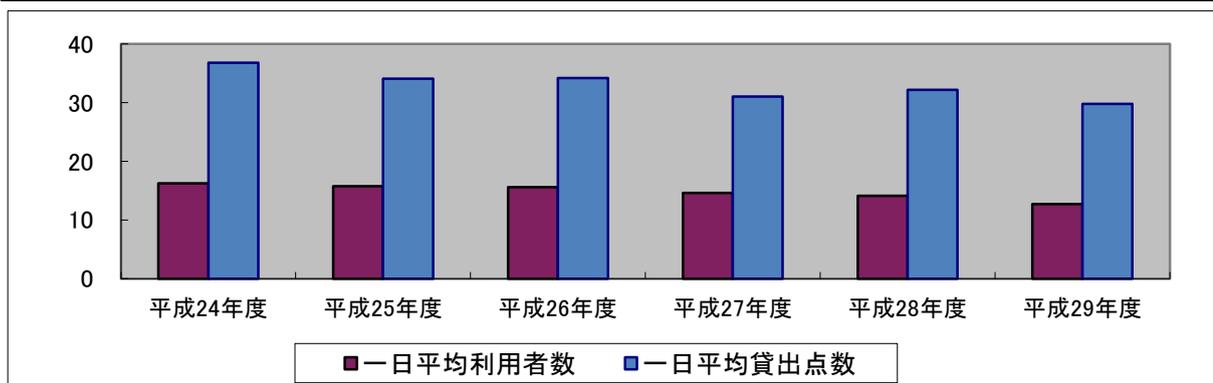
(上記のうち、市民図書館・公民館図書館での図書館資料の利用統計)

	利用者数	貸出	返却	予約
塩焼市民図書館	1,442	3,117	4,177	2,647
稲越市民図書館	535	2,072	2,312	967
福栄市民図書館	2,013	5,638	6,116	4,158
大柏市民図書館	679	1,512	2,256	1,377
市民図書館小計	4,669	12,339	14,861	9,149
大野公民館図書館	22,743	75,766	89,149	18,599
西部公民館図書館	4,229	10,266	13,489	8,894
曾谷公民館図書館	2,207	5,578	9,643	5,271
東部公民館図書館	1,237	2,626	7,970	2,212
公民館図書館小計	30,416	94,236	120,251	34,976
合計	35,085	106,575	135,112	44,125

設置場所	受付件数	構成比
情報プラザ	42,166	19.75%
八幡市民談話室	19,310	9.05%
市川公民館	11,335	5.31%
千葉商大	2,121	0.99%
歴史博物館	1,214	0.57%
ベルクス堀之内	14,909	6.98%
中山連絡所	3,955	1.85%
大柏出張所	5,694	2.67%
市役所	3,895	1.82%
イオン妙典	70,537	33.05%
南行徳市民センター	35,154	16.47%
塩浜体育館	3,166	1.48%
合計	213,456	100%

④男女共同参画センター情報資料室

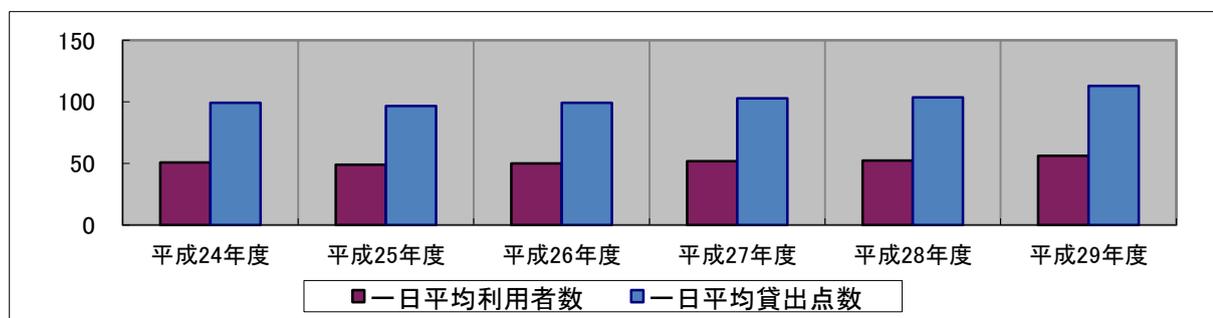
	開館日数	利用者数		貸出点数		受入冊数	除籍冊数	蔵書冊数
		一日平均	一日平均					
平成24年度	265	4,316	16.3	9,748	36.8	291	488	16,084
平成25年度	268	4,228	15.8	9,135	34.1	290	577	15,797
平成26年度	271	4,236	15.6	9,269	34.2	244	85	15,956
平成27年度	268	3,917	14.6	8,320	31.0	282	92	16,146
平成28年度	270	3,816	14.1	8,687	32.2	229	26	16,349
平成29年度	267	3,406	12.8	7,947	29.8	239	737	15,851



⑤情報プラザ

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
平成24年度	284	14,428	50.8	28,190	99.3
平成25年度	283	13,853	49.0	27,355	96.7
平成26年度	285	14,224	49.9	28,319	99.4
平成27年度	286	14,814	51.8	29,423	102.9
平成28年度	284	14,878	52.4	29,446	103.7
平成29年度	284	15,965	56.2	32,062	112.9

※平成15年7月より市立図書館資料の貸出サービス開始



⑥千葉商科大学付属図書館(市立図書館所蔵資料の貸出数)

	開館日数	利用者数		貸出点数	
		一日平均	一日平均		
平成24年度	253	367	1.5	1,015	4.0
平成25年度	251	328	1.3	862	3.4
平成26年度	255	350	1.4	860	3.4
平成27年度	254	362	1.4	942	3.7
平成28年度	255	389	1.5	1,089	4.3
平成29年度	260	313	1.2	893	3.4

※平成17年10月より市立図書館資料の貸出サービス開始

⑦宅配

	利用者数	貸出点数
平成24年度	休止	
平成25年度	17	106
平成26年度	15	130
平成27年度	4	20
平成28年度	22	122
平成29年度	20	128

※平成18年10月より宅配サービス開始

※一時休止後、平成25年7月より再開

10. 平成29年度事業概要

概況

・イベントや連携企画等の拡充と情報発信

本の福袋や「ぬいぐるみたんけんおとまり会」等の好評イベントを継続・発展させるとともに、絵本作家の田島征三氏の講演会（4月9日）と関連原画展（4月1日～27日）、百田稔作品展（9月～10月）、和洋女子大学（施設見学会：8月3日）や企画課（婚活支援事業の一環：2月11日）との連携によるバックヤードツアー、金井宇宙飛行士（稲荷木小出身）の宇宙長期滞在に合わせた宇宙に関する特集展示（9月～10月）など、地域や行政と連携した企画展示・イベントの開催等を行った。また市民まつり（大洲防災公園：11月3日）には、図書館のブースを出展し、各種PR活動も展開した。

・自動車図書館による図書館PR活動

自動車図書館を、通常の巡回コースでの活動とは別に、環境防災フェスタ（現代産業科学館、6月4日）に合わせてメディアパーク前に配置し、図書館のPRや新規登録受付などを行った。

・中央図書館の蔵書へのIC貼付開始

蔵書管理効率化事業の一環として、既に蔵書管理のIC化がされている市川駅南口図書館、28年度に完了している行徳図書館に続き、中央図書館の蔵書管理IC化の作業に平成29年度から着手した。中央図書館の全蔵書を対象にICタグを貼付していく計画を当初の3年から2年に短縮した。初年度の平成29年度中にIC貼付をした蔵書は約40万冊に達した。

・3つのワーキンググループの設置

平成30年度に予定している図書館電算システムの更新、平成31年度に計画しているIC機器の導入、及びその後の図書館のあり方、それぞれについて検討・準備を進めるため、3つのワーキンググループを図書館内に設置し、活動を開始した（11月）。

・大野公民館図書室蔵書バーコード化後の充実

平成28年度に蔵書管理のバーコード化を行った大野公民館図書室において、引き続き蔵書の充実を図った。平成29年度末には蔵書冊数が15,000冊を超え、バーコード化作業前の蔵書数約12,000冊を大きく上回る規模となった。

（1）資料収集と利用状況

①図書館の利用状況

平成29年度の図書館及び図書館関連施設（市民図書室・公民館図書室・情報プラザ・ウィズ・千葉商科大学附属図書館・宅配）の貸出点数は、2,855,071点、延べ利用者数は798,868人であった。

図書館及び図書館関連施設の図書・雑誌・視聴覚資料のリクエスト総数は506,913件であった。

②資料収集

平成29年度の全館の図書費（装備費を含む）は、7,256万円であった。中央図書館、行徳図書館、市川駅南口図書館で、前年度より減少している。（平成30年度予算はp.30に掲載）

全館のICによる蔵書管理に向けて、29年度から中央図書館でもICタグの貼付を始めた。ICタグ貼付にあたり、既存資料については、適正で有効な資料群を構成しておく必要があるため、書庫の資料の見直しを行った。

中央図書館では蔵書構成検討委員会を設置し、年度ごとの収集計画の立案、選定会議の運営、逐次刊行物の選定等を協議している。資料の収集については、「市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針」に基づき「市川市図書館分野別資料収集基準」、年度ごとの「資料収集計画」という体系のもとで行っている。また、書架の棚揃えを管理する書架担当制度を設け、各担当で積極的に既刊本の買い替えや不足分野の補充などを行った。

選定会議はリクエスト選定会議と新刊図書の選書会議をそれぞれ毎週開催し、未所蔵のリクエスト資料の選定と、中央図書館、市川駅南口図書館の購入資料の選定及び全館分の最終的な選書確認を行っている。

(2) リクエストサービス

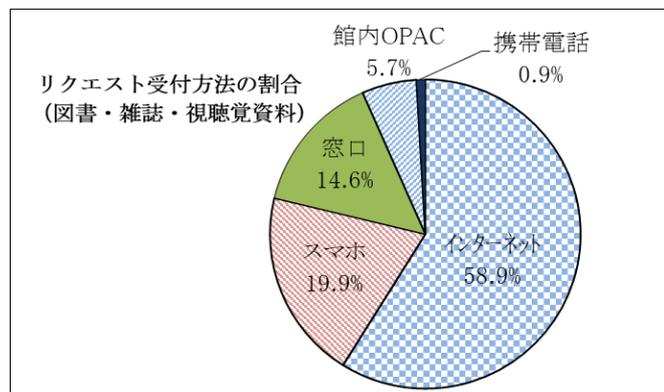
①リクエストサービス

平成29年度図書・雑誌のリクエスト件数は、平成28年度より0.3%増加し、関連施設を含めた総計では0.7%増加した。視聴覚資料のリクエスト件数は12.9%減少した。図書・雑誌のリクエスト件数はここ数年多少の増減はあるものの、大きな変化はないが、視聴覚資料のリクエストは年々減少傾向にあり、28年度、29年度で10%以上減少している。

予約方法別に見ると、平成28年3月に開始した「スマートフォン対応Web-OPACサービス」を利用した予約が、前年度よりも27,000件以上増加している。インターネットを利用した予約の件数は全体の約58.9%を占めているが、館内OPAC・携帯電話による予約の件数とともに減少傾向にある。(リクエストに関する統計は、p.40「9.平成29年度統計(4)リクエスト統計」を参照)

平成29年度リクエスト受付方法別総数
(図書・雑誌・視聴覚資料)

受付方法	件数	
窓口	74,134	
インターネット	298,517	432,779
スマートフォン	100,697	
館内OPAC	28,925	
携帯電話	4,640	
合計	506,913	



②国・県・市町村図書館との相互協力

平成29年度の、市川市から県内各図書館への貸出冊数は4,190冊で、前年度より増加した。県外の図書館への貸出冊数は21冊であった。市外からの借用のうち、県立及び県内各市町村図書館からの借用冊数は5,795冊で、県外からの借用冊数は33冊であった。

リクエスト全体の件数が若干増加している中で、相互協力は昨年度より約1割減となっているが、リクエストの中で既に市内で所蔵しているものへのリクエストに対し、未所蔵リクエストの数は減少しているためと推測される。

県内他自治体への貸出冊数内訳

	平成28年度	平成29年度
千葉県立	195	211
千葉県市町村立	3,543	3,970
その他	34	9
合計	3,772	4,190

借受け先別の借用冊数

	平成28年度	平成29年度
国立国会	4	7
千葉県立	1,486	1,233
千葉県市町村立	5,013	4,562
その他	42	52
合計	6,545	5,854

借用冊数館別内訳

	平成28年度	平成29年度
中央	2,471	2,065
自動車	16	21
平田	290	267
行徳	1,656	1,497
信篤	424	430
南行徳	183	241
市川駅南口	1,505	1,333
合計	6,545	5,854

(3) レファレンスサービス

平成29年度は、67,636件の質問が寄せられた。

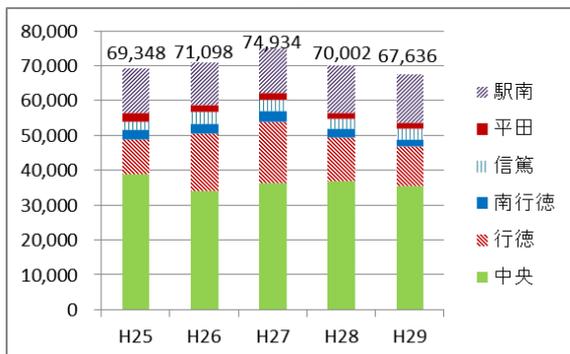
カウンターだけでなく電話やメールも含めて、利用者から受けた質問及びその調査過程・回答は「レファレンス記録票」に記録している。この記録票を基に、実際のレファレンス回答の情報を「新・参考業務月報」として記録・発行し、「レファレンス事例集」としてホームページ上に掲載するとともに、同じ事例データを、国立国会図書館のレファレンス協同データベースにも提供している。市川市立図書館からのレファレンス事例提供数が多かったことから、国立国会図書館より市川市中央図書館へ9度目の礼状が贈られた。さらに1年分をまとめて『新・参考業務年報』として市役所内部はじめ関係部署へ配布している。

また、「パスファインダー」の作成を継続し、29年度には8点の新規パスファインダーを作成・配布した。

中央図書館と市川駅南口図書館では、レファレンスの用に供するため、12種類の民間データベースを導入している。(p.27参照)平成26年度から開始した国立国会図書館デジタル化資料の公衆送信サービスも年々利用が増えている。地域館のレファレンスについては中央図書館がバックアップするなどし、小規模館においても、様々な市民の資料相談に応えられる体制を整えている。

平成29年度レファレンス受付館別件数

中央図書館	35,679	信篤図書館	3,137
行徳図書館	11,167	平田図書室	1,708
南行徳図書館	2,153	市川駅南口図書館	13,792
		合計	67,636



(4) 類縁機関との連携

① 「学校図書館支援センター事業」に参加

公共図書館と学校図書館、また学校図書館相互が連携し図書資料や情報を流通させることにより、各図書館の所蔵資料を広く有効に活用し、学校での「調べ学習」、読書等の諸活動を活発に展開させ、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける児童・生徒の育成をめざしている。

ア. 平成29年度参加校数

小学校	38	中学校	15
義務教育学校	1	幼稚園	6
特別支援学校	1		

イ. ネットワーク用資料の整備

複数の学校からの要望にも対応するため、中央図書館や市内図書館所蔵の資料を提供するほかにネットワーク専用資料10,802冊(平成30年3月末現在)を中央図書館で管理している。平成29年度は専用図書費として8万円を配分し、52冊を購入した。

ウ. 資料提供

参加校(園)の教職員からの依頼により、各校の学校司書(常勤)・学校図書館員(非常勤)が取りまとめ、公共図書館及び参加校(園)に対してメールで貸出依頼を行う。依頼を受けた側は、自校(館)の資料の中から依頼内容に沿った資料を選び、物流便で配送する。物流は、委託業者による週2回・各2台の運搬車が学校図書館支援センターと公共図書館と全校を結んでいる。

エ. 指導研究・調整事務

教育センター・指導課共催の公共図書館・学校図書館双方の実務担当者によるネットワーク会議及び研修会を3回実施した。平成29年度の実績は下表の通り。

物流回数	70回
貸出冊数	7,776冊
依頼件数	503件 (小学校387件) (中学校111件) (幼稚園5件)

②大学図書館及び他機関との ネットワーク事業

ア. 千葉商科大学付属図書館

- ・市川市国府台1-3-1
- ・TEL 047 (373) 9798
- ・内容 18歳以上の市内在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、市立図書館窓口で紹介状の発行を申し込むことで千葉商科大学付属図書館の利用（閲覧、貸出、複写）が可能となり、現年度有効の図書館利用券が発行される。

また、市立図書館所蔵の予約図書・雑誌の受取、及び大学付属図書館内に設置されている返却ポストへこれらの返却が可能である。

平成29年度新規紹介状申込みは117件。

イ. 和洋女子大学メディアセンター

- ・市川市国府台2-3-1
- ・TEL 047 (371) 1111 (代表)
047 (371) 1126 (メディアセンター)
- ・内容 市川市在住・在勤・在学の市立図書館利用者は、和洋女子大学メディアセンター（図書館）所蔵の図書を市立図書館の館内で閲覧することができる。市立図書館に所蔵がない図書が対象で、市立図書館のカウンターで申し込む。閲覧期間は2週間以内である。なお、雑誌・視聴覚資料・貴重書・館内閲覧資料は除く。相互間の物流は、毎週金曜日に中央図書館との間で行っている。平成29年度の実績は下表の通り。

	件数	冊数
和洋女子大への貸出	23	23
和洋女子大からの借受	1	1

ウ. その他

市川市民（在勤含む）が上記以外の大学図書館を利用する場合、1回（1日）の閲覧ごとに紹介状が必要である。学生の場合は基本的に所属する大学の図書館からの紹介状による。

平成29年度に紹介状を発行した大学は以下の通り（6大学6件）。

埼玉県立大学図書館
順天堂大学学術メディアセンター
上智大学図書館
聖徳大学川並弘昭記念図書館
日本大学経済学部図書館
立教大学図書館

(5) 対象別サービス

①児童サービス

子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような児童書の選定・収集に努め、館内展示を行うとともに、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施している。さらに、教育センターなど行政各部門と連携を図り、サービスの拡大を図っている。尚、各表の数値は平成29年度の実績である。

ア. ブックリスト

子どもの発達段階に応じたブックリストを作成し、配布している。

「本のぼけっと」基本版1号及び30号

「本のぼけっと」付録（読み聞かせリスト）

「新一年生の保護者の皆様へ」

「よんであげたいえほん」

(0～2才) (3・4才) (5・6才)

イ. 館内特集展示

こどもとしょかんや、地域館の児童コーナーに、季節やテーマに沿った本の展示を行っている。

ウ. 読み聞かせ等

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、絵本の読み聞かせ会などを定例化して行っている。

平田図書室では、平田保育園に出向いて読み聞かせを行っている。

読み聞かせ統計

	えほんの会		
	対象年齢	回数	人数
中央	4歳～小学生	82	607
行徳	4歳～小学生	31	285
信篤	3歳～親子	8	24
南行	3歳～親子	11	24

	らっこの会		
	対象年齢	回数	人数
中央	0～3歳親子	59	902

	おはなし会		
	対象年齢	回数	人数
中央	4歳～小学生	12	118
行徳	5歳～小学生	10	68

	わらべうたであそぼう		
	対象年齢	回数	人数
中央	0～3歳親子	33	345

エ. 館内行事

中央・行徳・信篤・南行徳の各図書館で、定例の読み聞かせのほかに、イベントを実施している。

今年度、中央図書館では、6月に「「こそあどの森の物語」を読みながら、住んでみたいお家を絵にしよう！」（理論社と共催）、「秋空絵本の会 環境紙芝居with絵本の読み聞かせ」（環境政策課と共催）、7月に自然博物館との共催で「きょうだけ生き虫ずかん」などを開催した。

オ. 出張サービス

市内の公立小学校・公立保育園・幼稚園を対象に「出張おはなし会」を行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	11	28	1,505
信篤図書館	1	1	91
平田図書室	1	4	159

カ. 学級招待

クラスや学年単位で図書館に来館した子ども達に対して読み聞かせなどを行っている。

	校数	回数	人数
中央図書館	3	6	239
信篤図書館	2	2	71

キ. まちたんけん

市内の小学生が授業の一環として行う「まちたんけん」として来館。

	校数	回数	人数
中央図書館	1	2	14
行徳図書館	1	1	19
信篤図書館	1	1	23
平田図書室	1	1	11

ク. 学級文庫

市内公立小中学校等に、対象年齢に応じたセット貸出を行った。（学校ネットワーク物流利用）

貸出冊数 (内特別支援)	小学校	3,980冊	(260冊)
	中学校	160冊	(40冊)
	義務教育学校	120冊	

ケ. 乳幼児サービス

市川市版のブックスタート事業である、こども館事業の「たのしく絵本！はじめの一步」に選書面などで協力している。

②ヤングアダルトサービス

ア. 中央図書館

中学生以上19歳までの世代を、児童サービスの対象としてではなく、Young Adult（若い大人）としてとらえサービスを行っている。児童書、一般書の枠にとらわれず対象資料を集めたYoung Adultコーナーを、一般書のコーナー（ポピュラーライブラリー）の中に設けている。

また、グループで調べ学習等の活動ができるYoung Adult Roomに掲示板を設置し、職場体験学習において中学生が作成した作品等を掲示、展示している。

・「Young Adult通信」

Young Adult世代向けのブックリストとして年3回作成。各号、市内公立中学校のいずれかの学年の全生徒に学校ネットワーク物流便を通じて配布。同内容を図書館のホームページ上にも掲載している。

また、「Young Adult通信」に1年を通じて掲載する年間キャラクターを市内の中学生、及び中央図書館内で募集した（平成29年度応募数 67件）。

館内では、Young Adultコーナーにおいて「Young Adult通信」とタイアップした形で本の展示を行っている。展示ポスターは市内の中学生から募集している。

・「Young Adult通信 入門編」

Young Adult世代向けの利用案内として図書館内で配布するほかに、夏休み前に市内公立中学校1年生全員を対象に、学校ネットワーク物流便を通じて配布している。

・「Young Adult通信 号外 新生活応援号」

春休み前に、市内公立中学校3年生全員に、学校ネットワーク物流便でお薦めの本のリストを配布している。

・YAイベントアイデア大募集

中央図書館でやってみたいイベントのアイデアを7月に市内の中学生、高校生、及び館内で募集した。8件の応募があり、今後のYoung Adult世代向けイベントの参考とした。

・YA図書館本A-Z

12月に中学生以上の19歳までの方に特におすすめの本をアルファベットのAからZまでのしるしをつけ、1冊ずつ包み中身を隠して一般フロアで貸し出し、好評だった（平成29年度貸出数 26冊）。

・学校との連携展示

11月8日から12月27日まで昭和学院、1月5日から3月29日まで市川学園の高校生が校内で作成した本のPOPを借用し、Young Adultコーナーにおいて本とともに展示した。一緒に展示した本は、常に貸出され好評だった。

・夏休み対策

夏休みの宿題支援のため、7、8月は課題図書、自由研究コーナーを作る。課題図書は貸出期間を一週間としている。

イ. 地域館

行徳図書館、信篤図書館、南行徳図書館においては、児童サービスの延長として、Young Adult世代向けのサービスを行っている。

資料は、中学生以上向けの児童書とYoung Adult向け文庫が中心である。

③障がい者サービス（図書館利用に障がいのある利用者へのサービス）

図書館を利用する上で心身等に何らかの障がいがある方を対象として、それぞれの状況に応じ、図書館を利用しやすいように配慮したサービスを提供することを目的とする。

一般の図書の形態（墨字資料）での読書が困難な方に対して、点字図書、音訳図書、DAISY図書、大活字図書、CDブック、文芸カセット、布の絵本・布のおもちゃ等を、ボランティア団体が製作、または購入し、蔵書として提供している。

中央図書館障がい者サービス室にはインターネット閲覧用パソコン（音声読み上げ可能）、DAISY図書再生機、拡大読書器、音声読書器などの機器類を、行徳図書館には拡大読書器をそれぞれ備えている。

来館困難者へのサービスは、郵送貸出や代理人貸出による資料の提供を行い、視覚障がい者に対しては、対面朗読も実施している。

市内公立小学校の特別支援学級と、こども発達センター内にある通園施設「あおぞらキッズ」「おひさまキッズ」へ、布の絵本・布のおもちゃ計17点を貸し出した。

布の絵本・布のおもちゃ及びマルチメディアDAISY図書の個人利用の促進を図るため、市内公立小・中学校の特別支援学級並びに須和田の丘支援学校・県立市川特別支援学校の保護者等を対象として案内パンフレットを配布した。

職員を対象に「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症の方への対応方法の研修を行った。

登録者数 () は平成29年度新規登録者数

	累積登録者数
視覚障がい者	97 (3)
聴覚障がい者	146 (2)
内部疾患・肢体不自由者	145 (6)
外来困難者・その他	89 (5)
合計	477 (16)

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成29年度統計（1-2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

④外国人利用者へのサービス

国際化社会に対応した多文化サービスの実現を目的とする。市川市に居住する外国人を図書館サービスの対象者として明確にとらえ、日本での生活・学習・娯楽等に役立つ図書や行政機関による外国人向けの資料を重点的に収集している。

平成29年度は英語図書239冊（行徳図書館38冊を含む）、中国語図書56冊、ドイツ語図書1冊、スペイン語図書2冊の新規購入と寄贈受入を行った。

ア. 楽山市図書コーナー

平成13年、友好都市締結20周年にあたり、楽山市から中国語図書約300冊の贈呈を受けて設置したが、経年による本の劣化等により、平成18年にコーナーを終了し、従来の中国語資料の中に収めた。

イ. 江南区電子図書コーナー

市川市は、平成17年、大韓民国ソウル特別市江南（カンナム）区と情報化分野及び職員交流に関する協定を締結。その一環として、江南区がインターネット上で運営している電子図書館のID1万件の贈呈を受けた。これにあわせて中央図書館では、韓国語資料約700冊を追加購入してコーナーの充実を図り、その一面に平成18年電子図書館閲覧コンピュータを1台設置した。

ウ. 原州市寄贈韓国語資料

市川市と同じく健康都市連合に加盟している大韓民国江原道原州（ウォンジュ）市より、韓国語資料の12回目の贈呈を受けた。原州市から11冊の寄贈があり、市川市からも11冊の贈呈を行っている。

エ. 逐次刊行物（平成29年度：市内全館）

（所蔵タイトル数）

雑誌 英語10

新聞 英語5／中国語1／韓国語1

（所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成29年度統計（1-2）分野別蔵書冊数内訳」を参照）

⑤団体へのサービス

ア. 団体としての利用

読書活動に関わる団体及び市内福祉施設・学校等で図書館資料を利用する団体へのサービス。

- ・登録・貸出

市川市内在住・在勤・在学者を主な構成者とし、利用に際し継続性があり図書館資料を営利目的として利用しないことを登録要件とする。更新は年度ごととする。

貸出期間は貸出日を含め図書は31日、CDは15日である。貸出冊数は図書が無制限、CDは3点。

予約は窓口のみで受け付ける。1日5タイトル、累計20点まで。団体の予約において新規資料の購入はしない。

- ・活動場所の提供

中央図書館では、以下の図書館関連5団体に活動場所として集会室・サークル室を提供している。

市川図書館友の会 市川点訳音訳友の会
点訳ビーアイ うずしお読書会
子どもの本を考える会

イ. 読書会サポート

- ・資料の提供

読書会で使用するため同タイトルの資料が複数必要となる場合は、市内図書館の所蔵冊数内で希望冊数を用意する。原則として受取希望日の3週間前から予約を受け付ける。

千葉県立図書館において「十冊文庫」の名称で読書会向けに同じタイトルの本が10冊ずつ準備されており、市立図書館を窓口にして取り寄せる。

登録団体数・貸出冊(点)数

	登録団体数	貸出冊(点)数
平成27年度	45	4,502
平成28年度	51	4,212
平成29年度	58	5,640

(6) 資料別サービス

①地域資料

ア. 地域行政資料と市民文庫

地域行政資料(市川市、千葉県に関する資料)の収集、整理を行った。地域行政資料は、市川独自の地域区分、資料分類を付与し、地域の歴史を後世に伝えるため永年保存としている。

中央図書館では7月～8月には、昨年度に引き続き「浮世絵に見る市川」の第2弾として、正面入り口のガラスケースを利用して、歴史博物館の企画展示にあわせ「利根川東岸弔覧」を中心とした浮世絵関連の資料を展示した。11月には、文学ミュージアムの企画展「永井荷風展：荷風の見つめた女性たち」にあわせて、永井荷風が原作の映画「踊子」「夢の女」に関する古い新聞記事や書庫で保存している貴重な資料を展示し、展示リストを図書館ホームページに掲載した。

イ. 特別コレクション(永井荷風・東山魁夷・星野道夫・渡邊二郎の著作及び関連著作)

特別コレクションは論文や記事、新刊書から古書まで積極的に収集し、整理を行った。

ウ. 電子化とホームページによる情報発信

著作権の保護期間満了の資料を電子化して、中央図書館内のWeb-OPACで随時公開している。平成29年度は昭和40年版「市川市住宅詳細図」(株式会社三洋堂)と41年版の「市川市動態図」(日本広飾企画研究所)を新たに追加した。

また、ホームページでは地域情報データベースに「市川の地名」として、市川市の地名の由来についての情報を新たに作成し、地域情報のページを追加更新した。

(所蔵資料に関する統計は、p.34「9. 平成29年度統計(1-2)分野別蔵書冊数内訳」を参照)

(7) 主催事業

②視聴覚資料

流通する記録媒体の変化から、映像資料については今後の蔵書の在り方について検討を開始し、市川駅南口図書館では、平成30年3月31日よりナクソスミュージックライブラリーの館内視聴サービスを開始した。

ア. 視聴覚資料（CD・ビデオ・DVD）の収集・提供に関すること

・貸出点数

1人CD3点、ビデオ2点、DVD2点（試行）。貸出期間は、貸出日を含む15日間。視聴覚資料の貸出対象及び試聴ブースの利用対象は、中学生以上の市内在住・在勤・在学者。

イ. 試聴ブースに関すること

[ブース数] 利用時間は、いずれも1回30分以内

・中央図書館：

CD用（2台）カセットテープ用（4台）

CD用〔車椅子対応可能〕（1台）

カセットテープ用〔車椅子対応可能〕（1台）

・行徳図書館：

CD用（2台）

①リサイクルブック市

図書館の不用図書、雑誌など（除籍資料および寄贈資料のうち既に所蔵していたり資料収集方針に沿わない等の理由で受け入れないもの）を有効に再活用するため、利用者へ無償で提供するリサイクルブック市を開催している。

中央図書館では市川市生涯学習センター内グリーンスタジオを、行徳図書館では行徳公民館レクリエーションホールをそれぞれ会場として、「市川図書館友の会」の協力により開催。平成14年度より「市川図書館友の会」が図書館支援のための募金活動を行っている。

そのほかの図書館においても、小規模であるがリサイクルブック市の単独開催、またはリサイクルコーナー設置を行っている。

平成29年度リサイクルブック市等実施状況

	実施日	対象及び参加数	準備冊数及び提供冊数（提供率）	備考
中央 （第24回）	平成29年10月27日（金）	図書室等 83団体	準備：19,515冊 提供：11,775冊 （提供率：60.3%）	市川図書館友の会の協力
	平成29年10月28日（土）	一般市民 1,095人		
行徳 （第20回）	平成30年1月27日（土）	一般市民 457人	準備：10,184冊 提供：5,012冊 （提供率：49.2%）	
信篤 （第19回）	平成29年10月21日（土）～22日（日）	一般市民 120人	準備：3,552冊 提供：2,577冊 （提供率：72.6%）	信篤公民館の文化祭とあわせて実施
平田	平成29年6月10日（土）～11日（日）	集計なし	準備：3,030冊 提供：2,174冊 （提供率：71.7%）	
南行徳	平成29年9月12日（火）～9月26日（火） 12月6日（水）～12月20日（水） 平成30年2月14日（水）～2月28日（水）	集計なし	準備：1,636冊 提供：1,104冊 （提供率：67.5%）	リサイクルコーナーの設置

② 特集展示

平成29年度中央図書館特集展示・一般 []は連携先

展示月	展示1	展示2	小展示・臨時展示	ガラス展示	ガラス展示	絵画ラック
4月	いろいろな不思議 小さな不思議から 大きな不思議まで	おとも楽しめる 児童書	あれから6年 もりもりさまの森	田島征三 立体作品 「森の小人たち」	田島征三 立体作品 「森の中で静かにパーティ」	「もりもりさまの森」 原画展（同時展示）和 洋女子大学学生作成原 画展・講演会PRポス ター〔理論社〕〔和洋〕
5月	建築物 フランク・ロイト・ライト 生誕150周年		図書館に 行きませう	世界の絵本 オズボーン コレクション	世界の絵本 オズボーン コレクション	大草原の小さな家 シリーズ画
6月		恋がしたくなる本 婚活イベント連携 〔企画課〕*1				
7月	本で知る オリンピック・ パラリンピック	青の世界 In to the Blue	雨の季節を さわやかに	東京オリン ピックの記録	浮世絵に見る 市川*2 利根川東岸式 覧を中心に 〔歴史博物館〕	オリンピック ポスター （第1回アテネから第21 回モントリオールまで）
8月						
9月	宇宙 金井宇宙飛行士を 応援	科学道 〔理化学研究所 科学道100冊〕	絵筆を持ってぶら り旅*3/ 自殺予防週間*4/ ノーベル文学賞*5/ 発酵〔現産博〕*6	百田稔展 放浪のお絵描 きおじさん*3	百田稔展 放浪のお絵描 きおじさん*3	百田稔展 放浪のお絵描き おじさん*3
10月						
11月	テレビを読む	敬天愛人ー西郷隆 盛とその時代ー 〔歴史博物館〕	金井宇宙飛行士を 応援ポスター*7/ 犬・いぬ・戌*8	永井荷風と 夢の女 〔文学ミュージアム〕	永井荷風と 踊子 〔文学ミュージアム〕	オリンピック ポスター （第1回アテネから第21 回モントリオールまで）
12月				戊辰戦記絵巻 物や古文書 〔歴史博物館〕	戊辰戦記絵巻 物や古文書 〔歴史博物館〕	
1月	笑	ほっとひといき	平昌オリンピック・ パラリンピック*9/ 恋がしたくなる本 婚活イベント連携 〔企画課〕*10 春になるたび想う こと/ 3月11日あれから 7年*11/ 桜と日本*12	寄席のあった 街 市川	寄席のあった 街 市川 〔文化振興財団〕	寄席のあった 街 市川 〔文学ミュージアム〕
2月						
3月	ものから歴史をみ てみよう			図書館用品か ら歴史をみて みよう		

*1 6月11日～18日 *2 7月15日～8月27日 *3 8月29日～10月29日 *4 9月10日～9月16日

*5 10月5日～無くなり次第（Kazuo Ishiguro） *6 10月14日～12月3日 *7 12月14日まで *8 12月12日～1月30日

*9 2月1日～ *10 婚活イベント共催2月11日～2月14日 *11 3月7日～3月11日まで *12 3月20日～

平成29年度中央図書館特集展示・児童 ヤングアダルト []は連携先

展示月	メイン展示	ガラスケース (手前)	ガラスケース (奥)	ロビー側	小展示	一般 展示塔
4月	たしませいぞうの せかい	わらべうた	はる	たのしいことば	入園・入学/ こいのぼり	わらべうた
5月	につぼんのおにぎり [理論社]	につぼんのおかし [理論社]	につぼんのおかず [理論社]	おにぎり	こいのぼり/ 母の日	岡田淳の世界
6月				岡田淳の世界	父の日	
7月	五味太郎の世界 [文学ミュージアム]	みず	五味太郎の 世界[文学 ミュージアム]	本のぼけっと	七夕	五味太郎の 世界[文学 ミュージアム]
8月					工作・ 自由研究	
9月	うちゅうにはなにが ある！？ [企画課]	かこさとし だるまちゃん 50周年	石井桃子 生誕110年	かこさとしだるま ちゃん50周年	お月さま	石井桃子生誕 110年
10月				発酵 [現産博]	ハロウィン	
11月	クリスマス	ふゆ	クリスマス	クリスマス	—	クリスマス
12月					—	
1月	いってみたいな せかいのくに	かがく えほん	干支 いぬの本 ことば あそび	いぬとねこ	お正月	いぬとねこ
2月				かがくえほん/ 角野栄子さんアン デルセン賞受賞	おに/ おひなさま	
3月	みんななかよし	早野たづこ 人形[文化振 興財団]	早野たづこ 人形[文化振 興財団]	角野栄子さんアン デルセン賞受賞	防災/春/ 入園・入学	早野たづ子人 形[文化振興財 団]
展示月	特集タイトル (ヤングアダルト)					
4月～6月	時間					
7月～9月	クール					
10月～12月	お国自慢					
1月～3月	イチオシ本					
11/8(水)～ 12/27(水)	昭和学院作成POP 掲示 [昭和学院高等学校]					
1/5(金) ～3/29(木)	市川学園作成POP 掲示 [市川中学校・高等学校]					

平成29年度行徳図書館特集展示・一般 []は連携先

展示月	特集タイトル
3月～4月	昭和の時代
5月～6月	内で楽しく外で楽しく
7月～8月	戦争と平和
9月～10月	宇宙
11月～12月	家族 [子育て支援課]
1月～2月	オリンピック・パラリンピック
3月～	新生活スタート

平成29年度行徳図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル	小展示	ヤングアダルト	
4月	世界旅行	春/新入園入学/こいのぼり	中学生がPOPをつくったよ！	
5月	おいしいおはなし	こいのぼり/こどもの日/母の日		
6月		父の日		
7月	もっと知りたい！科学の本/ 夏に読みたいかがくのほん/戦争と平和	七夕/幕末～明治		
8月	まほう！	とびだせうちゅうへ [企画課]		大学生のオススメの本
9月		動物愛護週間 お月見		こんな人知ってる？
10月	クリスマス	家族（きょうだい） [子育て支援課]		過去の世界へ
11月		冬のスポーツとオリンピック		
12月	走る	お正月/ゆき/節分		部活動
1月		ひなまつり		
2月	入園入学新しいスタート	科学道100選ジュニア [理化学研究所]		
3月	どきどきしよう！			

平成29年度信篤図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	本のポケット基本版/新一年生/入園入学おめでとう
5月	春
6月	雨/七夕
7月	本のぼけっと30号/課題図書/雨/夏
8月	本のぼけっと30号/課題図書/夏
9月	本のぼけっと30号/お月見
10月	家族 [子育て支援課] /ハロウィン/まほうつかい・まじよの本
11月	家族 [子育て支援課] /クリスマス
12月	クリスマス
1月	お正月/今年の干支/鬼（節分）/冬
2月	鬼（節分）/冬
3月	冬/本のポケット基本版/新一年生/入園入学おめでとう

平成29年度南行徳図書館特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	新一年生/はる
5月	西巻芽子の本ー絵本デビュー40周年ー/ミニ展示 こいのぼり
6月	西巻芽子の本ー絵本デビュー40周年ー/ミニ展示 雨がふってもたのしいね/七夕
7月	東京2020
8月	課題図書・自由研究・工作
9月	そら・ほし・うちゅう [企画課]
10月	そら・ほし・うちゅう [企画課] /ミニ展示 月
11月	かぞくっていいね [子育て支援課]
12月	クリスマス/ミニ展示 宇宙へ [企画課]
1月	いぬ・犬/ミニ展示 お正月/冬の本/鬼
2月	いぬ・犬/ミニ展示 節分/ひな祭り
3月	図書館がおすすめする本/ミニ展示 地震/春の本

平成29年度平田図書室特集展示・児童 [] は連携先

展示月	特集タイトル
4月	にゅうえんにゅうがく、おめでとう
5月	おみせやさん
6月	あめ
7月～8月	海へ、山へ
9月	おじいちゃんおばあちゃんありがとう
10月	うちゅう・そら [企画課]
11月	かぞく [子育て支援課]
12月	クリスマス/お正月
1月	いぬどし
2月	おに
3月	もうすぐ春

③ その他イベント

講 座					
開催日	館名	講座名・内容	人数	連携先ほか	場所
4/9(日)	中央	田島征三さん講演会 「森の生きものたちに代わって話しましょう！」	81人	田島征三事務所 理論社 和洋女子大学	メディアパーク 第2・3研修室
4/21(金)	中央	読み聞かせ講座 (初心者向け)	22人		メディアパーク 第3研修室
福袋関係					
開催日	館名	イベント名	貸出数	内容・連携先ほか	場所
12/23(土)～ 1/8(火)	中央	「福壺」 一般	176セット	年末年始 図書館員お勧めの本	図書館内
1/5(金)～ 6(土)	中央	「ワクワクいっぱいふくぶくろ」	180セット		
12/23(土)～ 1/30(火)	中央	「YA図書館本A-Z」	26セット		
1/5(金)～ 8(月・祝)	行徳	「図書館員が選んだ本の福袋」 一般35、YA4、こども44(セット)	83セット		
1/5(金)～ 10(水)	信篤	「図書館員が選んだ本の福袋」*一般は7日(日)まで 一般10、こども20(セット)	30セット		
1/5(金)～ 7(日)	南行	「図書館員が選んだ本の福袋」 こども30(セット)	30セット		
その他イベント					
開催日	館名	イベント名	人数	内容・連携先ほか	
5/27(土)～ 6/18(日)	中央	岡田淳“こそあどの森の物語”展 ～物語の世界へようこそ！～	943人	理論社	文学ミュージアム 企画展示室 1・2
6/4(日)	中央	「市川環境・防災フェア 2017」 自動車図書館展示・図書貸出	—	いちかわ環境・防災 フェア 環境政策課	メディアパーク 入口

6/11(日)	中央	婚活支援事業「夜の図書館であなたも別世界へ・図書館バックヤードツアー」	31人	企画課	図書館内
10/22(日)	中央	鬼高さんしゃ祭イベント 「中央図書館バックヤードツアー」	7人	さんしゃ祭・さんしゃ祭実行委員会 環境政策課	図書館内
		鬼高さんしゃ祭イベント 「秋空えほんの会」「マイエコバック作り」	59人		
		鬼高さんしゃ祭イベント「ブックコート体験」	8人		
11/3(金)	中央	第42回いちかわ市民まつり「出張図書館」	31人	いちかわ市民まつり	大洲防災公園
11/19(日)	中央	いちかわファミリーフェスタ2017 「出張図書館」	33人	ファミリーフェスタ 参加イベント	ニッケコルトンプラザ
	中央	いちかわファミリーフェスタ2017 「家族で楽しもう！絵本の世界」	45人		ニッケコルトンプラザ
2/11 (日・祝)	中央	婚活支援事業「夜の図書館であなたも別世界へ・図書館バックヤードツアー」	26人	企画課	図書館内

④館内行事／児童・ヤングアダルト

開催日	館名	児童行事名	人数
4/23(日)	中央	はるかぜえほんの会	49
6/10(土)	中央	「こそあどの森の物語」を読みながら、住んでみたいお家を絵にしよう	43
6/15(木)、10/28(土)各2回	中央	絵本の読み聞かせの会(現代産業科学館主催)	121
7/23(日)	中央	きょうだけ生き虫ずかん - こどもとしょかんで虫を観察しよう -	269
8/2(水)、9(水)、16(水)	中央	小学生のためのこわいおはなし会(3回)	97
7/27(木)、8/24(木)	信篤	小学生のためのおはなし会(2回)	3
8/4(金)	信篤	生きている虫が信篤図書館にやってくる!	51
8/23(水)、8/30(水)	行徳	夏のおたのしみ会	23
10/22(日)	中央	秋空えほんの会 環境紙芝居with絵本の読み聞かせ	59
12/2(土)~10(日)	中央	ぬいぐるみとおとまり会inうちゅう	37
12/17(日)	南行	冬のおたのしみ会	6
12/20(水)、12/27(水)	行徳	冬のおたのしみ会	26
12/23(土)	中央	冬のおたのしみ会	48
2/24(土)	中央	芳澤ガーデンギャラリー市川文化人展「早野たづ子展」読み聞かせ	24
3/10(土)	中央	科学あそびの会 - じしゃくのふしぎ -	107
開催日	館名	ヤングアダルト行事名	人数
6/9(金)~7/19(水)	中央	YAイベントアイデア大募集!	8
4/28(金)~6/25(日)	中央	YAキャラクター大募集	67

(8) 市川駅南口図書館自主事業（指定管理館）

講座				
開催日	講座名	人数	講師	場所
5/18(木)	ビジネスに生かすホームページ作成入門	20人	志鎌真奈美氏	I-Link ルーム 1
6/29(木)	歯のケアで健康長寿	5人	市川市歯科医師会 田中千元氏	I-Link ルーム 2
9/15(金)	健康×お金 ヘルスケア・ファイナンシャルプランニングセミナー	16人	赤木禎文氏	I-Link ルーム 1
2/8(木)	高血圧予防は食事から	21人	和洋女子大学 准教授 高橋佳子氏	I-Link ルーム 2
イベント				
開催日	イベント名	人数	講師 等	場所
4/22(土)	親子でうたってあそぼう 手あそびわらべうた	53人	(株)ヴィアックス 神保和子氏	I-Link ホール
5/23(火)～ 5/26(金)	公共図書館カード出張登録会	58人	市川駅南口図書館 職員	千葉商科大学 附属図書館
7/27(木)、28(金)	夏休み一日図書館員	16人	市川駅南口図書館 職員	市川駅南口図書館
8/19(土)	本の世界に入ってみよう!	50人	市川駅南口図書館 職員	I-Link ルーム 1,2
10/29(日)	うたとあそびのおんがくかい	57人	アンサンブル・ピエ	I-Link ホール
11/1(水)～ 11/29(水)	私のおすすめの一冊(投稿文の掲示)	37人	利用者投稿	市川駅南口図書館
12/25(月)	えきなん 冬のおたのしみ会 (人形芝居)	35人	人形芝居 燕屋	I-Link ホール
1/7(日)	迎春 はなまるで、落語と寄席囃子!	46人	落語芸術協会 松本優子氏 桂伸三氏	I-Link ホール
3/11(日)	プラネタリウム 星空の宅配便	70人	木村直人氏	I-Link ホール
えきなんギャラリー展示				
開催日	タイトル	作家・写真家・テーマ等		
4/1(土)～ 4/27(木)	つながる・ひろがる・感動体験! 「特定非営利活動法人市川子ども文化ステーション」のすべて	市川子ども文化ステーションの活動内容を紹介したパネルの展示		
4/29(土)～ 5/30(火)	「市川クロマツ会」展Ⅱ	市川クロマツ会の活動内容を紹介した写真の展示		
6/1(木)～ 6/29(木)	ひとりで歩いて絵を描いて 放浪のお絵描きおじさん 百田稔作品展	13回の冒険旅で描いた絵の展示		
7/1(土)～ 7/30(日)	プレーパーク写真展 ～子どもたちにもっと外遊びを!～	市川子どもの外遊びの会によるパネル展示		
8/1(火)～ 8/27(日)	筑波大学附属聴覚特別支援学校 高等部専攻科造形芸術科 生徒作品展	イラスト・油絵等の作品展示		
8/29(火)～ 9/28(木)	市川アートクラブ 絵画作品展	絵画サークル会員の作品展示		
8/29(火)～ 9/28(木)	「創作絵本サークルびよびよ作品展」と 「アトリエにじのわ こどもたちのむかしばなし展」	小さなおやこ絵本館びよびよで活動している2サークルによる作品展示		
9/30(土)～ 10/29(日)	まちかどの近代建築写真展 in 市川(Ⅲ) 懐かしの学び舎 ～今に残る学校建築～	まちかどの近代建築写真展実行委員会、近代建築探訪メーリングリスト、赤レンガをいかす会の協力による写真展		
11/1(水)～ 11/29(水)	NHK学園 西城書道教室作品展	NHK学園市川オープンスクールの書道講座の講師・生徒による作品展		
12/1(金)～ 1/8(月)	市川写真家協会アマ部門 IPPS クラブ作品展 それぞれの四季	市川写真家協会アマ部門の会員の写真展		
1/10(木)～ 1/30(火)	日台聾学校美術交流展	台北台南2つの聾学校と筑波大学附属聴覚特別支援学校造形芸術科生徒の作品展示		
2/1(木)～ 2/25(日)	和洋女子大学服飾造形学類卒業制作写真展	和洋女子大学生による卒業制作ショーの写真展		
2/27(火)～ 3/29(木)	まちづくり家づくり Café Ichikawa 活動写真展	まちづくり家づくり café ichikawa の活動内容を紹介した写真の展示		

(9) 委員会等

① 研修委員会

ア. 職員研修参加実績

千葉県公共図書館協会や外部機関等の主催する研修28件(64日)に延べ75人が参加し研鑽に努めた。

イ. 異動者研修

図書館外からの異動職員5人を対象に、4月4日に図書館業務の基本についての研修を実施した。

ウ. 非常勤職員研修

平成29年度に採用された図書館スタッフを対象に、6月に第2回(参加者3人)、2月に第3回(参加者2人)の研修を実施した。

3月には平成30年4月に新規採用される図書館スタッフ9人を対象に新任研修を行った。

エ. 図書館実習・インターンシップ

8月30日から9月12日にかけて、大学生4人(青山学院大学2人、慶應義塾大学1人、立教大学1人)を対象に図書館実習を実施した。

また、8月2日から8日に、インターンシップの大学生(和洋女子大学2人)を受け入れた。

オ. 職場体験学習・職場訪問

市内の小・中学生を受け入れ、職場体験指導等を行った。

カ. その他の研修

県教委主催「悉皆研修」のうち「社会奉仕体験研修」として教諭11人を受け入れた。

児童・生徒の職場体験学習の受入れ(平成29年度)

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
6/22	福栄中学校	中央	3	職場体験学習
7/7	妙典中学校	中央	4	職場体験学習
9/7~8	第二中学校	南行徳・信篤・平田	6	職場体験学習
9/12	高谷中学校	中央・行徳	8	職場体験学習
10/4~5	第三中学校	平田	1	職場体験学習
10/24	ふれんどルーム	中央	2	職場体験学習
10/26~27	第八中学校	平田	2	職場体験学習
11/1	第七中学校	中央	4	職場体験学習
11/1~2	第七中学校	行徳	4	職場体験学習
11/9~10	南行徳中学校	行徳	2	職場体験学習
11/10	第四中学校	中央	6	職場体験学習
11/15	塩浜学園	中央	4	職場体験学習
11/16	塩浜学園	行徳	4	職場体験学習
2/1	下貝塚中学校	中央	4	職場体験学習
2/1~2	下貝塚中学校	行徳・平田	5	職場体験学習
計	延べ 11校 1団体 18日 59人			

教職員の体験研修の受入れ(平成29年度)

月 日	所 属	実施場所	人数	目 的
7/21	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
8/9~10	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
8/10	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
8/17	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
11/7	千葉県教育委員会	中央	2	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
12/26	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
2/23	千葉県教育委員会	中央	1	教職員悉皆研修(社会奉仕体験)
計	延べ 1団体 7日 11人			

②広報委員会

ア. 図書館刊行物・ホームページの作成

図書館刊行物や図書館ホームページの編集及び作成を行った。また、「市川市立図書館メールマガジン」を月2回発行し、送信した。市川市の公式ホームページやFacebookにも記事を提供した。

(p.67「10. 平成29年度事業概要(10) 図書館刊行物」を参照)

イ. マスコミへの情報提供

各新聞社(市役所記者クラブ)や地域のコミュニティペーパー・放送局への情報提供を行った。

ケーブルテレビ(J:COM 市川)では、中央図書館の展示「旅のお絵描きおじさん」や「図書館だより100号」の取材・放映を行った。

また、30年春から放映したフジテレビ系ドラマの撮影場所として、中央図書館のフロアを提供した。

ウ. オリジナルグッズの配布・販売

図書館オリジナルエコバッグ・クリアファイルの販売は引き続き好調で、平成29年度はベージュ・茶・黄・ピンクの四色を追加販売した。

2月に図書館マナーキャンペーンを実施した。

動植物園のコツメカワウソやレッサーパンダ、モルモット、ミーアキャットの写真にマナーのお願い文を記載した特製の葉を、写真やレイアウトを変えて新しく作成し、特製のポケットティッシュと共に配布した。

エ. イベントの開催

鬼高さんしゃ祭や、企画課と連携の婚活イベント、ニッケコルトンプラザで行われたファミリーフェスタ、市民まつりに参加した。

(p.62「10. 平成29年度事業概要(7) 主催事業」

③その他イベントを参照)

③蔵書構成検討委員会

ア. 資料収集・蔵書構成に関する検討

- ・「平成29年度市川市図書館資料収集計画」を策定し、収集計画に基づいた資料収集を行なった。
- ・中央図書館では書架担当制とし、担当による資料の更新(買い換え、除籍等)を行った。
- ・個別検討が必要な資料についての対応
- ・雑誌の休廃刊に対する対応
- ・新刊書の購入に関する選書会議の実施(毎週)

イ. 資料費の配分と調整

- ・全館の資料費の配分計画を作成・執行
- ・資料費の執行庶務

ウ. 蔵書点検・館内整理の計画と実行

中央図書館では、毎月末の館内整理日のほか、6月と2月に特別休館期間を設け、蔵書点検、書庫資料の見直しを行った。

エ. 特集展示の計画の立案と実施

- ・特集展示は年間計画を立てて実施
- ・行政等他の部署との連携による展示や講演を行った。
- ・時節に臨機応変に対応した展示を実施(年間の展示一覧は、p.59「10. 平成29年度事業概要(7) ②特集展示」を参照)

⑤その他各団体委員

- ・千葉県公共図書館協会理事・児童奉仕研究委員会委員長
館長1名
- ・千葉県公共図書館協会理事・千葉県の図書館編集委員会副委員長
主幹1名

(10) 図書館刊行物

	タイトル	形態	刊行頻度
①	市川市の図書館 2017	A4・製本冊子	1回/年
②	市川図書館だより 第98号 「連携しています！千葉商科大学・和洋女子大学」 第99号 「特集：宇宙一金井宇宙飛行士を応援しよう！」 第100号 「特集：図書館サービスのいまとこれから」 第101号 「平成29年度図書館利用者アンケート実施報告」	A4・1枚 ※100号はA3・ 二つ折り	4回/年
③	新・参考業務月報 2017	A4・1枚	1回/月
④	新・参考業務年報 2017	A4・製本冊子	1回/年
⑤	地域資料レファレンス 市川市ってどんな街？ 市川の歌 市川の歌地図	A3・二つ折り	随時
⑥	市川市中央図書館調べ案内 2. 図書館で使える外部データベース（改訂） 10. 介護について調べるには 11. キノコについて調べてみよう 12. 起業するには 13. 天文学について調べるには 14. 自殺予防について調べるには 15. 漢詩について調べるには 16. 和歌を探するには 和歌を探そう（実践編） 17. 「障害者差別解消法」について調べるには	A4・各1枚	随時
⑦	各種利用案内（改訂版含む） 2. 本の返却ポストのご案内 2-2. 自動車図書館「みどり」号 3. 関連施設のご案内 4-4. 千葉商科大学附属図書館で予約を受け取るには・・・ 5-2. メールアドレス登録のご案内 9-1. 外部データベースとインターネット情報源 9-2. インターネット接続利用サービス 10. レファレンスサービスのご案内 閲覧席の利用案内	A4・各1枚	
⑧	婚活イベント 恋がしたくなる本（2017/6、2018/2）	A4・各1枚	随時
⑨	テーマ展示 「東京2020オリンピック・パラリンピックプロジェクトin市川市」連携 オリンピック金メダリストの著作及び関連リスト （特集展示・図書館だより号外リスト） オリンピック冬季競技大会データ	A3・各1枚	随時
⑩	Young Adult通信 第76号「時間」 第77号「クール」 第78号「お国自慢」	A4・1枚	3回/年
⑪	Young Adult通信 入門編 改訂	A4・二つ折り	1回/年
⑫	Young Adult通信 号外 新生活応援号 改訂	A4・三つ折り	1回/年
⑬	わらべうたであそぼう	A4・三つ折り	随時

⑭	本のぼけっと 1・2年生におすすめする本 第30号 3・4年生におすすめする本 第30号 5・6年生におすすめする本 第30号	A 4・各1枚	1回/年
⑮	市川市中央図書館調べ案内パスファインダー 梨(なし)をしらべるには	A 3・二つ折り	随時

(11) 視察・講師派遣等

①視察

月 日	視 察 者	視察場所（目的）	人数
4/8（土）	大韓民国原州市	図書館見学	14
5/24（水）	セイナヨキ応用科学大学（フィンランド）図書館情報学科主任講師	生涯学習センター全般	1
6/16（金）	国立教育政策研究所 図書館司書専門講座 現地研修	図書館全般	10
7/7（金）	港区みなと図書館	学校図書館支援センター事業関連	3
7/14（金）	墨田区曳船図書館	学校図書館支援センター事業関連ほか	4
7/27（木）	公明党長野市議員団	学校図書館支援センター事業関連	3
8/3（木）	和洋女子大学	図書館見学	11
8/24（木）	墨田区立小学校図書館研究部員	学校図書館支援センター事業関連	7
10/24（火）	福岡教育大学 福祉社会教育講座教授	学校図書館利用教育	1
11/10（金）	ひたちなか市青少年センター	生涯学習センター全般	22
1/26（金）	上尾市児童館運営委員会ほか	こどもとしょかん等見学	17

②講師派遣等

月 日	テーマ（講師）	集会名、主催団体等（講演場所）
7/6（木）	ノンフィクションの選書について (高柳公香)	平成 29 年度児童サービス基礎研修会 主催：千葉県立中央図書館 (千葉県立美術館)
8/24（木）	ビブリオバトルを体験しよう (前越裕子)	第 2 回学校図書館研修会 主催：教育センター (市川市生涯学習センター)
8/24（木）	幼児と保護者のための図書講座 (高橋とも子)	第 2 回学校図書館研修会 主催：教育センター (市川市生涯学習センター)
11/15（水）	基調講演：公共図書運営の動向と展望 (叶多泰彦)	平成 29 年度図書館地区別（北日本）研修 主催：文部科学省・岩手県教育委員会 主管：岩手県立図書館 (いわて県民情報交流センター)
12/14（木）	中高生向けレファレンスサービス 事例報告 3 (小川健太郎)	第 14 回レファレンス共同データベース事業フォーラム 主催：国立国会図書館 (国立国会図書館国際子ども図書館)
2/6（火）	公共図書館運営の動向と展望 (叶多泰彦)	平成 29 年度群馬県公共図書館協議会市町村立図書館・ 公民館図書室運営研究会研修会 主催：群馬県公共図書館協議会 (群馬県立図書館)

(12) 市川市立図書館関係記事一覧

※市川市広報の記事は除く

①執筆記事

「タイトル」 執筆者 『掲載紙』 巻号 (出版社 刊行年) 掲載ページ
「2016 年度全国図書館大会に参加して」高柳公香/著『ニュース・レター19号』日本図書館協会 児童青少年委員会 日本図書館協会ホームページに掲載 2017. 11

②図書館紹介記事（イベント以外）

記事見出しタイトル 【コラム名】
『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ

中央図書館

図書館のレファレンス 年齢に合わせ利用者導く 【パパッと学ぼう】
『CHUNICHI こどもウイークリー』2018年1月13日, 2面

行徳図書館

行徳ママを応援! 本を読む大切さを知ろう 行徳図書館に聞く 【こども特集】
『コミュニティーペーパー行徳新聞』2018年2月9日, 1934号 2面

本を読む大切さを知ろう 図書館司書に聞く 【こども特集】
『ポイントペーパーいちかわ』2018年3月2日, 721号 8面

貸出ベスト

今年人気だった本は? 市内図書館の貸し出しベスト10
『コミュニティーペーパーいちかわ』2017年12月22日, 712号 2面

その他

図書館の外部データベース活用術
『市川よみうり』2017年7月22日, 1891号 2面

図書館と博物館の共催イベントのご紹介
『市川よみうり』2017年9月23日, 1899号 2面

市川市市川駅南口図書館山口館長写真 【笑顔の玉手箱】
『月刊いちかわ』2017年10月号 p.24

図書館の地域資料について
『市川よみうり』2018年1月27日, 1915号 2面

③イベント紹介記事

記事見出しタイトル 【コラム名】
『掲載紙』 掲載年月日 巻号 （出版社 刊行年） 掲載ページ

絵本「もりもりさまの森」原画展 4月

絵本『もりもりさまの森』原画展 ※イベント告知
『市川よみうり』2017年4月15日, 1878号 3面

「こそあどの森」挿絵原画展 6月

「こそあどの森」挿絵原画を展示 ※イベント告知
『毎日新聞』2017年6月2日, 千葉版 21面

本の世界へ行ってみよう 岡田淳“こそあどの森の物語”展 ～物語の世界へようこそ!～ ※イベント告知
『コミュニティーペーパーいちかわ』2017年6月16日, 686号 5面

小学生のためのこわいおはなし会 8月2日、9日、16日

ゾ〜ッ! 暑さ吹き飛ばす 小学生のためのこわいおはなし会 ※イベント告知
『コミュニティーペーパー行徳新聞』2017年8月25日, 1911号 12面

ゾ〜ッ! 暑さ吹き飛ばす 小学生のためのこわいおはなし会 ※イベント告知
『コミュニティーペーパーいちかわ』2017年8月25日, 695号 8面

百田稔作品展 9月～10月

放浪絵描き 徒歩で8600キロ 出会いは宝 旅の原動力に 市川の百田さん作品展 ※イベント告知
『読売新聞』2017年9月9日, 千葉版 27面

旅の感動描いた水彩画200点 「百田稔 作品展」 ※イベント告知
『市川よみうり』2017年9月9日, 1897号 3面

冬のおたのしみ会 12月23日

冬のおたのしみ会 【情報スクランブル】	※イベント告知
『市川よみうり』2017年12月16日, 1910号 6面	

市川市中央図書館「福壺」「本の福袋」 12月～1月

市川市中央図書館「福壺」 【情報スクランブル】	※イベント告知
『市川よみうり』2017年12月16日, 1910号 6面	
「本の福袋」が人気 司書厳選「中身はお楽しみ」	※イベント告知
『千葉日報』2018年1月3日, 統合地方版 11面	

(13) 市川市立図書館関係テレビ番組一覧

J:COM市川「マイタウンいちかわ」

放送日	放送内容
4/8 (土)	vol. 2 市川市からのお知らせ「もりもりさまの森」原画展
6/10 (土)	vol. 11 ウィークリーヘッドライン 岡田淳「こそあどの森の物語」展 (5/27～6/18)
7/29 (土)	vol. 18 ウィークリーヘッドライン「きょうだけ生き虫ずかん」(7/23)
9/2 (土)	vol. 23 市民のみなさまへ 市長メッセージ: 本と新たな出会いが待つ図書館へ
10/28 (土)	vol. 31 ウィークリーヘッドライン 「第23回鬼高さんしゃ祭」(10/22)

J:COM市川「デイリーニュース」

放送日	放送内容
4/5 (水)	「もりもりさまの森原画展と田島征三さん講演会」(告知)
5/26 (金)	市川市中央図書館 原画展はじまる
6/6 (火)	岡田淳「こそあどの森の物語」展
6/7 (水)	百田稔作品展 (1～29日) (市川駅南口図書館)
7/27 (木)	きょうだけ生き虫ずかん
8/11 (金)	小学生のためのこわいおはなし会
9/26 (火)	百田稔作品展
10/23 (月)	第23回鬼高さんしゃ祭 ニッケコルトンプラザ・現代産業科学館・メディアパーク市川
12/6 (水)	「ぬいぐるみおとまり会 in うちゅう」開催
12/26 (火)	市川市中央図書館「福壺」開催
1/25 (木)	市川図書館だより創刊100号 今年で発刊から24年

他番組一覧

放送日	放送内容	撮影日
10/30 (月)	AbemaTV ふたりモノログ 第4話 さよならのカロリー	8/14 (月)
2/8 (木)	フジテレビ 隣の家族は青く見える 第4話 母の愛、娘の願い 壊れた絆の架け橋	1/22 (月)

11. 市川図書館友の会

F I L (Friends of ICHIKAWA LIBRARY)

①発足

平成6年9月18日

○行徳図書館（第20回）平成30年1月27日
行徳公民館3階レクリエーションホール
入場者457人

②目的

市川市中央図書館でのボランティア活動を通じて図書館と図書館員を応援し、人と人との触れ合いを目的とする。

3. 図書館見学会

平成30年2月2日 船橋市西図書館
参加人数14人

③会員数

87人(平成30年4月1日現在)

4. 夏休み体験ボランティア講座

平成29年7月25、29、30日、8月1、4、5日に中学生、高校生対象の体験ボランティアを実施。
参加人数26人

④役員（平成29年度）

会長：橋場くみ
副会長：尾高有子 鵜殿幸夫
会計：関和子 岩井みよ子
監事：藤井敏子 中里るみ

⑦日常活動

実践活動を円滑に運営するため、活動内容ごとに5つの部で構成されている。

⑤入会手続

会員資格 会の目的に賛同する人
会費 ・個人会員 年額 1,000円
・賛助会員 年額 5,000円
特典 一切なし

1. アレンジ部

返却された本の配架と書棚の整理作業を行っている。活動日数291日、延べ1,294人、1日平均4.4人。

2. レファ・サポート部

レファレンスカウンター等からの書庫出納と本の修理を行っている。活動日数236日、活動時間846時間、月平均25人。

⑥活動内容（平成29年度）

1. 図書館講座

○第1回図書館講座 平成29年6月24日
「図書館基礎講座」レファレンス入門
講師：中央図書館主幹 叶多泰彦
参加人数16人

○第2回図書館講座 平成29年9月23日
「初代会長とボランティアの原点を探る」
講師：初代会長 押樋良樹
参加人数18人

○新入会員基礎講座 平成29年11月25日
配架の基礎知識
各部会説明
館内案内
DVD「図書館の達人」視聴
講師：椎名昭洋 橋智子 橋場くみ
参加人数8人

3. インフォメーション部

・夏休み体験ボランティアと新入会員研修会の館内案内。
・総会の司会とリサイクルブック市のアナウンスを担当。
・図書館見学会企画。
・毎月第3水曜日に学習会を開催。

4. 広報部

・会報「FIL通信」88,89,90,91号を発行。
・「広報いちかわ」に募集告知を掲載。

2. リサイクルブック市の運営と募金活動

○中央図書館（第24回）平成29年10月28日
グリーンスタジオ
入場者1,095人

5. 総務部

入会申込みと継続会費受付を毎月第1・第3日曜日に図書館入り口で行っている。
本年度新入会員受付は16人
内訳：4月2人、5月2人、6月0人、7月0人
8月3人、9月2人、10月0人、11月1人
12月1人、1月0人、2月4人、3月1人

12. 新聞・雑誌一覧 (1) 購入雑誌一覧

平成30年11月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
アイ	愛犬の友	誠文堂新光社	隔月刊	①							ウ-4	偶月 25日	
アイ	アイデア	誠文堂新光社	季刊	⑤							キ-1	3・6・9・12月10日	
アイ	AERA	朝日新聞出版	週刊	③		①					ア-2	毎週月曜日	
アイ	AERA with Kids	朝日新聞出版	季刊	③	②				③		イ-1	3・6・9・12月5日	
アイ	AERA with Baby	朝日新聞出版	隔月刊	③							イ-1	奇月 15日	16年4月号で休刊
アカ	赤ちゃん和妈妈	赤ちゃん和妈妈社	月刊	③							イ-1	毎月 25日	
アク	アクアライフ	エムピージェー	月刊	①							ウ-4	毎月 11日	
アク	アクセス	地方小出版流通センター	月刊	①							ア-1	毎月 1日	
アサ	アサヒカメラ	朝日新聞出版	月刊	◎		③					ウ-2	毎月 20日	
アサ	朝日ジャーナル	朝日新聞社	週刊	◎							書庫		92年5/29日号で休刊
アス	明日の友	婦人之友社	隔月刊		②				③			偶月 5日	
アニ	アニメージュ	徳間書店	月刊	③							イ-1	毎月 10日	
アネ	Ane Can	小学館	月刊						②			毎月 7日	16年12月号で休刊
アン	an・an	マガジンハウス	週刊	①		①					ア-3	毎週水曜日	
アン	&Premium	マガジンハウス	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
アン	アントレ	リクルート	季刊	③							カ-2	3・6・9・12月27日	
イ	NHK囲碁講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
イツ	一個人	ベストセラーズ	月刊					①				毎月 10日	
イフ	田舎暮らしの本	宝島社	月刊	⑤							ア-5	毎月 3日	
ウア	25' ans	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月 28日	
ウイ	We	フェミックス	隔月刊							◎		偶月 10日	
ウイ	with	講談社	月刊					①				毎月 28日	
ウイ	We learn	日本女性学習財団	月刊							◎		毎月 1日	
ウイ	WiLL(月刊ウィル)	ワック	月刊	③							ア-2	毎月 26日	
ウエ	WEDGE(ウェッジ)	ウェッジ	月刊						③			毎月 20日	
ウエ	Web designing	マイナビ出版	隔月刊	①							ケ-3	偶月 18日	
ウエ	VERY(ヴェリイ)	光文社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ウオ	Voice	PHP研究所	月刊	①							ア-2	毎月 10日	
ウオ	VoCE(ヴォーチェ)	講談社	月刊	①							ア-3	毎月 23日	
ウシ	潮	潮出版社	月刊	③							ア-2	毎月 5日	
ウツ	美しいキモノ	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	季刊	③		③					ア-4	2・5・8・11月20日	
ウマ	UMA LIFE馬ライフ	メトロポリタンプレス	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
エイ	HR(エイチアール)	グラフィティ	隔月刊	①							イ-1	偶月 10日	18年1・2月号で休刊
エイ	栄養と料理	女子栄養大学出版部	月刊	③		①			②		ア-5	毎月 9日	
エキ	Expert Nurse	照林社	月刊								⑤	毎月 20日	
イク	eclat(エクラ)	集英社	月刊								②	毎月 1日	
イク	The Economist [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週土曜日	
イク	エコノミスト	毎日新聞社	週刊	③			①				カ-1	毎週月曜日	
イス	SFマガジン	早川書房	隔月刊	◎							ウ-6	偶月 25日	
イス	Esquire [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 28日	
イツ	ESSE	フジテレビジョン	月刊	①			①	①			ア-4	毎月 7日	
イム	MJ無線と実験	誠文堂新光社	月刊	①							ウ-3	毎月 10日	
イル	ELLE DÉCOR	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊			③			②			奇月 7日	
イン	園芸ガイド	主婦の友社	季刊	⑤							ウ-2	3・5・9・12月8日	
イン	演劇界	演劇出版社	月刊	◎							イ-2	毎月 5日	
オズ	oz magazine	スターツ出版	月刊	①		①	①				ア-3	毎月 12日	
オジ	おそい・はやい・ひくい・たかい	ジャパンマシニスト社	季刊	◎		⑤					オ-1	奇月 25日	
オト	男の隠れ家	三栄書房	月刊	①							ア-4	毎月 27日	
オト	おとなの週末	講談社	月刊		①	①						毎月 15日	
オム	OHM	オーム社	月刊	③							キ-3	毎月 5日	
オル	オール讀物	文藝春秋	月刊	◎	①	①	①	①			ウ-6	毎月 22日	
オレ	オレンジページ	オレンジページ	月2回	①	①	①		①			ア-5	毎月2・17日	
オン	音楽の友	音楽之友社	月刊	③		③					ウ-5	毎月 18日	
カク	科学	岩波書店	月刊	③							ケ-2	毎月 28日	
カク	化学	化学同人	月刊	③							キ-3	毎月 18日	
カク	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤							キ-3	毎月 1日	13年4月号から寄贈へ
カク	かがくのとも	福音館書店	月刊	◎		◎	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
カク	岳人	ネイチュアエンタープライズ	月刊	③							イ-3	毎月 15日	
カサ	Casa BRUTUS	マガジンハウス	月刊	③							ア-5	毎月 10日	
カジ	かぞくのじかん	婦人之友社	季刊	③	②	③		②			イ-1	3・6・9・12月5日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
カ	学校図書館	全国学校図書館協議会	月刊	◎							ア-1	毎月 7日	
カ	CUT(カット)	ロッキング・オン	月刊				①					毎月 19日	
カツ	かつくら	新紀元社	季刊	⑤							エ-1	1・4・7・10月25日	13年春号より図書登録(桜雲社)
カテ	家庭画報	世界文化社	月刊	③		①					ア-3	毎月 1日	
カハ	ガバナンス	ぎょうせい	月刊	③							オ-3	毎月 1日	
カラ	月刊空手道&フルコンタクト	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 27日	16年2月号で休刊
カン	考える人	新潮社	季刊	③							エ-3	1・4・7・10月4日	17年春号で休刊
カン	環境と公害	岩波書店	季刊	◎							キ-3	1・4・7・10月25日	
カン	がんサポート	エビデンス社	月刊						③			毎月 16日	16年6月号で休刊
カン	関東東北じゃらん	リクルートホールディングス	月刊	①							ウ-1	毎月 1日	
カキ	機械技術	日刊工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 25日	
キキ	企業診断	同友館	月刊						⑤			毎月 27日	
キネ	キネマ旬報	キネマ旬報社	月2回	◎		③					イ-2	毎月 5・20日	
キャ	CAPA	学研ハブリッシング/学研マーケティング(発売)	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
キャ	GALAC	放送批評懇談会	月刊	③							キ-1	毎月 6日	
キャ	Cancam	小学館	月刊			①						毎月 23日	
キョ	教育	かもがわ出版	月刊	◎							オ-1	毎月 10日	
キョ	教育ジャーナル	学研マーケティング	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
キョ	NHKきょうの健康	NHK出版	月刊	①	①	①	①	①	②		イ-1	毎月 21日	
キョ	NHKきょうの料理	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
キルト	キルトジャパン	日本ヴォーグ社	季刊	③							ア-5	3.6.9.12月の4日	
キン	銀花	文化出版局	季刊	◎							イ-2	2・5・8・11月25日	10年春号で休刊
キン	近代柔道	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ク	ku:nel	マガジンハウス	隔月刊	③	②						ア-4	奇月 20日	
ク	Good Housekeeping [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
ク	月刊クーヨン	クレヨンハウス	月刊	③							イ-1	毎月 3日	
ク	暮らしの手帖	暮らしの手帖社	隔月刊	◎	②	⑤	②	②			ア-4	奇月 25日	
ク	COURRIER JAPON	講談社	月刊	③					③		ア-2	毎月 25日	16年4月号で休刊
クル	月刊ぐるっと千葉	ちばマガジン	月刊	◎		①					ア-3	毎月 21日	
クレ	CREA	文藝春秋	月刊	①		①					ア-4	毎月 7日	
クレ	CREA TRAVELLER	文藝春秋	季刊	③			②				ウ-1	3・6・9・12月10日	
ク	クワッサン	マガジンハウス	月2回	①	①	①	①	①			ア-3	毎月10・25日	
ク	群像	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 7日	
ケ	ケアマネジャー	中央法規出版	月刊	③							ク-3	毎月 27日	
ケ	経済界	経済界	月刊						③			毎月 22日	
ケ	経済セミナー	日本評論社	隔月刊						③			奇月 27日	
ケ	芸術新潮	新潮社	月刊	◎		③					イ-2	毎月 25日	
ケ	毛糸だま	日本ヴォーグ社	季刊	③		③					ア-5	2・5・8・11月5日	
ケ	GOETHE(ゲーテ)	幻冬舎	月刊						②			毎月 24日	
ケン	現代思想	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月 27日	
ケン	現代詩手帖	思潮社	月刊	◎							エ-3	毎月 28日	
ケン	現代の図書館	日本図書館協会	季刊	◎							ア-1	3・6・9・12月15日	
ケン	建築知識	エクスナレッジ	月刊	⑤							ク-1	毎月 20日	
ケン	建築文化	彰国社	隔月刊	◎							ク-1	隔月 25日	04年12月号で休刊
ケン	剣道時代	体育とスポーツ出版社	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ケン	剣道日本	スキージャーナル	月刊	③							イ-4	毎月 25日	18年1月号で休刊
コ	工業材料	日刊工業出版プロダクション/日刊工業新聞社(発売)	月刊	③							ク-1	毎月 15日	
コ	航空情報	酣燈社	月刊	③							ウ-1	毎月 21日	
コ	公募ガイド	公募ガイド社	月刊	①							ア-3	毎月 9日	
コ	小型全国時刻表	交通新聞社	月刊		①							毎月 20日	
コ	国文学	学燈社	月刊	◎							エ-3	毎月 10日	09年7月号で休刊
コ	国語と国文学	東京大学国語国文学会	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	
コ	国文学解釈と鑑賞	ぎょうせい	月刊	◎							エ-3	毎月 12日	11年10月号で休刊
コ	国文学 解釈と教材の研究	学燈社	月刊	◎							エ-3		09年7月で休止
ココ	こころの科学	日本評論社	隔月刊						③			偶月 25日	
コス	COSMOPOLITAN [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	不定期	
コト	kotoba	集英社	季刊	⑤							ア-2	3・6・9・12月の6日	
コト	ことばの翼 詩歌句	北溟社	不定期	◎							エ-3	不定期	
コト	子どもと科学よみもの	科学読物研究会	月刊	◎							子供	毎月 1日	
コト	こどもとしょうかん	東京子ども図書館	季刊	◎		⑤					子供	1・4・7・10月20日	
コト	こどもと昔話	小澤昔ばなし研究所	季刊	◎							子供	1・4・7・10月20日	
コト	子供の科学	誠文堂新光社	月刊	③		③					子供	毎月 10日	
コト	こどもの図書館	児童図書館研究会	月刊	◎		⑤					子供	毎月 25日	行徳13年3月号で中止
コト	こどものとも	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
コト	こどものとも (0・1・2)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤	⑤			子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年少版)	福音館書店	月刊	◎		⑤	⑤				子供	毎月 3日	
コト	こどものとも(年中向き)	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
コト	月刊こどもの本棚	日本こどもの本研究会	月刊	◎							子供	毎月 15日	
コト	子どもの館	福音館書店	月刊	◎							子供		83年3月号で休刊
コト	月刊子ども論	クレヨンハウス	月刊	◎							子供	毎月 26日	06年3月号で休刊
コモ	Como	主婦の友社	季刊	③	①						イ-1	2・5・9・12月7日	17年夏秋号で休刊
コル	ゴルフダイジェスト	ゴルフダイジェスト社	月刊	③		①					イ-4	毎月 21日	
コワ	碁ワールド	日本棋院	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
サイ	CYCLE SPORTS	八重洲出版	月刊							③		毎月 20日	
サイ	saita	セブン&アイ出版	不定期	①	①						ア-3	毎月 7日	
サタ	THE TIMES MAGAZINE[英語]	THE TIMES	週刊	①							イ-5	毎週	新聞付録
サツ	SOCCER MAGAZINE ZONE	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	16年9月号より「サッカーマガジン」に改題
サツ	サッカーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③		①					イ-4	毎月 24日	
サニ	THE21	PHP研究所	月刊	①							カ-1	毎月 10日	
サヒ	SAPIO	小学館	月刊			③						毎月 4日	
サフ	SURFIN' LIFE	DIVER株式会社	隔月刊	③							イ-3	偶月 10日	
サフ	Surftrip JOURNAL	樫出版社	年3回	③							イ-3	4.7.10月24日	
サラ	サライ	小学館	月刊	①		①	①				ア-2	毎月 10日	
サラ	サラサーテ	せきれい社	隔月刊	③							ウ-5	奇月 2日	
サン	サンキュ!	ベネッセコーポレーション	月刊	①		①					ア-3	毎月 2日	
サン	サンデー毎日	毎日新聞社	週刊	③	①						ア-2	毎週火曜日	
サン	3分クッキング	KADOKAWA	月刊	③							ア-5	毎月 16日	
サン	散歩の達人	交通新聞社	月刊	①	①						ウ-1	毎月 21日	
シエ	JR時刻表	交通新聞社	月刊			①						毎月 20日	
シエ	JJ	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 23日	
シエ	JTB時刻表	JTBパブリッシング	月刊	①			①	①	半年		ウ-1	毎月 20日	
シエ	CNN ENGLISH EXPRESS	朝日出版社	月刊	①							エ-2	毎月 6日	
ジエ	JK Fan 空手道マガジン	チャンプ	月刊	③							イ-4	毎月 23日	
シカ	月刊自家用車	内外出版社	月刊	①							ウ-4	毎月 26日	
シキ	CQ ham radio	CQ出版社	月刊	①							ウ-3	毎月 19日	
シシ	CG(CAR GRAPHIC)	カーグラフィック	月刊				①					毎月 1日	
シゼ	しぜん	フレーベル館	月刊	◎							子供	毎月 1日	13年3月号で中止
シソ	思想	岩波書店	月刊	◎							エ-3	毎月 29日	
シテ	CDジャーナル	音楽出版社	月刊	①							ウ-5	毎月 20日	
シト	児童心理	金子書房	月刊	③							オ-1	毎月 12日	
シナ	シナリオ	シナリオ作家協会	月刊	◎							イ-2	毎月 3日	
シヤ	月刊社会教育	国土社	月刊	◎							オ-1	毎月 18日	
シヤ	社会教育	日本青年館「社会教育」編集部	月刊	◎							オ-1	毎月 1日	
シヤ	JaZZ JAPAN	ジャズジャパン	月刊	①							ウ-5	毎月 23日	
シヤ	JAPAN FITNESS	ジャパンフィットネス	月刊	③							イ-3	毎月 28日	
シユ	週刊朝日	朝日新聞出版	週刊	③		①		①			ア-2	毎週火曜日	
シユ	週刊金曜日	金曜日	週刊	①		①					ア-2	毎週金曜日	
シユ	週刊新潮	新潮社	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ダイヤモンド	ダイヤモンド社	週刊	①		①		①	①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊東洋経済	東洋経済新報社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
シユ	週刊プロレス	ベースボール・マガジン社	週刊	③							イ-4	毎週水曜日	
シユ	週刊文春	文藝春秋	週刊	③	①	①	①	①	①		ア-2	毎週木曜日	
シユ	週刊ベースボール	ベースボール・マガジン社	週刊	③		①					イ-4	毎週水曜日	
シユ	自遊人	自遊人	季刊			③						3・6・9・12月26日	
シユ	住宅建築	建築資料研究社	隔月刊	⑤							ケ-1	偶月 19日	
シユ	住民と自治	自治体研究社	月刊	③							オ-3	毎月 11日	
シユ	出版ニュース	出版ニュース社	旬刊	③							ア-1	毎月1・11・21日	
シユ	月刊ジュニアエラ	朝日新聞出版	月刊		③							毎月 15日	
シユ	JUNON	主婦と生活社	月刊			①						毎月 23日	
シユ	NHK趣味の園芸	NHK出版	月刊	③	①	①	①	①			ウ-2	毎月 21日	
シユ	NHK趣味の園芸やさいの時間	NHK出版	月刊	③	①						ウ-2	毎月 21日	
シユ	ジュリスト	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
シヨ	NHK将棋講座	NHK出版	月刊		①							毎月 16日	
シヨ	将棋世界	日本将棋連盟	月刊	①		①					ウ-4	毎月 3日	
シヨ	商業界	商業界	月刊							③		毎月 1日	
シヨ	小説現代	講談社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	18年10月号で休刊
シヨ	小説新潮	新潮社	月刊	◎	①	①		①			ウ-6	毎月 22日	
シヨ	小説推理	双葉社	月刊	◎							ウ-6	毎月 27日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
シヨ	小説すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 17日	
シヨ	小説宝石	光文社	月刊	◎							ウ-6	毎月 22日	
シヨ	情報の科学と技術	情報科学技術協会	月刊	◎							ア-1	毎月 1日	
シヨ	女性展望	市川房枝記念会	隔月刊							◎		毎月 10日	
シヨ	初等教育資料	東洋館出版社	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止
ジヨ	乗馬ライフ	ワイズファクトリー トレポリタンプレス(発売)	月刊	③							イ-3	毎月 25日	16年11月号からUMA LIFEへ変更
シシ	Think!	東洋経済新報社	不定期						⑤			1・4・7・10月25日	15年AUTUMNで中止
シシ	新建築	新建築社	月刊	⑤							ク-1	毎月 1日	
シシ	新潮	新潮社	月刊	◎		③			①		ウ-6	毎月 7日	
シシ	新潮45	新潮社	月刊	③							ア-2	毎月 18日	18年10月号で休刊
シシ	新電気	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 1日	
シシ	新聞ダイジェスト	新聞ダイジェスト社	月刊	③							カ-1	毎月 15日	
スイ	SWIMMING MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-3	毎月 11日	
スウ	数学セミナー	日本評論社	月刊	③							エ-2	毎月 12日	
スウ	数理科学	サイエンス社	月刊	③							エ-2	毎月 20日	
スキ	SKI GRAPHIC	芸文社	月刊	③							イ-3	毎月 10日	
スク	SCREEN	近代映画社 ジャパンプリント(発売)	月刊	①							イ-2	毎月 21日	
ステ	すてきにハンドメイド	NHK出版	月刊	③	①	③	①	①			ア-5	毎月 21日	
ステ	Stereo	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 19日	
スト	STRIKER DX	学研マーケティング	季刊	③							子供	3,6,9,12月12日	
スト	STORY	光文社	月刊	①	①	①					ア-3	毎月 1日	
スハ	すばる	集英社	月刊	◎							ウ-6	毎月 6日	
スホ	Sports Graphic Number	文藝春秋	隔週刊	③		①			①		イ-3	隔週木曜日	
スマ	Sumai 住まいの設計	扶桑社	隔月刊	⑤		③					ア-5	奇月 21日	
スマ	smart	宝島社	月刊	①							エ-1	毎月 24日	
スミ	墨	芸術新聞社	隔月刊	◎							イ-2	奇月1日	
スモ	相撲	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 28日	
セイ	税理	ぎょうせい	月刊	③							カ-2	毎月 20日	
セイ	清流	清流出版	月刊	②							ア-4	毎月 1日	
セイ	正論	産経新聞社	月刊	③							ア-2	毎月 1日	
セカ	世界	岩波書店	月刊	◎		③					ア-2	毎月 8日	
セツ	設備と管理	オーム社	月刊	③							ク-1	毎月 11日	
セフ	SEVENTEEN	集英社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
セン	選択	選択出版	月刊	⑤							ア-2	毎月 1日	
セン	宣伝会議	宣伝会議	月刊						③			毎月 1日	
ソウ	装苑	文化出版局	隔月刊	③		①					ア-5	奇月 28日	
ソウ	壮快	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月 16日	
ソト	ソトコト	木楽舎	月刊	⑤							ア-4	毎月 5日	
ソフ	Software Design	技術評論社	月刊	①							ケ-3	毎月 18日	
タイ	大法輪	大法輪閣	月刊	◎							エ-3	毎月 8日	
タイ	DIME	小学館	月刊	①		①					ア-4	毎月 16日	
タイ	TIME アジア版[英語]	輸入元:タイムインク社	週刊	③		①					イ-5	毎週火曜日	
タイ	ダイヤモンド Zai	ダイヤモンド社	月刊	①		①			②		カ-2	毎月 21日	
タウ	ダ・ヴィンチ	KADOKAWA	月刊	◎	①			①			ア-1	毎月 6日	
タウ	たくさんのふしぎ	福音館書店	月刊	◎		⑤					子供	毎月 3日	
タサ	Tarzan	マガジンハウス	月2回	①							イ-4	第2・4木曜日	
タツ	卓球王国	卓球王国	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
タツ	Touchdown	タッチダウン	月刊	③							イ-4	毎月 30日	16年10月号で休刊
タシ	旅の手帖	交通新聞社	月刊	①	①	①		①			ウ-1	毎月 10日	
タマ	たまごクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
タシ	短歌	KADOKAWA	月刊	◎							エ-3	毎月 25日	
タシ	ダンスファン	白夜書房	月刊	③							イ-3	毎月 27日	17年12月号で休刊
タシ	DANCE MAGAZINE	新書館	月刊	③							イ-2	毎月 27日	
タシ	dancyu	プレジデント社	月刊	③		①					ア-5	毎月 6日	
チイ	ちいさい・おおきい・よわい・つよい	ジャパンマシニスト社	季刊	◎	②	⑤					イ-1	1・4・7・10月25日	
チイ	ちいさなかがくのとも	福音館書店	月刊	◎		⑤		⑤			子供	毎月 3日	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	毎月 29日	
チハ	Chiba Walker(千葉ウォーカー)	KADOKAWA	隔週刊	◎							ア-3	隔週火曜日	09年4月号で休刊
チホ	地方史研究	岩田書院	隔月刊	③							オ-2	偶月下旬	
チホ	地方自治	ぎょうせい	月刊	◎							オ-3	毎月 5日	
チヤ	チャイルドヘルス	診断と治療社	月刊						⑤			毎月 1日	
チヤ	CHANTO	主婦と生活社	月刊	①		①					ア-3	毎月 7日	
チユ	中央公論	中央公論新社	月刊	◎		③					ア-2	毎月 10日	
チユ	中等教育資料	ぎょうせい	月刊	⑤							オ-1	毎月 28日	13年3月号で中止

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
刊	月刊地理	古今書院	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
刊	治療	南山堂	月刊	⑤					⑤		ク-3	毎月 1日	駅南13年3月号で中止
刊	チルチンぴと	風土社	季刊	⑤							ア-5	3・6・9・12月11日	
ツク	創	創出版	月刊	◎							ア-2	毎月 7日	
ツリ	つり人	つり人社	月刊	①		①					ウ-2	毎月 25日	
テア	テアトロ	カモミール社	月刊	◎							イ-2	毎月 13日	
ティ	DVD&動画配信で一た	KADOKAWA	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	
ティ	DVD&ブルーレイで一た	KADOKAWA	月刊	①							ウ-3	毎月 20日	18年4月号より「DVD&動画配信で一た」へ変更
ティ	ディテール	彰国社	季刊	③							ク-1	3・6・9・12月15日	
テツ	鉄道ジャーナル	鉄道ジャーナル社	月刊	①							ウ-1	毎月 21日	
テツ	鉄道ピクトリアル	電気車研究会	月刊			①						毎月 20日	
テツ	鉄道ファン	交友社	月刊	③							子供	毎月 21日	
テニ	Tennis Magazine	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 21日	
テレ	TVガイド 関東版	東京ニュース通信社	週刊	①							ウ-3	毎週水曜日	
テン	点字ジャーナル	東京ヘレン・ケラー協会	月刊	①							障害	毎月 25日	
テン	天然生活	地球丸	月刊			③	①					毎月 20日	
テン	天文ガイド	誠文堂新光社	月刊	③							ク-2	毎月 5日	
トウ	Tokyo Walker	KADOKAWA	月刊	①							ア-3	毎月 20日	
トウ	東京カレンダー	東京カレンダー	月刊						②			毎月 21日	
トウ	東京人	都市出版	月刊	③							ア-2	毎月 3日	
トウ	陶磁郎	双葉社	季刊	◎							イ-2	不定期	06年48号で休刊
トウ	ドーパ!	学研マーケティング	隔月刊						③			奇月 8日	
トウ	陶遊	新企画出版局	隔月刊	◎							イ-2	奇月 25日	12年2月号で休刊
トク	特選街	マキノ出版	月刊	①				①			ア-4	毎月 3日	
トク	特別支援教育研究	東洋館出版社	月刊	◎							オ-1	毎月 28日	
トシ	図書館界	日本図書館研究会	隔月刊	◎							ア-1	奇月 17日	
トシ	図書館雑誌	日本図書館協会	月刊	◎							ア-1	毎月 22日	
トブ	飛ぶ教室	光村図書出版	季刊	◎							子供	1・4・7・10月25日	13年SPRINGより図書登録
トホ	土木技術	土木技術社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
トラ	ドライバー	八重洲出版	月刊		①							毎月 20日	
トラ	トランジスタ技術	CQ出版社	月刊	③							キ-2	毎月 10日	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC [英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月 下旬	
ナシ	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版	日経ナショナルジオグラフィック	月刊	③							ク-2	毎月 30日	
ナシ	NURSING	学研メディカル秀潤社	月刊	③							ク-3	毎月 20日	
ニコ	nicola(ニコラ)	新潮社	月刊	①							エ-1	毎月 1日	
ニツ	日経アーキテクチュア	日経BP社	月2回	⑤							ク-1	毎月10・25日	
ニツ	日経WOMAN	日経BP社	月刊	①		①		①			ア-3	毎月 7日	
ニツ	日経エンタテインメント!	日経BP社	月刊			①						毎月 4日	
ニツ	日経おとなのOFF	日経BP出版センター	月刊				①		②			毎月 6日	
ニツ	日経会社情報	日本経済新聞社/日本経済新聞出版社(発売)	季刊	⑤							カ-2	3・6・9・12月15日	17.2春号で休刊
ニツ	日経コミュニケーション	日経BP社	月刊	①							ケ-5	毎月 1日	17年7月号で休刊
ニツ	日経コンピュータ	日経BP社	隔週刊	①							ケ-4	隔週木曜日	
ニツ	日経サイエンス	日経サイエンス	月刊	③		③					ク-2	毎月 25日	
ニツ	日経ソフトウェア	日経BP社	隔月刊	①							ケ-2	奇月 24日	
ニツ	日経デザイン	日経BP社	月刊	③							キ-1	毎月 24日	
ニツ	日経トッパーリーダー	日経BP社	月刊	①							カ-1	毎月 1日	
ニツ	日経TRENDY	日経BP社	月刊	①		①	①				カ-1	毎月 4日	
ニツ	日経パソコン	日経BP社	月2回	①							ケ-4	第2・4月曜日	
ニツ	日経PC21	日経BP社	月刊	①		①	①	①	①		ケ-2	毎月 24日	
ニツ	日経ビジネス	日経BP社	週刊	①		①			①		カ-1	毎週月曜日	
ニツ	日経ビジネスAssocie'	日経BP社	月刊		①	①		①				毎月 10日	18年9月号で休刊
ニツ	日経ヘルス	日経BP社	月刊	①				①			イ-1	毎月 2日	
ニツ	日経マネー	日経BP社	月刊	①	①	①	①				カ-1	毎月 21日	
ニツ	日経メディカル	日経BP社	月刊						③			毎月 10日	
ニホ	日本カメラ	日本カメラ社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ニホ	日本古書通信	日本古書通信社	月刊	③							ア-1	毎月 15日	
ニホ	日本児童文学	日本児童文学者協会/小峰書店(発売)	隔月刊	◎							子供	奇月 9日	
ニホ	日本の参考図書:四季版	日本図書館協会	季刊	◎							図書	1・4・7・10月	
ニホ	日本の美術	ぎょうせい	月刊	◎							イ-2	毎月 12日	11年10月号で休刊
ニホ	日本歴史	吉川弘文館	月刊	⑤							オ-2	毎月 25日	
ニユ	Newsweek 日本版	阪急コミュニケーションズ	週刊	③		①					ア-2	毎週火曜日	
ニユ	月刊Newsがわかる	毎日新聞社	月刊	◎		③					エ-1	毎月 15日	
ニユ	Newtype	KADOKAWA	月刊			③						毎月 10日	
ニユ	Newton	ニュートンプレス	月刊	◎		①					ク-2	毎月 26日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ニュ	THE NEW YORKER [英語]	輸入元:OCS	週刊	③							イ-5	毎週木曜日	14年3月31日号で中止
ネイ	nature [英語]	輸入元:OCS	週刊	⑤							イ-5	毎週木曜日	13年3月28日号で中止
ネコ	猫びより	辰巳出版	隔月刊	①							ウ-4	毎月 12日	
ネハ	ネバーランド	てらいんく	不定期	◎							子供	2・5・8・11月5日	10年Vol.14で中止
ノジ	ノジュール(nodule)	JTBパブリッシング	月刊			③						毎月 28日	
ノマ	ノーマライゼーション	日本障害者リハビリテーション協会	月刊	③							ク-3	毎月 1日	18年3月号で休刊
ノノ	non・no	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月 20日	
ハイ	Hi Wind	マリン企画	季刊	③							イ-3	3・6・9・12月5日	16年7月号で休刊
ハイ	俳句	KADOKAWA	月刊	◎		③					イ-3	毎月 25日	
ハイ	BiCYCLE CLUB	榎出版社	月刊	①		①					ウ-4	毎月 20日	
ハウ	Harvard Business Review	ダイヤモンド社	月刊	③							カ-1	毎月 10日	
ハウ	HOUSING	リクルート	月刊	⑤			①	①			ア-5	毎月 21日	
ハス	HERS	光文社	月刊	①							ア-4	毎月 12日	
ハス	バスケットボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 25日	
ハツ	パッチワーク通信	パッチワーク通信社	隔月刊	③							ア-5	毎月 22日	15年6月号で休刊
ハツ	B=PASS	シンコーミュージック・エンタテイメント	月刊	①							イ-1	毎月 27日	
ハト	鳩よ!	マガジンハウス	月刊	◎							イ-3		02年5月号で休刊
ハド	Badminton MAGAZINE	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月 22日	
ハナ	Hanako	マガジンハウス	月刊	①				①			ア-3	第2・4木曜日	
ハナ	花時間	KADOKAWA	季刊	③							ア-3	3・6・9・12月7日	15年7月号で休刊
ハハ	母の友	福音館書店	月刊	◎		①	①		②		子供	毎月 3日	
ハヤ	ハヤカワミステリマガジン	早川書房	隔月刊	◎		①					ウ-6	毎月 25日	
ハル	ハルメク	ハルメク	月刊	①							ア-3	毎月 10日	
ハレ	月刊バレーボール	日本文化出版	月刊	③							イ-4	毎月 15日	
ハン	判例時報	判例時報社	旬刊	◎							オ-3	毎月1・11・21日	
ハン	判例タイムズ	判例タイムズ社	月刊	◎							オ-3	毎月 25日	
ハン	バンドジャーナル	音楽之友社	月刊	①							ウ-5	毎月 10日	
ビシ	Business i. ENECO	日本工業新聞社	月刊	③							ク-1	毎月 28日	
ビシ	ビジネスチャンス	ビジネスチャンス	隔月刊						③			毎月 22日	
ビシ	ビジネス法務	中央経済社	月刊						⑤			毎月 21日	
ビシ	美術手帖	美術出版社	隔月刊	◎							イ-2	毎月 17日	
ビツ	BIG tomorrow	青春出版社	月刊						③			毎月 25日	18年1月号で休刊
ビツ	Hit&Run	ベースボール・マガジン社	不定期	③							子供	不定期	17年3月号で中止
ビテ	ビデオSALON	玄光社	月刊	①							ウ-2	毎月 20日	
ビハ	BE-PAL	小学館	月刊	③		①					イ-3	毎月 10日	
ビフ	Pee Boo	ブックローン社	季刊	◎							子供		98年30号で休刊
ビヨ	ひよこクラブ	ベネッセコーポレーション	月刊	①			①				イ-1	毎月 15日	
ビラ	ひらがなタイムズ [英語]	ヤック企画	月刊	③							イ-5	毎月 20日	
フォ	Forbes Japan	プレジデント社	月刊	①							カ-1	毎月 25日	
フク	月刊福祉	全国社会福祉協議会	月刊	③							ク-3	毎月 9日	
フジ	婦人画報	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-3	毎月 1日	
フジ	婦人公論	中央公論新社	月2回	③	①	①	①	①			ウ-6	第2・4火曜日	
フジ	婦人之友	婦人之友社	月刊	③							ウ-6	毎月 12日	
フラ	FRaU	講談社	不定期	①							ア-3		
フラ	プラス1リビング	主婦の友社	季刊	⑤	①						ア-5	3・6・9・12月7日	
ブリ	BRIDGE	ロッキング・オン	不定期	③							ウ-5	不定期	15年6月号80号で中止
フル	フルコンタクトKARATE	福昌堂	月刊	③							イ-4	毎月 23日	15年7月から「月刊空手道」と統合
フル	BRUTUS	マガジンハウス	月2回			①						毎月1・15日	
フル	プレジデント	プレジデント社	月2回	①			①		①		カ-1	第2・4月曜日	
フル	PRESIDENT WOMAN	プレジデント社	月刊	①					①		ア-3	毎月 7日	
フル	プレジデント Family	プレジデント社	季刊	③			②		②		イ-1	3・6・9・12月5日	
フル	Pre-mo	主婦の友社	季刊			①						1・4・7・10月15日	
フル	ブレーン	宣伝会議	月刊	③							キ-1	毎月 1日	
フロ	フローリスト	誠文堂新光社	月刊	③							ウ-2	毎月 8日	
ブン	文学	岩波書店	隔月刊	◎							イ-3	毎月 25日	16年11・12月号で休刊
ブン	文学界	文藝春秋	月刊	◎							イ-3	毎月 7日	
ブン	文藝	河出書房新社	季刊	◎							ウ-6	1・4・7・10月7日	
ブン	文藝春秋	文藝春秋	月刊	◎	①	③	①	①	①		ア-2	毎月 10日	
ブン	別冊文藝春秋	文藝春秋	隔月刊	◎							ウ-6	毎月 8日	15年3月号で休刊
ブン	文藝春秋SPECIAL	文藝春秋	季刊	⑤							ア-2	2・5・8・11月26日	17年秋号で休刊
ベース	Baseball Clinic	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-1	毎月 17日	
ベビ	Baby-mo	主婦の友社	季刊			①		①				3・6・9・12月15日	
ペン	pen	阪急コミュニケーションズ	月2回	③							ア-4	毎月1・15日	
ホク	法学教室	有斐閣	月刊	◎							オ-3	毎月 28日	

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	発売日	備考(年は西暦下2桁)
ホウ	法学セミナー	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月12日	
ホウ	訪問看護と介護	医学書院	月刊	⑤							ク-3	不定期	
ホウ	法律時報	日本評論社	月刊	◎							オ-3	毎月27日	
ホウ	ボクシングマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月15日	
ホス	月刊BOSS	経営塾	月刊						③			毎月22日	
ホビ	Hobby JAPAN	ホビージャパン	月刊	①							ウ-3	毎月25日	
ホム	HOMES & GARDENS [英語]	輸入元:紀伊國屋書店	月刊	③							イ-5	毎月10日	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	毎月25日	16年5月号から寄贈へ変更
ホン	本の雑誌	本の雑誌社	月刊	③		①					ア-1	毎月10日	
マイ	毎日が発見	KADOKAWA	月刊	①				①			ア-3	毎月28日	
マッ	Mac Fan	マイナビ	月刊	①							ケ-1	毎月29日	
マト	Mart	光文社	月刊	①				①	③		ア-4	毎月28日	
マリ	Marine Diving	水中造形センター	月刊	③							イ-3	毎月10日	
ミセ	ミセス	文化出版局	月刊	①	①		①				ア-3	毎月7日	
ミセ	ミセスのスタイルブック	文化出版局	季刊	③							ア-5	2・4・6・10月12日	
ミタ	三田文學	三田文学会	季刊	◎							エ-3	1.4.7.10月の11日	
ミミ	MIMI	全日本ろうあ連盟	季刊	③							ク-3	3・6・9・12月15日	
ミュ	ミュージカル	ミュージカル社	隔月刊	①							イ-2	奇月5日	
ミヨ	Myojo	集英社	月刊	①							エ-1	毎月23日	
ミン	みんなの図書館	教育史料出版会	月刊	◎							ア-1	毎月10日	
ムジ	MUSICA	FACT	月刊	①							ウ-5	毎月15日	
メ	目の眼	目の眼	月刊	◎							イ-2	毎月15日	
メフ	メフィスト(小説現代別冊)	講談社	年3回	◎							ウ-6	不定期	16年Vol.1で休刊
メン	MEN'S EX	世界文化社	月刊			①						毎月6日	
メン	MEN'S CLUB	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	月刊	①							ア-4	毎月24日	
メン	MEN'S NON・NO	集英社	月刊	①							ア-4	毎月10日	
モア	MORE	集英社	月刊	①		①					ア-4	毎月28日	
モエ	MOE	白泉社	月刊	③		①					エ-1	毎月3日	
モタ	別冊MOTOR CYCLIST	八重洲出版	隔月刊	③							ウ-4	偶月15日	15年5月号で休刊
モタ	Motorcyclist	八重洲出版	月刊	③							ウ-4	毎月1日	
モタ	Motor Magazine	モーターマガジン社	月刊	③		③					ウ-4	毎月1日	
モタ	モダンリビング	ハースト婦人画報社/講談社(発売)	隔月刊	⑤							ア-5	偶月7日	
モノ	monoマガジン	ワールドフォトプレス	月2回	①							ア-4	毎月2・16日	
ヤサ	やさしい畑	家の光協会	隔月刊	③							ウ-2	奇月3日	
ヤマ	山と溪谷	山と溪谷社	月刊	③		①					イ-3	毎月15日	
ユウ	ゆうゆう	主婦の友社	月刊	①							ア-3	毎月1日	
ユホ	ゆほびか	マキノ出版	月刊	①							イ-1	毎月16日	
ユリ	ユリイカ	青土社	月刊	◎							エ-3	毎月27日	
ヨウ	幼稚園	小学館	月刊	①							子供	毎月1日	
ヨム	yomyom	新潮社	季刊	◎							ウ-6	2・5・8・11月1日	17年冬号で休刊
ライ	light & life	東京ヘレン・ケラー協会	月2回	①							障害	毎月1・15日	
ラク	ラグビーマガジン	ベースボール・マガジン社	月刊	③							イ-4	毎月25日	
ラン	ランナーズ	アールビーズ	月刊	③		①					イ-3	毎月22日	
ラン	ランニングマガジン・クリール	ベースボール・マガジン社	月刊						③			毎月22日	
リー	LEE	集英社	月刊			①	①	①			ア-3	毎月7日	
リカ	RikaTan理科の探検	SAMA企画 文理(発売)	隔月刊	③							ク-2	偶月26日	
リク	月刊陸上競技	講談社	月刊	③							イ-4	毎月14日	
リタ	READER'S DIGEST[英語]	輸入元:OCS	月刊	③							イ-5	毎月5日	
リュ	留学ジャーナル	留学ジャーナル	季刊	③							エ-2	3・6・9・12月の10日	
リョ	旅行読売	旅行読売出版社	月刊	①							ウ-1	毎月28日	
レキ	歴史街道	PHP研究所	月刊		①	①						毎月6日	
レキ	歴史人	ベストセラーズ	月刊	③							オ-2	毎月6日	
レキ	歴史読本	KADOKAWA	季刊	③							ウ-6	1・4・7・10月6日	15年秋号で休刊
レコ	レコード芸術	音楽之友社	月刊	③							ウ-5	毎月20日	
レタ	レタスクラブ	KADOKAWA	月刊	③			①				ア-5	毎月25日	
ロク	Rockin' on	ロッキング・オン	月刊			①						毎月1日	
ロク	ROCKIN' ON JAPAN	ロッキング・オン	月刊	①							エ-1	毎月30日	
ワラ	和楽	小学館	隔月刊	③		③					ア-3	奇月1日	
ワン	ワンダーフォーゲル	山と溪谷社	年6回						③			奇月10日	

購入タイトル数 380 327 35 105 37 37 42 3

注1: 所蔵館名欄○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

(2) 寄贈雑誌一覧

平成30年11月1日現在

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
アウ	あうる	図書館振興財団	季刊	◎							ア-1	12年冬号より「図書館の学校」に変更
アフ	aff(農林水産省広報誌)	農林水産省	月刊	①			○				キ-1	
アル	ALPS ライフブラン情報誌	地域社会ライフブラン協会	季刊	②							ア-3	
イ	月刊いちかわ	(株)エピック	月刊	①登			◎登				ア-2	
ウオ	Voters	明るい選挙推進協会	隔月刊	②							オ-3	
ウマ	馬の科学	日本中央競馬会競走馬総合研究所	季刊	②							イ-3	
エシ	ACE 建設業界	日本建設業連合会	月刊	①							ク-1	
エス	ESTRELA	統計情報研究開発センター	月刊	①							オ-2	
エヌ	NABAニューズ・レター	NABA	不定期							○		
エネ	エネルギーレビュー	エネルギーレビューセンター	月刊	②							キ-2	
エフ	FFIジャーナル 食品・食品添加物研究誌	FFIジャーナル編集委員会	季刊	②							キ-2	
カ	化学と工業	日本化学会	月刊	⑤登							キ-3	
カク	学遊園	丸善	半年刊	◎登							オ-1	07年26号で休刊
カク	河	河発行所	月刊	◎登							エ-3	
カン	環境儀	国立環境研究所	季刊	③							キ-3	
カン	季刊 環境研究	日立財団	季刊	◎登							キ-3	17年3月号で休刊
キョ	行政&情報システム	行政情報システム研究所	隔月刊	①							オ-2	
キョ	月刊 京都	白川書院	月刊	②登							ウ-1	
クラ	くらし塾きんゆう塾	金融広報中央委員会	季刊	②							カ-2	
クロ	クローバー	ジェイ・ブロード	年3回	③登							ク-3	
クウ	公営企業	地方財務協会	月刊	①							オ-3	
クウ	航空と文化	日本航空協会	年2回	②							キ-1	
クウ	皇室	扶桑社	季刊	③登							オ-2	
クウ	交通科学	交通科学研究会	年2回	③							キ-1	
クウ	広報	日本広報協会	月刊	①							オ-2	
クウ	高齢社会をよくする女性の会会報	高齢社会をよくする女性の会	隔月刊							○		
クウ	国土交通	国土交通省	隔月刊	②							キ-1	
クウ	国立国会図書館月報	国立国会図書館	月刊	◎登							ア-1	
クヒ	Coffee Break	全日本コーヒー協会	年2回	③							キ-2	
クヒ	コピライト	著作権情報センター	月刊	◎							ア-1	13年3月号で寄贈中止
コム	The Community	第一生命財団	年2回	②							ア-2	
コリ	Koreana	韓国国際交流財団	季刊	②							オ-3	
サイ	菜果フォーラム	日本青果物輸出入安全推進協会	年4回	②							キ-1	2017年Autumn27号で休刊
サナ	サ～ナ sana	イフ	不定期	②登							ク-3	
サブ	SUBWAY	日本地下鉄協会	年4回	②							キ-1	
シグ	Civil Engineering Consultant	建設コンサルタンツ協会	季刊	③							ク-1	
シチ	自治体国際化フォーラム	自治体国際化協会	月刊	②			○				オ-2	
シテ	city & life	第一生命財団	年3回	②							オ-3	
シニ	しにか	大修館書店	月刊	◎							オ-2	04年3月号Vol.15で休刊
シホ	司法の窓	最高裁判所	不定期	⑤							オ-3	
シヤ	JAXA's	宇宙航空研究開発機構	隔月刊	③							ク-2	
シヤ	JAF Mate	JAF	月刊	①							ウ-4	
シユ	首都高	首都高速サービス推進協会	季刊	②							キ-1	
シユ	春秋	春秋社	月刊	◎登							ア-1	18年6月号で休刊
シヨ	食品安全	内閣府食品安全委員会	年4回	②							キ-2	
シヨ	書齋の窓	有斐閣	隔月刊	◎登		①	○				ア-1	
シン	人民日報(海外版日本月刊)	日本新華僑通信社	月刊	①							オ-3	
シン	心理臨床の広場	日本心理臨床学界	年2回	③							ク-3	
セイ	青春と読書	集英社	月刊	◎登							ア-1	
セカ	世界と議会	尾崎行雄記念財団	年3回	①							オ-3	
ソウ	創文	創文社	季刊	◎登							ア-1	
ソウ	総務省広報誌	総務省	月刊	②			○				オ-2	
ソハ	蕎麦春秋	リベラルタイム出版社	季刊	②登							カ-1	
タ	たのくら	明光企画	月刊				◎登					07年12月で休刊
タハ	食べもの通信	食べもの通信社	月刊	①							キ-2	
チク	ちくま	筑摩書房	月刊	◎登							ア-1	16年5月号で寄贈中止・購入へ
チュ	中国図書	内山書店	月刊	◎							ア-1	12年2月号で休刊

ヨミ	雑誌タイトル	出版社名	刊行頻度	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	ウイズ	配架	備考(年は西暦下2桁)
ツウ	通信文化	通信文化協会	月刊	①							キ-2	
ツハ	翼の王国	ANA「翼の王国」編集部	月刊	①							ウ-1	
テン	電撃文庫MAGAZINE	KADOKAWA	月刊	①登							エ-1	
トウ	とうきょうの地域教育	東京都教育委員会	隔月刊	②							オ-1	
トク	TALK TALK	経心会	年刊	②							ア-2	
トシ	図書	岩波書店	月刊	◎登	○	①	○				ア-1	
トシ	図書館の学校	図書館振興財団	季刊	◎登							ア-1	
ト	都道府県展望	全国知事会	月刊	◎							ア-2	11年3月号で休刊
ナミ	波	新潮社	月刊	◎登							ア-1	
ニチ	にちぎん	日本銀行	季刊	②							カ-2	
ニュ	THE NEW YORKER [英語]	CONDE NAST PUBLICATIONS	週刊	③							イ-5	18年1月15日号で寄贈中止
ノ	のんびる	パルシステム生活協同組合連合会	月刊	①登							ア-4	
ハイ	俳句界	文學の森	月刊	③登							エ-3	
ハウ	ハウジング・トリビューン(Housing Tribune)	創樹社	月2回	①							ク-1	
ハス	Her Story	世界平和女性連合	月刊	②							オ-2	
ハッ	はっぴーママ	明光企画	隔月刊			◎登					イ-1	13年9・10月より「ママともぶらす」へ変更
ファ	ファイナンス	財務省	月刊	①							カ-2	
フィ	Fishing Cafe	シマノ	年3回	②登			○				ウ-2	
フト	武道	日本武道館	月刊	①登							イ-4	
ホウ	法苑	新日本法規出版	年3回	②							オ-3	
ホウ	防災ニュース	日本防災協会	年4回	②							オ-2	
ホウ	ぼうさい	内閣府(防災担当)	季刊	②							オ-2	
ホウ	ほうてらす	日本司法支援センター(法テラス)本部	季刊	②							オ-3	
ホス	Hostelling Magazine	日本ユースホステル協会	季刊	②							ウ-1	
ホーム	ホームエコノミストワイズ	山雄	月刊	①							ア-3	
ホン	本 読書人の雑誌	講談社	月刊	◎							ア-1	
ホン	本が好き!	光文社	月刊	◎							ア-1	10年1月号で休刊
ホン	本郷	吉川弘文館	隔月刊	◎登		①					ア-1	
ホン	本の旅人	角川書店	月刊	◎登							ア-1	
ホン	本の話	文藝春秋	月刊	◎							ア-1	11年10月号で休刊
ママ	ママともぶらす	明光企画	隔月刊	②登		◎登					イ-1	
マモ	MAMOR	扶桑社	月刊	②登							オ-2	
ミス	みすず	みすず書房	月刊	◎登							ア-1	
ミス	mr partner for real life	ミスター・パートナー	隔月刊	②登						②登	ア-3	
ミス	水とともに	水資源機構	月刊	①							ク-1	
ミト	緑と水のひろば	東京都公園協会	季刊	②			○				ウ-1	
ミラ	未来	未来社	季刊	◎登							ア-1	
ミラ	未来へげんき	日本原子力研究開発機構	季刊	②							キ-3	
ミル	ミルククラブ	中央酪農会議	季刊	②							キ-1	
ミン	みんてつ	日本民営鉄道協会	季刊	②							キ-1	
ムン	mundi	国際協力機構	月刊	②							オ-3	
ユビ	UP	東京大学出版会	月刊	◎登							ア-1	
ラメ	ラ・メール(LA MER)	日本海事広報協会	隔月刊	②							キ-1	17年3-4月号で休刊
リハ	リベラルタイム	リベラルタイム出版社	月刊	②登							カ-1	
レキ	歴史研究	歴研	月刊	①							オ-2	
レキ	歴博	国立歴史民俗博物館	隔月刊		○		○					
ロウ	労働判例	産労総合研究所	月2回	◎登							オ-3	

寄贈雑誌タイトル数 88 85 2 5 8 0 1 2

注1: 所蔵館名○数字は、保存年限を示す。◎は永年保存。「登」は所蔵登録あり。

注2: 配架欄は中央図書館の分野別雑誌架を示す。

注3: 網掛けは休刊、中止を示す。

(3) 中央図書館収集地域雑誌・定期刊行物一覧

平成30年4月1日現在

	タイトル	発行機関	配架・分類※
1	アエルデ(浦安・行徳)	株)スターツ	製本登録(I/A7)
2	赤レンガ通信	赤レンガをいかす会	黄ファイル(I/A6)
3	あしなみ(葦波)	市川市少年センター	緑ファイル
4	あっさり君:浦安市郷土博物館ニュース	浦安市郷土博物館	ピンクファイル
5	e/パートナーちば	ちば県民共生センター	青ファイル
6	いちかわ 商工会議所報	市川商工会議所	緑ファイル
7	市川市医師会会報	市川市医師会	図書登録(I/P5)
8	いちかわ市議会だより	市川市議会	BOX(いちかわ市議会だより)
9	いちかわ市史編さんだより	市川市史編纂室	緑ファイル
10	いちかわし農業委員会だより	市川市農業委員会	緑ファイル
11	いちかわ白ばら:せんきよ	市川市明るい選挙推進協議会・市川市選挙管理委員会	緑ファイル
12	市川図書館だより	市川市中央図書館	緑ファイル(I/R1)
13	いちかわ夢マガジン:市川市メールマガジン	市川市	緑ファイル(I/F5)
14	市川よみうり	市川よみうり新聞社	BOX(市川よみうり)
15	いちぼ:いちかわのボランティアNPO情報誌	市川市市民部ボランティア・NPO課	緑ファイル(I/N0)
16	生命のにぎわいとつながり: 生物多様性ちばニュースレター	千葉県環境生活部自然保護課	青ファイル
17	Event Guide:市川市文化振興財団の催し物案内	市川市文化振興財団	緑ファイル
18	West Wind:メディアセンター報	和洋女子大学メディアセンター	黄ファイル
19	West Library(千葉県立西部図書館だより)	千葉県立西部図書館	青ファイル
20	SSU市川会報	SSU市川	黄ファイル
21	江戸川	江戸川を守る会	図書登録C20.02/S9)
22	FIL通信	市川市図書館友の会	緑ファイル(I/R1)
23	沖	沖発行所	BOX(沖)
24	思いやり交通千葉	千葉県交通安全対策推進委員会	青ファイル
25	かいづか	市川市博物館友の会	緑ファイル
26	かずさDNA研究ニュースレター	かずさDAN研究所	BOX(かずさDNA研究ニュースレター)
27	学校図書館支援センター通信	市川市学校図書館支援センター	図書登録(I/Q4)
28	鎌ヶ谷市史研究	鎌ヶ谷市教育委員会	図書登録(C22.4)
29	かわらば〜ん!	ASA	黄ファイル
30	瓦版 大木戸:千葉県立房総のむら館報	千葉県立房総のむら	青ファイル
31	環境だより	千葉県環境研究センター	青ファイル
32	監査結果	千葉県	青ファイル(C10/F7)
33	監査結果の報告について	市川市監査委員会	緑ファイル(I/F7)
34	企業情報	千葉県中小企業振興センター	青ファイル(C10/K5)
35	教育いちかわ	市川市教育委員会	BOX(市川市役所教育委員会)
36	教育広報夢気球	千葉県教育委員会	青ファイル
37	行政監査の結果に基づく措置結果	千葉県教育委員会	青ファイル(C10/F7)
38	行徳文化ホールI&I イベントカレンダー	行徳文化ホールI&I	BOX(行徳文化ホールI&I)
39	クオリティライフいちかわ	市川市市民生活課	緑ファイル
40	Green Port Report	成田国際空港株式会社	BOX
41	京成らいん	京成電鉄	BOX(京成らいん)
42	芸文協ちば	千葉県芸術文化団体協議会	青ファイル
43	京葉タイムズ	有)行徳ニュース	BOX(京葉タイムズ)
44	月刊いちかわ	エピック社	BOX(月刊いちかわ)
45	県警からのお知らせ	千葉県読売防犯協力会	青ファイル
46	けんこうChiba	ちば県民保健予防財団	青ファイル
47	県水だより	千葉県水道局	BOX(県水だより)
48	考古・歴史博物館だより	市川市立考古博物館/歴史博物館	緑ファイル
49	国府台経済研究	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)
50	広報いちかわ	市川市	専用ファイル(I/F5)
51	国際交流つうしん	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
52	国際交流伝言板	ちば国際コンベンションビューロー	青ファイル
53	こちら119番	市川市消防局	緑ファイル
54	kototoi(1~4号)で終了	菊谷文庫	図書登録(I/A2)
55	コミサポだより/コミュニティサポートだより	コミュニティサポート委員会	緑ファイル
56	コミュニティペーパーいちかわ新聞	㈱明光企画	BOX(コミュニティペーパー市川新聞)
57	コミュニティクラブ遊びの情報	市川市教育委員会地域教育課	緑ファイル
58	コミュニティペーパー行徳新聞	行徳新聞社(明光企画)	BOX(コミュニティペーパー行徳新聞)
59	コルトン ハピネス プレス	ニッケコルトンプラザ	黄ファイル
60	しいむじな: 房総の山のフィールド・ミュージアムニュースレター	房総の山のフィールド・ミュージアム	青ファイル
61	CUC:View & Vision	千葉商科大学経済研究所	図書登録(I/Q3)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
62	C'n	千葉市美術館	ピンクファイル
63	JICAシニアボランティア千葉	千葉県JICAシニアボランティアの会	黄ファイル
64	市史研究いちかわ	市川市役所	図書登録(I/B0)
65	自然通信	自然通信社	製本棚へ(1部のための)
66	City Voice :市川の街から	市川市	製本登録(I/F5)
67	写真で綴る千葉県の百年	京葉銀行	専用ファイル(C10/C1)
68	淑徳大学アーカイブズ・ニュース	淑徳大学アーカイブズ	黄ファイル
69	じゅんかんニュース	市川市環境清掃部	緑ファイル
70	情報紙一寸法師	読売新聞一寸法師事務局	黄ファイル
71	昭和学院短期大学紀要	昭和学院短期大学	図書登録(I/Q3)
72	市川自然博物館だより	市立市川市自然博物館	緑ファイル
73	新・参考業務月報	市川市中央図書館	ファイル(I/R1)
74	新樹	中津攸子	図書登録(I/A5)
75	すずがも通信:行徳野鳥観察舎友の会会報	行徳野鳥観察舎友の会	緑ファイル
76	瀬流	三番瀬フォーラム	製本登録(I/T0)
77	千本銀杏	風の会	BOX(市川市内その他)
78	たかっぱ通信:大利根 川のフィールドミュージアムレター	千葉県立中央博物館大利根分館	青ファイル
79	楽しい働き方暮らし方(ワークライフバランスを進める情報誌)	千葉県	BOX(千葉県内その他)
80	地域新聞 市川北部版(533~)	地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
81	地域新聞 市川中央版(533~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
82	地域新聞 中山版(541~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
83	地域新聞 本八幡版(533~)	地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
84	地域新聞 八幡北版(533~)	(株)地域新聞社 船橋支社	BOX(地域新聞)
85	知識は旅をする(千葉県立東部図書館だより)	千葉県立東部図書館	青ファイル
86	ちばNPO・ボランティア活動ニュースレター	千葉県環境生活部	青ファイル
87	ちば魚〜きんぐ	京葉銀行	専用ファイル(C10/L3)
88	千葉が語る日本一	京葉銀行	専用ファイル(C10/A0)
89	ちば経済季報	千葉経済センター	図書登録(C10/K0)
90	千葉県議会時報	千葉県議会事務局	図書登録(C10/H5)
91	ちば県議会だより	千葉県議会	BOX(千葉県議会だより)
92	千葉県行政関係資料(新着案内)	千葉県文書館行政資料室	青ファイル
93	千葉県財政事情	千葉県	青ファイル(C10/G2)
94	千葉県史研究	千葉県史料研究財団	図書登録(C10/B0)
95	千葉県職員措置請求の監査結果の公表	千葉県	青ファイル(C10/F7)
96	千葉県生物多様性センター研究報告	千葉県環境生活部自然保護課	図書登録(C10/U6)
97	千葉県毎月常住人口調査	市川市総務部	青ファイル(I/M2)
98	ちば県民だより	千葉県総合企画部	BOX(ちば県民だより)
99	千葉県立中央図書館だより	千葉県立中央博物館	青ファイル(C10/R3)
100	千葉県立中央博物館研究報告 人文科学	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
101	千葉県立中央博物館自然誌研究報告	千葉県立中央博物館	図書登録(C10/R3)
102	中央博物館だより(千葉県立中央博物館)	千葉県立中央博物館	青ファイル(C10/R3)
103	ちば里山新聞	ちば里山センター	黄ファイル
104	千葉市史編さんだより	千葉市史編さん担当	ピンクファイル
105	千葉生物誌	千葉県生物学会	図書登録(C10/U6)
106	ちばの統計	千葉県総合企画部統計課	青ファイル(C10/M1)
107	ちばの博物館	千葉県博物館協会	青ファイル
108	千葉文化(千葉県立中央図書館報)	千葉県立中央図書館	青ファイル
109	ちばまなびの森	千葉市生涯学習センター	ピンクファイル
110	中央学院大学社会システム研究所紀要	中央学院大学社会システム研究所	図書登録(C22.1/Q3)
111	中央学院大学商経論叢	中央学院大学商学部	図書登録(C22.1/Q3)
112	中央学院大学人間・自然論叢	中央学院大学商学部・法学部	図書登録(C22.1/Q3)
113	町丁別世帯人口表	市川市	緑ファイル(I/M2)
114	定年時代―千葉版―	朝日新聞編集センター	BOX(定年時代)
115	鉄道で行く千葉	京葉銀行	専用ファイル(C10/C1)
116	都市計画道路3・4・18号ニュース紙	市川市道路交通部	緑ファイル(I/S2)
117	利根川文化研究	利根川文化研究会	図書登録(C20.05/B0)
118	なかやま	中山法華経寺	黄ファイル
119	中山参道どっと混む	千葉商科大学	図書登録(I/C1)
120	夏休み体験ボランティア	市川市	緑ファイル(I/N0)
121	なのはな通信	なのはなメイト	BOX(なのはな通信)
122	成田山仏教研究所紀要	成田山仏教研究所	図書登録(C23.2/X2)
123	ニューライフ千葉	千葉県広報協会	製本登録(C10/A5)
124	干潟を守る	千葉の干潟を守る会	ファイル綴り(I/T0)

	タイトル	発行機関	配架・分類※
125	ひまわり倶楽部	ちばぎん総合研究所	BOX(千葉県内その他)
126	史	現代史懇話会	図書登録(I/A5)
127	ふみくら	千葉市文庫連絡協議会	黄ファイル
128	ふれあい:市川市子ども会・育成会だより	市川市子ども会育成会連絡協議会	緑ファイル
129	文通	小泉文人後援会 千葉県議会議員	BOX(議会・議員・選挙)
130	ヘルシースクールだより	市川市教育委員会保健体育課	緑ファイル/電子文書
131	房総芸文協	房総芸術文化協会	図書登録(C21.1/R0)
132	房総大地のめぐみ	京葉銀行	専用ファイル(C10/L1)
133	房総の郷土史	千葉県郷土史研究連絡協議会	図書登録(C10/B0)
134	房総の文化財	千葉県教育振興財団	青ファイル
135	房総文化	和洋女子大学房総文化研究所	図書登録(I/Q3)
136	ほくそう	北総鉄道	BOX
137	まいたうん:市川・本八幡版	加藤新聞舗	BOX(まいたうん市川・本八幡)
138	楨:文学同人誌	文学グループ楨の会	図書登録(C34.1/W0)
139	真木(千葉県俳句作家協会会報)	千葉県俳句作家協会事務局	青ファイル
140	松戸史談	松戸史談会	図書登録(C22.8/A6)
141	真間:季刊→2009霜月で休刊	真間山弘法寺	製本登録(I/X3)
142	ママとも+ふらす 東京ベイ・千葉	榊明光企画	BOX(ママとも+)
143	ミーティアムガイド:市川市公民館主催講座情報	市川市教育委員会公民館センター	BOX(ミーティアムガイド)
144	みどりのふおーらむ:市川緑の市民フォーラム会報	市川緑の市民フォーラム	黄ファイル
145	みどりの道:外環千葉県区間情報誌	国土交通省関東地方整備局	BOX(みどりの道)
146	ミュージアムレター	文学ミュージアム	BOX(ミュージアムレター)
147	みる つくる かたる:千葉県立美術館報	千葉県立美術館	青ファイル
148	ミレニアム	社)千葉県医師会	BOX(ミレニアム)
149	UNESCOいちかわ	市川市ユネスコ協会	黄ファイル
150	読売地域防犯ニュース	読売新聞	黄ファイル
151	LOUNGE ラウンジ	千葉銀行広報室	BOX(Lounge)
152	例月出納検査結果の報告について	市川市監査委員	緑ファイル(I/F7)
153	歴博	国立歴史民俗博物館	BOX(歴博)
154	わが街中山	中山町会「中山の歴史」編集部会	図書登録(I/C1)
155	和洋教育	和洋国府台女子中学校・高等学校	図書登録(I/Q3)
156	和洋女子大学、和洋女子短期大学関係		BOX(和洋女子大/和洋女子短大)
157	和洋女子大学紀要	和洋女子大学	図書登録(I/Q3)

注1:配架分類欄の色は分類しているファイルの色を示す。(緑:市川市 青:千葉県 ピンク:県内他市町村 黄:団体・民間施設)

(4) 新聞ほか一覧

平成30年11月1日現在

ミ	タイトル	中央	平田	行徳	信篤	南行	駅南	
アサ	Asahi Weekly[英語]	○						
アサ	朝日新聞	◎	○	◎	○	○	○	
アサ	朝日中高生新聞	○						
オヤ	おやばと(寄贈)	○		①				
カン	官報	⑤		⑤				
キャ	Campus Scope(寄贈)	○						
コウ	高校生新聞(寄贈)	○						
コウ	公明新聞	○						
コク	国民民主Press(寄贈)	○						
サン	産経新聞	○		○				
サン	サンケイスポーツ			○				
シャ	社会新報	○						
シャ	The Japan Times[英語]	○		○				
シュ	週刊読書人	○						
シュ	自由民主	○						
シン	しんぶん赤旗	○						
シン	人民日報 海外版[中国語]	○						
スポ	スポーツニッポン	○						
セイ	政府刊行物新聞(寄贈)	○						
タイ	The Times [英語]	○						
チハ	千葉県報(寄贈)	⑤		①	①	①	①	
チハ	千葉日報	◎		○			○	
チュ	中小企業振興(寄贈)						①	
テン	点字毎日	○						
トウ	東亜日報 日本版[韓国語]	○						
トウ	東京新聞	○		○				
ニッ	日刊工業新聞	○						
ニッ	日刊スポーツ	○	○	○	○	○		
ニッ	日経ヴェリタス	○					○	
ニッ	日経産業新聞	○						
ニッ	日経MJ(流通新聞)	○						
ニホ	日本経済新聞	◎	○	○	○	○	○	
ニュ	The New York Times[英語]	○		○				
フク	福島民報(寄贈)	○					○	
フク	福島民友(寄贈)	○					○	
マイ	毎日小学生新聞	○						
マイ	毎日新聞	◎		○				
ミン	MINSHIN Press(寄贈)	○	18年5月18日より「国民民主プレス」へ名称変更					
ユエ	USA TODAY [英語]	○						
ヨミ	読売新聞	◎	○	○	○	○	○	

注1: 所蔵館名欄 ◎縮刷版あり ○所蔵あり ①1年保存 ⑤5年保存
注2: 網掛けはタイトル変更、休刊、購入中止等になったもの。

保存状況

新聞原紙

中央(原則として1年)

平田・行徳・信篤・南行徳(6ヶ月)

駅南(3ヶ月)

※朝日新聞、読売新聞、毎日新聞の地方版のみ新聞原紙

「萬朝報」明治25年11月～大正9年12月
「日本」明治22年2月～明治39年6月

マイクロフィルム *現在閲覧休止
「千葉日報」昭和32年～平成7年
「市川市民新聞」昭和27年～昭和42年
「京葉新聞」昭和43年～平成13年
「京葉子ども新聞」昭和40年～昭和56年

「朝日新聞縮刷版」
「朝日新聞縮刷版復刻版」

中央: 明治21年7月～
欠号: 昭和13年1～2月
欠号: 昭和14年9月
欠号: 昭和15年5月
欠号: 昭和27年11月
欠号: 昭和29年4月
欠号: 昭和30年12月
欠号: 昭和31年3月, 5～12月
欠号: 昭和34年11月
欠号: 昭和35年11月
欠号: 昭和39年10月
欠号: 昭和41年8月
欠号: 昭和45年11月
欠号: 昭和49年6月, 8月
欠号: 昭和50年2月

行徳: 昭和57年3月～

「読売新聞縮刷版」
昭和33年9月～
欠号: 昭和41年8月
「読売新聞縮刷版復刻版」
昭和20年1月～昭和23年12月

「毎日新聞縮刷版」
昭和32年11月～12月
昭和56年3月～昭和59年12月
平成20年1月～

「日本経済新聞縮刷版」
昭和52年1月～昭和54年12月
昭和55年4月～

「千葉日報縮刷版」(平成16年4月～CD-ROM化)
昭和52年4月～平成16年3月
欠号: 昭和60年7月 欠号: 昭和63年7月
欠号: 昭和61年7月 欠号: 平成元年7月
欠号: 昭和62年7月
「千葉日報製本版」
平成16年4月～12月
「千葉日報原紙」
平成17年1月～

13. 条例・規則等

○市川市立図書館の設置及び管理に関する条例

平成20年12月12日

条例第39号

改正 平成23年12月7日 条例第45号

市川市立図書館設置条例（昭和39年条例第47号）の全部を改正する。

（設置）

第1条 本市は、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するため、図書館法（昭和25年法律第118号。以下「法」という。）第10条の規定に基づき、図書館を設置する。

（名称及び位置等）

第2条 図書館の名称及び位置は、次の表のとおりとする。

名称	位置
市川市行徳図書館	市川市末広1丁目1番31号
市川市信篤図書館	市川市高谷1丁目8番1号
市川市南行徳図書館	市川市相之川1丁目2番4号
市川市市川駅南口図書館	市川市市川南1丁目10番1号

2 前項に定めるもののほか、本市に市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「生涯学習センター条例」という。）に基づき、市川市中央図書館を設置する。

（平23条例45・一部改正）

（事業）

第3条 図書館においては、法第3条各号に掲げる事項を実施する。

（館外貸出しを受けることができるもの）

第4条 法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらのもので構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会が適当と認めるものは、この限りでない。

（館外貸出しの登録）

第5条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ教育委員会の登録を受けなければならない。ただし、生涯学習センター条例第10条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

（平23条例45・一部改正）

（登録の申請等）

第6条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に登録の申請をしなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請をしたものが第4条に規定するものであるときは、その登録をするもの

とする。

3 教育委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第9条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、教育委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（変更の届出）

第7条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を教育委員会に届け出なければならない。

（登録の取消し）

第8条 教育委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第4条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第5条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

（館外貸出しの承認等）

第9条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券（生涯学習センター条例第11条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。）又は館外貸出対応住基カードを提示して、教育委員会の承認を受けなければならない。

2 教育委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

(1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。

(2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。

(3) 生涯学習センター条例第14条第2項第2号に該当するとき。

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しを受けることができる図書館資料等）

第10条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量（現に館外貸出しを受けている図書館資料及び生涯学習センター条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。）	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

（平23条例45・一部改正）

（館外貸出しの制限）

第11条 図書館資料のうち貴重図書その他教育委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(開館時間)

第12条 図書館の開館時間は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
市川市行徳図書館	午前10時から午後7時30分（日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。）に規定する休日にあつては、午後5時）まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	午前9時30分から午後5時まで
市川市市川駅南口図書館	午前9時30分から午後9時（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時）まで

(休館日)

第13条 図書館の休館日は、次の表の左欄に掲げる図書館の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
市川市行徳図書館及び市川市市川駅南口図書館	1 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） 2 毎月末日（その日が1に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） 3 1月1日から同月4日まで 4 12月28日から同月31日まで
市川市信篤図書館及び市川市南行徳図書館	1 月曜日 2 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） 3 毎月末日（その日が1若しくは2に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い1及び2に掲げる日、日曜日並びに土曜日以外の日） 4 1月2日から同月4日まで 5 12月28日から同月31日まで

(入館の制限等)

第14条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、図書館を利用するもの（第1号及び第2号において「利用者」という。）に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が図書館の施設、附属設備又は図書館資料（以下「施設等」という。）を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他図書館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(損害賠償)

第15条 施設等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第16条 教育委員会は、市川市市川駅南口図書館の管理を指定管理者（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）に行わせるものとする。

2 指定管理者が行う業務の範囲は、次のとおりとする。

- (1) 法第3条各号（第5号を除く。）に掲げる事項を行うこと。
- (2) 図書館利用券を交付し、及び再交付すること。
- (3) 館外貸出しの承認を行うこと。
- (4) 入館を禁じ、及び退館を命ずること。
- (5) 施設等の維持管理（軽微なものに限る。）を行うこと。

(6) その他前各号に掲げる業務を行うに当たり必要な行為をすること。

- 3 指定管理者が行う市川市市川駅南口図書館の管理の基準は、市川市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成16年条例第2号）に定めるもののほか、第4条、第6条第3項及び第4項並びに第9条から第14条までに定めるところによる。この場合において、これらの規定の適用については、第4条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第6条第3項本文中「教育委員会は、登録」とあるのは「指定管理者は、教育委員会が登録」と、同条第4項中「教育委員会に」とあるのは「指定管理者に」と、第9条及び第10条ただし書中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」と、第12条ただし書及び第13条ただし書中「教育委員会が必要と認める」とあるのは「指定管理者が教育委員会の承認を得た」と、第14条中「教育委員会」とあるのは「指定管理者」とする。

（委任）

第17条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。ただし、改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（以下「新条例」という。）第2条第1項、第12条及び第13条の規定（市川市市川駅南口図書館に係る部分に限る。）並びに第16条の規定は、同月30日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市立図書館設置条例（次項において「旧条例」という。）に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、新条例第5条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。
- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、新条例第6条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則（平成23年12月7日条例第45号）

（施行期日）

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

〇市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成21年3月31日
教育委員会規則第6号

改正 平成23年3月25日教委規則第2号
平成24年3月14日教委規則第2号
平成28年3月31日教委規則第5号

市川市立図書館規則（平成6年教育委員会規則第11号）の全部を改正する。

（趣旨）

第1条 この規則は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（蔵書の構築）

第2条 教育委員会は、図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 教育委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 教育委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平24教委規則2・一部改正）

（館内利用）

第2条の2 教育委員会は、図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則2・追加）

（レファレンスサービス）

第3条 教育委員会は、図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項
- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他教育委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 教育委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 教育委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

（平24教委規則2・一部改正）

（登録の申請等）

第4条 条例第6条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を教育委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書（様式第1号）

- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書（様式第2号）及び団体構成員名簿（様式第3号）
- 2 前項の場合において、当該申請をするもの（団体にあつては、その代表者）は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため教育委員会が適当と認める書類（本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため教育委員会が適当と認める書類）を提示しなければならない。
- 3 前2項の規定は、条例第5条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第6条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第5条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。
- 4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第6条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第5条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

（平23教委規則2・一部改正）

（登録の実施）

第5条 条例第6条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿（様式第4号）に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名（団体にあつては、その名称及び代表者の氏名）
- (2) 登録年月日及び登録番号

（図書館利用券）

第6条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券（様式第5号）とする。

（図書館利用券の再交付の申請）

第7条 条例第6条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書（個人用）（様式第6号）
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書（団体用）（様式第7号）

（変更の届出）

第8条 条例第7条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を教育委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書（様式第8号）
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書（様式第9号）

（図書館資料の貸出しの予約等）

第9条 条例第6条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であつて読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、教育委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 教育委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則2・追加）

（図書館資料の複製等）

第10条 教育委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

- 2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を教育委員会に提出しなければならない。
- 3 教育委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

(平24教委規則2・旧第9条繰下)

(障害者サービス)

第11条 条例第6条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

(指定管理者による管理)

第12条 指定管理者が市川市市川駅南口図書館の管理を行う場合におけるこの規則の規定の適用については、第2条の2、第3条、第7条、第9条及び第10条第1項から第3項までの規定中「教育委員会」とあるのは、「指定管理者」とする。

(平24教委規則2・旧第10条繰下・一部改正)

(補則)

第13条 この規則に定めるもののほか、市川市立図書館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

(平24教委規則2・追加)

附 則 (平成28年3月31日教育委員会規則第5号)

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

〇市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例

平成6年9月28日

条例第22号

改正 平成15年6月25日 条例第42号
平成17年9月22日 条例第38号
平成19年12月20日 条例第44号
平成20年12月12日 条例第40号
平成23年12月7日 条例第45号
平成25年3月25日 条例第20号
平成28年9月28日 条例第40号

(設置)

第1条 本市は、市民が生涯にわたって学習する機会を広く提供することにより、市民の生涯学習の振興及び普及を図るため、生涯学習センターを設置する。

(名称及び位置)

第2条 生涯学習センターの名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市生涯学習センター

位置 市川市鬼高1丁目1番4号

(事業)

第3条 生涯学習センターは、次に掲げる事業を行う。

- (1) 生涯学習情報の提供に関すること。
- (2) 生涯学習支援体制の整備充実に関すること。
- (3) 生涯学習のための指導者及び助言者の養成及び研修に関すること。
- (4) その他生涯学習の振興及び普及を図るために必要な事項に関すること。

(施設等)

第4条 前条の事業を行うため、生涯学習センターに次の表の左欄に掲げる施設を置き、各施設の主な業務は、同表の右欄に定めるとおりとする。

施設名	業務
市川市中央図書館	図書館法（昭和25年法律第118号）第3条各号に掲げる事項に関すること。
市川市文学ミュージアム	(1) 文学、映像等に関する資料の収集、保管、展示及び利用に関すること。 (2) 文学、映像等の調査研究に関すること。 (3) 文学、映像等に係る講座、講演会等の開催に関すること。 (4) 施設及び附属設備の利用に関すること。
市川市教育センター	(1) 教育課程の調査研究に関すること。 (2) 教育関係職員の研修に関すること。 (3) 教育関係資料及び情報の収集、作成及び提供に関すること。 (4) 教育相談に関すること。
市川市中央こども館	(1) 児童の健全な遊びの指導に関すること。 (2) 児童の健康増進の指導に関すること。 (3) 児童の生活相談に関すること。 (4) 子育てを支援するものと児童との交流を図ることその他児童の健全な育成に関すること。 (5) 児童厚生員及び遊びの指導者等の養成に関すること。

2 市川市文学ミュージアム（以下「文学ミュージアム」という。）は、次に掲げるもので構成する。

- (1) 通常展示フロア
- (2) 企画展示室
- (3) グリーンスタジオ（控室を含む。）
- (4) ベルホール

- (5) 文学研修室
- (6) 映像メディア編集室
- (7) アナウンスブース
- (8) 音楽スタジオ
- (9) 資料室

3 市川市教育センター（以下「教育センター」という。）に所長その他の必要な職員を置く。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・一部改正）

（運営）

第5条 生涯学習センターは、生涯学習センターを構成する各施設相互の連携を図ることにより、生涯学習に関する総合施設として有機的に運営されなければならない。

（使用することができるもの）

第6条 市川市中央こども館（以下「中央こども館」という。）を使用することができるものは、本市に住所を有する18歳未満の者及びその保護者並びにこれらの者で構成される団体とする。ただし、市長が適当と認めるものは、この限りでない。

（平17条例38・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用の許可等）

第7条 文学ミュージアム（第4条第2項第2号から第8号までに掲げるものに限る。以下この条、次条第1項、第20条及び第21条第1項において同じ。）を使用しようとするものは、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないことができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用しようとするものが営利を目的として使用するおそれがあるとき。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（第21条第1項第6号において「暴力団」という。）の利益になるとき。
- (5) その他文学ミュージアムの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

3 中央こども館を使用しようとするものは、規則で定める名簿に住所、氏名その他規則で定める事項を記入しなければならない。

4 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央こども館を使用させないことができる。

- (1) 中央こども館を使用しようとするものがその事業に係る目的に適合しない目的で中央こども館を使用しようとするとき。
- (2) 中央こども館を使用しようとするものが前条第2項に規定するものに該当しないとき。
- (3) 中央こども館を使用しようとするものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (4) 中央こども館を使用しようとするものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (5) その他中央こども館の管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

5 市長は、文学ミュージアムの管理運営上必要があると認めるときは、第1項の許可について条件を付けることができる。

（平17条例38・全改、平19条例44・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正）

（使用料）

第8条 前条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するもの及び市が行う特別の企画による展示を観覧する者は、市川市使用料条例（平成11年条例第39号）に定める使用料を納めなければならない。

2 中央こども館の使用料は、無料とする。

3 生涯学習センターの自動車駐車場（以下「駐車場」という。）を使用するものは、市川市使用料条例に定める使用料を納めなければならない。ただし、次に掲げる自動車を駐車する場合については、この限りでない。

- (1) 道路交通法（昭和35年法律第105号）第39条第1項に規定する緊急自動車
- (2) 身体障害者、知的障害者又は精神障害者が乗車している自動車
- (3) 市が主催する講座、講演会、研修会等において講師を務める者が乗車している自動車
- (4) 市川市中央図書館（以下「中央図書館」という。）、中央こども館等においてボランティア活動を行う者

が乗車している自動車

(5) その他使用料を徴収する必要がないものとして市長が特に認める自動車

4 前項の使用料は、自動車が駐車場から出場する際に、駐車場を使用したものから徴収する。

(平15条例42・平20条例40・平25条例20・平28条例40・一部改正)

(館外貸出しを受けることができるもの)

第9条 中央図書館の図書館法第3条第1号に規定する図書館資料（以下「図書館資料」という。）の館外貸出し（以下「館外貸出し」という。）を受けることができるものは、本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものとする。ただし、教育委員会（以下「委員会」という。）が適当と認めるものは、この限りでない。

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(館外貸出しの登録)

第10条 館外貸出しを受けようとするものは、あらかじめ委員会の登録を受けなければならない。ただし、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例（平成20年条例第39号。以下「図書館条例」という。）第5条第1項本文の登録を受けているものは、この限りでない。

2 前項本文の登録（以下「登録」という。）の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 登録の日から起算して3年

(2) 団体 登録の日からその日の属する年度の末日まで

3 有効期間の満了後、引き続き館外貸出しを受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の更新の申請をしなければならない。

4 前項の登録の更新がされたときは、その登録の有効期間は、次の各号に掲げるものの区分に応じ、当該各号に定めるとおりとする。

(1) 個人 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して3年

(2) 団体 従前の登録の有効期間の満了の日の翌日から起算して1年

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(登録の申請等)

第11条 登録を受けようとするものは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に登録の申請をしなければならない。

2 委員会は、前項の規定による申請をしたものが第9条に規定するものであるときは、その登録をするものとする。

3 委員会は、登録をしたときは、第1項の規定による申請をしたものに対し、図書館利用券を交付するものとする。ただし、その者が市川市住民基本台帳カードの利用に関する条例（平成16年条例第37号）第4条第3項又は第4項の規定により同条例第2条第2項に規定する多目的サービスに係る情報の記録がされた住民基本台帳カード（第14条第1項において「館外貸出対応住基カード」という。）の返還を受ける者であるときは、この限りでない。

4 図書館利用券の交付を受けたものは、当該図書館利用券を壊し、汚し、又は失ったときは、教育委員会規則で定めるところにより、委員会に申請して、その再交付を受けることができる。

5 図書館利用券は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(変更の届出)

第12条 登録を受けたものは、前条第1項の規定による申請をした事項に変更があったときは、速やかに、その旨を委員会に届け出なければならない。

(平20条例40・追加)

(登録の取消し)

第13条 委員会は、登録を受けたものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その登録を取り消すことができる。

(1) 第9条に規定するものでなくなったとき。

(2) 不正の手段により登録（第10条第3項の登録の更新を含む。）を受けたとき。

(平20条例40・追加)

(館外貸出しの承認等)

第14条 館外貸出しを受けようとするものは、図書館利用券(図書館条例第6条第3項本文の規定により交付されている図書館利用券を含む。)又は館外貸出対応住基カードを提示して、委員会の承認を受けなければならない。

2 委員会は、館外貸出しを受けようとするものが次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の承認をしないことができる。

- (1) 図書館資料を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (2) 次条に規定する期間を経過してもなお館外貸出しを受けた図書館資料を返還しないとき。
- (3) 図書館条例第9条第2項第2号に該当するとき。

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(館外貸出しを受けることができる図書館資料等)

第15条 館外貸出しを受けることができる図書館資料及びその数量並びに期間は、次の表のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これらを変更することができる。

区分	館外貸出しを受けることができる図書館資料	館外貸出しを受けることができる図書館資料の数量(現に館外貸出しを受けている図書館資料及び図書館条例に基づく館外貸出しを受けている図書館資料の数量を含む。)	館外貸出しを受けることができる期間
個人	図書	20	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日
	コンパクトディスク	3	
	ビデオテープ	2	
	ビデオディスク	1	
団体	図書	無制限	前条第1項の承認を受けた日から起算して31日
	コンパクトディスク	3	前条第1項の承認を受けた日から起算して15日

(平20条例40・追加、平23条例45・一部改正)

(館外貸出しの制限)

第16条 図書館資料のうち貴重図書その他委員会が指定するものは、館外貸出しは行わない。

2 館外貸出しを受けた図書館資料は、他に譲渡し、又は転貸してはならない。

(平20条例40・追加)

(開館時間)

第17条 生涯学習センターを構成する各施設の開館時間は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に定めるとおりとする。ただし、委員会(文学ミュージアム及び中央こども館にあっては、市長)が必要と認めるときは、これを変更することができる。

区分	開館時間
中央図書館	午前10時から午後7時30分(日曜日、土曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号。以下「祝日法」という。)に規定する休日にあつては、午後6時)まで
文学ミュージアム	午前10時から午後7時30分(日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時)まで。ただし、第4条第2項第9号に掲げるものにあつては、午前10時から午後5時までとする。
教育センター	午前10時から午後5時まで
中央こども館	午前10時から午後6時(日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後5時)まで

(平20条例40・追加、平25条例20・一部改正)

(休館日)

第18条 生涯学習センターを構成する各施設の休館日は、次の表の左欄に掲げる施設の区分に応じ、同表の右欄に

定めるとおりとする。ただし、委員会（文学ミュージアム及び中央子ども館にあっては、市長）が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

区分	休館日
中央図書館、文学ミュージアム及び中央子ども館	(1) 月曜日（その日が祝日法に規定する休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い祝日法に規定する休日以外の日） (2) 毎月末日（その日が前号に掲げる日、日曜日、土曜日又は祝日法に規定する休日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前号に掲げる日、日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日以外の日） (3) 1月1日から同月4日まで (4) 12月28日から同月31日まで
教育センター	(1) 月曜日 (2) 祝日法に規定する休日（その日が月曜日に当たるときは、その翌日） (3) 毎月末日（その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日） (4) 1月2日から同月4日まで (5) 12月28日から同月31日まで

（平20条例40・追加、平25条例20・一部改正）

（駐車場の供用日等）

第19条 駐車場の供用日は、前条の規定により生涯学習センターを構成する各施設のすべてが休館する日以外の日とする。

2 駐車場の供用時間は、午前9時45分から午後7時40分（日曜日、土曜日及び祝日法に規定する休日にあつては、午後6時10分）までとする。

3 前2項の規定にかかわらず、市長が必要と認めるときは、これらに規定する駐車場の供用日又は供用時間を変更することができる。

（平20条例40・追加）

（使用権の譲渡等の禁止）

第20条 第7条第1項の許可を受け、文学ミュージアムを使用するものは、その使用する権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。

（平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第9条繰下、平25条例20・一部改正）

（使用の停止等）

第21条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、文学ミュージアムの使用を停止し、使用の許可を取り消し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 文学ミュージアムを使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 文学ミュージアムを使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 文学ミュージアムを使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 文学ミュージアムを使用するものが使用の許可に際して付された条件に違反したとき。
- (5) 文学ミュージアムを使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) 暴力団の利益になるとき。
- (7) その他文学ミュージアムの管理運営上支障があるとき。

2 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、中央子ども館の使用を停止し、又は退館を命ずることができる。

- (1) 中央子ども館を使用するものが公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 中央子ども館を使用するものがその施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) 中央子ども館を使用するものが使用の目的に違反したとき。
- (4) 中央子ども館を使用するものが使用の際に指示された事項に違反したとき。
- (5) 中央子ども館を使用するものがこの条例又はこれに基づく規則に違反したとき。
- (6) その他中央子ども館の管理運営上支障があるとき。

（平15条例42・平17条例38・平19条例44・一部改正、平20条例40・旧第10条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正）

(入館の制限等)

第22条 委員会又は市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、生涯学習センターを利用する者(第1号及び第2号において「利用者」という。)に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

- (1) 利用者が公の秩序又は善良の風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 利用者が生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他生涯学習センターの管理運営上支障を生ずるおそれがあるとき。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平20条例40・旧第11条繰下・一部改正)

(駐車拒否等)

第23条 市長は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、駐車場における自動車の駐車を拒否することができる。

- (1) 駐車しようとする自動車に発火性又は引火性を有する物品その他危険な物品が積載されているとき。
- (2) 駐車しようとする自動車が駐車場の施設、設備等を壊し、汚し、又は失わせるおそれがあるとき。
- (3) その他駐車場の管理上支障があるとき。

2 駐車場を使用するものは、第19条に規定する駐車場の供用日及び供用時間以外に自動車を駐車してはならない。ただし、市長が適当と認めるものについては、この限りでない。

(平20条例40・追加)

(意見聴取)

第24条 市長は、必要があると認めるときは、第7条第2項第4号又は第21条第1項第6号に該当するかどうかについて、千葉県市川警察署長の意見を聴くことができる。

(平19条例44・追加、平20条例40・旧第12条繰下・一部改正、平25条例20・一部改正)

(損害賠償)

第25条 生涯学習センターの施設、附属設備等を壊し、汚し、又は失わせたものは、速やかに、原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない事情があると認めるときは、この限りでない。

(平15条例42・平17条例38・一部改正、平19条例44・旧第12条繰下、平20条例40・旧第13条繰下・一部改正)

(中央図書館の分館の設置等)

第26条 中央図書館の奉仕機能を充実させるため、中央図書館に分館を設置し、その名称及び位置は、次のとおりとする。

名称 市川市中央図書館平田図書室

位置 市川市平田1丁目20番16号

2 市川市中央図書館平田図書室(以下「平田図書室」という。)の開室時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。

3 平田図書室の休室日は、次のとおりとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休室日を設けることができる。

- (1) 月曜日
- (2) 祝日法に規定する休日(その日が月曜日に当たるときは、その翌日)
- (3) 毎月末日(その日が前2号に掲げる日、日曜日又は土曜日に当たるときは、その日前においてその日に最も近い前2号に掲げる日、日曜日及び土曜日以外の日)
- (4) 1月2日から同月4日まで
- (5) 12月28日から同月31日まで

4 第22条の規定は平田図書室における入室の制限等について、前条の規定は平田図書室における損害賠償について、それぞれ準用する。この場合において、第22条中「委員会又は市長」とあるのは「委員会」と、「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と、「入館」とあるのは「入室」と、「退館」とあるのは「退室」と、前条中「生涯学習センター」とあるのは「市川市中央図書館平田図書室」と読み替えるものとする。

(平19条例44・旧第13条繰下、平20条例40・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第27条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則(文学ミュージアム、中央こども館及び駐車場にあっては、規則)で定める。

附 則 (抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成6年11月1日から施行する。ただし、附則第4項の規定は、公布の日から施行する。

(市川市教育センター設置条例の廃止)

- 3 市川市教育センター設置条例(昭和36年条例第9号)は、廃止する。

(市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例の廃止)

- 4 市川市立中央図書館建設基金の設置、管理及び処分に関する条例(昭和63年条例第20号)は、廃止する。

附 則 (平成15年6月25日条例第42号)

この条例は、平成15年10月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月22日条例第38号抄)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成17年11月15日から施行する。

附 則 (平成19年12月20日条例第44号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成20年12月12日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成21年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例(次項において「旧条例」という。)に基づく教育委員会規則の規定により図書館利用券の交付を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第10条第1項本文の登録を受けたものとみなす。この場合において、当該登録の有効期間は、同条第2項の規定にかかわらず、教育委員会が別に定める。

- 3 この条例の施行の際現に旧条例に基づく教育委員会規則の規定により交付されている図書館利用券は、改正後の第11条第3項本文の規定により交付された図書館利用券とみなす。

附 則 (平成23年12月7日条例第45号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に第1条の規定による改正前の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例又は第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づき20以上の数量の図書の館外貸出しを受けている個人は、その数量が20未満となるまでの間は、新たに第1条の規定による改正後の市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例に基づく図書の館外貸出しを受けることができない。

附 則 (平成25年3月25日条例第20号)

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から起算して5月を超えない範囲内において規則で定める日から施行する。(平成25年7月規則第41号で、同25年7月20日から施行)

(経過措置)

- 2 この条例の施行の際現に改正前の第7条第1項の規定により教育委員会から使用の許可を受けているものは、この条例の施行の日において、改正後の第7条第1項の規定により市長から使用の許可を受けたものとみなす。

附 則 (平成28年9月28日条例第40号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成29年4月1日から施行する。ただし、次項の規定は、平成28年10月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 平成29年4月1日以降に改正後の第4条第2項第2号に規定する企画展示室、同項第5号に規定する文学研修室、同項第6号に規定する映像メディア編集室、同項第7号に規程するアナウンスブース及び同項8号に規定する音楽スタジオを使用しようとするものに係る使用の許可及びこれに関し必要な手続その他の行為は、この条例

の施行前においても、改正後の第7条第1項、第2項及び第5項、第8条第1項、第21条第1項並びに第24条の規定の例により行うことができる。

○市川市中央図書館の管理に関する規則

平成6年10月18日
教育委員会規則第9号

改正 平成8年2月7日教委規則第1号
平成10年6月10日教委規則第7号
平成15年8月13日教委規則第11号
平成17年2月16日教委規則第3号
平成18年3月22日教委規則第1号
平成19年10月24日教委規則第14号
平成19年12月20日教委規則第18号
平成21年3月19日教委規則第4号
〔題名改正〕
平成23年3月25日教委規則第2号
平成24年3月14日教委規則第1号
平成25年7月12日教委規則第5号
〔題名改正〕
平成28年3月31日教委規則第5号

(趣旨)

第1条 この規則は、市川市生涯学習センターの設置及び管理に関する条例（平成6年条例第22号。以下「条例」という。）第27条の規定に基づき、市川市中央図書館（分館を含む。以下同じ。）の管理に関し必要な事項を定めるものとする。

（平21教委規則4・平25教委規則5・一部改正）

(運営状況の評価等)

第2条 教育委員会（以下「委員会」という。）は、市川市中央図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

（平24教委規則1・追加）

(蔵書の構築)

第2条の2 委員会は、市川市中央図書館の蔵書の構築に関する指針を定め、これに基づき当該蔵書の構築を行うものとする。

2 委員会は、市民等から資料の寄贈又は寄託の申出があったときは、前項の指針に適合するか否かを調査し、適合すると認めるときは、当該資料を図書館資料として収蔵することができる。

3 委員会は、公の刊行物その他の資料を収集するため、国、県、県内の市町村その他の団体に当該資料の提供を依頼するものとする。

（平21教委規則4・全改、平24教委規則1・旧第2条繰下・一部改正）

(館内利用)

第2条の3 委員会は、市川市中央図書館の適正な利用環境を維持するため、館内の利用方法を定める等の必要な措置を講ずるものとする。

2 市川市中央図書館を利用するものは、前項の規定により講じられた措置に基づき、図書館資料を閲覧し、又は視聴するものとする。

（平24教委規則1・追加）

(レファレンスサービス)

第3条 委員会は、市川市中央図書館を利用するものに対し、レファレンスサービス（そのものの求めに応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行うことをいう。次項において同じ。）を提供するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、レファレンスサービスに係る事項が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、レファレンスサービスを提供しないものとする。

- (1) 法令等の規定により公表を禁じられている事項
- (2) 古文書、美術品等の鑑定及び価格に関する事項
- (3) 身上、医療又は法律の相談に関する事項

- (4) 学習課題、卒業論文その他これらに類する事項
- (5) その他委員会がレファレンスサービスの提供を不相当と認める事項

3 委員会は、レファレンスサービスを提供するために必要があると認めるときは、公立図書館等にレファレンスサービスに係る情報の提供を依頼するものとする。

4 委員会は、公立図書館等からレファレンスサービスに係る情報の提供の依頼を受けたときは、市川市中央図書館が保有する情報を提供することができる。ただし、当該依頼に係る情報が第2項各号のいずれかに該当すると認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平24教委規則1・一部改正)

(登録の申請等)

第4条 条例第11条第1項の規定による登録の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる書類を委員会に提出して行うものとする。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録・更新申請書(様式第1号)
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録・更新申請書(様式第2号)及び団体構成員名簿(様式第3号)

2 前項の場合において、当該申請をするもの(団体にあつては、その代表者)は、運転免許証、健康保険証その他の住所及び氏名を確認するため委員会が適当と認める書類(本市に勤務し、又は通学する者にあつては、当該書類及び身分証明書、学生証その他の本市に勤務し、又は通学する者であることを確認するため委員会が適当と認める書類)を提示しなければならない。

3 前2項の規定は、条例第10条第3項の規定による登録の更新の申請について準用する。この場合において、第1項中「条例第11条第1項の規定による登録」とあるのは「条例第10条第3項の規定による登録の更新」と、「書類」とあるのは「書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カード」と読み替えるものとする。

4 前項の規定により読み替えて適用される第1項の書類及び図書館利用券又は条例第11条第3項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの提出期間は、条例第10条第2項の登録の有効期間の満了する日の前日の1月前の日から当該登録の有効期間の満了する日までとする。ただし、委員会が必要と認めるときは、この限りでない。

(平21教委規則4・全改、平成23教委規則2・一部改正)

(登録の実施)

第5条 条例第11条第2項の規定による登録は、市川市立図書館館外貸出登録簿(様式第4号)に次に掲げる事項を記載することにより行うものとする。

- (1) 住所及び氏名(団体にあつては、その名称及び代表者の氏名)
- (2) 登録年月日及び登録番号

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券)

第6条 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券は、図書館利用券(様式第5号)とする。

(平21教委規則4・全改)

(図書館利用券の再交付の申請)

第7条 条例第11条第4項の規定による図書館利用券の再交付の申請は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる申請書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、第4条第2項の規定は、当該申請について準用する。

- (1) 個人 市川市立図書館利用券再交付申請書(個人用)(様式第6号)
- (2) 団体 市川市立図書館利用券再交付申請書(団体用)(様式第7号)

(平21教委規則4・全改)

(変更の届出)

第8条 条例第12条の規定による登録の申請事項の変更の届出は、次に掲げるものの区分に応じ、当該各号に掲げる届出書を委員会に提出して行うものとする。この場合において、当該届出書を提出するものは、当該変更を証する書類を当該職員に提示しなければならない。

- (1) 個人 市川市立図書館館外貸出個人登録申請事項変更届出書(様式第8号)
- (2) 団体 市川市立図書館館外貸出団体登録申請事項変更届出書(様式第9号)

(平21教委規則4・全改)

(図書館資料の貸出しの予約等)

第8条の2 条例第11条第3項本文に規定する図書館利用券又は同項ただし書に規定する館外貸出対応住基カードの交付を受けたもの（本市に住所を有し、勤務し、又は通学する者及びこれらの者で構成される団体であって読書会等を主催するものに限る。）は、貸出しを希望する図書館資料について、委員会に対し、当該図書館資料の貸出しの予約、他の市川市立図書館からの取寄せの申出等を行うことができる。

2 委員会は、前項の規定による予約、申出等を受けた場合において、公立図書館等に当該図書館資料（コンパクトディスクその他の視聴覚資料を除く。）が所蔵されていることを確認したときは、当該公立図書館等に対し、当該図書館資料の借受けを申し出ることができる。

（平24教委規則1・追加）

（図書館資料の複製等）

第9条 委員会は、著作権法（昭和45年法律第48号）第31条の規定に基づき、図書館資料の複製を行うものとする。

2 図書館資料の複製を依頼しようとするものは、市川市立図書館資料複製申込書（様式第10号）を委員会に提出しなければならない。

3 委員会は、図書館資料の複製を行うことにより当該図書館資料が壊れ、又は汚れるおそれがあると認めるときは、前項の規定による依頼を拒否することができる。

4 第2項の規定による依頼に基づき行う図書館資料の複製に要する費用は、当該依頼をしたものの負担とする。

（平21教委規則4・追加）

（障害者サービス）

第9条の2 条例第11条第2項の規定による登録を受けた者のうち、身体障害、高齢、傷病等により市川市中央図書館を利用することが困難な者に対する図書館資料の貸出し等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（自動車図書館）

第9条の3 委員会は、図書館資料を広く市民の利用に供するため、市内を巡回する自動車図書館により図書館資料の貸出し等を行うものとする。

2 自動車図書館が巡回する場所、貸し出す図書館資料その他自動車図書館の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

（補則）

第10条 この規則に定めるもののほか、市川市中央図書館の管理に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

（平24教委規則1・追加）

附則（平成28年3月31日教育委員会規則第5号）

（施行期日）

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

（経過措置）

2 この規則の施行の際現に交付されている第1条の規定による改正前の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正前の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券は、それぞれ第1条の規定による改正後の市川市中央図書館の管理に関する規則様式第5号による図書館利用券及び第2条の規定による改正後の市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則様式第5号による図書館利用券とみなして使用することができる。

○市川市立図書館の蔵書の構築に関する指針

平成21年 3 月 30 日

改正 平成25年12月20日

平成26年 8 月 26 日

(趣旨)

第1条 この指針は、市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則（平成21年教育委員会規則第6号）第2条及び市川市中央図書館の管理に関する規則（平成6年教育委員会規則第9号）第2条の2の規定に基づき、市川市立図書館の資料収集、保存及び除籍等について必要な事項を定める。

(蔵書構築の基本)

第2条 市川市の図書館（以下、「図書館」という。）は、すべての市民が、教養、調査研究及びレクリエーションのために、各自の自由な意思に基づいて利用する生涯学習の場であるとともに、地域文化の発展を支え、住みよい地域社会の形成に寄与する教育機関であるという公共図書館の基本的役割を果たすために、ユネスコ公共図書館宣言（1994年採択）の精神に則り、蔵書の構築を行うものとする。

(収集にあたっての基本的姿勢)

第3条 図書館は、図書館の自由に関する宣言（1979年改訂 社団法人日本図書館協会総会決議）前文の本旨に基づき、市民のニーズを総合的に勘案して収集に努める。

- 2 対立する意見のある問題については、バランスを考慮し、できるだけ客観的な立場で書かれている資料を幅広く収集する。
- 3 著者の思想的、宗教的又は党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない。
- 4 図書館に置かれる専門的職員（以下、「図書館員」という。）の個人的関心や好みによって選択しない。
- 5 個人、組織又は団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり紛糾をおそれて自己規制したりしない。
- 6 図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館又は図書館員が支持することを意味しない。

(収集資料の範囲)

第4条 収集する資料の範囲は、国内で刊行される資料を中心とし、幅広く多様な形態のものを収集する。ただし、書き込むこと、切り取ること若しくは組み立てることを目的として作られた資料又は著しく破損しやすい資料は原則として収集しない。

(収集資料の種類)

第5条 収集する資料の種類は、次の各号のとおりとする。

- (1) 図書（一般図書、参考図書、児童図書及び外国語図書）
- (2) 逐次刊行物
- (3) 地域資料
- (4) 視聴覚資料
- (5) 障害者用資料
- (6) 電磁的記録
- (7) その他

(資料別収集方針)

第6条 資料の種類別収集方針は、次の各号のとおりとする。

(1) 図書

- ア 一般図書については、市民の教養、調査研究及びレクリエーション等に資する資料を収集する。ただし、学習参考書、受験参考書及び各種試験問題集は原則として収集しない。
- イ 参考図書については、市民の調査研究に必要な辞典、事典、便覧、統計、目録、索引及び書誌等を幅広く収集する。
- ウ 児童図書については、子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような資料を収集する。
- エ ヤングアダルト図書については、児童図書又は一般図書の枠にとらわれず、中学生及び高校生を対象とした資料を幅広く収集する。
- オ 外国語図書については、多文化サービスを展開させるため、各種言語で書かれた資料を収集する。

(2) 逐次刊行物

- ア 新聞については、主要な全国紙を中心に収集する。
- イ 雑誌については、各分野における最新の動向が提供できるように、各分野の主要なものを幅広く収集する。
- ウ 年鑑、年報及び白書については、(1)ア及びイの規定を準用する。
- エ 法規集及び判例集については、最新の情報を提供できるように、加除式資料を収集する。

(3) 地域資料

- ア 地域資料は、市川市及び千葉県に関する資料とし、これらのうち市川市に関する資料については、文化的、地理的特性に立脚した特色ある資料を、図書を中心に、パンフレット、地図等形態にとらわれず、幅広く積極的に収集する。ただし、古文書は収集しない。
- イ 地域資料の逐次刊行物については、系統的に収集する。
- ウ 市民文庫は市民の著作、伝記及び評論について収集する。
- エ 市川市の行政資料については、積極的に収集する。
- オ 特別コレクション（永井荷風、東山魁夷、星野道夫及び渡邊二郎）については、網羅的に収集する。ただし、直筆原稿及びオリジナル作品は原則として収集しない。

(4) 視聴覚資料

- ア 録音資料については、市民の趣味、教養及びレクリエーション等に資するため、クラシック音楽、ポピュラー音楽、児童音楽、演芸及び文学作品等の基本的作品及び代表的演者による作品を中心に収集する。
- イ 映像資料については、活字ではなく音と映像によって情報を得るという視聴覚資料の特性を生かせるような、映画、記録及び演芸等の基本的作品を中心に、図書館での貸出許諾が得られているものの中から収集する。

- (5) 障害者用資料 障害者用資料については、図書館利用が困難な市民の要求に応えるため、点字資料、録音図書、大活字本、布の絵本及び字幕・手話入りビデオ等を収集する。

- (6) 電磁的記録 電磁的記録については、必要に応じて収集する。

(中央図書館及び地域図書館の収集方針)

第7条 図書館は、各々の館の規模、機能及び地域性に応じ、概ね次の各号に掲げる方針に基づいて資料収集を計画的に行い、体系的な蔵書の構築を図るものとする。

- (1) 中央図書館においては、図書館の中心館として、地域図書館、分室及び図書館関連施設等への協力及び支援を行うため、以下に掲げる資料を幅広く収集する。

ア 市民の生活、趣味及びレクリエーション等に資する資料。

イ 調査研究に役立つ、基本的、入門的乃至専門的資料。ただし、細分化された個別の高度な専門的資料を除く。

(2) 地域図書館及び分室においては、市民の身近な図書館として、地域性を考慮し、資料を収集する。

(収集計画)

第8条 前条の規定を実施するために、各々の館の資料収集計画を別に定める。

(収集資料の選定)

第9条 収集資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(寄贈資料等の収集)

第10条 寄贈資料及び寄託資料等の受入れについては、前条の規定を準用する。

(資料の保存)

第11条 各資料の利用方法、利用度又は利用年限を考慮し保存する。

2 図書館として体系的な資料構成を図るため、中央図書館又は各地域図書館で保存する資料を選択し、効率的な保存を行う。

3 市川市に関する資料については、地域の歴史を後世に伝えるため保存する。

4 逐次刊行物の保存年限については、別に定める。

(除籍の目的)

第12条 常に適正な資料構成を維持し、また資料を更新し、活力ある蔵書の充実を図るために除籍を行う。

(除籍の対象資料)

第13条 除籍の対象となる資料及び基準は次の各号のとおりとする。

(1) 汚損・破損

ア 汚損・破損が甚だしく、修理不可能又は修理する価値がないと認めたもの。

イ 一部汚破損が甚だしく全体が利用に耐えないもの。

(2) 不用

ア 時間の経過によって、内容が古くなり、保存価値がなくなったもの。

イ 時間の経過によって、利用の可能性が低下したもの。

ウ 新版・改訂版又は同種資料の入手によって、代替可能となったもの。

(3) 数量更正 すでに受入れの済んでいる資料を分冊若しくは合冊しようとするもの。

(4) 移管 市川市の内部において所属換えをするもの。

(5) 亡失

ア 3回の資料点検を経て、調査してもなお所在不明なもの。

イ 貸出資料のうち督促等の努力にもかかわらず、10年以上回収不能なもの。

ウ 利用者が汚損・破損又は紛失した資料で、やむを得ない事情により現品での弁償が不可能なもの。

エ 不可抗力による災害その他の事故により汚損・破損又は紛失した資料で、その発生事実が証明されたもの。

(除籍資料の選定)

第14条 除籍資料の選定にあたっては、この指針に基づいて図書館員の合議によって行い、中央図書館長が決定する。

(補則)

第15条 前各条に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める

附 則 この指針は、平成21年4月1日から施行する。

○図書館法

昭和25年4月30日

法律第118号

最終改正 平成23年12月14日法律第122号

第一章 総則

(この法律の目的)

第一条 この法律は、社会教育法（昭和二十四年法律第二百七号）の精神に基き、図書館の設置及び運営に関し必要な事項を定め、その健全な発達を図り、もつて国民の教育と文化の発展に寄与することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「図書館」とは、図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設で、地方公共団体、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人が設置するもの（学校に附属する図書館又は図書室を除く。）をいう。

2 前項の図書館のうち、地方公共団体の設置する図書館を公立図書館といい、日本赤十字社又は一般社団法人若しくは一般財団法人の設置する図書館を私立図書館という。

(図書館奉仕)

第三条 図書館は、図書館奉仕のため、土地の事情及び一般公衆の希望に沿い、更に学校教育を援助し、及び家庭教育の向上に資することとなるように留意し、おおむね次に掲げる事項の実施に努めなければならない。

一 郷土資料、地方行政資料、美術品、レコード及びフィルム等の収集にも十分留意して、図書、記録、視聴覚教育の資料その他必要な資料（電磁的記録（電子的方式、磁気的方式その他人の知覚によつては認識することができない方式で作られた記録をいう。）を含む。以下「図書館資料」という。）を収集し、一般公衆の利用に供すること。

二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。

三 図書館の職員が図書館資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。

四 他の図書館、国立国会図書館、地方公共団体の議会に附置する図書室及び学校に附属する図書館又は図書室と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。

五 分館、閲覧所、配本所等を設置し、及び自動車文庫、貸出文庫の巡回を行うこと。

六 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を主催し、及びこれらの開催を奨励すること。

七 時事に関する情報及び参考資料を紹介し、及び提供すること。

八 社会教育における学習の機会を利用して行つた学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。

九 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること。

(司書及び司書補)

第四条 図書館に置かれる専門的職員を司書及び司書補と称する。

2 司書は、図書館の専門的事務に従事する。

3 司書補は、司書の職務を助ける。

(司書及び司書補の資格)

第五条 次の各号のいずれかに該当する者は、司書となる資格を有する。

一 大学を卒業した者で大学において文部科学省令で定める図書館に関する科目を履修したもの

二 大学又は高等専門学校を卒業した者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

三 次に掲げる職にあつた期間が通算して三年以上になる者で次条の規定による司書の講習を修了したもの

イ 司書補の職

ロ 国立国会図書館又は大学若しくは高等専門学校の附属図書館における職で司書補の職に相当するもの

ハ ロに掲げるもののほか、官公署、学校又は社会教育施設における職で社会教育主事、学芸員その他の司書補の職と同等以上の職として文部科学大臣が指定するもの

2 次の各号のいずれかに該当する者は、司書補となる資格を有する。

一 司書の資格を有する者

二 学校教育法（昭和二十二年法律第二十六号）第九十条第一項の規定により大学に入学することのできる者で次条の規定による司書補の講習を修了したもの

（司書及び司書補の講習）

第六条 司書及び司書補の講習は、大学が、文部科学大臣の委嘱を受けて行う。

2 司書及び司書補の講習に関し、履修すべき科目、単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。ただし、その履修すべき単位数は、十五単位を下ることができない。

（司書及び司書補の研修）

第七条 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、司書及び司書補に対し、その資質の向上のために必要な研修を行うよう努めるものとする。

（設置及び運営上望ましい基準）

第七条の二 文部科学大臣は、図書館の健全な発達を図るために、図書館の設置及び運営上望ましい基準を定め、これを公表するものとする。

（運営の状況に関する評価等）

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（運営の状況に関する情報の提供）

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

（協力の依頼）

第八条 都道府県の教育委員会は、当該都道府県内の図書館奉仕を促進するために、市（特別区を含む。以下同じ。）町村の教育委員会に対し、総合目録の作製、貸出文庫の巡回、図書館資料の相互貸借等に関して協力を求めることができる。

（公の出版物の収集）

第九条 政府は、都道府県の設置する図書館に対し、官報その他一般公衆に対する広報の用に供せられる独立行政法人国立印刷局の刊行物を二部提供するものとする。

2 国及び地方公共団体の機関は、公立図書館の求めに応じ、これに対して、それぞれの発行する刊行物その他の資料を無償で提供することができる。

第二章 公立図書館

（設置）

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

第十一条 削除

第十二条 削除

（職員）

第十三条 公立図書館に館長並びに当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が必要と認める専門的職員、事務職員及び技術職員を置く。

2 館長は、館務を掌理し、所属職員を監督して、図書館奉仕の機能の達成に努めなければならない。

（図書館協議会）

第十四条 公立図書館に図書館協議会を置くことができる。

2 図書館協議会は、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。

第十五条 図書館協議会の委員は、当該図書館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

第十六条 図書館協議会の設置、その委員の任命の基準、定数及び任期その他図書館協議会に関し必要な事項については、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。この場合において、委員の任命の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

（入館料等）

第十七条 公立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対するいかなる対価をも徴収してはならない。

第十八条 削除

第十九条 削除

(図書館の補助)

第二十条 国は、図書館を設置する地方公共団体に対し、予算の範囲内において、図書館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第二十一条 削除

第二十二条 削除

第二十三条 国は、第二十条の規定による補助金の交付をした場合において、左の各号の一に該当するときは、当該年度におけるその後の補助金の交付をやめるとともに、既に交付した当該年度の補助金を返還させなければならない。

- 一 図書館がこの法律の規定に違反したとき。
- 二 地方公共団体が補助金の交付の条件に違反したとき。
- 三 地方公共団体が虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

第三章 私立図書館

第二十四条 削除

(都道府県の教育委員会との関係)

第二十五条 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、指導資料の作製及び調査研究のために必要な報告を求めることができる。

2 都道府県の教育委員会は、私立図書館に対し、その求めに応じて、私立図書館の設置及び運営に関して、専門的、技術的の指導又は助言を与えることができる。

(国及び地方公共団体との関係)

第二十六条 国及び地方公共団体は、私立図書館の事業に干渉を加え、又は図書館を設置する法人に対し、補助金を交付してはならない。

第二十七条 国及び地方公共団体は、私立図書館に対し、その求めに応じて、必要な物資の確保につき、援助を与えることができる。

(入館料等)

第二十八条 私立図書館は、入館料その他図書館資料の利用に対する対価を徴収することができる。

(図書館同種施設)

第二十九条 図書館と同種の施設は、何人もこれを設置することができる。

2 第二十五条第二項の規定は、前項の施設について準用する。

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市教育振興基本計画

第2期【平成26年度～30年度】

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育



平成26年1月
市川市教育委員会

【基本的方向と施策の体系】

基本的方向		施策
目標	施策の方向	
1 子ども の 姿	1-1 自分を大切にし、他人を思いやる気持ちを養い、豊かな心を育む P15	<ul style="list-style-type: none"> ◎人と関わる力を身に付ける活動の充実 ◎余を大切にすることを教養の推進 ◎道徳教育の充実 ◎体験活動の充実 ◎読書教育の推進
	1-2 基礎的・基本的な知識及び技能の習得を固め、活用する力を育成する P18	<ul style="list-style-type: none"> ◎豊かな学力を育成する取り組みの推進
	1-3 健康に関する意識を高め、健やかな体を育成する P20	<ul style="list-style-type: none"> ◎健康な生活習慣を身に付ける取り組みの推進 ◎食育の推進 ◎体力向上の取り組みの推進
	1-4 社会的な問題に関する認識を深め、意欲と実践力を育む P23	<ul style="list-style-type: none"> ◎環境学習の充実 ◎情報教育の推進 ◎キャリア教育の推進 ◎防災教育の推進
	1-5 日本や郷土市川の歴史や文化を学び、国際社会の中で生きる力を育む P26	<ul style="list-style-type: none"> ◎歴史や文化に関する教育の推進 ◎外国語教育・国際理解教育の推進
2 家庭・学校・地域 の 姿	2-1 家族の心をつなぐを大切にし、心身の成長を育む家庭の教育力の充実を目指す P29	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭教育の充実に向けた取り組みの推進 ◎子育てに関する学習機会や相談機能の提供
	2-2 子どもと教職員とのつながりを大切にし、子ども一人一人の夢を育む学校の教育力の向上を目指す P31	<ul style="list-style-type: none"> ◎教職員の指導力の向上 ◎学校間の連携の推進 ◎学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善 ◎教職員が子どもと向き合う時間の拡大 ◎特色ある学校運営を支援する職員研修の充実
	2-3 人とのつながりを大切にし、子どもの成長を支える地域の教育力の向上を目指す P34	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域を支える人材の育成と地域活動を支援するシステムの充実
	2-4 家庭・学校・地域のつながりを大切にし、市川の教育力の向上を目指す P36	<ul style="list-style-type: none"> ◎家庭・学校・地域の連携を図る取り組みの推進 ◎家庭・地域と連携した学校の活性化
3 市川 の 教育 の 姿	3-1 幼児期の教育を推進するための環境を整える P39	<ul style="list-style-type: none"> ◎生きる力の基礎を育む教育の推進 ◎子育て支援の充実
	3-2 一人一人に前向きな教育的支援を推進する P41	<ul style="list-style-type: none"> ◎特別支援教育の推進 ◎子どもや保護者を支援する体制の充実 ◎教育機会均等の確保
	3-3 安全・安心で充実した教育環境を実現する P43	<ul style="list-style-type: none"> ◎子どもの安全・安心を確保する家庭・学校・地域の取り組みの推進 ◎保護者の子どもを育てるための支援 ◎学校の危機管理体制の充実 ◎いじめ、暴力行為などへの対応の強化 ◎安全で質の高い教育環境の整備
	3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する P46	<ul style="list-style-type: none"> ◎生涯学習機会の充実 ◎図書館機能を活用した学習活動の充実 ◎博物館などの活用を通じた学習活動の推進 ◎公民館を活用した地域の学習拠点づくり ◎文化財の保護と活用
	3-5 責任ある教育行政を確立する P49	<ul style="list-style-type: none"> ◎教育委員会機能の充実に向けた取り組み

●第4章 基本的方向と施策●

◇施策の方向 3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

《施策一覧》

3-4 生涯を通して学び続けられる学習環境を実現する

- ◎ 生涯学習機会の充実
- ◎ 図書館機能を活用した学習活動の充実
- ◎ 博物館などの活用を通じた学習活動の推進
- ◎ 公民館を活用した地域の学習拠点づくり
- ◎ 文化財の保護と活用

子どもから大人まで、一人一人がそれぞれのライフステージに応じて、自主的、主体的に活動できるように、多様な学習ニーズにも的確に応えられる体制づくりが必要です。また、学んだ成果を地域社会に還元することができるように努め、地域の教育力の向上を図ることも大切です。

市川市では、多様な学習ニーズに応えるサービスの充実を一層進めるとともに、図書館や博物館、公民館などの社会教育施設を情報の発信源や学びの拠点として有効に活用し、誰もが生涯を通して学び続けることのできる学習環境の実現を目指します。

●第4章 基本的方向と施策●

◆施策の内容◆

3-4-1 生涯学習機会の充実

一人一人に十分な文化・スポーツ活動の機会や多様な学習情報を提供するため、情報発信を積極的に行うとともに、相談体制の充実を図ります。また、関係機関と連携・協働することにより、さまざまな分野で学んだ成果を地域で活用することのできる機会を充実します。

成果指標	現状 (H25)	目標 (H30)
「生涯学習に関する情報提供や相談体制は十分だ」と回答する人の割合	46%	50%

3-4-2 図書館機能を活用した学習活動の充実

誰もが利用しやすい図書館サービスを提供するため、社会情勢や生活の変化に応じた市民のニーズを把握することに努め、資料の収集やレファレンスサービス^{*1}の充実、図書館ネットワーク^{*2}の一層の活用を図ります。また、郷土市川について学ぶ機会の拡充を図るため、行政資料や地域資料の積極的な収集を進めます。

成果指標	現状 (H25)	目標 (H30)
「図書館に満足している」と回答する人の割合	91% (H24)	95%

*1 レファレンスサービス・・・事実情報や文献資料を求めている利用者に対して、図書館員が図書館資料を使って答えたり、回答に含まれる情報源を提示・照会したりする人的サービス

*2 図書館ネットワーク・・・図書館と関連施設を結び、図書館資料の予約・取り寄せ・返却などができるシステム

資料(2)

参考：図書館記載部分を抜粋

市川市生涯学習推進計画

第四次【平成27年度～平成31年度】



平成27年4月 市川市教育委員会



グローバル化、少子高齢化、知識基盤社会への対応を図る
生涯学習推進「6つの方向性」

(1) 市民の学習ニーズに対応した
生涯学習の環境づくり

- 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応
- ライフステージに応じた生涯学習機会の充実
- 地域支援活動を目指す人材の育成

(2) ネットワークの充実

- 行政内の情報交換、事業面での連携強化
- 高等教育機関・NPO・民間企業等を含めたネットワークの連携強化
- 育成した地域支援人材とコーディネーター、社会貢献活動を計画する団体等との連携強化

(3) 自然・風土・歴史・文化的資産の保護と活用

- 市内に残る貴重な自然・風土・歴史・文化的資産を保護し、次世代に引き継いで行くため、学習資源としての活用を推進

(4) 家庭教育支援

- 保護者の学びを支援する体制の充実
- 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進

(5) 学校教育支援

- 家庭・学校・地域の連携強化
- 児童生徒の社会体験・生活体験の充実

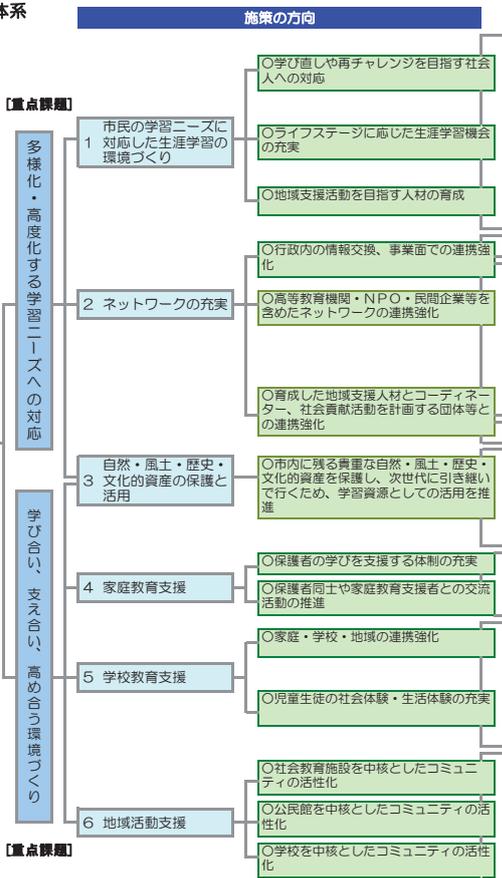
(6) 地域活動支援

- 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化
- 公民館を中核としたコミュニティの活性化
- 学校を中核としたコミュニティの活性化

多様化・高度化する
学習ニーズへの対応

高め合う環境づくり
学び合い、支え合い

4 推進の体系



主な取り組み/学習機会	関連する取り組み/学習機会
1-4 学校支援実践講座 1-8 学校施設開放 1-13 子ども会育成 1-14 青少年指導者育成 1-19 市民アカデミー 1-20 市民館主催講座 1-22 観察会・散策会 1-24 教育普及 1-25 夏休みのイベント 1-26 自然講座 1-27 野暮の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動 1-32 レファレンスサービス 1-39.45 縄文体験フェスティバル	3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講座 5-1.3.4 各種関係団体の育成・支援 5-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発 5-7 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談・啓発 8-1 スポーツ指導者育成 8-4 健康スポーツ教室 8-6 スポーツ推進負担金 8-8 大会等派遣参加費用補助 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-1 家庭教育学級 1-4 学校支援実践講座 1-13 子どもの読書 1-14 青少年指導者育成 1-20 市民館主催講座 1-24 教育普及 1-32 レファレンスサービス 1-33 子どもの読書 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業	3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講座 5-1 各種関係団体 5-5 ボランティア・NPO 活動の拡充 5-8 消費生活センター相談及び啓発 7-1 すこやか応援隊 7-2 ことども館 8-1 スポーツ指導者育成 8-6 スポーツ推進負担金 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-5 史跡公開化 1-7 史跡整備保存 1-6 指定文化財維持管理 1-21 情報・企画 1-22 観察会・散策会 1-23.24.36.38.42.44 教育普及 1-25 夏休みのイベント 1-26 自然講座 1-27 野暮の名札付け・環境整備 1-28.40.46 広報活動	1-29.30.31 少年自然の家 1-34 地域行政資料 1-35.41 展示事業 1-37.39.43.45 縄文体験・フェスティバル 4-1 東山地蔵堂 4-2 文芸ミュージアム 4-3 市川の文化人展・収蔵作品展 4-4 市史編さん 4-5 街回遊展 4-7 文化の街か回遊マップ
1-1 家庭教育学級 1-18 少年相談 3-1 男女共同参画センター講座 3-2 人権啓発講座 7-2 ことども館	1-3 コミュニティサポート 1-9 体験学習 1-29.30 少年自然の家 1-33 子どもの読書
1-2 社会教育活動助成 1-3 コミュニティサポート 1-4 学校支援実践講座 1-9 体験学習 1-16 少年健全育成 1-17 環境浄化啓発 1-20 市民館主催講座 1-21 常設展・企画展	1-29.31 少年自然の家 1-33 子どもの読書 2-1 学習支援推進 2-2 校内外・まなびくらぶ 2-2 情報提供事業 5-5 ボランティア活動等啓発事業 7-4 中高年保育ボランティア 8-5 スポーツ推進団体補助 8-8 大会等派遣参加費用補助
1-3 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化 1-10 コミュニティクラブ 1-11 子どもの居場所づくり 1-15 少年補導員 1-20 市民館主催講座 1-35.41 展示事業 1-36.37.38.42.43.44 教育普及 1-39.45 縄文体験フェスティバル 1-40.46 広報活動	1-1 家庭教育学級 1-2 社会教育活動助成 1-4 学校支援実践講座 6-1 高齢者健康相談 6-4 シニアカレッジ管理講座 6-5 6-11 いきいきセンター 8-2 スポーツ推進委員会 8-4 健康スポーツ教室 8-5 スポーツ推進団体補助 8-6 スポーツ推進負担金 8-9 総合型地域スポーツクラブ
1-3 公民館を中核としたコミュニティの活性化 1-9 学校を中核としたコミュニティの活性化	1-1 家庭教育学級 1-11 子どもの読書 1-15 少年補導員 1-18 少年相談 1-25 夏休みのイベント 1-32 レファレンスサービス 3-2 人権啓発講座 7-2 ことども館 7-3 ことども発達相談室

事業名	1-32 レファレンスサービス (中央図書館)	
事業概要	市民の学習要求に応じ、図書館資料及び情報の提供、紹介等を行い、市民の生涯学習活動を支援する。また市内の大学図書館や県立図書館、国会図書館等とも連携し、市民や行政、議会の課題解決のための調査・研究に専念する。	
◎ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	◎ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	◎ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
○ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○ (5) 学校教育支援	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	○ 家庭・学校・地域の連携強化
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
	○ 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度	30年度
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民の学習活動の充実について、社会情勢や生活の変化に応じた市民ニーズを把握して図書館資料を収集する。 レファレンスサービスについて、司書のレファレンス技量の向上に努め、市内外の図書館等との連携を強化し、市民の学習要求、調査研究に専念する。 レファレンスの事例について、「レファレンス記録集」を作成、職員間で情報共有し、国立国会図書館のレファレンス協同データベースに事例を提供する。 	
成果指標	レファレンス事例集及びレファレンスツール（パスファインダー等）の発行	
実績・目標値	25年度実績 発行	30年度目標 継続発行・発展 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名	1-33 子どもの読書活動推進事業 (中央図書館)	
事業概要	子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような児童書を収集・研究し、ブックリストの作成や読み聞かせの会などを実施する。読書離れが著しい中高生に対しても、本を紹介しイラスト等の募集を行う等、図書館を調べ学習や情報提供の場として提供する。また教育センターや学校、子育て支援課など他部署と連携・協働し、児童サービスの拡大を図る。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
○ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	○ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○ (5) 学校教育支援	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	○ 家庭・学校・地域の連携強化
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
	○ 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度	30年度
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> ブックリストについて、子どもや周囲の大人が本を選ぶ際の参考になるようなものを子どもの発達段階に応じて作成し、市内の小中学校や図書館来館者に配布する。 学校図書館支援について、市内公立小中学校に対象年齢に応じたセット貸出を行うなど、教育センターや学校図書館との連携を強化する。 	
成果指標	ブックリスト、読み聞かせの会、福袋、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための取り組み	
実績・目標値	25年度実績 実施	30年度目標 継続実施及び拡大 30年度達成数 ※31年4月確認



事業名	1-34 地域行政資料の収集・保存と活用 (中央図書館)	
事業概要	地域の歴史や文化を後世に伝えるために、市川市及び千葉県に関する資料を、行政各部署や市民団体等と連携して、幅広く収集し、保存する。また市民の学習資源として広く活用できるように整理し、積極的な情報発信をも行う。市民の生涯学習の成果である市民の著作物については、「市民文庫」として収集する。	
○ (1) 市民の学習ニーズに対応した生涯学習の環境づくり	○ 学び直しや再チャレンジを目指す社会人への対応	○ ライフステージに応じた生涯学習の充実
○ (2) ネットワークの充実	○ 地域支援活動を目指す人材の育成	○ 行政内の情報交換、事業面での連携
◎ (3) 自然・風土・歴史・文化資産の活用	◎ 各資産の保護と学習資源としての活用	○ 育成人材とコーディネーター各団体・事業の連携
○ (4) 家庭教育支援	○ 保護者の学びを支援する体制の充実	○ 保護者同士や家庭教育支援者との交流活動の推進
○ (5) 学校教育支援	○ 児童生徒の社会・生活体験活動の充実	○ 家庭・学校・地域の連携強化
○ (6) 地域活動支援	○ 社会教育施設を中核としたコミュニティの活性化	○ 公民館を中核としたコミュニティの活性化
	○ 学校を中核としたコミュニティの活性化	
年度	26年度	30年度
事業推進目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民の著作物について、寄贈を呼びかけ積極的な収集を図り、図書館資料として保存する。 地域資料の収集・整理について、地域の資料や情報を蓄積し、貴重な資料の劣化防止のため電子化を推進する。 	
成果指標	地域行政資料の蔵書冊数	
実績・目標値	25年度実績 51,022冊	30年度目標 55,000冊 30年度達成数 ※31年4月確認



市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

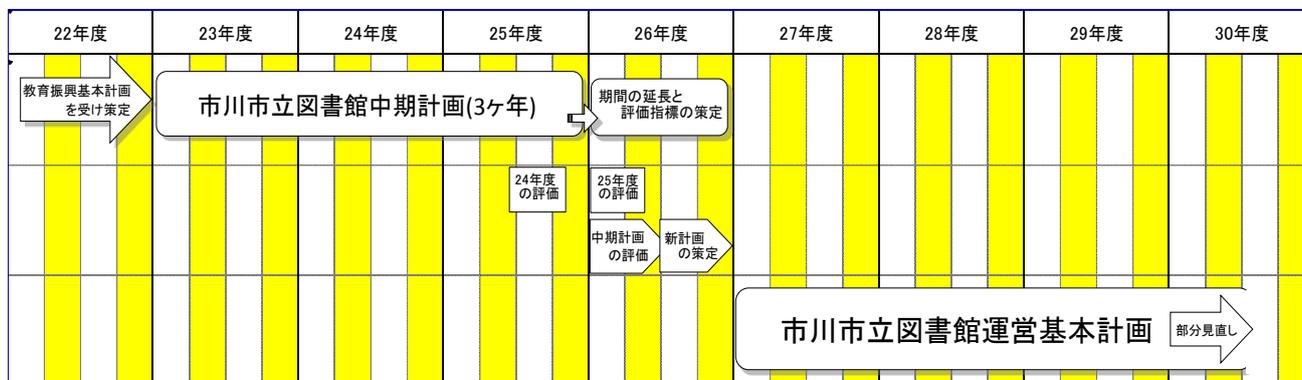
平成 27 年 3 月

第 1 章 計画の策定にあたって

1. 計画期間

本計画は、「市川市立図書館中期計画」(平成 23 年度～平成 25 年度)を見直し、平成 27 年度に新たに「市川市立図書館運営基本計画」として策定するものです。

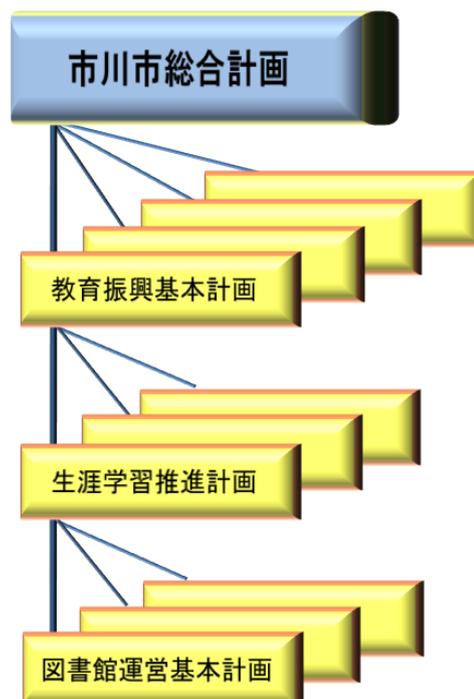
本計画の第 2 章は、これからの本市図書館のあるべき姿を示すものですが、社会情勢や市民ニーズの変化に応じ、概ね 3 年ごとに見直しを図るものとしします。また、第 3 章の実施計画では、3 年ごとの期間で実施していく具体的事業を掲げていますが、その実施結果についての評価に基づき、次の 3 年には改めて実施事業を計画するものとしします。



* 計画作成期間に当たる平成 26 年度についても、計画に基づいた図書館評価を行うため、市川市立図書館中期計画の一年間の延長を行っています。

2. 計画の位置付け

本計画は、「市川市基本構想」(平成 12 (2000) 年)、「市川市総合計画第二次基本計画」(平成 23 (2011) 年)の下、教育に関する部門計画の「市川市教育振興基本計画」(平成 26 (2014) 年から第 2 期)、さらに、生涯学習部門の個別計画である「市川市生涯学習推進計画」(平成 27 (2015) 年から第 4 次)の下に策定するものです。



3. 計画の成り立ち

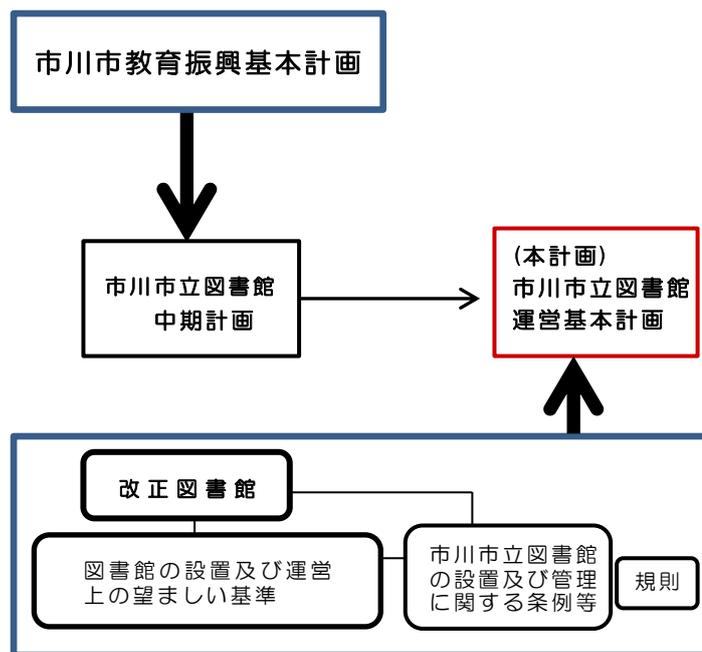
「図書館法」(昭和25年法律第118号 平成23年12月最終改正)の平成20年(2008)の改正にともない、公共図書館の運営状況についての自己評価と公表が努力義務となりました。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が平成24年(2012)に告示されましたが、図書館は図書館事業の基本的運営方針を策定し、運営の状況について自ら点検及び評価・公開するよう努めるものとされています。

指定管理者の運営である市川駅南口図書館では、年2回のモニタリングを行い、うち1回は外部有識者を交えてモニタリングを実施しているものの、市直営の図書館については、定期的な評価の実施はありませんでした。

これらのことから、平成24(2012)年に「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」を改正し、図書館の評価とその公開を実施することとしました。

これまでの評価は、市川市教育振興基本計画に基づき策定された「市川市立図書館中期計画」を拠り所としてきましたが、同計画期間終了に伴い、新たに将来のあるべき姿を示す図書館運営計画を策定する必要から「市川市立図書館運営基本計画」を策定するものです。



「図書館法」

(運営の状況に関する評価等)

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第七条の四 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

- 1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。
- 2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するように努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、基本的運営方針並びに前項の指標、目標及び事業計画の策定に当たっては、利用者及び住民の要望並びに社会の要請に十分留意するものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- 1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。
- 2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。
- 3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。
- 4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」

（運営状況の評価等）

第1条の2 教育委員会は、図書館の運営の改善を図るため、その運営の状況について評価を行い、これを公開するものとする。

4. 計画の策定経過

計画の策定に当たり、社会教育委員会議、e-モニター制度、パブリックコメント等により、様々な市民意見を聴取し計画案を作成し、市川市教育委員会議に諮りました。

策定経過

時 期	内 容
平成26年	2月13日 策定方針についての意見聴取 (市川市社会教育委員会議)
	4月3日 策定方針について(議決) (定例教育委員会議)
	4月23日 策定方針についての意見聴取 (関係各課)
	9月26日 ～10月6日 e-モニターの実施
	10月25日 計画(素案)についての意見聴取 (図書館ボランティア)
	11月15日 ～12月14日 計画(素案)についての意見聴取 (パブリックコメント)
	11月20日 計画(素案)についての意見聴取 (市川市社会教育委員会議)
平成27年	2月5日 ～3月6日 パブリックコメント実施結果公表
	2月5日 計画(案)について (定例教育委員会議)
	2月12日 計画について(報告) (市川市社会教育委員会議)
	4月 「市川市立図書館運営基本計画」の施行

5. 現状と課題

(1) 図書館サービスの現状

日本の公共図書館は、1960年代後半から貸出しを中心としたサービスを展開し、市民の支持を広げながら、現在では高度情報化、少子・高齢化や国際化社会への急激な進展の中で、地域における身近な問題解決のための機関として、また芸術や文化に気軽に触れることのできる「市民の書齋」として、生涯学習の拠点となる重要な役割を担うよう変化してきました。

本市では5館1室（直営による中央・行徳・信篤・南行徳・平田図書室、及び指定管理による市川駅南口図書館）及び自動車図書館による体制で図書館サービスを実施し、市民図書室、公民館図書室、男女共同参画センター情報資料室、情報プラザ（委託）等の市の施設や、千葉商科大学附属図書館と連携して図書館ネットワークの整備と拡充を進めてきました。

また平成21年に蔵書構築に関する基準を設け、資料面での充実を図るとともに、多様な市民要望に対応できるよう、千葉県立図書館、国立国会図書館、和洋女子大学メディアセンター等の各種図書館と相互貸借による連携を強化し、幅広い情報の提供を行ってきました。また、子ども読書活動の推進、学校とのネットワーク事業の実施、情報技術の積極的な活用等々、多彩な事業を展開することでも図書館としての役割を遂行できるよう努めてまいりました。

(2) 図書館計画の実施状況

市川市教育振興基本計画に基づいて、平成23年度に「市川市立図書館中期計画」（以下「中期計画」という）を策定し、3カ年の計画期間の中で具体的施策として掲げた全ての事業に取り組みことができました。特に電算システムでは、市民要望を取り入れた新着図書検索お知らせメール（SDI）サービスの開始やログイン機能の改善等を行い市民が資料や情報を入力するための利便性の向上を図り、児童サービスでは初めて参加する子どものためのえほんの会など、年齢に応じた様々なイベントを実施しました。他にも、特別コレクションの充実など市川に関する資料の収集や、ICタグの地域図書館への導入計画の策定及び予算化を進めました。一方、視聴覚資料の購入等、予算として割り当てられなかったため、目標達成が一部困難なものがありましたが、実施計画の目標は概ね達成できたといえます。

中期計画が示す方向は、本市図書館のサービスの基本であるため、新たな課題に対応した目標も加えながら今後も継続し、充実させていく必要があります。中期計画の6つの柱は、相互に関連する部分も多いため、整理を行い、目指す目標を明確にしていきます。また、中期計画では年度ごとの目標をできる限り数値によるものとしていましたが、本計画においては、数値・取り組み内容・満足度等から、より適切な評価を行い、次の事業展開に繋げてまいります。

(3) 今後の課題と方向性

計画で掲げた施策を確実に進め、市川市立図書館のあるべき姿を実現させるためには、組織や施設といったサービス基盤の整備を進める必要があります。また、限られた資源を有効に活用するためには、業務プロセスの見直しやコスト削減などの効率性の向上も重要です。人的なリソースシフトについては、市川版 ABC 分析等を通じて中央図書館を中心に進めてきたところですが、今後も長期的視点に立って、正規職員・非正規職員等の配置について点検するとともに、業務委託や指定管理者制度についての検証を通じて、各事業（サービス）の最適な担い手について検討していきます。また地域の課題に対する取り組みへの支援については、図書館だけで行うのではなく、地域における産学官民の多様な主体との連携・協力を通じて実現していきます。

施設面では、施設管理についての全庁的な方向性に沿って、老朽化する施設の修繕を計画的に進め、また市内各地域へのバランスのとれた図書館サービスを展開できるよう、地理的な分布や事業効果等も踏まえ、図書館だけでなく関連施設やその空間の有効活用も含め、関係各方面と調整を図り、将来的なサービスポイントの再配置についても検討を進めます。

物流については、市内連絡便の運行ルートや運行頻度を見直し、効率的・効果的な資料の流通体制の実現に努めます。また、関連施設等との連携が進む中、自動車図書館についても利用実態の検証を通じて、巡回地域や巡回頻度だけでなく、利用対象や巡回施設などについても見直していきます。

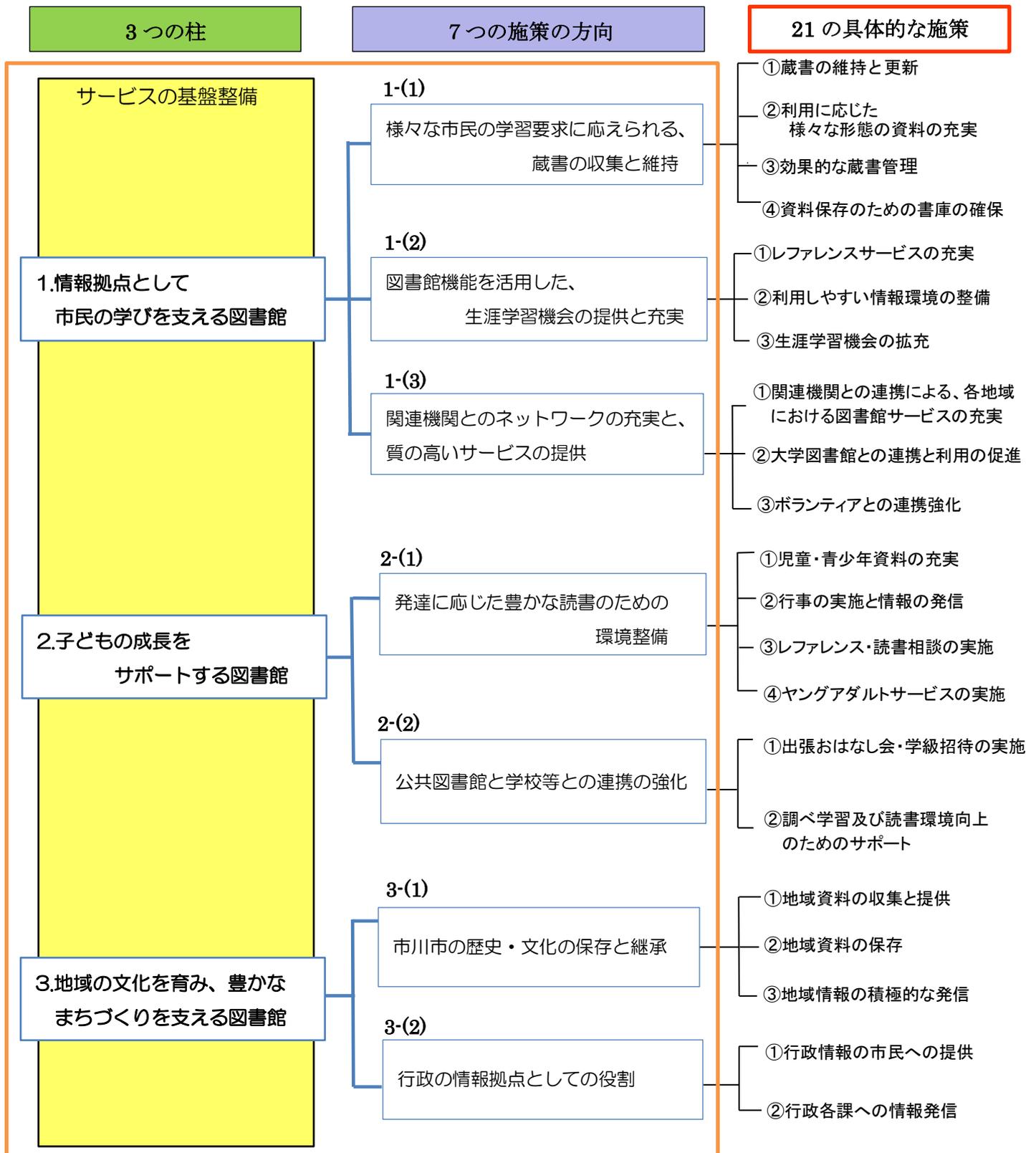
今後の時代の変化を見据え、それに対応できる図書館であり続けるために、全てのサービスを支える基盤としての職員の資質の向上を図り、多様で高度な図書館サービスの実現をめざします。



6. 本計画の構成

本計画は3つの柱の下に、7つの「施策の方向」を置き、それぞれに具体的な施策を位置付けます。これらを確実に実施していくために、3ヶ年ごとに具体的な施策に基づく実施計画を策定します。

市川市立図書館運営基本計画 体系図



第2章 市川市の図書館サービスの目指すもの

公立図書館は、図書館法に基づいて地方公共団体が設置する公の施設であると同時に、教育委員会が管理運営する教育機関でもあり、教育や文化、生活や仕事、精神的自由などに深い関わりを持っています。「知識基盤社会」において知識や情報の重要性が増すなか、地域の知識・情報・文化の拠点としての公立図書館の存在意義は高まっています。本市図書館ではこのような状況を踏まえ、効果的な図書館サービスのための施設や組織の基盤整備を進めるとともに、本市の実情に即した事業展開を行っていきます。

今後の目指すべき方向性を本市図書館の使命と位置付け、3つの柱を設定します。この使命に基づき、図書館の果たすべき役割を明確にしながら多様な事業を展開し、市民の期待に応えられるよう努めてまいります。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

現代の図書館には、趣味や教養を深める役割だけでなく、市民のもつ様々な課題の解決のための資料を迅速かつ的確に提供することが求められています。

このため、市川市の図書館は、身近な図書館として市民の興味やニーズに対応するとともに、社会情勢や生活の変化に応じ、必要とされる情報の収集及び提供や調査・研究の支援を行い、市民の学びを支えていきます。

また、すべての市民がより高質なサービスを等しく享受できるよう、ICTを活用したサービスを展開するほか、図書館資源を利用するに当たっての、居住地域や心身の障害等による利用しにくさを解消できるような工夫を行うとともに、職員の能力の向上や関係機関との連携によるサービスの充実を目指します。

(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

① 蔵書の維持と更新

日常生活の疑問や仕事上の疑問等、各種課題解決に対応できるよう資料の充実に努め、利用に応じた適正な蔵書の維持と更新を図ります。

② 利用に応じた様々な形態の資料の充実

市民の趣味、教養等に資するため、図書・雑誌や視聴覚資料の充実を図ります。図書館を利用する上でハンデキャップがある方が、それぞれの状況に応じた資料が利用できるよう、障害者向け資料の収集に努めます。また、電子資料等、新しい形態での資料の収集・提供についての調査と、導入についての検討を進めます。

③ 効果的な蔵書管理

ICタグ等による効果的な蔵書管理や、自動貸出機等の導入による貸出・返却業務等の効率化を進め、職員の人的な能力を、案内・調査相談など、より質の高いサービスへと集中させます。

④資料保存のための書庫の確保

市川市として必要な資料を適正に保存していくため、書庫の増設に努めます。また、ICTの進展等に合わせた資料の収集や保存についても検討していきます。

(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

①レファレンスサービスの充実

市民の調査研究活動を積極的に支援します。的確に資料を探せるよう、案内・回答機能の一層の充実を図ります。そのため、印刷資料とインターネット等による電子媒体を組み合わせた高度な情報提供といった、図書館のハイブリッド化の進展に対応できるよう継続的に職員研修を行い、司書のレファレンス技量の向上に努め、国立国会図書館・千葉県立図書館・その他専門機関との連携体制を強化しレファレンスの充実を図ります。また、地域館においても市民が専門的な調査支援等のサービスが受けられるよう中央図書館がバックアップします。

②利用しやすい情報環境の整備

電磁的記録も含め多様な情報源を用意し、誰もが資料や情報にたどり着けるような環境の整備を進めます。また、図書館ホームページの機能の向上を図り、ICTによる各種図書館サービスへのアクセスの拡大を目指します。

③生涯学習機会の拡充

大学、企業、NPO、行政等の多様な主体との連携を促進することにより、地域の抱えるそれぞれの課題に対応し、実情に即した生涯学習機会を提供していきます。また、子育てや起業など地域の活性化に繋がるような情報の提供に努めます。

(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実

公民館等、関連施設との連携や活用等について調整を行い、各サービスポイントにおけるサービス内容の変更・整理を進め、市全域で質の高い図書館サービスが提供できるよう努めます。

②大学図書館との連携と利用の促進

市民が公共図書館のサービスを通じて大学図書館の持つ専門的な資料を利用できるよう、大学図書館と連携するとともに、利用促進のための市民へのPRを行います。

③ボランティアとの連携強化

図書館ボランティアとの連携を強化し、その活動を応援します。また、障害者サービスに関するボランティアとの連携を充実させていきます。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

地域社会が子どもの読書環境を整えていくことは、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにしていく上で大変重要です。そのため図書館では、子どもたちが幼い頃から本に親しみ多種多様な興味を見出せるように、資料を充実させるとともに、レファレンスや読書相談などにきめ細かく対応していきます。また、読み聞かせやブックリストの発行、子ども向けのイベントの開催などを関連機関と連携を図りながら継続的にを行い、子どもと本を結びつける活動を積極的に展開していきます。

(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

①児童・青少年資料の充実

子どもの読書活動を推進するため、子どもの発達に応じて豊かな読書体験ができるような、資料の収集・更新に努めます。

②行事の実施と情報の発信

子どもと本を結びつけるために、年齢に応じて読み聞かせやストーリーテリング、ブックトークなどのイベントを開催し、子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。更に、年齢別のブックリストの作成と配布を行い、子どもの読書活動を支援します。また、子どもに関わる様々な部署との連携を深め、子どもの読書活動に関する情報発信に努めます。

③レファレンス・読書相談の実施

子どもたちの興味や関心を本に結びつけ、読書の楽しみを知ることができるよう、読書相談を行います。また、調べ学習に対応し適切な資料や情報にたどり着けるよう、レファレンスサービスを充実させます。子どもを取り巻く大人に対しても、的確な読書相談に努め、読み聞かせ講座などを開催します。

④ヤングアダルトサービスの実施

本離れが著しい中学生・高校生のヤングアダルト世代に向けて、進路や就職、生き方、多文化や国際化社会等への理解を深められるような資料の充実と提供に努めます。また、参加型イベント等の実施により、図書館の利用促進を図ります。

（２）「公共図書館と学校等との連携の強化」

①出張おはなし会・学級招待の実施

学校等への出張おはなし会や、図書館への学級招待などを通じて、子どもが図書館や本に親しむきっかけを提供し、図書館利用の促進を行うとともに、「自ら学ぶ力」を養い、生涯にわたって学び続ける力の育成をサポートします。

②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

学校図書館支援センター事業を通じて調べ学習をサポートし、学校図書館だけでは対応しきれないレファレンスにも応じていきます。学習指導要領に沿って計画的な学校向け貸出図書を更新を図り、学習活動に役立つ資料の充実に努めます。また、児童生徒のキャリア教育をサポートするため、図書館での職場体験の受入れを継続的に行います。

図書館だけでなく、子育て支援にかかわる部署や施設とも連携及び協力をし、子どもたちの読書活動を充実させるよう努めます。



3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

市川の歴史や文化についての郷土資料は、市川への理解と愛着を深め、地域の魅力を高める大切な市民の財産です。また、市川市の行政資料は、市民と行政が環境、教育、福祉など様々な分野において、市川のまちづくりに協働して取り組み、地域の課題解決へと導くための重要な手がかりとなります。これら地域資料を収集し、体系的に整理し保存することは、図書館が責任を持って行うべき重要な任務です。

本市図書館は、市民誰もが地域の情報にアクセスできるように環境を整え、行政の情報拠点としての役割を果たします。また、市川の魅力を発信し、豊かなまちづくりに貢献できるよう努めていきます。

(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

① 地域資料の収集と提供

地域社会の歴史、文化、行政などに関する資料、並びに地域または地域に関わりが深い個人や団体が作成、発行した資料の積極的な収集を進めます。また、刊行物として発行されないインターネット上の地域情報の取得に努めます。利便性の向上を図るため、資料や情報を体系的に整理し、提供していきます。

② 地域資料の保存

地域の歴史や文化、行政の記録を後世に継承していくために、地域の資料や情報を蓄積し、保存に努めます。また、貴重な資料の劣化防止のための電子化を進めます。

③ 地域情報の積極的な発信

市民が地域について学ぶ機会を拡げるため、地域資料の電子化を図り、広く利用できる環境を整備し、ホームページ等を活用した地域情報の発信を行っていきます。

(2) 「行政の情報拠点としての役割」

① 行政情報の市民への提供

行政の情報窓口として、行政各部署と連携し、市民生活に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。また、行政への市民参加を促し、市川のまちづくりにおいて、市民と行政が協働して地域の課題解決に取り組めるよう支援します。

② 行政各課への情報発信

市の行政各部署の政策決定、行政事務に必要な情報を収集、整理し、提供に努めます。関係各課の課題解決のためのレファレンス機能を強化し、積極的に情報を発信していきます。

第3章 実施計画編（平成27年度～平成29年度）

第2章で掲げた3つの柱の下、7つの「施策の方向」と21の「具体的な施策」に基づき、平成27年度～平成29年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的事業の展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげるPDCA（PLAN（計画）－DO（実施）－CHECK（評価）－ACT（調整・改善））のマネジメント・サイクルに沿った運営を行なうため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替え

数値目標等	継続的な資料の受入(購入と寄贈の合計冊数)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	50,000冊	50,000冊	50,000冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討

実施事業 2 障害者向け資料の充実

数値目標等	それぞれの障害に配慮した資料の充実(受入れ点数)		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	200点	200点	200点

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 行徳図書館の図書へのICタグの貼付と、全館的なICタグによる蔵書管理についての検討

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書架の計画的な設置

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策①「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の作成

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(パスファインダー等)の発行		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	発行	継続発行、発展	継続発行、発展

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 レファレンスツールとしてのデータベースの拡充等、市民の学習要求や調査研究に応える環境の整備

◇具体的な施策②「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 利便性の向上のための、ICT 関連機器の更新及び導入計画の策定

実施事業 2 図書館ホームページのお知らせ機能やデータベース等の充実

◇具体的な施策③「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 図書館サービスの PR と、利用の促進

実施事業 2 イベントの開催や、地域イベントへの参加協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策①「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの拡充と利用の拡大

数値目標等	図書館利用登録者の拡大(登録率)		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

◇具体的な施策②「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障害者サービス関連のボランティアと連携した、障害者向け資料の作製と収集

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策①「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	受入れ冊数（購入と寄贈の合計冊数）		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

◇具体的な施策②「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信

数値目標等	ブックリスト、読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	各種行事の実施	継続実施及び拡大	継続実施及び拡大

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についての案内の実施

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 こども館等と連携した児童サービスの拡大

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	52,000 冊	53,000 冊	54,000 冊

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 著作権保護期間満了の資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報に関するコンテンツの追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 入手しにくい市の刊行物等の販売

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各課への発信

平成 29 年度 市川市立図書館評価報告書

平成 30 年 12 月

1. 趣旨

この報告書は、「図書館法」（昭和 25 年法律第 118 号）第 7 条の 3、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（平成 24 年文部科学省告示第 172 号）、「市川市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則」（平成 21 年教育委員会規則第 6 号）第 1 条の 2 及び「市川市中央図書館の管理に関する規則」（平成 6 年教育委員会規則第 9 号）第 2 条に基づき、平成 29 年度の市川市立図書館の運営状況について評価・分析を行いサービス向上に資するものである。

2. 評価内容

「市川市立図書館運営基本計画」第 3 章 実施計画編（平成 27 年度～平成 29 年度）の具体的な施策に沿って行った取り組み内容と、目標値等の達成度に基づき、平成 29 年度の市川市立図書館の評価を行った。

3. 評価の基準について

市川市立図書館の「7つの施策の方向」の各項目について、取り組み内容と目標値の達成度を総合して A～D の 4 段階評価を行った。これに基づき、総合結果として「3つの柱」についての取り組みを 4 段階評価で表した。（3つの柱と 7つの施策については市川市立図書館運営基本計画 p.7 を参照）

実施内容	評価
十分達成できた。（目標どおり取り組みを実施し、目標を上回る成果があった。）	A
概ね達成できた。（目標どおり取り組みを実施し、一定の成果をあげた。）	B
やや不十分だった。（実施したが、十分な成果をあげることができなかった。）	C
不十分だった。（実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。）	D

4. 自己評価結果

平成 29 年度は、「市川市立図書館運営基本計画」の 3 つの柱のうち「子どもの成長をサポートする図書館」「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」の 2 つについては、目標を達成することができ A 評価となった。特に、子どもに対するサービスでは、乳幼児サービスの充実や中学校でのブックトークなど対象年齢を広げた新たな取り組みを行い、図書館利用の促進と読書環境の整備を進めることができた。「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、大学や関連施設と連携した出張登録会の実施や図書館サービスの PR に努めたが、利用登録者数が目標値に達しなかったため B 評価となった。

全体としては、7 つの施策の方向のうち 6 つが A 評価であったため、29 年度の目標はほぼ達成でき、一定の成果をあげたといえる。

5. 平成 29 年度市川市立図書館評価に対する外部有職者からの意見 …詳細は別紙 1

外部有識者 2 名（図書館情報学）から、平成 29 年度の市川市立図書館評価についてご意見をいただき、自己評価は概ね適切であると認められた。また、実施結果や評価方法に対していただいた課題やアドバイスについては、今後の図書館運営に活かしていく。

6. e-モニターによるリーディングプラン(平成 29 年度結果) …詳細は別紙 2

市川市立図書館運営基本計画の策定時に、市民モニターが重要と考える具体的施策について、e-モニターによるアンケートを行い、選ばれた施策を「e-モニターによるリーディングプラン」とした。これらの施策について、平成 29 年度の実施結果をまとめた。

平成 29 年度 「市川市立図書館運営基本計画」に基づく図書館評価結果

総合結果

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

評 価	<input type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input checked="" type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	--------------------------------------	---	---------------------------------------	-------------------------------------

資料の受入冊数については目標値に届かなかったが、今後予定している IC タグによる全館的な資料管理が活かせるよう、中央図書館の保存機能を意識した資料の選定や適正な蔵書の維持に努めた。近隣商業施設との共催イベントや、関連施設、大学等様々な機関と連携を行い、双方の利用促進につなげることができた。引き続き、図書館がない北部地域の利便性の向上に努め、連携やイベントなどの機会を活かし、図書館の利用の拡大を進めていく。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

評 価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

関連施設との新規共催イベントの実施など、全館で児童に対するサービスを積極的に展開し、目標を達成した。乳幼児サービスやレファレンスサービスにおいては、ブックリストやパスファインダーを新たに作成し、図書館の活用を促した。今後は、本の魅力をより伝えられるように、出張おはなし会の内容充実や時流にあったイベントを実施し、子どもたちやヤングアダルト世代が図書館を利用する機会を増やしていく。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

評 価	<input checked="" type="checkbox"/> A [十分達成できた]	<input type="checkbox"/> B [概ね達成できた]	<input type="checkbox"/> C [やや不十分だった]	<input type="checkbox"/> D [不十分だった]
-----	---	--------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

地域行政資料の収集や地図の電子化、地域情報データベースに新しいコンテンツを追加する等、様々な媒体によるサービスの充実に努め、全項目で目標を達成した。また、行政各部署が市川に関するイベントを行う際には、連携して図書館でも資料展示を行い、地域の情報や魅力を発信していくよう努めた。今後さらに、図書館が収集した情報が地域の課題解決につながるよう内容の充実を図るとともに、デジタルアーカイブシステム等を効果的に活用していく。

29 年度の取り組み内容

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①蔵書の維持と更新	・新規資料の受入れと劣化資料の買い替え	受入れ冊数 50,000冊	受入れ冊数 44,459冊	A
②利用に応じた様々な形態の資料の充実	・利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討	調査・検討 の実施	調査・検討 の実施	
	・障がい者向け資料の充実	受入れ点数 200点	受入れ点数 253点	
③効果的な蔵書管理	・行徳図書館の図書へのICタグの貼付と、全館的なICタグによる蔵書管理についての検討	ICタグの貼付 (30万冊)	ICタグの貼付 (40万冊)	
④資料保存のための書庫の確保	・中央図書館の書庫への可動式集密書架の計画的な設置	—	—	

実績と評価

受入れ冊数は目標値の約9割であった。予算減に加え、図書館としての保存に耐えうるような資料の選定を心がけ文庫の購入を控えめにしたこと等により購入単価が上がり、冊数の増加に結びつかなかったことも一因と考えられる。障がい者向け資料は目標値を大きく上回る点数を受入れた。平成 30 年度からのデジタルアーカイブシステム導入に向けた予算措置を行った。IC タグの貼付・登録については予定通り中央図書館の開架部分を完了し、書庫資料への貼付に向けて保存資料の見直しを行った。

課題

限られた予算を有効に利用するため、資料の収集については、的確な資料選定を行っていく必要がある。資料管理面では、IC 機能の活用に向け、全館での既存資料の見直しも含めた適切な蔵書管理を進めていくことが課題である。

方向性

図書館全体で市民の学びを支えられるよう、引き続き各図書館の役割やニーズを意識した資料の選定を行うとともに、中央図書館が地域図書館の蔵書面での支援を行っていく。効果的に蔵書を管理するため、全館的な IC 化を計画的に進めていくほか、新しい媒体や方法による蔵書の構築についても検討していく。

施策の方向 1-(2)「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①レファレンスサービスの充実	・レファレンスツールおよび事例集の作成	継続発行・発展 19回	継続発行・発展 19回	A
	・市内外の図書館等との連携の強化 (レファレンス協同データベースへの事例提供)	実施(200点)	実施(210点)	
	・レファレンスツールとしてのデータベースの拡充等、市民の学習要求や調査研究に応える環境の整備	実施	実施	
②利用しやすい情報環境の整備	・利便性向上のための、ICT関連機器の更新及び導入計画の策定	機器導入計画 (中央)	機器導入準備 (中央)	
	・図書館ホームページのお知らせ機能やデータベース等の充実	拡大実施	実施	
③生涯学習機会の拡充	・図書館サービスのPRと、利用の促進	実施	実施	
	・イベントの開催や、地域イベントへの参加協力	実施	実施	

実績と評価

国立国会図書館デジタル化資料送信サービス(閲覧用)を行徳図書館でも開始した。法令・判例関係の商用データベースとして「ウエストロージャパン」を新たに中央図書館に導入し、市川駅南口図書館では音楽配信サービス「ナクソミュージックライブラリー」を導入した。また、図書館情報システムの更新とICT機器導入に向けてワーキンググループを設置し、それぞれの課題について検討を開始した。そのほかに、市民の調査研究に役立つよう、パスファインダーを新規作成し、図書館ホームページで公開した。

出版社や他部署と連携して作家の講演会や原画展を開催し、通常の特集展示よりも奥行きのある本の世界を市民に提供することができた。また、地域のイベントに積極的に参加し、昨年同様、自動車図書館の展示や出張図書館の開催のほか、「鬼高さんしゃ祭」では毎年好評の「中央図書館バックヤードツアー」に加え、新たに「ブックコート体験」を実施し、図書館の仕事を経験することで図書館を理解してもらえるよう努めた。

課題

平成30年度の図書館システム更新、31年度のICT機器導入に向けて、図書館の方向性や運用を再確認していく必要がある。図書館未利用者の来館につながるようなイベントの企画と広報活動は引き続きの課題である。

方向性

ICT機器を導入し、効果的に図書館サービスを行っていくための具体的な方法を検討していく。図書館の利用を促進するため、イベントの開催や広報活動を引き続き積極的に行っていく。

施策の方向 1-(3)「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実	関連施設との連携による図書館サービスの拡充と利用の拡大 (図書館利用登録者数の拡大)	前年度比増 (前年度117,210人)	111,504人	B
②大学図書館との連携と利用の促進	市民の大学図書館利用のための紹介状の発行	実施 100件以上	実施 123件	
	市内大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互PRと利用の促進	実施	実施	
	大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ	実施	実施(6名)	
③ボランティアとの連携強化	図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援	実施(4回)	実施(6回)	
	障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障がい者向け資料の作製と収集	実施(20タイトル)	実施(28タイトル)	

実績と評価

歴史博物館、現代産業科学館、文化振興財団等、様々な機関との連携を行い、関連施設と図書館双方の利用の拡大と図書館サービスの充実を図ることができた。また、大学図書館との連携では、市内大学から講師を招聘した講座の開催や図書館主催講演会で学生ボランティアの協力を得たほか、大学行事の図書館でのPR、紹介状の発行等、資料面だけではなく人的な面においてもネットワークの強化を行い、相互の利用を促進した。

課題

図書館利用登録者については、「市民まつり」や市内大学で行った「出張登録会」等での呼びかけにより、新規登録者があったものの、図書館利用機能付住基カードの期限切れが進んだことで統計上の利用登録者が減少傾向にあり、全体として目標値の達成には至らなかった。今後も継続して関連施設と連携をとり、利用の拡大につながるよう、新たな方策を検討していく必要がある。

方向性

大学や関連施設との連携により、図書館サービスの拡充と、図書館未設置地域である市北部をはじめとした地域住民の利便性の向上を目指す。また、ボランティアとの連携を強化し、より質の高い図書館サービスの提供に努めていく

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1)「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①児童・青少年資料の充実	・子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新	(受入れ冊数) 9,000冊	(受入れ冊数) 8,459冊	A
②行事の実施と情報の発信	・子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信	継続実施及び拡大	継続実施及び拡大	
③レファレンス・読書相談の実施	・調べ物に役立つ資料の充実や探し方についての案内の実施	実施	実施	
	・大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施	実施	実施	
④ヤングアダルトサービスの実施	・中学・高校生のもつ課題解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供	実施	実施	
	・図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行	実施	実施(10回)	

実績と評価

資料の充実については、今年度は行事や展示用の本の買い替えを重点的に行った。

展示では、文学ミュージアムとの連携で五味太郎氏の特集展示を行った。そのほかに、利用者投票型の企画展示や市内人形作家の人形展を実施した。イベントでは、親子で楽しめる「科学あそびの会 -じしゃくのふしぎ-」の開催や、出版社と共催の岡田淳原画展に併せて絵を描くワークショップなども行った。また、情報発信として、ブックリスト「わらべうたであそぼう」を発行し、わらべうたの会も並行して実施し、乳幼児サービスの充実を図った結果、乳幼児の親子での来館が増えた。

レファレンスに関しては、市川名産の梨についてのパスファインダーを作成し、郷土の調べ学習に役立つと、学校司書から好評を得た。また、児童書に関するレファレンス数が多い図書館として小学生向け新聞で紹介された。

ヤングアダルトサービスとしては、「ヤングアダルト通信」の発行や図書館員のおすすめ本「YA 図書館本 A-Z」の貸出し、市内中学・高校生が作成した本のポップを掲示するなど、図書館とつながるきっかけ作りに努めた。

課題

児童書の単価が上昇している中、各年代に合った資料をいかにバランスよく購入していくかが課題である。ヤングアダルト世代が気軽に図書館に来られるような新しい企画を計画し、PRしていくことが必要である。

方向性

様々な角度から魅力のある企画を実施するなど、子どもたちやヤングアダルト世代が本や図書館に興味を持ち、読書につながるような環境整備を進めていく。引き続きブックリストやパスファインダー等を作成し、年代にあった資料を紹介していく。

施策の方向 2-(2)「公共図書館と学校等との連携の強化」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①出張おはなし会・学級招待の実施	・「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実	実施	実施	A
②調べ学習及び読書環境向上のためのサポート	・教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力	参加・協力	参加・協力 (資料依頼件数503件)	
	・学校図書館向け貸出資料の更新	実施	実施	
	・こども館等と連携した児童サービスの拡大	実施	実施	

実績と評価

出張おはなし会については、対象学年を拡大し中学生へのサービスを開始した。また、今まで依頼のなかった幼稚園・小学校からの申込みが増加した。ブックトークを中心としたプログラムを組み、テーマに合ったリストを配布するなど、本に興味を持てるよう工夫をした。同時に、子ども用図書館利用券のPRをしたところ、後日、図書館へ来館する児童も見られた。学級招待については、前年度に続き校外学習として図書館を活用してもらい、また、中学生の職場体験も多数受け入れた。

教育センター主催の学校図書館研修会に図書館職員が講師として参加し、各学校の担当者との交流も行き好評であった。調べ学習につながる児童サービスとして、環境政策課と共催の「エコバッグをつくろう」や、現代産業科学館の企画展(発酵)に出向き、関連する読み聞かせを行うなど、関連機関との連携を積極的に行った。

課題

各年代に対応した出張おはなし会の内容の充実が課題である。調べ学習については、多様化する要求に応えられる資料の収集、更新が必要である。

方向性

中学生にも図書館に親しんでもらうため、引き続き中学校での出張おはなし会を行っていく。また、幼稚園・小学校だけでなく、地域で子ども達に読み聞かせをしている団体・地域コミュニティにも出張サービスを行っていく。調べ学習に対応していくため、資料の更新を進めるとともに、蔵書の十分な活用を図る。

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1)「市川市の歴史・文化の保存と継承」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①地域資料の収集と提供	・地域行政資料の収集と整理	(蔵書冊数) 54,000冊	(蔵書冊数) 56,569冊	A
②地域資料の保存	・著作権保護期間満了の資料の電子化	実施 2点以上	実施 2点	
③地域情報の積極的な発信	・図書館ホームページの地域資料に関するコンテンツの追加及び更新	実施	実施	

実績と評価

地域行政資料は、寄贈を中心に、新刊書から古書まで積極的に収集した結果、蔵書冊数の目標値に達した。資料保存のため、著作権保護期間が満了した「市川市住宅詳細図」(1965)と、「市川市動態図鑑」(1966)を電子化し、館内のパソコンで公開した。

中央図書館では、ディスプレイケースを利用して書庫保存の貴重資料などを紹介している。歴史博物館の企画展にあわせて「利根川東岸弑覧(とねがわとうがんにいらん)」関連の資料を、文学ミュージアムの企画展にあわせて永井荷風原作映画「踊子」「夢の女」関連の資料を、それぞれ展示した。そのほかに、市内在住画家の原画展(絵葉書)を行ったところ、新聞等に掲載され、多数の問合せがあり、来館者にも好評であった。

地域情報の発信としては、レファレンスの多い市川の地名のデータベースを作成し、ホームページで公開した。

課題

地域行政資料を永く保存していくための十分なスペースの確保と資料の劣化対策を計画的に進めることが課題となっている。収集保存している資料について、広く市民が利用できる環境を整備する必要がある。

方向性

地域行政資料の積極的な収集と受入れに努め、引き続き資料の充実を図る。資料の劣化対策として、著作権保護期間満了の資料の電子化を進め、デジタルアーカイブシステムを導入し、地域行政資料を広く活用できるよう検討していく。地域情報データベースを随時更新しコンテンツの充実を図るとともに、ホームページ等を利用した情報発信を行っていく。

施策の方向 3-(2)「行政の情報拠点としての役割」

具体的な施策	実施事業	目標値等	結果	評価
①行政情報の市民への提供	・行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施	内容充実	内容充実 (32回)	A
	・入手しにくい市の刊行物等の販売	実施	実施	
②行政各課への情報発信	・図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各課への発信	実施	実施	

実績と評価

行政各部署や関連団体と連携した展示は、金井宇宙飛行士(稲荷木小学校卒)の宇宙ステーション滞在にあわせた「市川市宇宙交信関連事業」の一環として、特集展示を全館で実施したほか、「東京 2020 オリンピック・パラリンピックプロジェクト in 市川市」に関連して中央図書館で展示を行うなど、市を挙げての企画に参加した。その他の部署からも各事業に合わせた資料展示の依頼が来るなど、連携が定着したほか、現代産業科学館や理化学研究所と新たに連携をとることができた。また、図書館で市の刊行物等の販売や、市民向け冊子類の配布を行っていることも市民に認識されつつある。

庁内各課へ向けた情報発信としては、各部署での政策研究等に活かせるよう、調べ方案内やレファレンス事例を発信した。

課題

図書館が行政の情報拠点として活発に利用されるために、市民生活に役立つ地域行政情報を分かりやすく発信していくことが課題である。行政各部署へ向けて、図書館サービスについての定期的なPRを行い、更に連携を強化していく必要がある。

方向性

関連団体等と連携して、市川への理解と愛着が深まるような魅力的な展示やイベントを企画するほか、身近な行政情報を市民に積極的に提供していく。図書館の活用法を行政各部署にPRし、地域の課題解決やまちづくりに活かせるよう情報発信していく。

3つの柱に対する、図書館の自己評価、今後の課題等について、外部有識者(図書館情報学)2名から意見をいただいた。

1. 情報拠点として市民の学びを支える図書館

- ・評価は適正です。基本的な業務にしっかり取り組んでいます。「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」については、受入冊数の減少が予算減と文庫の購入抑制によることは理解できるので、平均購入単価の数値を示すとより客観的な記述になると思います。また、ICタグの作業と合わせ、書庫資料の見直しを進め、公立図書館の保存機能を明確にしていくことはたいへん重要になると考えます。「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」については、電子的なサービスの充実が評価できます。レファレンス事例なども含め、図書館の活動だけでなく成果を記述できれば、実施事業の明確な位置づけができると思います。また、イベント等については、これまでと同じくたいへん充実しています。評価結果中に、実施の回数や参加者数などの総括的な数値があるとさらに分かりやすくなります。「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」については、図書館利用登録者が減少しているとのことですが、有効登録者はどうなっているのでしょうか。見かけの数値によらない検証が必要だと思います。なお、図書館未設置の北部地域については、例年課題に取り上げられていますが、市民の目に映る具体策をそろそろ講ずる必要があるように思います。
- ・受入冊数の目標値には届いていないが、中央館の保存機能を重視した選定を行うなど、予算減の状況下で相応の対応・工夫がなされた結果であるとむしろ肯定的に受けとめるべき側面もある。IC タグの貼付・登録も順調であることから、今後は、IC タグの特性を活かした取り組みが進展することを期待したい。各種のオンラインサービスやデータベースの導入などは情報源の拡充に向けて重要である。館内に留まらず、各種機関・地域など多方面との連携・協力関係を、図書館から出向くことを含めて、構築している点、とりわけ人的なネットワークにも注力している点は、学習機会を「提供」するだけでなく、利用者とともに「創出」という、今後における図書館のあり方から考えて高く評価できる。

2. 子どもの成長をサポートする図書館

- ・評価は適正です。全国的にも高いレベルにあると思います。「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」については、受入冊数の減少が児童書の単価上昇によるものでしたら、前項と同様に、平均購入単価を示すとよいでしょう。イベント等も、きわめて充実しているので、前項と同様に、評価結果中に実施の回数や参加者数など、総括的な数値があるとよい記述になります。なお、ヤングアダルトサービスは例年課題となっていますが、図書館の活動と成果の関係を記述する必要があるように思います。「公共図書館と学校等との連携の強化」については、全国のモデルとなっているだけに、実施事業の維持だけでも相当の努力を重ねていることが伺えます。サービス対象を中学生に拡大した出張おはなし会など、今後も事業の拡大深化が期待されます。この項の全体において、目標値等と結果の実際が分かりにくいということがあります。数値で表現できるものは数値で示し、それが難しい場合には、「実施」だけとするのではなく、たとえば、「実施拡大」「実施継続」「実施縮小」とするなど、ある程度の状況を示すことができればよいと考えます。
- ・文学ミュージアムとの連携による展示など、新規イベントの開催をはじめ、ブックリストの発行、パスファインダーの作成など、子どもたちが図書館ひいては読書に親しみ、情報活用を学ぶ機会を非常に積極的に作りだしており、図書館として次世代を育む姿勢を強く持っていることは高く評価できる。とりわけ、中学生に対する出張おはなし会に象徴されるとおり、読書率が下がる中・高生へも多彩な働きかけを行なっている点は重要である。乳幼児から中・高生(ヤングアダルト)まで発達・成長段階をトータルにとらえていく取り組みは今後も継続・強化が望まれる。中・高生が作成したポップの掲示などから発展させて、子どもたち同士による読み聞かせ(年上が年下に)など、子どもたちが「参加」するタイプの企画を増やしていくことがさらなる段階に進むカギのひとつになるのではないだろうか。図書館ですべてをマネジメントするのではなく、人的なネットワークを活かして図書館以外の協力を得ていくこともポイントとなろう。

3. 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

- ・評価は適正です。積極的な取り組みが伺えます。「市川市の歴史・文化の保存と継承」については、地域行政資料の収集と整理、著作権保護期間満了の資料の電子化が着実に実施されています。いずれもホームページ等からの電子的な情報発信が重要であり、デジタルアーカイブ化は早期に導入すべきものと思料します。まずは、各種企画展の展示資料について、デジタル展示会を試みては如何かと思います。「行政の情報拠点としての役割」については、市民や行政各部署から、地域行政情報の集積発信基地として、その有用性が認識される必要があります。目標値等と結果が「実施」だけでは評価の内実が見えないので、レファレンスサービスの提供件数、市職員などに対する利用調査、満足度調査などにより、成果に対する検証が可能となるような仕掛けが必要だと考えます。
- ・地域行政資料を積極的に収集した結果として、蔵書冊数の目標を達したことは喜ばしい。収集・保存に留まらず、地図・図鑑の電子化を進めたり、貴重資料を公開したりするなど、提供・活用においても積極的な取り組みが展開されていることも注目すべきである。さらに、地名データベースを作成・公開するなど、地域情報の作成・編集にも取り組んでおり、市立図書館の役割・責任を果たそうとする意欲が感じ取れる。また、行政の情報拠点として、とくに情報発信の強化を図っている点も今後に期待が持てる。レファレンス事例など、図書館ならではの情報が広まり、各部署・関連団体のみでなく、利用者にも広く図書館の有効性・必要性が認識されることを期待したい。

総 評

- ・市川市の図書館は、高いサービスレベルにあるだけに、従来の事業を継続していただけても、相当の人的・物的資源を要します。図書館サービスに対する市民の高い要求に応えながら、情報環境や市民生活の変化に即した活動を展開していくことは容易ではなく、職員の皆様のご尽力には敬意を表したいと思います。
- ・今後の自己評価にあたっては、事実と根拠に基づく検証可能なエビデンスが求められます。この点については、個々の事業の評価について、図書館からもう少し説明が必要となりますし、数値で表現できる事項は数値で表現していかなければなりません。評価の指標についても、これまでの活動実績中心から、成果に重点を移すことが非常に大切となります。
- ・評価のための評価とならないように、また、市民の目線に耐えうる評価となるように、今後とも評価項目と評価方法の改善に取り組んでいただきたいと思います。
- ・自己評価は妥当であると考えられる。図書館内における「閉じた」サービス・活動を推進するに留まらず、図書館外の組織・団体・個人などと積極的に連携・協力しながら、旧来の取り組みを工夫したり、新しい取り組みを開始したりするなど、「開かれた」サービス・活動を、(場所としての)図書館以外の場でも積極的に展開しており、地域における情報拠点ひいては生活拠点としての図書館の姿を体現している点は、全国の手本となるとも言ってもよからう。今後は、利用者(潜在的利用者を含む)のニーズ把握・分析にいっそう務めつつ、限られた人員・予算をより有効に活かしたサービス・活動を期待したい。ポイントとなるのは、すでに注力されている図書館外とのネットワークを活かしながら、さらなる利用者―そこには一人でふらりと図書館を訪れる市民も含まれよう―を企画・運営にまで巻き込んでいくような「利用者協働」の方向であろう。市川市の取り組みが、公共図書館は本来、利用者とともにつくっていくものであるという原点を常に思い起こさせてくれるものとなっていくことを願う次第である。

e-モニターによるリーディングプラン

市川市立図書館運営基本計画の策定時に、市民の声を広く集め本市図書館の運営に反映していくため、e-モニターによるアンケートを実施し、市民モニターが重要と考える施策について尋ねました。

7つの施策の方向の中で、「特に重要」という回答が多かった具体的施策を、図書館運営を俯瞰的に把握することができる主要施策として位置づけ、「e-モニターによるリーディングプラン」としました。

これら施策について、平成29年度の実施結果を報告します。

市民モニターが重要として選んだ具体的施策

1 つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持

○具体的施策 利用に応じた様々な形態の資料の充実

施策の方向 1-(2) 図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実

○具体的施策 利用しやすい情報環境の整備

施策の方向 1-(3) 関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

○具体的施策 関連施設との連携による、各地域における図書館サービスの充実

2 つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 発達に応じた豊かな読書のための環境整備

○具体的施策 行事の実施と情報の発信

施策の方向 2-(2) 公共図書館と学校等との連携の強化

○具体的施策 調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

3 つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1) 市川市の歴史・文化の保存と継承

○具体的施策 地域資料の収集と提供

施策の方向 3-(2) 行政の情報拠点としての役割

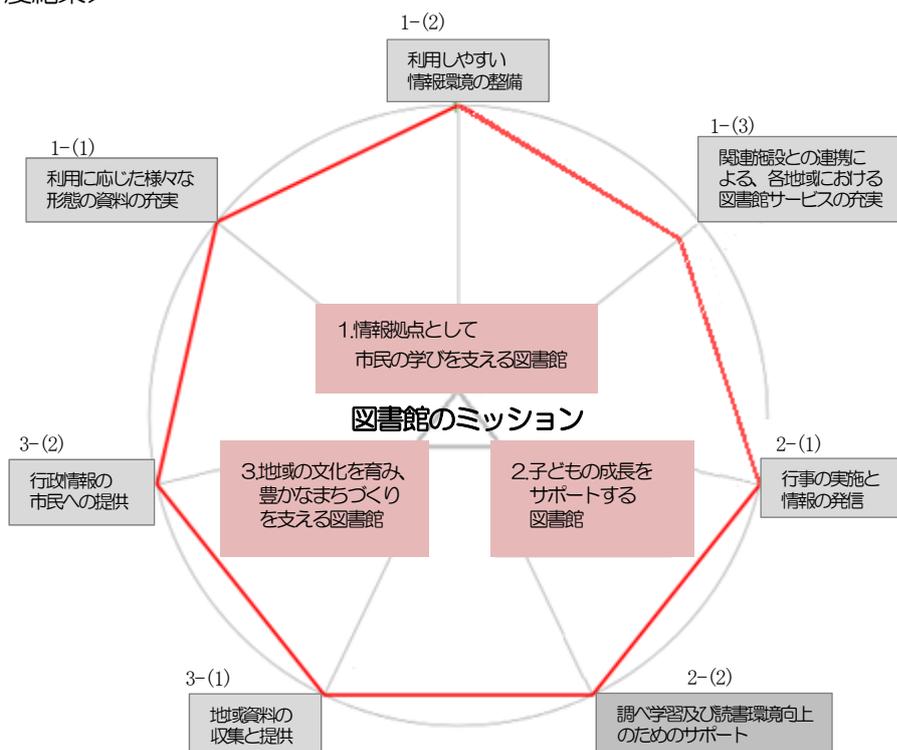
○具体的施策 行政情報の市民への提供

<リーディングプラン 平成29年度結果>

市民モニターが重要として選んだ7つ具体的施策のうち、6つについては目標を達成することができました(取り組み内容については、p.1~4参照)。

施策の方向 1-(3) の「関連施設との連携による、各地域における図書館サービスの充実」については、利用拡大につながるよう、関連施設や大学等との連携し、図書館サービスのPRや出張登録会などを実施しましたが、目標値の利用者登録数の「前年度比増」には届きませんでした。今後も関連施設との連携を強化し、市内各地域で図書館サービスが利用されるよう努めていきます。

今回、目標が達成できた6つの具体的施策についても、拡大実施に努め、サービスの充実を図ってまいります。



「市川市立図書館運営基本計画(平成 27～29 年度実施計画)」評価報告書

1. 趣旨

この報告書は、平成 27 年度に策定した「市川市立図書館運営基本計画 実施計画(平成 27 年～29 年度)」の実施結果について評価と分析を行い、今後の図書館運営に活かしサービスの向上に資するものである。

2. 実施結果・評価概要

図書館運営の目標として立てた 3 つの柱の下に掲げた全ての事業に取り組むことができた。

一つ目の柱「情報拠点として市民の学びを支える図書館」については、次期計画期間で予定している IC タグによる全館での蔵書管理に向けて着実に準備を進め、また、利用者の利便性の向上のため関連施設と連携を強化し市北部地域への図書館サービスの拡大を図った。二つ目の柱「子どもの成長をサポートする図書館」では、子どもやヤングアダルト世代向けの多様なイベントを行い、また、教育センター等と連携して継続的に調べ学習を支援するなど、子どもの読書環境の充実に努めた。三つ目の柱「地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館」では、地域の魅力や情報を伝えるために、関連機関と連携した展示やホームページからの情報発信を行った。全体として、目標はほぼ達成することができ、3 カ年の図書館運営は一定の成果を上げたといえる。

今後は、次の 3 カ年で予定している ICT 機器を使った蔵書管理やデジタルアーカイブシステムを活用した情報発信等、効率的かつ効果的な図書館運営を進め、市民が全市域で様々な図書館サービスを利用できるよう努めていく。

[3 カ年の実施結果と評価]

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向

様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持

図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実

関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供

具体的な施策

- ・蔵書の維持と更新
- ・利用に応じた様々な形態の資料の充実
- ・効果的な蔵書管理
- ・資料保存のための書庫の確保
- ・レファレンスサービスの充実
- ・利用しやすい情報環境の整備
- ・生涯学習機会の拡充
- ・関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実
- ・大学図書館との連携と利用の促進
- ・ボランティアとの連携強化

平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

積極的な資料の更新／国立国会図書館デジタル化送信サービスの実施／行徳図書館の IC タグによる蔵書管理の開始・自動貸出機の導入／中央図書館蔵書への IC タグの貼付・全館 IC 化準備／地域資料の電子化(中央)／音楽配信サービスの導入(市川駅南口)／保健センター赤ちゃん講座・千葉商科大学・地域イベントでの登録促進／特集展示と併せた各種講座の実施／大野公民館図書室の蔵書管理を図書館と一元化／大学とのネットワークの強化(イベント等の相互PR・インターンシップ受入れ・紹介状発行)／図書館関連ボランティアとの連携(イベント連携・障がい者向け資料の作成)

評価と今後の方向性

評価	<input type="checkbox"/> 十分達成できた	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>全館での IC タグによる蔵書管理に向けた準備を進め、行徳図書館では先行して自動貸出機等を導入し IC タグによる管理を開始した。関連機関やボランティアと連携した新規イベントや特集展示を積極的に展開し、サービスの拡大や PR に努めた。大野公民館図書室の蔵書管理を図書館と一元化したことで資料検索や予約等が可能となり、北部地域住民の利便性の向上に繋がった。この数年、利用登録者数が伸び悩んでいるが、資料や情報の充実と利用しやすい環境整備を進め、図書館全体で市民の学びが支えられるよう努めていく。</p>				

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向

発達に応じた豊かな読書のための
環境整備

公共図書館と学校等との連携の強化

具体的な施策

- ・児童・青少年資料の充実
- ・行事の実施と情報の発信
- ・レファレンス・読書相談の実施
- ・ヤングアダルトサービスの実施
- ・出張おはなし会・学級招待の実施
- ・調べ学習及び読書環境向上のためのサポート

平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

資料の更新／えほんの会等のプログラム見直し／関連機関と連携したイベントの実施／大人に対する子どもの本についての相談会の実施／商業施設及び地域イベントへの参加／小・中学生向けブックリストの改訂と乳児向けブックリトの発行／子ども向けパスファインダーの発行／中高校生向け「Young Adult 通信」の発行／中高生参加型イベントの実施（特集ポスター・キャラクター募集・本のPOP作成・手作り絵本等）／出張おはなし会・学級招待の拡大充実／教育センターとの連携による調べ学習に対応した資料提供

評価と今後の方向性

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>学校、幼稚園等へ出張して行うおはなし会の拡大や地域イベントへの参加、関連機関と連携した多様なイベントを積極的に実施した。また、中学・高校生の意見を参考にした参加型イベントの開催や年代に応じたブックリストの配布等、子どもたちと図書館や本を結びつけるための様々なアプローチを行った。図書館司書と学校の担当者との研修会に参加し、学校での調べ学習のための資料提供を行う「学校図書館支援センター事業」も活発に利用され成果をあげている。今後も、発達に応じたきめ細やかなサービスを提供するため、随時イベント等の見直しを行い、子どもの読書環境の整備に力を入れていく。</p>				

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向

市川市の歴史・文化の保存と継承

行政の情報拠点としての役割

具体的な施策

- ・地域行政資料の収集と整理
- ・地域資料の保存
- ・地域情報の積極的な発信
- ・行政情報の市民への提供
- ・行政各課への情報発信

平成 27 年度～平成 29 年度の主な取り組み内容

地域行政資料の積極的収集／特別コレクションの新刊から古書までの積極的収集／地域情報データベースのコンテンツの追加更新（市川ゆかりの作家・市川の地名・音楽等）／著作権保護期間満了の地域資料の電子化（貴重な行政資料・地図・楽譜）と公開／関連部署、機関と連携した行事や展示の実施／市の刊行物の販売と市民向け各種冊子類の配布

評価と今後の方向性

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 十分達成できた	<input type="checkbox"/> 概ね達成できた	<input type="checkbox"/> やや不十分だった	<input type="checkbox"/> 不十分だった
<p>地域行政資料の収集を積極的に行い目標の蔵書冊数 5,400 冊を達成した。市川ゆかりの人物や音楽、地名に関連する情報を整理しホームページで発信し、関連部署と連携した地域の文化や歴史に関わる展示を実施した。また、市民向け地域行政情報冊子の配布を行うなど、市川の情報が市民に伝わるよう努めた。そのほかに、貴重な地域資料の電子化を継続的に進めた。引き続き、行政各部署等と連携し、幅広く資料の収集を行い、平成 30 年度に導入するデジタルアーカイブシステムを活用し、市川市の歴史と文化の保存と継承に努めていく。</p>				

市川市立図書館運営基本計画 第二次実施計画 (平成 30 年度～平成 32 年度)

市川市立図書館運営基本計画(平成 27 年策定)で掲げた 3 つの柱の下、7 つの「施策の方向」と 21 の「具体的な施策」に基づき、平成 30 年度～平成 32 年度の実施事業を定めます。また、事業の計画、評価指標設定を通じた計画的展開を点検・評価し運営や事業の改善へとつなげる PDCA (PLAN (計画) - DO (実施) - CHECK (評価) - ACT (調整・改善)) のマネジメント・サイクルに沿った運営を行うため、各事業の実施状況、指標の達成度及び満足度等から、総合的に毎年の評価を行い公表していきます。

一つめの柱 情報拠点として市民の学びを支える図書館

施策の方向 1-(1) 「様々な市民の学習要求に応えられる、蔵書の収集と維持」

◇具体的な施策① 「蔵書の維持と更新」

実施事業 1 新規資料の受入れと劣化資料の買い替えによる蔵書の適正な維持

数値目標等	継続的な資料の受入(購入と寄贈の合計冊数)		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	50,000 冊	50,000 冊	50,000 冊

◇具体的な施策② 「利用に応じた様々な形態の資料の充実」

実施事業 1 利用しやすい電子資料等の収集についての調査及び導入の検討
実施事業 2 障がいの特性に応じた資料の収集と目録の整備

◇具体的な施策③ 「効果的な蔵書管理」

実施事業 1 図書館資料への IC タグ貼付及び IC 機器導入と、全館的な IC タグによる蔵書管理の実施

数値目標等	IC 機器による蔵書管理への移行		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	図書館資料への IC タグ貼付	IC 機器の導入	IC タグによる蔵書管理の実施

◇具体的な施策④ 「資料保存のための書庫の確保」

実施事業 1 中央図書館の書庫への可動式集密書庫の設置と活用

施策の方向 1-(2) 「図書館機能を活用した、生涯学習機会の提供と充実」

◇具体的な施策① 「レファレンスサービスの充実」

実施事業 1 レファレンスツール及び事例集の提供 **生涯学習推進計画**

数値目標等	レファレンス事例集及びレファレンスツール(バスファインダー等)の発行		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	継続発行、発展	継続発行、発展	継続発行、発展

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

実施事業 2 市内外の図書館等との連携の強化

実施事業 3 市民の学習要求や調査研究に応えるデータベース等の提供及び利活用の促進

◇具体的な施策② 「利用しやすい情報環境の整備」

実施事業 1 図書館ホームページ、デジタルコンテンツ等の情報環境の整備

◇具体的な施策③ 「生涯学習機会の拡充」

実施事業 1 中央図書館及び地域図書館の特性を活かしたサービスの拡充と PR による利用の促進

数値目標等	図書館利用登録者数の拡大		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	前年度比増	前年度比増	前年度比増

実施事業 2 北部地域の図書館サービスの充実

実施事業 3 イベントの開催や地域イベントへの参加・協力

施策の方向 1-(3) 「関連機関とのネットワークの充実と、質の高いサービスの提供」

◇具体的な施策① 「関連機関との連携による、各地域における図書館サービスの充実」

実施事業 1 関連施設との連携による図書館サービスの充実

◇具体的な施策② 「大学図書館との連携と利用の促進」

実施事業 1 市民の大学図書館利用のための紹介状の発行

実施事業 2 市内大学及び大学図書館と市立図書館の各種行事等の相互 PR と利用の促進

実施事業 3 大学生の図書館実習、インターンシップ等の受入れ

◇具体的な施策③ 「ボランティアとの連携強化」

実施事業 1 図書館友の会と連携した行事等の実施とボランティア活動の支援

実施事業 2 障がい者サービス関連のボランティアと連携した、障害者向け資料の作製と収集

二つめの柱 子どもの成長をサポートする図書館

施策の方向 2-(1) 「発達に応じた豊かな読書のための環境整備」

◇具体的な施策① 「児童・青少年資料の充実」

実施事業 1 子どもの発達段階に応じて豊かな読書体験ができるような資料の収集と更新

数値目標等	継続的な資料の受入(購入と寄贈の合計冊数)		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	9,000 冊	9,000 冊	9,000 冊

◇具体的な施策② 「行事の実施と情報の発信」

実施事業 1 子どもの読書活動の推進のための行事の実施と情報の発信 **生涯学習推進計画**

数値目標等	ブックリスト、読み聞かせの会、テーマ展示等子どもの読書活動推進のための様々な取り組み		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	継続実施及び拡大	継続実施及び充実	継続実施及び充実

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

◇具体的な施策③ 「レファレンス・読書相談の実施」

実施事業 1 調べ物に役立つ資料の充実や探し方についてのレファレンスツールの整備

実施事業 2 大人に対しての子どもの本についての読書相談等の実施

◇具体的な施策④ 「ヤングアダルトサービスの実施」

実施事業 1 中学・高校生のもつ課題の解決(学習、生活、進路等)を支援するための資料の提供

実施事業 2 図書館と中学・高校生を結びつける行事の実施や刊行物の発行

実施事業 3 中学・高校生へのヤングアダルトサービスの PR

施策の方向 2-(2) 「公共図書館と学校等との連携の強化」

◇具体的な施策① 「出張おはなし会・学級招待の実施」

実施事業 1 「出張おはなし会」「学級招待」の対象学年の拡大とプログラムの充実

◇具体的な施策② 「調べ学習及び読書環境向上のためのサポート」

実施事業 1 教育センターが所管する「学校図書館支援センター事業」への参加と協力

実施事業 2 学校図書館向け貸出資料の更新

実施事業 3 外部機関等と連携した児童・青少年サービスの拡大

三つめの柱 地域の文化を育み、豊かなまちづくりを支える図書館

施策の方向 3-(1) 「市川市の歴史・文化の保存と継承」

◇具体的な施策① 「地域資料の収集と提供」

実施事業 1 地域行政資料の収集と整理 **生涯学習推進計画**

数値目標等	地域行政資料の蔵書冊数		
	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	55,000 冊	前年度比増	前年度比増

*この項目の目標値は上位計画である生涯学習振興計画に同じ

◇具体的な施策② 「地域資料の保存」

実施事業 1 著作権保護期間満了の資料の電子化

◇具体的な施策③ 「地域情報の積極的な発信」

実施事業 1 図書館ホームページの地域情報の追加及び更新

施策の方向 3-(2) 「行政の情報拠点としての役割」

◇具体的な施策① 「行政情報の市民への提供」

実施事業 1 行政各部署や関連団体と連携した行事や展示等の実施

実施事業 2 市の刊行物等の販売及び行政情報リーフレット等の配布

◇具体的な施策② 「行政各課への情報発信」

実施事業 1 図書館で利用できるデータベース等、レファレンスツール情報の市の行政各部署への発信

資料 (4)

平成 29 年度市川市立図書館 来館者アンケート報告書

平成 30 年 3 月 27 日
市川市立図書館

1. 実施について

(1) 調査の目的

市川市中央図書館と地域図書館(4館)および大野公民館図書室における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に活かすため、来館者アンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

実施日 : 平成 30 年 1 月 27 日(土)、28 日(日)、30 日(火) 行徳図書館
平成 30 年 2 月 2 日(金)~4 日(日)

中央・信篤・南行徳図書館・平田図書室、大野公民館図書室

実施時間 : 各館開館時間中

実施場所 : 中央図書館 (こどもとしょかんを含む)

地域図書館 (行徳図書館・南行徳図書館・信篤図書館・平田図書室)

大野公民館図書室

対象者 : 中学生以上

回答者数 : 中央図書館 有効回答数 300 以上を目標とする

行徳図書館 有効回答数 200 以上を目標とする

信篤図書館、南行徳図書館、平田図書室、大野公民館図書室

有効回答数 各館 50 以上を目標とする

(3) 調査実施状況

実施場所	実施期間	配布数	回収数	回収率 (%)
中央図書館	2/2 (金) ~ 2/4 (日)	709	667	94.1
信篤図書館		120	118	98.3
南行徳図書館		83	83	100
平田図書室		117	114	97.4
大野公民館図書室		88	87	98.9
行徳図書館	1/27 (土)、1/28 (日)、1/30 (火)	400	312	78.0
合計		1,517	1,381	91.0

(4) 集計・分析にあたって

無回答の場合はカウントしていないため、設問ごとに回答者数は異なる。

アンケート結果概観

図書館を利用しての満足度を設問 3 と 4 で尋ねた。「総合的な満足度」は中央図書館 97.1%、行徳図書館 93.1%、信篤図書館 94.9%、南行徳図書館 91.4%、平田図書室 96.5%、大野公民館図書室 92.9% となり、全体として非常に高い結果となった。

項目別にみて満足度が高かったのは、「職員の対応」「本の案内・調べもの相談」で、この項目については、すべての館で 90% を超えた。また、「イベント」や「本の特集展示」についても、参加・利用した人の満足度は高く、各館 90% 前後となった。今後もイベントや展示の内容を工夫し、PR に努めていきたい。行徳図書館では、昨年度導入した自動貸出機の利用についての満足度が 97.3% で昨年度を 3.5 ポイント上回った。

一方これらに比べると、「図書の実売(全般)」についての満足度が低くなっているため、引き続き多様な市民のニーズに対応できるよう計画的な資料の更新を図り、充実させたい。

中央図書館 アンケート結果

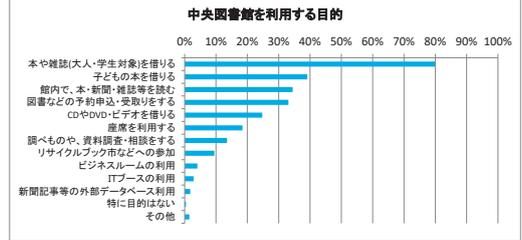
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢については、40 代が 23.5 パーセントと最も多く、続いて 30 代、50 代、60 代がほぼ同じような割合となった。居住地別では市内在住者が 92.9%、隣接市在住者が 5.0% という結果になった。数は少ないが、市川市・隣接市以外の地域からの来館者もあることがわかる。職業別では、会社員・公務員が 35.7%、次いで主婦が 20.9% であった。



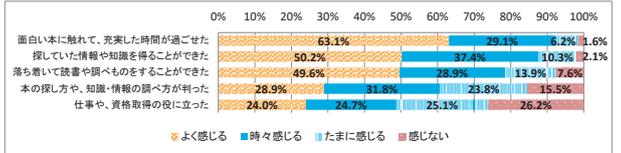
問 1. 中央図書館の利用目的について

問 1 では中央図書館の利用の目的について尋ねた。(回答者数 667 人。複数回答可) 最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で 79.9%、続いて「こどもの本を借りる」が 39.1% という結果となった。「図書などの予約申込み・受取り」の選択は昨年より増えたが、地域図書館に比べると全体に占める割合は低い。



問 2. 図書館を利用した成果

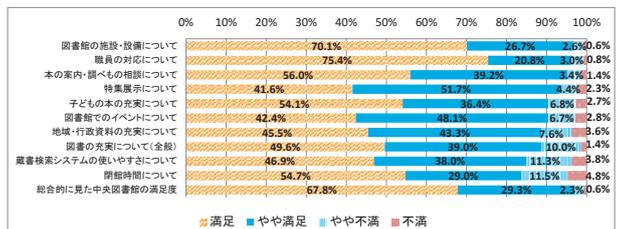
「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じている人が最も多く、続いて「探していた情報や知識を得ることができた」「落ち着いて読書や調べものをするのができた」の順となり、この 3 項目については、9 割以上の人が図書館を利用した成果を感じたと回答した。また、「本の探し方や知識・情報の調べ方が判った」と感じたと回答した人が 84.5% であった。今後も、図書館を活用して読書や調べものに役立ててもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	405	187	291	40	623
探していた情報や知識を得ることができた	318	592	237	65	633
落ち着いて読書や調べものをするのができた	300	496	175	84	605
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	168	289	185	138	581
仕事や、資格取得の役に立った	132	240	136	138	550

問 3・4. 中央図書館の満足度

問 3 と問 4 では、中央図書館のサービスについての満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「図書館の施設・設備」「職員の対応」「本の案内や調べもの相談」についての三項目はそれぞれ 95% 以上となった。また、図書館で実施しているイベントについての満足度は 90.5% であった。イベント等の PR に努めるとともに内容の充実を図りたい。「図書の充実について(全般)」は 88.6% となり、昨年より若干満足度は上っている。自由記入意見でも、「新しい本を増やしてほしい」という意見が多い反面、「専門書が揃っている」という意見もあり、今後も計画的に各分野の資料の更新を進めるとともに、中央図書館としての蔵書の構築に努めたい。総合的な満足度については、97.1% であった。引き続きサービスの充実を努めたい。



問 5. 自由記入

調査票 667 記入者 206 未記入 461 (記入率 30.9%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

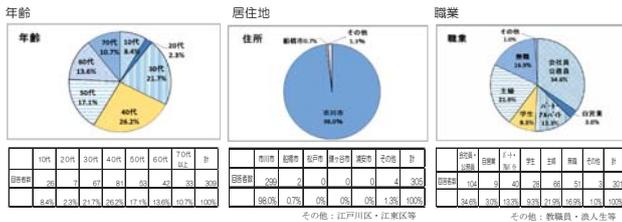
- (1) 資料に関する記入 (2) A V 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) IT に関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	5 3	新しい本を増やしてほしいという要望が多い。全集が開架に多くあるのがよい、子ども向けの本が充実しているなどの意見もある。
2 A V 資料に関する記入	1 4	CD と DVD の充実や新しいものを望む声が多く、VHS テープはもう使う人がいないのでは、という意見もある。
3 施設に関する記入	2 4	照明を明るくしてほしいという声や空調の改善を求めている声が多い。
4 座席に関する記入	4	座席の使い方がわからないという意見や自動の座席管理を望む意見あり。
5 IT に関する記入	1 6	WEB システムの速度の遅さ・使いづらさに関する意見や小学生以下の子どもで WEB で予約等ができるようにしてほしいなど。
6 マナーに関する記入	1 0	資料を汚したり破損したりすることへの意見や新聞の利用の仕方への意見が多い。
7 職員に関する記入	5	職員が親切でありたいという意見が多いが、愛想のない職員が少なくないという意見もあり。
8 運営に関する記入	6 1	本の貸出が 20 冊までというは少なすぎる。おすすめの本などが知りたい。開館時間の延長、開館日を伸ばしてほしい意見も多い。
9 感想	4 2	いつも心地よく利用している、市川市民として満足している、子育てに役立っている、いつもありがとうなど感謝の言葉多数。
10 その他の記入	2	アンケートBOX の設置位置についての意見など。

行徳図書館 アンケート結果

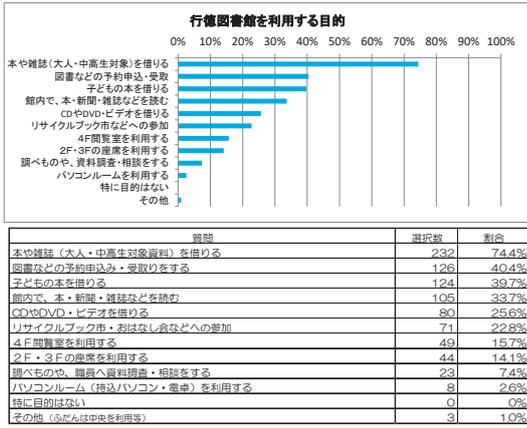
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢別では、40代が26.2%と昨年と同様に最も多く、続いて30代、50代の順となっている。アンケートについては、期間中に行ったりサイタルブック市への参加者にも回答をいただいているため、利用者層の結果にも反映されているものと考えられる。居住地別では回答者の98%が市内在住者であり、職業別では会社員・公務員が最も多く34.6%であった。



問1 行徳図書館の利用目的について

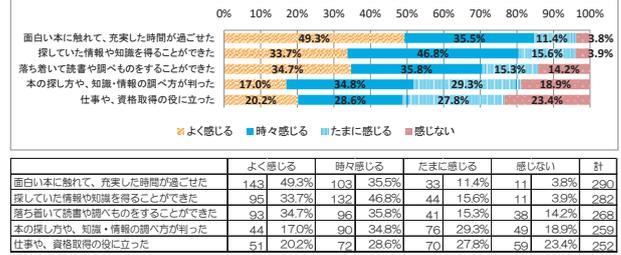
問1では行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数312人。複数回答可)
最も多かった回答は「本や雑誌を借りる」で74.4%。続いて「図書などの予約申込み・受取をする」は40.4%、「子どもの本を借りる」は39.7%となった。一方、「調べものや資料調査・相談をする」は7.4%と比較的低い結果のため、調べものに関する資料の更なる充実や職員のレファレンス技能の向上について、引き続き強化を図りたい。



5

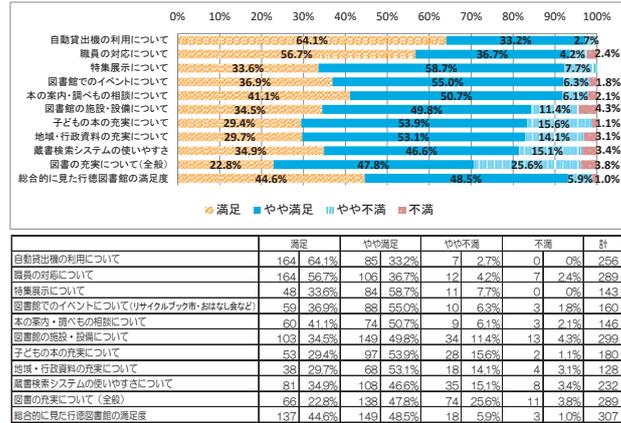
問2 図書館を利用した成果

「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」「探していた情報や知識を得ることができた」と感じている人が約96%と非常に多く、次いで「落ち着いて読書や調べものをする事ができた」と感じている人が85.8%であった。
今後も多くの方に図書館を活用していただけるよう、更にサービスの向上に努めたい。



問3・4 行徳図書館の満足度

問3と問4では、行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、今年度7月より導入した「自動貸出機の利用について」が最も高く97.3%となった。また、「職員への対応」についても満足度は93.4%で高い数値を示した。「特集展示について」や「図書館でのイベントについて」も9割以上の高い満足度となっている。これらに比べると、「図書の充実(全般)」についての満足度は低く、70.6%となっている。資料については計画的な収集を図り、更新に努めていく。
総合的な満足度は93.1%となり、昨年度の85.4%より7.7ポイント上がった。今後もサービスの向上に努めたい。



6

問5 自由記入

調査票312 記入者109 未記入203 (記入率34.9%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。
(1) 資料に関する記入 (2) AV資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
(4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
(7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	27	一般書、児童書ともに資料を増やしてほしいとの要望が多い。季節や月に合わせて展示してある絵本はとて参考になるなど。
2 AV資料に関する記入	8	CDやDVD資料の充実についての要望が多い。クリスマスのイベントに合ったCDを紹介してもらって楽しかった。CDの音飛びが多いなど。
3 施設に関する記入	16	和式トイレやパソコンルームの空調について改善を求めている意見のほか、水飲み機や飲食スペースの希望があった。
4 座席に関する記入	12	フロア内や閲覧室の座席数を増やしてほしいとの要望が多い。
5 ITに関する記入	12	検索システムについて調べやすくなるよう改善を望む声が多い。
6 マナーに関する記入	2	3階でうるさいと感じることがある。数日分の新聞を独占する人を見かけるなど。
7 職員に関する記入	9	親切で助かっているという声が多い。職員によって対応に差がある。
8 運営に関する記入	24	リサイクルブック市を楽しみにしている。イベントをもっと開催してほしい。閉館時間の延長など。
9 感想	14	図書館がなければこんなにたくさん本と出会える機会がなかった。本当にありがたい。これからも地域に根ざした図書館として継続して欲しいなど感謝のことば多数。
10 その他の記入	2	特典に支所をつくってほしい。特になし。

7

信篤図書館 アンケート結果

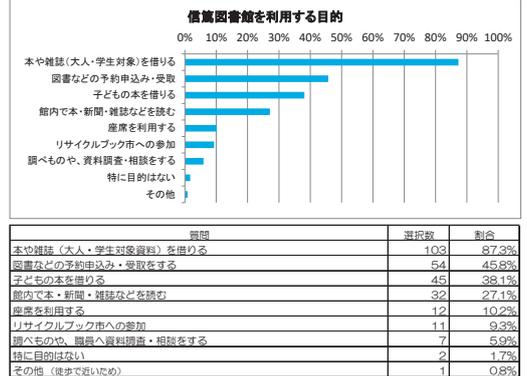
年齢・居住地・職業について

今回のアンケートでは、40代の利用が26.3%と最も多く、30代と50代、60代、70代の割合はほぼ均等となった。居住地別では、市内在住者が9割以上を占め、船橋市在住者は8.5%だった。他館に比べ市外利用者の割合が高い。職業別では、主婦と会社員・公務員がほぼ同率で合わせて5割以上を占め、次いでパート・アルバイト、無職という結果になった。



問1 信篤図書館の利用目的について

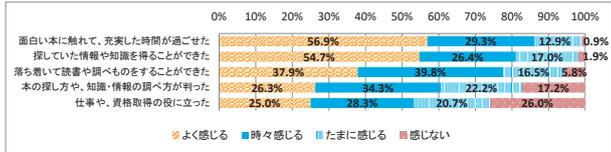
問1では信篤図書館の利用目的について尋ねた(回答者数118人。複数回答可)。
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で87.3%となった。続いて「図書などの予約申込み・受取りをする」が45.8%、「子どもの本を借りる」が38.1%という順になった。昨年と同様、「館内で、本・新聞・雑誌を読む」「座席を利用する」を選択した人は比較的少なく、子どもの本も含め、資料を借りることを目的とする人が多い傾向が見られた。



8

問 2. 図書館を利用した成果

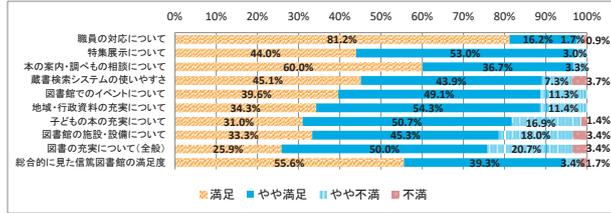
昨年同様、ほとんどの人が「面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた」と感じたに回答している。また、「探していた情報や知識を得ることができた」と感じる人も 98.1%に及び、この二項目については、ほとんどの人が図書館を利用した成果を感じていると言える。今後も、地域の方に役立つ図書館と感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	66	29	15	1	116
探していた情報や知識を得ることができた	58	28	17	2	106
落ち着いて読書や調べものをすることができた	39	41	17	6	103
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	26	34	22	17	99
仕事や、資格取得の役に立った	23	26	19	24	92

問 3・4 信濃図書館の満足度

問 3 と問 4 では信濃図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が 97.4%と非常に高い数値となった。続いて「特集展示」が 97%、「本の案内・調べもの相談」が 96.7%となった。一方、「図書館の施設・設備」については、施設の高さから満足度が他の項目に比べて低くなっている。また、「図書館の充実(全般)」の満足度も昨年のアンケートよりは上がったものの 75.9%に留まっているため、引き続き資料の更新に努めたい。
総合的な満足度は 94.9%となり、高い数値であった。今後も更に満足度が上がるよう、サービスの向上に努めたい。



項目	満足	やや満足	やや不満足	不満足	計
職員の対応について	95	19	2	1	117
本の特集展示について	29	35	2	0	66
本の案内・調べもの相談について	36	22	2	0	60
蔵書検索システムの使いやすさについて	37	36	6	3	82
図書館でのイベントについて	24	26	6	0	56
地域・行政資料の充実について	12	19	4	0	35
子どもの本の充実について	22	36	12	1	71
図書館の施設・設備について	39	53	21	4	117
図書館の充実について(全般)	30	50	24	4	116
総合的に見た信濃図書館の満足度	65	46	4	2	117

問 5. 自由記入

調査票 118 記入者 23 未記入 95 (記入率 19.5%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

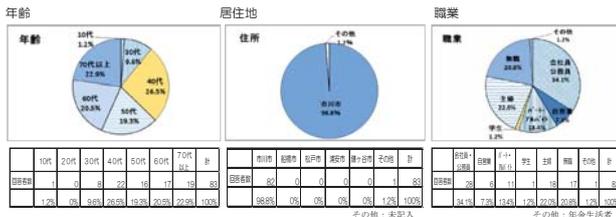
- (1) 資料に関する記入 (2) AV 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) IT に関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	4	4 文庫本が充実していて良い。新刊書が少ない。子どもの本をもっと増やしてほしいなど。
2 AV 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	9	9 施設の老朽化を指摘する声やトイレの整備についての要望が多い。
4 座席に関する記入	1	1 ゆったり本が読める座が欲しい。
5 IT に関する記入	3	3 HP の改善や子どものカードでもインターネットで内容を見られればいいという要望など。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	4	4 対応がよく満足している、親切丁寧。一緒に本を探してもらったお礼など。
8 運営に関する記入	1	1 祝日閉館の要望。
9 感想	7	7 身近な図書館がとても気に入っている。満足している。これからも身近な使いやすい図書館でいてほしいなど。
10 その他の記入	1	1 特になじの記入。

南行徳図書館 アンケート結果

年齢・居住地・職業について

40 代の利用が 26.5% と最も多く、続いて 70 代以上が 22.9%、60 代が 20.5% とシニア層が全体の 40% 以上を占めている。居住地別ではほとんどが市内在住者である。職業別では、会社員・公務員が 34.1% と最も多く、次いで主婦が 22.0%、無職が 20.8% という結果になった。



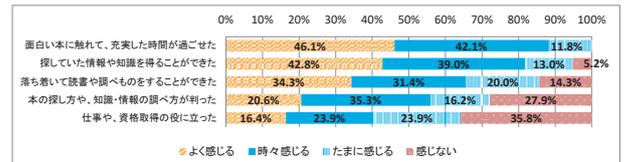
問 1. 南行徳図書館の利用目的について

問 1 では南行徳図書館の利用目的について尋ねた。(回答者数 83 人。複数回答可)
最も多かったのは、「本や雑誌を借りる」で 83.1%となり、次の「図書などの予約申込み・受取り」が 49.4%と約半数であった。他館に比べ座席数が少ない図書館だが、「館内で新聞・雑誌等を読む」を利用目的としている人も 36.1%あった。



問 2. 図書館を利用した成果

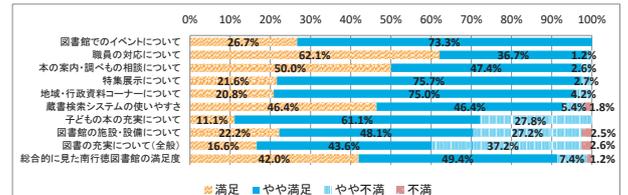
回答したすべての人が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたに答えている。また、94.8%の人が「探していた情報や知識を得ることができた」と回答している。今後も図書館を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



項目	よく感じる	時々感じる	たまに感じる	感じない	計
面白い本に触れて、充実した時間が過ごせた	35	46	11	0	76
探していた情報や知識を得ることができた	33	42	10	4	77
落ち着いて読書や調べものをすることができた	24	34	14	10	70
本の探し方や、知識・情報の調べ方が判った	14	26	11	16	67
仕事や、資格取得の役に立った	11	16	16	24	67

問 3・4 南行徳図書館の満足度

問 3 と問 4 では、南行徳図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「図書館でのイベント」が最も高く 100%となった。「職員の対応」については満足度は 98.8%で、昨年より 2.9 ポイント上がった。これらに比べ、「図書館の充実(全般)」については満足度が 60.2%と低くなっている。蔵書については、資料の更新を進めるとともに、取り寄せなどのサービスによる幅広い資料の案内に努めていく。
総合的な満足度は 91.4%となり、一定の満足度は得られている。職員の丁寧な対応によりなお一層サービスの向上に努めたい。



項目	満足	やや満足	やや不満足	不満足	計
図書館でのイベントについて(リサイクルブック市・えほんの会など)	8	26	0	0	34
職員の対応について	49	29	1	0	79
本の案内・調べもの相談について	19	18	1	0	38
本の特集展示について	8	28	1	0	37
地域・行政資料コーナーについて	5	18	1	0	24
蔵書検索システムの使いやすさについて	26	26	3	1	56
子どもの本の充実について	4	21	11	0	36
図書館の施設・設備について	18	39	22	2	81
図書館の充実について(全般)	13	34	43	2	78
総合的に見た南行徳図書館の満足度	34	40	6	1	81

問 5. 自由記入

調査票 83 記入者 22 未記入 61 (記入率 26.5%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

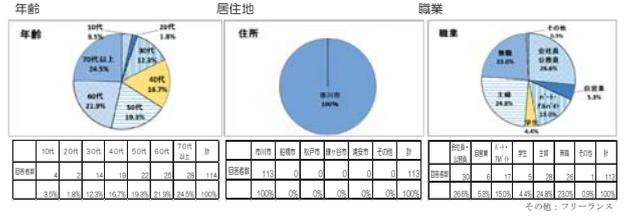
- (1) 資料に関する記入 (2) AV 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) IT に関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	3	新しい本を増やしてほしいという要望。
2 AV 資料に関する記入	1	DVD等の貸出がすぐに出来るようにしてほしい。
3 施設に関する記入	4	施設の改修、備品や館内のリニューアルの要望など。
4 座席に関する記入	3	座席の増設の要望。
5 IT に関する記入	1	検索システムが重い。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	1	親切に感じよい。
8 運営に関する記入	3	借りた本の伝票があると良い。リクエストした本を却下しないでほしい。開館時間の延長。
9 感想	2	中央図書館や行徳図書館では味わえない暖かな雰囲気が魅力。明るくていい。
10 その他の記入	5	蔵書は少ないが、取り寄せや予約ができるので満足。福楽に図書館がほしいなど。

平田図書館 アンケート結果

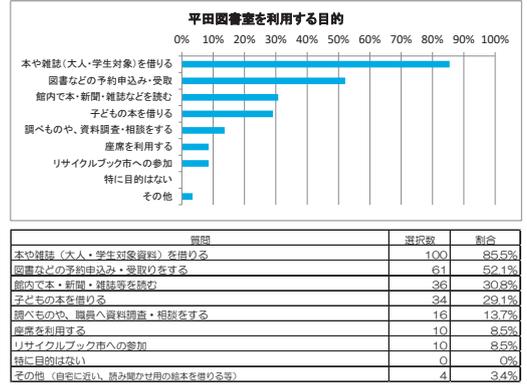
年齢・居住地・職業について

回答者の属性については、数年同じような傾向となっている。70 代以上、60 代が多く、この二つの世代で全回答者の半数近くを占めた。居住地別ではすべての回答者が市内に在住者であった。職業別では、会社員・公務員が 3 割近くを占めており、続いて、主婦、無職の順となった。



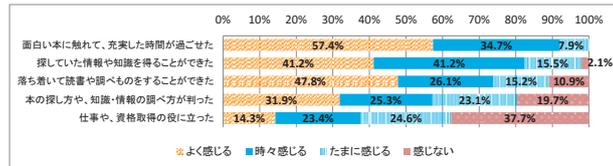
問 1. 平田図書館の利用目的について

問 1 では平田図書館の利用目的について尋ねた。(回答者 114 人。複数回答可)
最も多かったのは「本や雑誌を借りる」で 85.5%となった。次に「図書などの予約申込み・受取りをする」が 52.1%と半数を超え、続いて「館内で新聞・雑誌などを読む」が 30.8%となっている。「子どもの本を借りる」を選択した人は 29.1%となっている。



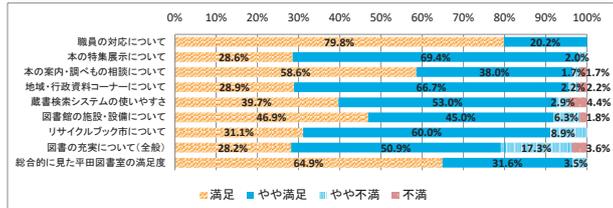
問 2. 図書館を利用した成果

すべての回答者が、「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたこと答えた。また、97.9%の人が、「探していた情報や知識を得ることができた」と図書館を利用した成果を感じていることが分かった。今後も地域の方々に様々な情報ができるよう、サービスの向上に努めていく。



問 3・4 平田図書館の満足度

問 3 と問 4 では平田図書館のサービスについての満足度を尋ねた。
「満足」とやや満足「を合わせた満足度は、「職員の対応」が 100%という結果になった。また、「本の特集展示」は 98%、「本の案内・調べもの相談」は 96.6%となった。他の項目に比べ「図書館の施設・設備」「図書の充実(全般)」については若干満足度が低くなっているが、総合的な満足度は 96.5%と非常に高かった。
規模の小さい図書館であるが、資料の案内や取り寄せ、職員の丁寧な対応により、気軽に相談できる地域の図書館としてサービスの充実に努めていく。



項目	満足	やや満足	やや不満	不満	計
職員の対応について	87	79.8%	22	20.2%	109
本の特集展示について	14	28.6%	34	69.4%	48
本の案内・調べもの相談について	34	58.6%	22	38.0%	58
地域・行政資料コーナーについて	13	28.9%	30	66.7%	43
蔵書検索システムの使いやすさについて	27	39.7%	36	53.0%	63
図書館の施設・設備について	52	46.9%	50	45.0%	111
リサイクルブック市について	14	31.1%	27	60.0%	41
図書の充実について(全般)	31	28.2%	56	50.9%	110
総合的に見た平田図書館の満足度	74	64.9%	36	31.6%	114

問 5. 自由記入

調査票 114 記入者 26 未記入 88 (記入率 22.8%) ※複数記入あり
集計を行うにあたり、下記の 10 分類により編集した。

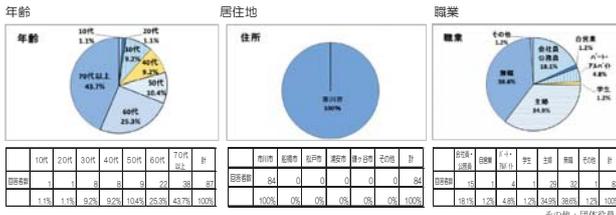
- (1) 資料に関する記入 (2) AV 資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) IT に関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	8	中央図書館に借りに行かなくても平田にあることが多いのでよく利用している。蔵書の量を増やして欲しい。絵本が探しづらいなど。
2 AV 資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	1	コピー機の設置の要望。
4 座席に関する記入	1	居眠りをしている人がいるため、席を使えないことがある。
5 IT に関する記入	2	一言一句合っていないと検索できないのが不便。利用可能な予約本のキャンセルができるとう良い。
6 マナーに関する記入	1	カウンターで話している人がたまにいて、少しうるさいことがある。
7 職員に関する記入	1	職員の対応がいつも感じよい。
8 運営に関する記入	4	リサイクルブック市の日程を前もって知りたい。現在の開館時間が良い。もう少し遅くまで開館してほしいなど。
9 感想	9	近くに住んでいるので利用しやすい、助かっている、満足しているとの意見が多くあった。
10 その他の記入	0	

大野公民館図書室 アンケート結果

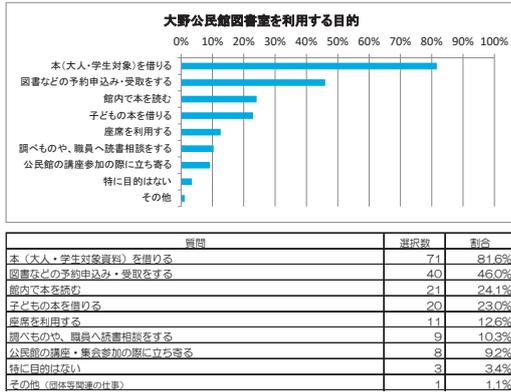
年齢・居住地・職業について

回答者の年齢は、70代以上が43.7%と最も多く、続いて60代の25.3%で、この二つの世代で全回答者の7割近くを占めた。居住地別では回答者すべてが市内在住者であった。職業別では、無職が38.6%で最も高く、主婦の34.9%が続いた。



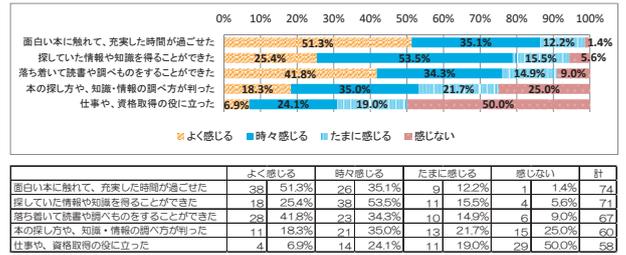
問1. 大野公民館図書室の利用目的について

問1では大野公民館図書室の利用目的について尋ねた。(回答者数87人。複数回答可)最も多かったのは、「本を借りる」で81.6%となり、続く「図書などの予約申込み・受取りをする」の46.0%を大きく上回った。一方、「公民館の講座・集会参加の際に立ち寄る」という回答は9.2%にとどまっていることから、今後、公民館図書室の特性を活かしたサービスの提供を目指していきたい。



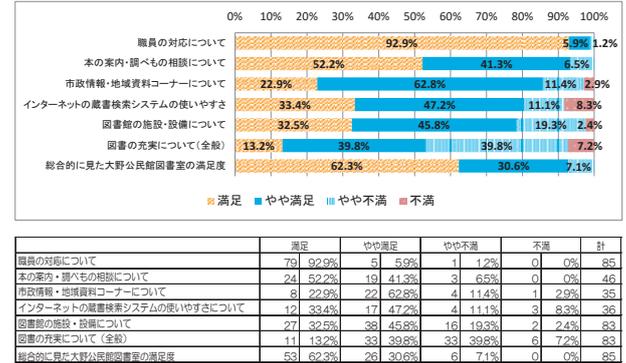
問2. 図書室を利用した成果

回答者の98.6%が「面白い本に触れて、充実した時間を過ごせた」と感じたと答えている。また、90%以上が「探していた情報や知識を得ることができた」「落ち着いて読書や調べものをするのができた」と回答している。今後も図書室を利用して充実した時間を過ごせたと感じてもらえるよう、サービスの向上に努めたい。



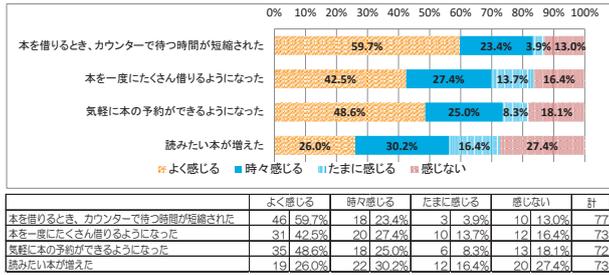
問3・5 大野公民館図書室の満足度

問3と問5では、大野公民館図書室のサービスについての満足度を尋ねた。「満足」と「やや満足」を合わせた満足度は、「職員の対応」が最も高く98.8%で、続いて「本の案内・調べもの相談」が93.5%となった。これらと比較すると「図書の実装」については、53.1%と低い数値にとどまった。総合的な満足度は92.9%と高い数値となり、「不満」の回答はなかった。今後も引き続きこの満足度を保てるよう、北部地域における図書館サービスの充実を努めたい。



問4. 貸出方法の変更について

図書室での貸出方法がバーコードによる方法に変更になったことで、回答者の87.0%が「カウンターで待つ時間が短縮された」と感じたと答えている。また、80%以上が「本を一度にたくさん借りるようになった」「気軽に本の予約ができるようになった」と感じると回答している。一方、これらに比べると、「読みたい本が増えた」と感じている人は72.6%にとどまっている。蔵書については引き続き寄贈本も活用し充実を努めたい。



問6. 自由記入

調査票87 記入者28 未記入59 (記入率32.2%) ※複数記入あり

集計を行うにあたり、下記の10分類により編集した。

- (1) 資料に関する記入 (2) A V資料に関する記入 (3) 施設に関する記入
- (4) 座席に関する記入 (5) ITに関する記入 (6) マナーに関する記入
- (7) 職員に関する記入 (8) 運営に関する記入 (9) 感想 (10) その他の記入

分類	意見数	主な内容
1 資料に関する記入	14	蔵書数を増やしてほしいという要望が多くあった。
2 A V資料に関する記入	0	
3 施設に関する記入	2	駐車場が増え満足など。
4 座席に関する記入	1	椅子をテーブルの下にしまう音が気になる。
5 ITに関する記入	4	図書館のHPで大野公民館図書室においてある本の検索がわからなかったなど。
6 マナーに関する記入	0	
7 職員に関する記入	9	職員の対応が良く満足、という意見が多数あった。
8 運営に関する記入	0	
9 感想	5	近所にあり便利という意見が多く、他にも満足などの好印象の意見が多い。
10 その他の記入	0	

資料（５）

市民要望（平成 29 年度）

図書館に寄せられる要望は、主に、市の公式Webサイトの『市民の意見箱』投稿フォームから、広報広聴課がシステムで受付けているが、29年度は、12月にシステム変更があり、新たに「市民の声システム」として運用が開始された。

また、新たな機能として、Webからの問い合わせを各課が直接受けてメールで回答する「各課問い合わせフォーム」の機能も3月に追加された。

そのほか、各図書館に直接寄せられる要望として、「利用者の声」投稿箱があり、窓口での要望も様式に書き留めている。

市民要望・内容分類	件数
「質問」 …利用案内、施設案内等について	18
「意見」 …対応の違い・悪さ、間違い等について	37
「苦情」	16
「要望」 …現状実施していないことに対して	25
「その他」 …情報提供、相談、宣伝、許諾など	4
合計	100

市民要望・内容詳細別	件数
運営に関すること	26
資料に関すること（寄贈・レファレンスを含む）	19
システムに関すること（ホームページ含む）	20
施設に関すること（備品を含む）	16
職員に関すること（接遇・手続きミスを含む）	8
その他	11
合計	100

※市川駅南口図書館分 47 件は除く

今回のご意見で反映できたもの

- 図書館利用券の有効期限表示 ⇒シール作成
- センター裏側の自転車置場に至る通路は、バイクや自転車に乗ったまま乗り入れるのを禁止してほしい ⇒立て札を設置

- インターネットブースのPC起動が遅いことに対する運用改善 ⇒電源を入れたままの運用に変更

運営に関すること

- 休館日について
- 開館時間について
- 閲覧席の利用について
- 学習ができるスペース設置について
- 貸出冊数の緩和と利用券の家族利用について
- レファレンスという言葉がわかりにくい
- ベルクスやイオンに設置された返却ポストが満杯になることについて

資料に関すること

- DVDの全体本数増加と貸出期間について
- 週刊誌の最新号について
- 複写サービスの申込書について
- しかけ絵本について
- 漫画の購入について

システムに関すること

- 貸出履歴の参照機能について
- 予約かごの登録可能件数について
- 自動貸出機の設置について
- ホームページトップ画面での開館時間表示について
- スマホを図書館利用券とする機能について

職員に関すること

- リクエストをするときの口頭説明について
- 予約の取置期限を伸ばすことをお願いしたときの対応について

施設に関すること

- トイレの臭いと整備について
- 椅子について
- 妙典地域の新図書館設置について

市 川 市 の 図 書 館

2 0 1 8

平成31年（2019）1月発行 第1版 　　¥200

編集・発行 市川市教育委員会 生涯学習部 中央図書館

〒272-0015 市川市鬼高1丁目1番4号 生涯学習センター内

T E L 047 (320) 3333 (機械音声応答)

047 (320) 3346 (直通)

<http://www.city.ichikawa.lg.jp/library/index.html>
